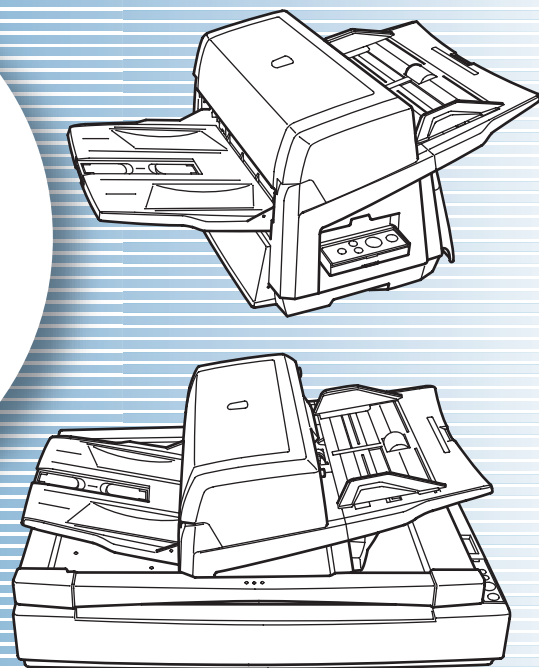


fi-6670(A)/fi-6770(A)/fi-6750S

イメージスキャナ

オペレーターガイド

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。本書では、本製品の基本的な操作および取り扱い方法について説明しています。スキャナの設置、接続、およびソフトウェアのインストールについては、スタートアップガイドを参照してください。



TOP

目次

索引

はじめに

各部の名称と働きおよび基本的な操作について説明しています。

スキャナについて

原稿をスキャナにセットする方法について説明しています。

原稿のセット方法

スキャナドライバの設定項目について説明しています。

読み取り条件の設定

いろいろな原稿を読み取る方法について説明しています。

いろいろな読み取り方

清掃方法について説明しています。

日常のお手入れ

消耗品の交換について説明しています。

消耗品の交換

トラブルの対処方法など、困ったときの対処方法について説明しています。

困ったときには

Software Operation Panel を使ったスキャナの設定方法について説明しています。

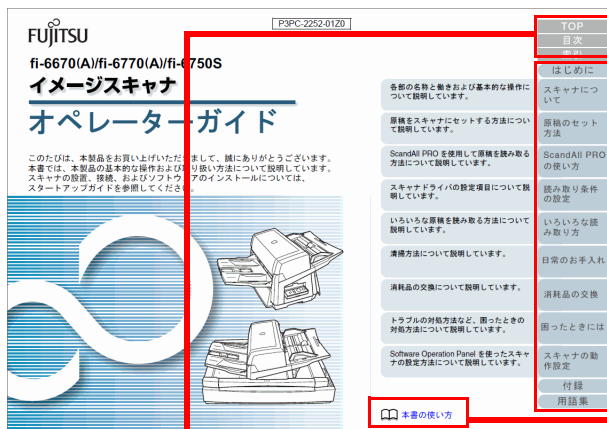
スキャナの動作設定

付録

用語集

本書の使い方

本書の使い方について説明します。
表紙ページ

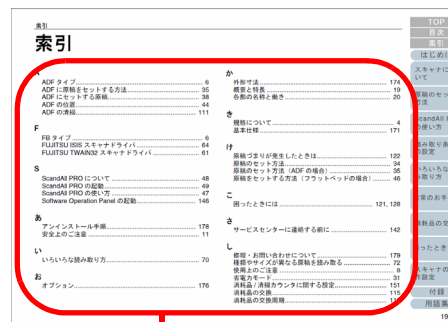


TOP：表紙ページに移動します。
目次：目次ページに移動します。
索引：索引ページに移動します。

各章の
先頭ページに
移動します。


本書の使い方
ページに
移動します。

索引ページ

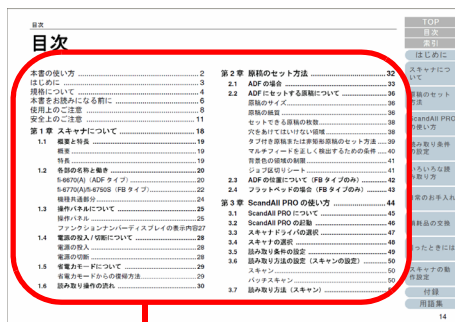


クリックした索引のページに移動します。

共通

- 本文中の青字（マウスがリンク選択時の形状（））に変わる箇所）をクリックすると、参照先に移動します。
- 本文中の検索は、Adobe® Acrobat® または Adobe® Reader の検索機能が使えます。
詳細は、Adobe® Acrobat® または Adobe® Reader のヘルプを参照してください。
- キーボードを使う場合は、「PageUp」キーで前ページ、「PageDown」キーで次ページに移動します。

目次ページ



クリックしたタイトルのページに移動します。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

はじめに

このたびは、fi-6670/fi-6670A/fi-6770/fi-6770A/fi-6750S イメージスキャナをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本書では、ScandAll PRO を使用した読み取り方法について説明しておりますが、本製品に添付されている ScandAll PRO は、今後予告なくバージョンを変更する可能性があります。その際に、本書の説明が実際の画面と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

ScandAll PRO については、別マニュアルの「ScandAll PRO V2.0 ユーザーズガイド」を参照してください。

本製品について

本書は、5 機種のスキャナについて説明しています。各機種の概要は、次のとおりです。

機種名	概要
fi-6670 fi-6670A	自動給紙、両面読み取りが可能な ADF (Automatic Document Feeder) スキャナ部を搭載しています。fi-6670A には、CGA (Color Graphics Accelerator) ボードが標準で搭載されており、Kofax VRS Professional (以降、「Kofax VRS」と呼びます) を使用することによって高度な画像処理を高速で行います。
fi-6770 fi-6770A	自動給紙、両面読み取りが可能な ADF (Automatic Document Feeder) スキャナ部と、薄い原稿、本などの厚みを持った原稿も読み取り可能なフラットベッド部で構成されています。fi-6770A には、CGA (Color Graphics Accelerator) ボードが標準で搭載されており、Kofax VRS を使用することによって高度な画像処理を高速で行います。
fi-6750S	自動給紙が可能な ADF (Automatic Document Feeder) スキャナ部と、薄い原稿、本などの厚みを持った原稿も読み取り可能なフラットベッド部で構成されています。ADF スキャナ部は、片面読み取りのみ可能です。

マニュアルの種類

本製品には、次のマニュアルが用意されています。必要に応じてお読みください。

マニュアル	内容
スタートアップガイド (紙、PDF)	設置から運用開始までの手順を説明しています。最初にお読みください。 PDF版は Setup DVD-ROM で提供されています。
オペレーターガイド (本書) (PDF)	基本的な操作方法、日常のお手入れ、消耗品の交換、およびトラブルの対処方法などを説明しています。Setup DVD-ROM で提供されています。
ScandAll PRO V2.0 ユーザーズガイド (PDF)	ScandAll PRO を使用した原稿の読み取り方法について説明しています。Setup DVD-ROM で提供されています。
ScandAll PRO ScanSnap mode Add-in V1.0 ユーザーズガイド (PDF)	ScandAll PRO ScanSnap mode Add-in を使用した原稿の読み取り方法について説明しています。Setup DVD-ROM で提供されています。
TWAIN ドライバ 取扱説明書 (PDF)	TWAIN ドライバのインストール手順および操作方法について説明しています。Setup DVD-ROM で提供されています。
画像処理ソフトウェアオプションユーザーズガイド (PDF)	画像処理ソフトウェアオプションのインストール手順および操作方法について説明しています。Setup DVD-ROM で提供されています。
VRS をご使用になる前に (PDF)	Kofax VRS の接続方法およびインストール手順について説明しています。Setup DVD-ROM で提供されています。

マニュアル	内容
Scanner Central Admin 4.0 ユーザーズガイド (PDF)	Scanner Central Admin の概要、導入方法、運用方法、保守方法などを説明しています。Setup DVD-ROM で提供されています。
Error Recovery Guide (HTML ヘルプ)	エラーが発生した場合に、スキヤナの状態と対処方法を表示します。 また、消耗品の交換方法なども動画で説明しています。Setup DVD-ROM で提供されています。
スキヤナドライバヘルプ	各スキヤナドライバの使い方や設定方法などを説明しています。 各スキヤナドライバから参照できます。
アプリケーションヘルプ	各アプリケーションソフトの使い方や設定方法などを説明しています。必要に応じてご使用ください。各アプリケーションから参照できます。

商標および登録商標について

Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista、および SharePoint は、米国 Microsoft Corporation の米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。

ISIS および QuickScan は、EMC Corporation の米国における登録商標および商標です。

Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat、および Adobe Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

ABBYY™ FineReader™ Engine ©2011 ABBYY. OCR by ABBYY ABBYY および FineReader は、ABBYY の商標です。

Kofax および VRS は、Kofax, Inc. の登録商標および商標です。

その他の社名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

製造・販売元

株式会社 PFU

〒212-8563

神奈川県川崎市幸区堀川町 580 番地

(ソリッドスクエア東館)

TEL:044-540-4538

© PFU LIMITED 2008-2011

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

規格について

電波障害自主規制について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

本書、スタートアップガイド、およびオペレーターガイドに従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

高調波ガイドラインについて

本製品は JIS C 61000-3-2 適合品です。

JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性—第 3-2 部：限度値—高調波電流発生限度値（1 相当りの入力電流が 20A 以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

グリーン製品について

本製品は、当社の厳しい環境評価基準（リサイクル、省エネ化、環境にやさしい素材の採用など）をクリアした地球にやさしい「グリーン製品」として提供しています。

詳細は富士通ホームページ「富士通の環境活動」をご参照ください。

<http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/>



いつも地球を見守っている

国際エネルギースタープログラムについて

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。



ハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。お客様がハイセイフティ用途に本製品を使用したことにより発生する損害につきましては、お客様または第三者からのいかなる請求または損害賠償に対しても当社は一切その責任を負いません。

本書をお読みになる前に

本書で使用している記号について

本書では、警告表示とは別に、説明中に次の記号を使用しています。



特に注意が必要な事項が書かれています。必ずお読みください。



操作に関するワンポイントアドバイスが書かれています。

本書の表記について

スキャナ本体の呼び方

スキャナ本体を、次のように表記しています。

製品名称	本文中の表記	
fi-6670/fi-6670A	ADF タイプ	スキャナ
fi-6770/fi-6770A/fi-6750S	フラットベッドタイプ	

本書では、各タイプについて次の機種を元に説明します。

ADF タイプ : fi-6670

フラットベッドタイプ : fi-6770

製品の呼び方

本文中では製品名を、次のように略して表記します。

製品名称	本文中の表記	
Windows® 2000 Professional	Windows 2000	Windows (*1)
Windows® XP Home Edition、 Windows® XP Professional、 Windows® XP Professional x64 Edition	Windows XP	
Windows Server® 2003, Standard Edition、 Windows Server® 2003, Standard x64 Edition、 Windows Server® 2003 R2, Standard Edition、 Windows Server® 2003 R2, Standard x64 Edition	Windows Server 2003	
Windows Vista® Home Basic (32/64bit)、 Windows Vista® Home Premium (32/64bit)、 Windows Vista® Business (32/64bit)、 Windows Vista® Enterprise (32/64bit)、 Windows Vista® Ultimate (32/64bit)	Windows Vista	
Windows Server® 2008 Standard (32/64bit)、 Windows Server® 2008 R2 Standard (64bit)	Windows Server 2008	
Windows® 7 Home Premium (32/64bit)、 Windows® 7 Professional (32/64bit)、 Windows® 7 Enterprise (32/64bit)、 Windows® 7 Ultimate (32/64bit)	Windows 7	

製品名称	本文中の表記
Microsoft® Office SharePoint® Portal Server 2003	SharePoint Server
Microsoft® Office SharePoint® Server 2007	
Microsoft® SharePoint® Server 2010	
Adobe® Acrobat®	Adobe Acrobat (*2)

*1: すべてのオペレーティングシステムを区別しないで使用する場合は、Windows と表記しています。

*2: 本書では、本製品に添付されている Adobe Acrobat のことを指します。また、本製品に添付されている Adobe Acrobat は、今後予告なくバージョンを変更する可能性があります。あらかじめご了承ください。本書の説明が実際の画面と異なる場合は、Acrobat のヘルプを参照してください。

連続する操作の表記について

本文中の操作手順において、連続する操作手順を「→」でつなげて記述しています。

例: 「ツール」メニュー → 「スキャナの設定」をクリックします。

本書に記載されている画面について

画面は、改善のため予告なく変更することがあります。表示された画面が、本書に記載されている画面と異なる場合は、対象ソフトウェアのマニュアルを参考にして、実際の画面に従って操作してください。なお、本書に記載している画面は、TWAIN ドライバ、ISIS ドライバ、イメージキャプチャリングソフトウェア ScandAll PRO、および Adobe Acrobat のものです。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

使用上のご注意

本製品として提供されるマニュアル、スキャナ本体、およびその添付ソフトウェアは、お客様側の責任において使用していただきます。

本製品のご使用によって発生する損害やデータの損失については、当社では一切責任を負いかねます。

また、本製品の障害の保証範囲は、どんな場合も本製品の代金としてお客様が支払った金額を超えることはありません。あらかじめご了承ください。

本製品にて提供される添付ソフトウェア、および本製品用として当社から提供されるアップデート用ソフトウェアについては、本製品に組み込んで使用する以外の使用方法、および改変や分解について一切許可していません。

水銀使用について

本製品のランプには水銀が使用されています。危険防止のために下記の事項を厳守してください。

- 口に入れないでください。
本製品の水銀が体内に入ると危険です。
- 気体や粉末、液体にしないでください。
本製品を焼いたり、砕いたり、科学的処理をした液体を吸引、誤飲すると危険です。
- 廃棄する場合は、関係国内法及び貴社廃棄物処理規定に従ってください。
本製品を廃棄する場合は、一般産業廃棄物や家庭用廃棄物とは別にしてください。

複製について

紙幣、貨幣、政府発行の有価証券およびパスポート、公共団体や民間団体発行の免許証、許可証、公文書、私文書などの複製は違法となります。処罰の対象となりますので、おやめください。

紙幣などの偽造防止について

紙幣、有価証券などを、スキャナを使用して読み取り、プリンタで不正に印刷すると、その印刷物の使用の如何にかかわらず、法律に違反し、罰せられます。

関連法律

刑法 第148条、第149条、第162条、
通貨及証券模造取締法 第1条、第2条など

著作権について

書籍、絵画、版画、地図、図面および写真などの著作物は、個人的にまたは家庭内のその他、これらに準ずる限られた範囲内で使用する用途以外は、権利者の許可なしに複製することはできません。

本製品の海外への持ち出しについて

本製品（ソフトウェアを含む）は、日本国内専用ですので、日本国内でご使用ください。海外における使用に関しては、当社は一切その責任を負いません。

免責事項

読み取り画像の原稿再現性について

本製品によって原稿を読み取ってつくられる読み取り画像データがお客様の必要とする精度・品質を満たしていること、たとえば寸法精度、情報量、忠実度、色調等における原稿イメージの再現性をご確認ください。

また、読み取った原稿を破棄する際は、必ず、読み取り画像データを点検し、欠落のないことを確認した上でお客様の責任において行ってください。

読み取り画像データの一部が欠けたり、損失する場合がありますので、マニュアルに従って、次の点にご注意ください。

- 1 原稿の状態（シワ、折れ、穴あきなど）をご確認ください。
- 2 装置内部の清掃をこまめに行ってください。
- 3 消耗品は定期的にお取り替えください。
 - 原稿の状態によっては、読み取った画像にかすれ、ゆがみ、よごれ、欠けなどが発生して、読み取り画像データの一部または全部が欠落する場合があります。
 - スキャナ内部がよごれた状態で読み取りを行うと、読み取った画像にかすれ、ゆがみ、よごれ、欠けなどが発生して、読み取り画像データの一部または全部が欠落する場合があります。
 - 読み取り設定（解像度、色数、読み取り面、自動傾き補正、自動白紙除去など）が不適切な場合は、次のような不具合が発生することがあります。
 - 解像度不足で文字が不鮮明となる
 - カラー原稿の読み取り画像が白黒となる
 - 両面読み取り時に両面原稿の片面しか読み取られない
 - 画像の一部が欠けたり、サイズが縮小される
 - 白紙ページが削除されない、または必要ページまで削除される
 - 原稿の状態（シワ、折れ、穴あきなど）または消耗品の状態により複数枚の原稿を同時に送り（マルチフィード）、読み取りデータにページ抜けが発生する場合があります。
 - 原稿の紙質が指定外の場合または指定内の紙質であっても原稿の状態（シワ、折れ、穴あきなど）やスキャナ内の紙送り機構・消耗品の状態により原稿づまりが発生することがあります。この場

合原稿データの一部または全部が欠落する場合があります。原稿づまりにより原稿を損傷することがあります。原稿づまりを防止するため読み取る原稿と同質・同サイズの紙を用いた事前の搬送試験をお勧めします。またはフラットベッドタイプのスキャナによる読み取りを行ってください。

メンテナンスについて

本製品の修理はお客様自身で行わないでください。
本製品を購入された販売店または [株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター \(P.192\)](#) に連絡してください。

使用済製品の廃棄とリサイクルについてのごお願い

- 個人でご購入のお客様が本製品（付属品を含む）を廃棄する場合は、地方自治体の条例等に従って適切に処理してください。
- 法人、企業のお客様が本製品（付属品を含む）を廃棄する場合は、産業廃棄物扱いで適切に処理してください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

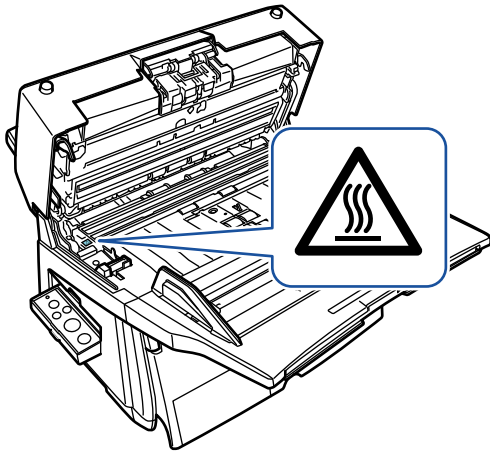
困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

警告ラベルについて

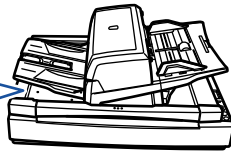


高温ラベル

このラベルが貼り付けてある個所付近（ガラス部分付近）は、高温になる場合があります。火傷をするおそれがありますので十分注意してください。



ADF を回転する際に、指をはさまないように注意してください。



警告ラベルは絶対にはがさないでください。また、よごれてメッセージなどが見にくくなった場合は株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (P.192) までご連絡ください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

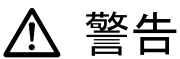
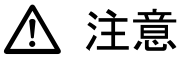
安全上のご注意

本書には、お買い上げいただいた製品を安全に正しく使用するための重要な事柄が記載されています。本製品をご使用される前に、本書を熟読してください。特に、次に記載されている内容をよく理解された上で本製品をお使いいただくようお願いいたします。

また、本書は、本製品の使用中にいつでもご覧になれるように、大切に保管してください。

本書で使用している警告表示について

本書では、製品を安全に、かつ正しくお使いいただき、お客様や他の人々に加えられるおそれのある危害や存在を未然に防止するために、次のような表示をしています。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみが想定される内容を示しています。



三角で示した記号は、警告、注意を促す事項であることを告げるものです。記号の中には、具体的な警告内容を示す絵が描かれています。



丸に斜線で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容を表す絵が描かれている場合もあります。

















黒塗りの丸に白抜きで示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中には、具体的な指示内容を表す絵が描かれている場合もあります。



本製品に関する重要な警告事項は、次のとおりです。

警告事項	
	電源ケーブルを傷つけない 電源ケーブルを傷つけると、火災や感電の原因になることがあります。重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりして電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。また、電源ケーブルや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるい場合は、使用しないでください。
	指定された電源ケーブルや接続ケーブルを使用する 指定された電源ケーブルや接続ケーブル以外は使用しないでください。感電や故障の原因となることがあります。製品に添付された電源ケーブルを他の製品に使用しないでください。感電や故障の原因となることがあります。
	必ずアースを接続する 感電のおそれがあります。必ずアースを接続してください。アース接続は、必ず電源プラグをコンセントに接続する前に行ってください。アース接続を外すときには、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

警告事項	
	<p>表示された電源電圧以外の電圧で使用しない。たこ足配線しない</p> <p>表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災や感電の原因となることがあります。また、たこ足配線をしないでください。</p>
	<p>濡れた手で電源ケーブルを触らない</p> <p>濡れた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。</p>
	<p>電源プラグのほこりは、よく拭き取る</p> <p>電源プラグの金属部および金属部の取り付け面にほこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。火災や感電の原因となることがあります。</p>
	<p>油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない</p> <p>油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。</p>
	<p>異臭がしたら使用しない</p> <p>万一、機器から発熱や煙、異臭や音がするなどの異常が発生した場合は、ただちに機器本体の電源を切り、そのあと、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が消えるのを確認して、販社 / 販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (P.192) に連絡してください。お客様自身による修理は危険ですから絶対にやめください。</p>
	<p>機器を破損したら電源を切る</p> <p>機器を落としたり、カバーなどを破損した場合は、機器本体電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのあと、販社 / 販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (P.192) にご連絡ください。</p>

警告事項	
	<p>内部に水や異物を入れない</p> <p>開口部（通風口など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。コーヒーなどの液体やクリップなどの金属片が装置内部に入らないように気をつけてください。水をかけるなどして、本体を濡らさないでください。</p>
	<p></p> <p>異物（水、金属片、液体など）が機器の内部に入った場合は、ただちに機器本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのあと、販社 / 販売店または株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (P.192) に連絡してください。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。</p>
	<p>異常が発生したときは、電源プラグをコンセントから抜く</p> <p>異常発生時には、ただちに電源プラグをコンセントから抜いてください。アース線は電源プラグを抜くまで外さないでください。</p>
	<p>むやみに内部を開かない</p> <p>装置を分解したり、改造したりしないでください。内部に高電圧部分があるため、感電や火災、故障の原因となることがあります。</p>
	<p>エアスプレーを使用しない</p> <p>清掃などの目的でエアスプレーおよびアルコールなどを含むスプレーは使用しないでください。スプレーから噴射される強い空気によって、ほこりなどが装置内部に侵入し、故障や装置異常の原因となる場合があります。また、静電気などによるスパーク（火花）により引火するおそれがあります。</p>
	<p>小さなお子様の手の届くところに設置しない</p> <p>小さなお子様の手の届くところに設置しないでください。けがの原因となることがあります。</p>
	<p>温度が高くなる場所に長時間触れない</p> <p>本体底面などの温度が高くなる場所に長時間触れて使用しないでください。低温やけどの原因となることがあります。</p>

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定




いろいろな読み取り方


日常のお手入れ

消耗品の交換






困ったときには







スキャナの動作設定

警告事項	
	使用中にスキャナを覆わない。 使用中のスキャナに布団をかけたりして使用しないでください。熱がこもり、火災の原因となることがあります。
	水場で使用しない 風呂場、シャワー室、プールなどの水場で使用しないでください。感電・火災の原因となります。
	海外で使用しない 本製品は日本国内専用です。海外などで使用すると、火災や感電の原因になる場合があります。

 **注意**

本製品に関する重要な注意事項は、次のとおりです。

注意事項	
	装置を不安定なところに置かない スキャナのどの部分も設置する机から突き出さないように置いてください。
	装置を不安定な場所に置かないでください。振動の少ない、装置が傾かないような平らな場所に置いてください。
	電源プラグを確実に差し込む 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。
	通気口をふさがない 通気口をふさがると、装置の内部が高温になるため、火災や故障の原因となることがあります。通気口をふさがないでください。
	装置の上に重いものを載せない、上に乗らない 装置の上に重いものを置いたり、装置の上で作業したりしないでください。故障やけがの原因となることがあります。

注意事項	
	寒い部屋から急に暖かい部屋に移動させた場合は、すぐに使用しない 寒い部屋から急に暖かい部屋に移動させると、機器が結露する場合があります。そのまま使用すると、原稿読み取り不良となる場合があります。暖かい部屋に1～2時間放置して、内部が乾いてから、使用してください。
	装置を移動するときは、電源プラグをコンセントから抜く ケーブルを接続したまま装置を移動させますと、ケーブルが傷つき、火災や感電、けがの原因となることがあります。装置を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなども外してください。作業は足元に十分注意して行ってください。
	静電気を避ける 強い磁界やノイズ発生源から離して設置してください。また、静電気を避けてください。静電気を発生させますと、誤動作の原因になります。床材や設置する机には静電気を発生させない材質のものを選んでください。
	歯車やローラなどに衣服やネクタイ、髪を巻き込まれないようにする 歯車やローラなどの可動部に衣服の袖やネクタイ、髪を巻き込まれないようにしてください。けがの原因となることがあります。
	長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く 長期間機器を使用しないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
	直射日光の当たる場所に置かない 直射日光の当たる所や暖房機の近くには置かないでください。装置内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。また、通気性、換気性の良い場所で使用してください。

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

注意事項



一人で装置を動かしたり移動したりしない

本装置を運ぶ場合は、必ず二人以上で運ぶようにしてください。



輸送ロックおよび ADF 輸送ロックねじを締めてから、本装置を運ぶ（フラットベッドタイプ）

本装置を運ぶ場合は、装置の故障を防ぐために、輸送ロックおよび ADF 輸送ロックのねじを締めてください。



紙の取り扱いに注意する

紙を取り扱う際は、紙の縁で手を切るなどのけがをしないように注意してください。



装置を濡らさない

雨天や降雪時に屋外へ持ち出す場合は、濡らさないように注意してください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

目次

本書の使い方	2	1.7 画像読み取り用アプリケーションの紹介	36
はじめに	3	1.8 スキャナ集中管理機能の紹介	37
規格について	6	第2章 原稿のセット方法	38
本書をお読みになる前に	7	2.1 ADFに原稿をセットする場合	39
使用上のご注意	9	2.2 ADFにセットする原稿について	42
安全上のご注意	12	原稿のサイズ.....	42
第1章 スキャナについて	20	原稿の紙質	42
1.1 特長	21	セットできる原稿の枚数.....	44
特長	21	穴をあけてはいけない領域	45
1.2 各部の名称と働き	22	タブ付き原稿または非矩形原稿のセット方法	45
fi-6670/fi-6670A (ADFタイプ).....	22	マルチフィードを正しく検出するための条件	46
fi-6770/fi-6770A/fi-6750S		背景色の領域の制限.....	47
(フラットベッドタイプ).....	24	ジョブ区切りシート.....	47
機種共通部分.....	27	2.3 ADFの位置について	
1.3 操作パネルについて	28	(フラットベッドタイプのみ)	48
操作パネル	28	2.4 フラットベッドに原稿をセットする場合	
ファンクションナンバーディスプレイの		(フラットベッドタイプのみ)	50
表示内容	30	第3章 読み取り条件の設定	51
1.4 電源の投入/切断について	31	3.1 TWAINドライバの場合	52
電源の投入	31	解像度.....	53
電源の切断	31	給紙.....	53
1.5 省電力モードについて	32	用紙サイズ	53
省電力モードからの復帰方法.....	32	画像タイプ	53
1.6 読み取り操作の流れ	33	[読取] ボタン.....	53

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

[プレビュー] ボタン	54	4.3 読み取り方を替える	69
[閉じる] / [了解] ボタン	54	指定の色（ドロップアウトカラー）の部分を 除いて読み取りたいとき	69
[リセット] ボタン	54	白紙ページをスキップして読み取りたいとき	71
[ヘルプ] ボタン	54	明るめに画像を読み取りたいとき	73
[バージョン情報] ボタン	54	パンチ穴を除去して読み取りたいとき	75
[オプション] ボタン	54	ADF から手挿入で原稿を読み取りたいとき	77
[詳細] ボタン	55	ADF 両面（仮想）読み取り機能を使用して 原稿を読み取りたいとき（fi-6750S のみ）	78
[管理] ボタン	55	4.4 読み取り後の動作や処理を設定する	80
3.2 ISIS ドライバの場合	56	原稿の傾きを自動で補正したいとき	80
「メイン」タブ	57	原稿の向きを自動で補正したいとき	82
「レイアウト」タブ	57	読み取った画像を PDF 形式で保存したいとき	84
「画像処理」タブ	58	原稿を 2 分割して読み取りたいとき	91
「用紙処理」タブ	59	マルチイメージ出力したいとき	93
「ガンマ」タブ	59	読み取った原稿の色（カラー / モノクロ）を 自動判別したいとき	95
「ドロップアウトカラー」タブ	60	4.5 読み取り時のスキャナの動作を変更する	97
「空白ページスキップ」タブ	60	スキャナのボタンで読み取りを開始したいとき	97
「圧縮」タブ	61	マルチフィードを検出したいとき	99
「インプリンタ」タブ	61	決まった条件のマルチフィードを無効にしたい とき	101
「バージョン情報」タブ	62	第 5 章 日常のお手入れ	105
第 4 章 いろいろな読み取り方	63	5.1 清掃用品および清掃が必要な場所	106
4.1 読み取り方一覧	64	清掃用品	106
4.2 種類やサイズが異なる原稿を読み取る	65	清掃部品と清掃頻度	107
両面を一度に読み取りたいとき （fi-6670/fi-6670A/fi-6770/fi-6770A のみ）	65		
大きな原稿や本を読み取りたいとき （フラットベッドタイプのみ）	66		
原稿幅の違う原稿を読み取りたいとき	67		
A3 サイズよりも長い原稿を読み取りたいとき	68		

はじめに

スキャナにつ
いて原稿のセット
方法読み取り条件
の設定いろいろな読
み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動
作設定

付録

用語集

5.2	ADF を清掃します	108	原稿が ADF に送り込まれない状態が頻繁に 起こる.....	138
	クリーナ F1 をしみ込ませた布での清掃.....	108	原稿づまりが頻繁に起こる	139
5.3	フラットベッドを清掃します (フラットベッドタイプのみ)	113	ADF に原稿をセットして読み取ったとき、 読み取った画像が間延びする.....	140
第 6 章	消耗品の交換	114	読み取った画像の先端に影がある	141
6.1	消耗品と交換周期	115	Kofax VRS 使用時にパソコンからスキャナを 認識できない.....	142
6.2	ピックアップを交換します	116	7.4 サービスセンターに連絡する前に	143
6.3	ブレーキローラを交換します	118	概要	143
第 7 章	困ったときには	120	エラーの状況.....	144
7.1	原稿づまりが発生したときは	121	7.5 装置ラベルの確認	145
7.2	操作パネルのエラー表示	123	ラベルの位置.....	145
	一時的エラー.....	124	第 8 章 スキャナの動作設定	146
	装置異常.....	125	8.1 Software Operation Panel の起動	147
7.3	困ったときには	128	8.2 設定できる項目	148
	電源が入らない	129	装置設定.....	148
	ファンクションナンバーディスプレイの表示が 消える.....	130	装置設定 2.....	150
	読み取りが開始されない.....	131	[工場出荷時設定] ボタン.....	155
	白黒で読み取ると絵や写真が汚くなる	132	[退避] ボタン.....	155
	文字や線の読み取り結果が良くない.....	133	[復元] ボタン.....	155
	画像がゆがむまたは鮮明でない	134	8.3 消耗品 / 清掃カウンタに関する設定	156
	読み取った画像に縦線が出る.....	135	消耗品 / 清掃カウンタの確認およびリセット	156
	スキャナに電源が入ったあとで、ファンクション ナンバーディスプレイに異常 (「E」またはその他 の数字や文字) が表示されている	136	スキャナの清掃周期の設定 (清掃周期設定).....	158
	マルチフィードが頻繁に起こる	137	消耗品の交換周期の設定 (寿命設定カウンタ)	158

はじめに

スキャナにつ
いて原稿のセット
方法読み取り条件
の設定いろいろな読
み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動
作設定

8.4	読み取りに関する設定	159	8.6	待機時間に関する設定	176
	読み取り開始位置の調整			手差しモードの待機時間の設定	
	(オフセット設定 / 倍率調整)	159		(手挿入タイムアウト)	176
	読み取ったイメージの端にできる影やスジの			省電力モードの待機時間の設定 (省電力設定)	
	消去 (縁消し)	161		177
	指定した色を除いた読み取りの設定		8.7	電源投入 / 切断方法に関する設定	178
	(ドロップアウトカラー)	162		電源投入 / 切断方法の設定 (電源 SW 制御)	178
	読み取り時間の短縮 (プレピックモード)	163	8.8	オーバースキャン読み取り制御の設定	179
	読み取ったイメージの端数の設定		8.9	給紙のリトライ回数	180
	(自動用紙サイズ検出時のバウンダリ)	164			
	データ転送幅の設定 (SCSI バス幅)	165	付録	181
	タブ / 非矩形原稿の読み取り設定		付 .1	スキャナ基本仕様	182
	(タブ付き原稿読取設定)	166	付 .2	設置諸元	184
	背景色が暗い原稿の読み取り設定		付 .3	外形寸法	185
	(地色が暗い原稿の読取設定)	167		ADF タイプ	185
	原稿の出力結果の調整			フラットベッドタイプ	186
	(オーバークロップ / アンダークロップ指定) ...	168	付 .4	スキャナのオプション	187
	ピック圧の調整 (ピック圧設定)	169	付 .5	ソフトウェアのアンインストール手順	189
8.5	マルチフィード検出に関する設定	170	修理・お問い合わせについて	191	
	マルチフィード検出方法の設定	170	用語集	194	
	マルチフィード検出範囲の指定				
	(マルチフィード原稿チェック領域指定)	172			
	マルチフィード検出しない範囲の設定				
	(インテリジェントマルチフィード設定)	175			

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

第1章 スキャナについて

この章では、各部の名称と働きおよび基本的な操作方法について説明します。

この章では、Windows Vista の画面を例に説明しています。お使いの OS によって表示される画面および操作が異なります。また、TWAIN ドライバ、ISIS ドライバをアップデートすると、この章で記載している画面および操作が異なることがあります。その場合は、アップデート時に提供されるマニュアルを参照してください。

1.1 特長	21
1.2 各部の名称と働き	22
1.3 操作パネルについて	28
1.4 電源の投入 / 切断について	31
1.5 省電力モードについて	32
1.6 読み取り操作の流れ	33
1.7 画像読み取り用アプリケーションの紹介	36
1.8 スキャナ集中管理機能の紹介	37

1.1 特長

ここでは、本製品の特長について説明します。

特長

本製品には、次のような特長があります。

毎分 90 枚 /180 面（JPEG 圧縮時）の読み取り速度を実現 （fi-6670/fi-6670A/fi-6770/fi-6770A）

高速 CCD および高速画像処理回路を新規開発、カラー A4 原稿で毎分 90 枚 /180 面（200dpi）の読み取り速度を実現しました。これにより、1 日約 4.5 万枚の大量原稿読み取りが可能です。

マルチフィードによる業務ロスを低減

1 度に 2 枚以上の原稿が重なって給紙（マルチフィード）されたことを確実に検出する超音波方式マルチフィードセンサーが搭載されています。厚さ・サイズ・色・濃度が異なる原稿を混載読み取りする場合でも、マルチフィードを確実に検出でき、業務ロスを未然に防ぐことができます。

インテリジェントマルチフィード機能を搭載

原稿の決まった位置に同じ大きさの紙が貼り付けてある場合、その貼り付け位置をスキャナに認識させる機能が搭載されています。

スキャナに認識させた貼り付け位置部分は、マルチフィードを検出せずに読み取り続けることができます。

移動する ADF スキャナ部を搭載

（フラットベッドタイプのみ）

スキャナ上を左右に移動および 180 度回転する ADF スキャナ部が搭載されています。これにより、省スペースでの設置が可能です。

スキャナを集中管理

添付のアプリケーション「Scanner Central Admin Agent」を使用することで、複数台のスキャナを集中管理して、スキャナの設定情報やドライバなどをアップデートしたり、スキャナの稼働状況を監視したりできます。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

1.2 各部の名称と働き

スキャナの各部名称について説明します。

fi-6670/fi-6670A (ADF タイプ)

スタッカー

ADF で読み取られた原稿はここに積み重なります。
高・低の2つの位置に高さを設定できます。
取り外すことができます。

スタッカーエクステンション

原稿の長さに合わせて引き出して使用します。

ストッパー

原稿の長さに合わせて立てて使用します。

EXT コネクター

インプリンタオプション接続用のコネクターです。
インプリンタオプションの詳細については、「インプリンタ オペレーターガイド」を参照してください。

ADF (自動給紙部)

原稿を読み取り位置まで自動的に送り込みます。
複数枚の原稿をセットして、1枚ずつ搬送して読み取ることができます。
原稿の両面を同時に読み取ることができます。

ADF 給紙シュート

ADF で原稿を読み取る場合に、表面を下にして原稿をセットします。
取り外すことができます。

シュートエクステンション

長い原稿を読み取る場合に引き出して使用します。

シュートローラカバー

シュートローラに、指がはさみこまれないように防止するカバーです。

サイドガイド

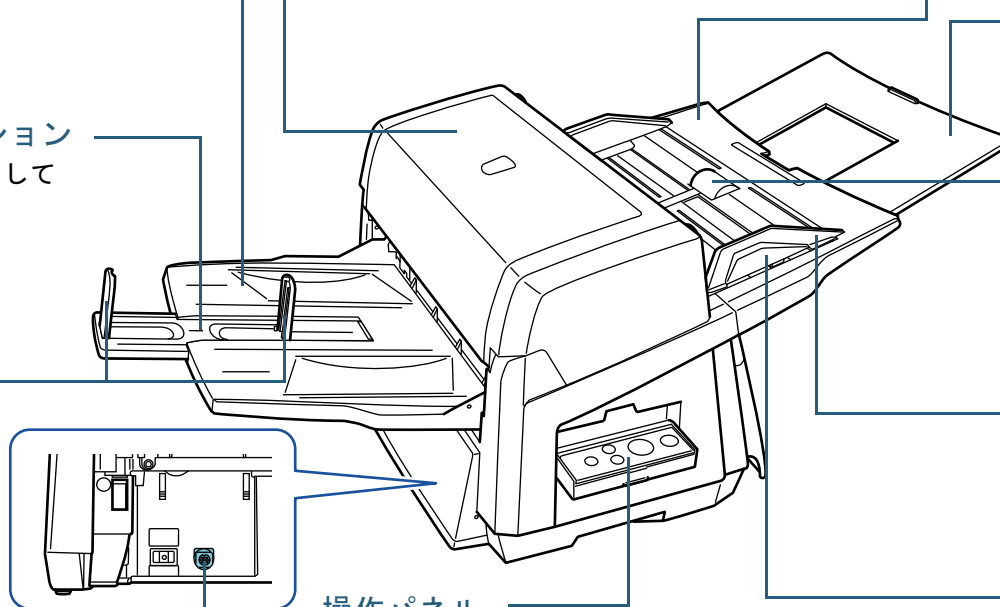
原稿が傾いて搬送されないように原稿の幅を規制します。

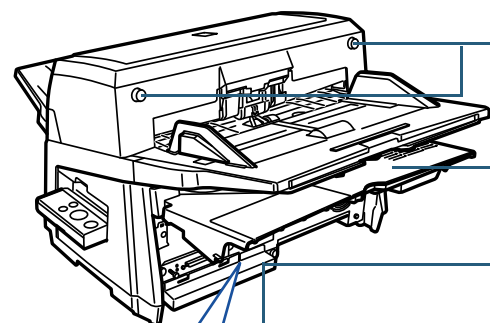
サイドガイドボタン

押している間、ロックが解除され、サイドガイドの位置を調整できます。
手を離れた位置でサイドガイドが固定されます。

操作パネル

ファンクションナンバー、ボタン、LED から構成されています。
スキャナを操作したり、状態を確認したりすることができます。
スキャナの両側にあり、左右どちらからでも操作できます。使用しないときは、折りたたんで収納できます。





ADF ボタン (共通)

押すと、ロックが解除され ADF が開きます。

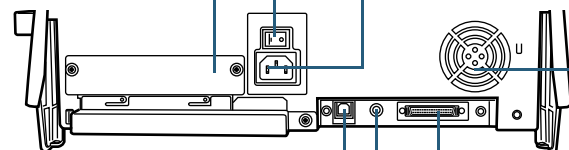
ケーブルカバー (共通)

接続したケーブル類を収納 / 保護します。
接続したケーブル類を左右の溝から外に出し、まとめることができます。

CGA ボードスロット (fi-6670 のみ)

CGA ボードを接続します。
CGA ボードの詳細については、「付 .4 スキャナのオプション」(P.187) を参照してください。

fi-6670



メイン電源スイッチ (共通)

電源の投入 / 切断に使用します。

電源コネクタ (共通)

電源ケーブルを接続します。

通気口 (共通)

スキャナ内部の熱を外部に逃がすための開口部です。

SCSI コネクタ 1 (共通)

SCSI ケーブルを接続します。

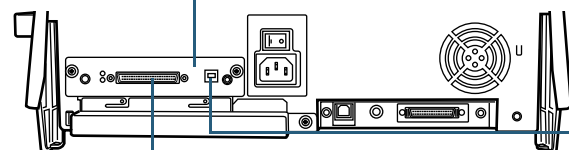
SCSI ID スイッチ (共通)

SCSI ID の設定に使用します (工場出荷時の設定は ID=5)。

USB コネクタ 1 (共通)

USB ケーブルを接続します。

fi-6670A



CGA ボード (fi-6670A のみ)

CGA ボードの詳細については、「付 .4 スキャナのオプション」(P.187) を参照してください。

USB コネクタ 2 (fi-6670A のみ)

USB ケーブルを接続します。

SCSI コネクタ 2 (fi-6670A のみ)

SCSI ケーブルを接続します。

fi-6770/fi-6770A/fi-6750S (フラットベッドタイプ)

ADF (自動給紙部)

原稿を読み取り位置まで自動的に送り込みます。
複数枚の原稿をセットして、1枚ずつ搬送して読み取ることができます。
fi-6770/fi-6770A は、原稿の両面を同時に読み取ることができます。

スタッカーエクステンション

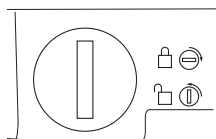
原稿の長さに合わせて引き出して使用します。

ストッパー

原稿の長さに合わせて立てて使用します。

スタッカー

ADF で読み取られた原稿はここに積み重なります。
高・低の2つの位置に高さを設定できます。
取り外すことができます。



輸送ロック

輸送時にこのロックでフラットベッド内のキャリアユニットを固定します。
コインなどを使用してロックを解除します。
溝を縦にするとロックが解除されます。
溝を横にするとロックされます。

フラットベッド

原稿を1枚ずつガラス面に固定して読み取ります。
本のような厚みのある原稿も読み取ることができます。

ADF ボタン

押すと、ロックが解除され ADF が開きます。

ADF 給紙シュート

ADF で原稿を読み取る場合に、表面を下にして原稿をセットします。
取り外すことができます。

シュートエクステンション

長い原稿を読み取る場合に引き出して使用します。

シュートローラカバー

シュートローラに、指がはさみこまれないように防止するカバーです。

操作パネル

スキャナを操作したり、状態を確認したりすることができます。
ファンクションナンバー、ボタン、LED から構成されています。

サイドガイド

原稿が傾いて搬送されないように原稿の幅を規制します。

サイドガイドボタン

押ししている間、ロックが解除され、サイドガイドの位置を調整できます。
手を離れた位置でサイドガイドが固定されます。

ロックねじ保管位置

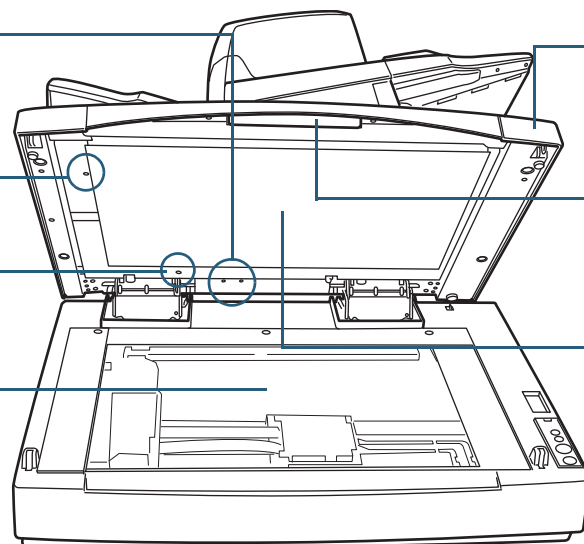
ADF 固定解除後、抜き取った ADF 輸送ロックねじを保管します。

ADF 輸送ロックねじ

ADF を固定します。

原稿台

フラットベッド読み取りの場合、読み取る面を下にしてガラス面に原稿をセットします。



ドキュメントカバー

閉めると、読み取り位置にセットした原稿が固定されます。

ハンドル

ドキュメントカバーの開閉に使用します。

原稿押さえパッド

原稿を原稿台に押し付けて固定します。



原稿押さえパッド部分が黒色のドキュメントカバーをオプション（別売り）として用意しております。フラットベッドを使用して、黒背景で読み取りを行いたい場合にご利用ください。

このオプションを使用すると、フラットベッドで読み取った原稿の傾きを自動補正したり、原稿サイズを認識して同じサイズで出力したりすることができます。

品名：黒色原稿押さえパッド

型名：FI-575BK

仕様：PA03338-D960

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

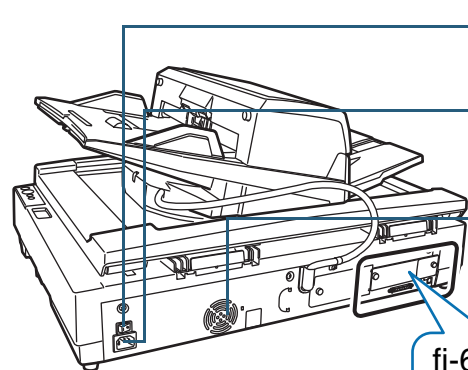
消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集



メイン電源スイッチ（共通）

電源の投入 / 切断に使用します。

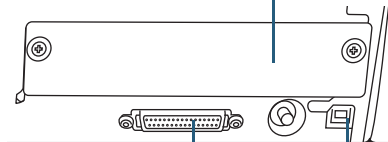
電源コネクター（共通）

電源ケーブルを接続します。

通気口（共通）

スキャナ内部の熱を外部に逃がすための開口部です。

fi-6770



CGA ボードスロット（fi-6770 のみ）

CGA ボードを接続します。

CGA ボードの詳細については、「付 .4 スキャナのオプション」(P.187) を参照してください。

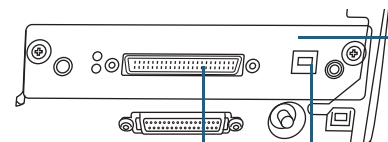
SCSI ID スイッチ（fi-6770/fi-6770A のみ）

SCSI ID の設定に使用します（工場出荷時の設定は ID=5）。

SCSI コネクター 1（fi-6770/fi-6770A のみ）

SCSI ケーブルを接続します。

fi-6770A



CGA ボード（fi-6770A のみ）

CGA ボードの詳細については、「付 .4 スキャナのオプション」(P.187) を参照してください。

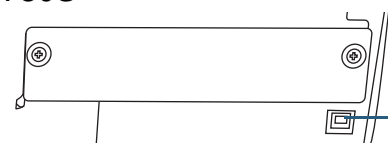
USB コネクター 2（fi-6770A のみ）

USB ケーブルを接続します。

SCSI コネクター 2（fi-6770A のみ）

SCSI ケーブルを接続します。

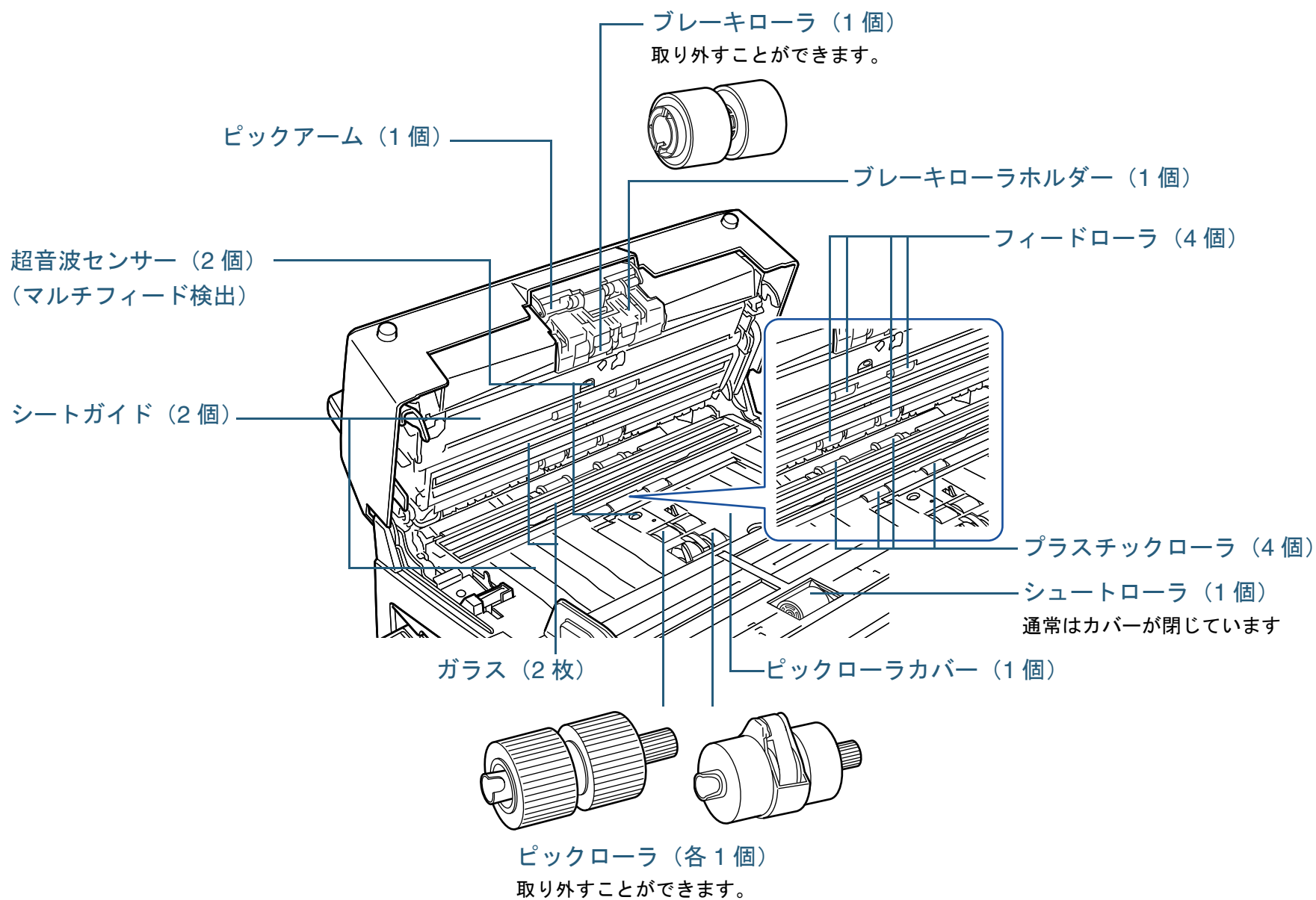
fi-6750S



USB コネクター 1（共通）

USB ケーブルを接続します。

機種共通部分



TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

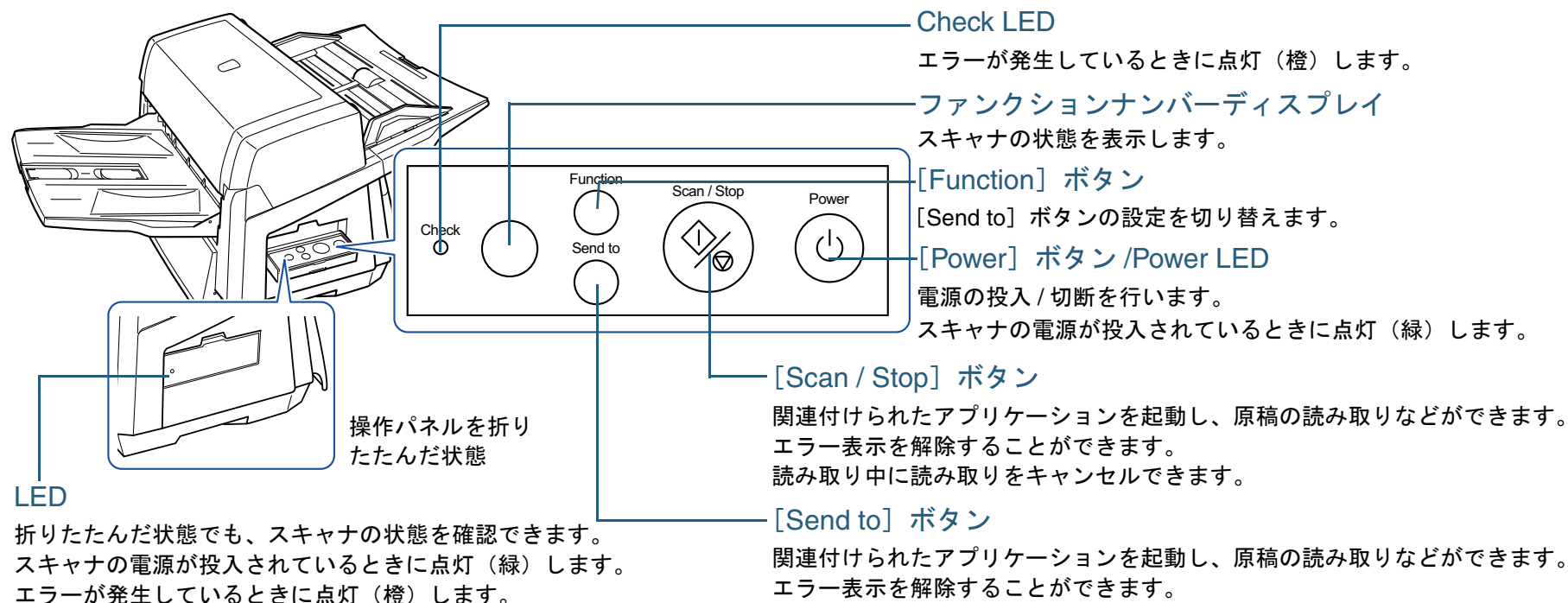
1.3 操作パネルについて

操作パネルは、ファンクションナンバーディスプレイ、ボタン、LED から構成されています。

操作パネル

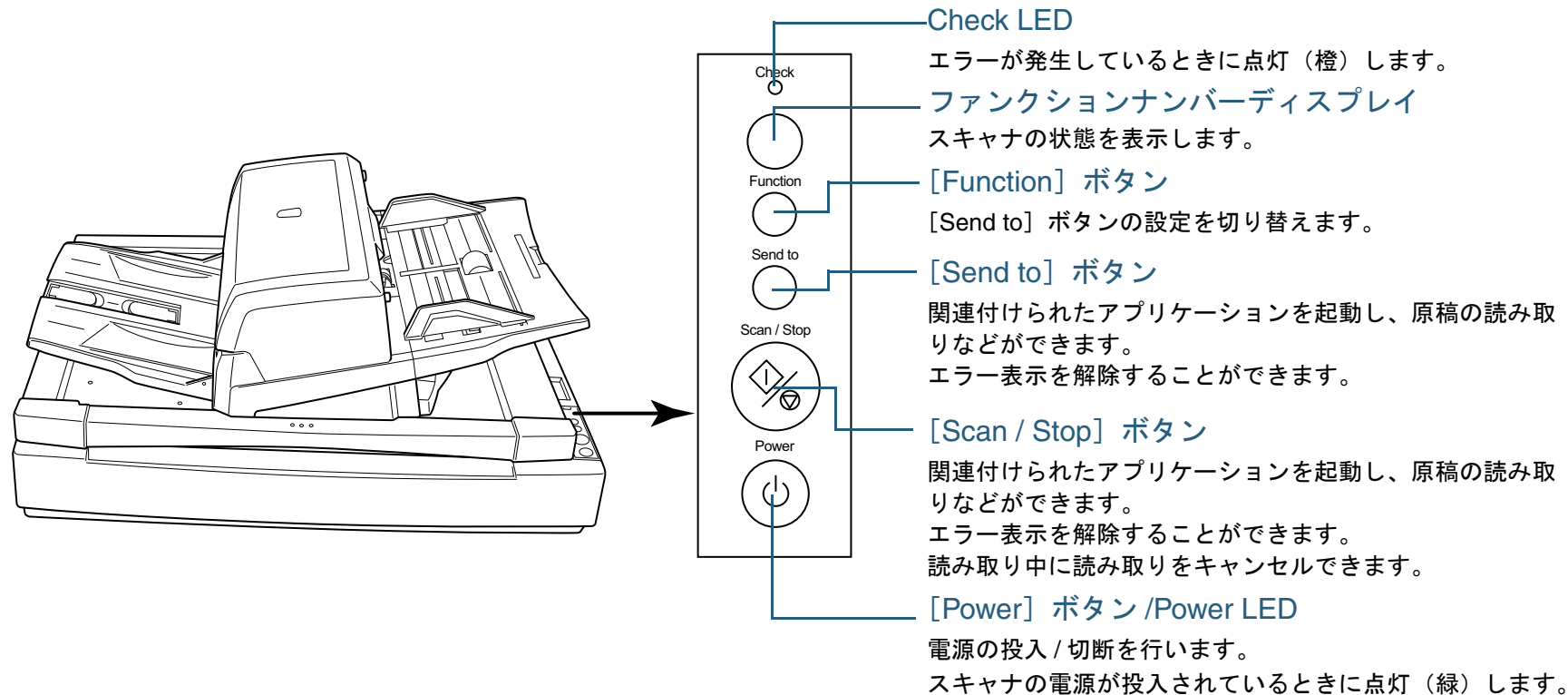
fi-6670/fi-6670A (ADF タイプ)

操作パネルは、スキャナの両側にあり、左右どちらでも操作できます。使用しないときは折りたたんで収納できます。



[Scan / Stop] ボタンおよび [Send to] ボタンで原稿を読み取る場合の設定方法については、Setup DVD-ROM で提供されている TWAIN ドライバのヘルプおよび「[スキャナのボタンで読み取りを開始したいとき](#)」(P.97) を参照してください。

fi-6770/fi-6770A/fi-6750S (フラットベッドタイプ)



[Scan / Stop] ボタンおよび [Send to] ボタンで原稿を読み取る場合の設定方法については、Setup DVD-ROM で提供されている TWAIN ドライバのヘルプおよび「[スキャナのボタンで読み取りを開始したいとき](#)」(P.97) を参照してください。

ファンクションナンバーディスプレイの表示内容

表示内容	説明
8	電源投入直後に表示されます。
P	電源の投入後、初期化処理実行中であることを意味します。
1	原稿を読み取れる状態です。 電源の投入後、初期化処理を実行し、正常に処理が終了したことを意味します。また、この状態を「レディ状態」と言います。
J U	スキャナで原稿を読み取り中に、解除可能なエラーが発生したことを意味します。 「J」または「U」と「エラー番号」を交互に表示します。 エラーの詳細については、「 一時的エラー 」(P.124)を参照してください。 なお、エラー対処後に [Scan / Stop] ボタンまたは [Send to] ボタンを押すと、レディ状態 (「1」) に戻ります。
E F C H A L	スキャナが初期化処理中または原稿の読み取り中に、装置異常 (アラーム) が発生したことを意味します。 「E」「F」「C」「H」「A」「L」のうちの1つと「アラーム番号」を交互に表示します。 エラーの詳細については、「 装置異常 」(P.125)を参照してください。 このアラームが発生した場合は、メイン電源スイッチで電源を切断し、再投入してください。電源を再投入したあとも引き続きアラームが発生する場合は、サポートエンジニア、本製品を購入された弊社 / 販売店、または「 株式会社PFU イメージング サービス & サポートセンター 」(P.192)にお問い合わせください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

1.4 電源の投入 / 切断について

電源の投入 / 切断について説明します。

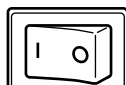
電源の投入

電源を投入する手順を次に示します。

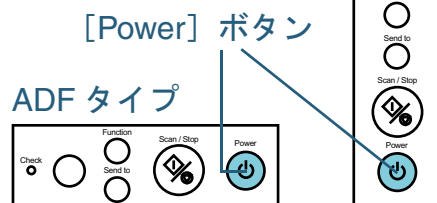


SCSI 接続の場合は、スキャナの電源を投入して、ファンクションナンバーディスプレイに「1」が表示されていることを確認してから、パソコンの電源を入れてください。

- 1 メイン電源スイッチを「|」側に押しします。



- 2 操作パネルの [Power] ボタンを押します。
フラットベッドタイプ



⇒ 電源が投入され、Power LED ランプが緑色に点灯します。

なお、初期化処理実行中は操作パネルのファンクションナンバーディスプレイの表示が「8」→「P」→「1」の順に変化します。ファンクションナンバーディスプレイに「1」が表示されると、レディ状態となります。



操作パネルの [Power] ボタンでの電源 ON/OFF を無効にしている場合は、メイン電源スイッチで電源が投入されます。詳細については、「[8.7 電源投入 / 切断方法に関する設定](#)」(P.178) を参照してください。

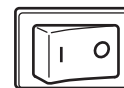
電源の切断

電源を切断する手順を次に示します。

- 1 操作パネルの [Power] ボタンを2秒間以上押しします。
⇒ 電源が切断され、Power LED ランプが消灯します。



- 長時間使用しない場合は、メイン電源スイッチを「O」側に押し、電源を切断し、電源プラグをコンセントから抜いてください。



- 操作パネルの [Power] ボタンでの電源 ON/OFF を無効にしている場合は、メイン電源スイッチで電源を切断します。詳細については、「[8.7 電源投入 / 切断方法に関する設定](#)」(P.178) を参照してください。

1.5 省電力モードについて

省電力モードとは、電源が投入されたスキャナが一定時間操作されない場合に、消費電力を低い状態に保つことです。スキャナの電源を投入したままで15分以上何も操作しないと、自動的に省電力モードに切り替わります。

省電力モードに切り替わると、操作パネルのファンクションナンバーディスプレイの表示が消えます。Power LED ランプは緑色に点灯したままです。

省電力モードからの復帰方法

省電力モードから復帰するためには、次のいずれかの操作を行います。

- ADF 給紙シュートに原稿をセットする。
- 操作パネルのボタンを押す。
ただし、[Power] ボタンは2秒以上押さないでください。
電源が切断されます。
- スキャナドライバからコマンドを実行する。



省電力モードに切り替わるまでの時間は、Software Operation Panel で変更することができます。
詳細については、「[省電力モードの待機時間の設定（省電力設定）](#)」（P.177）を参照してください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

1.6 読み取り操作の流れ

スキャナを使って原稿を読み取る操作の流れについて説明します。

スキャナで原稿を読み取るためには、スキャナドライバと、そのドライバに対応したアプリケーションが必要です。本製品には、TWAIN 規格に準拠した「TWAIN ドライバ」、ISIS 規格に準拠した「ISIS ドライバ」の2種類のドライバ、「Kofax VRS」に対応したアプリケーション「ScandAll PRO」が添付されています。



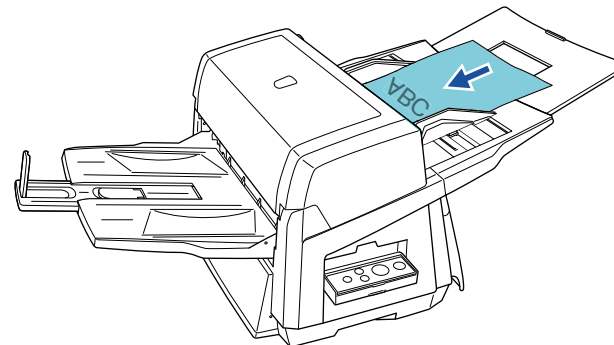
- スキャナドライバの詳細については、次を参照してください。
 - 「第3章 読み取り条件の設定」(P.51)
 - TWAIN ドライバのヘルプ
 - ISIS ドライバのヘルプ
- Kofax VRSの詳細については、次を参照してください。
 - Kofax VRS のヘルプ
- ドライバに対応したアプリケーション (ScandAll PRO) の詳細については、次を参照してください。
 - ScandAll PRO V2.0 ユーザーズガイド
 - ScandAll PRO のヘルプ

- スキャナの電源を投入します。
電源の投入方法については、「1.4 電源の投入 / 切断について」(P.31) を参照してください。



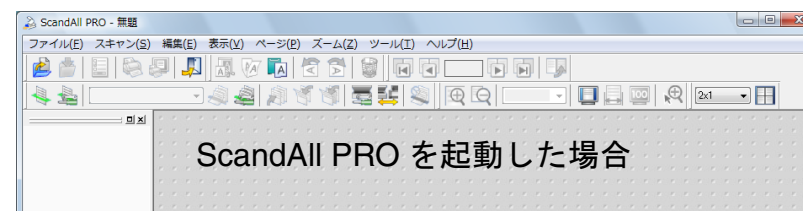
- SCSI 接続の場合は、スキャナの電源を投入して、ファンクションナンバーディスプレイに「1」が表示されていることを確認してから、パソコンの電源を入れてください。
- 接続しているコネクタを切り替える場合は、スキャナとパソコンの電源を切断してから切り替えてください。

- スキャナに原稿をセットします。



原稿をセットする方法については、「第2章 原稿のセット方法」(P.38) を参照してください。

- 読み取りに使用するアプリケーションを起動します。
ここでは、例として ScandAll PRO を使用して説明します。



ScandAll PRO の起動方法については、ScandAll PRO V2.0 ユーザーズガイドを参照してください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

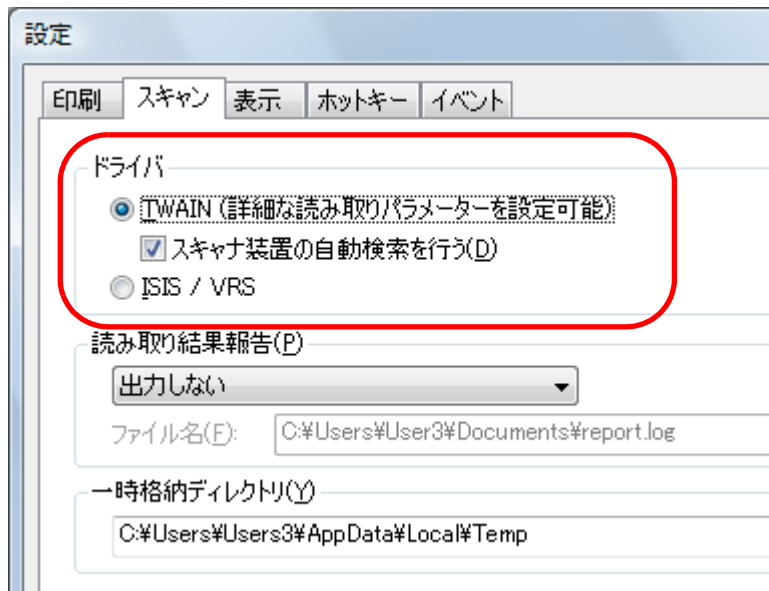
困ったときには

スキャナの動作設定

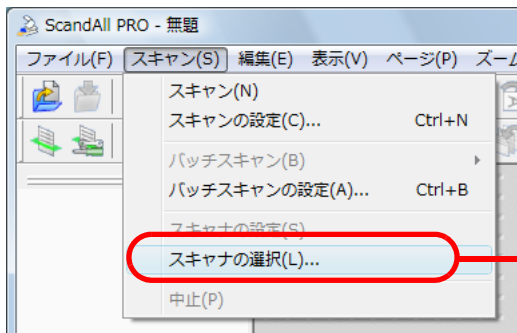
付録

用語集

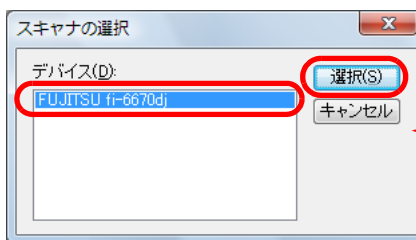
4 読み取りに使用するスキャナドライバを指定します。



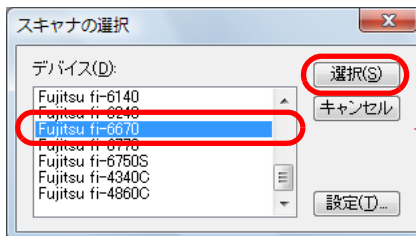
5 読み取りに使用するスキャナを指定します。



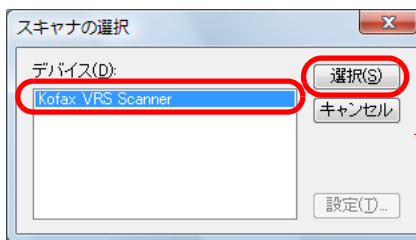
TWAIN ドライバの場合



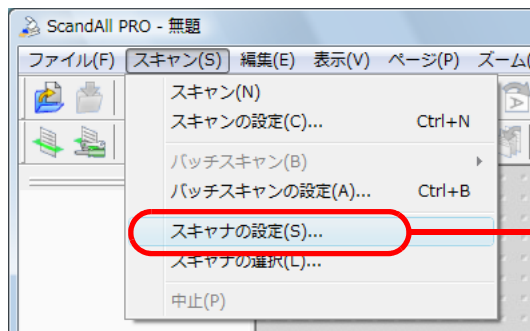
ISIS ドライバの場合



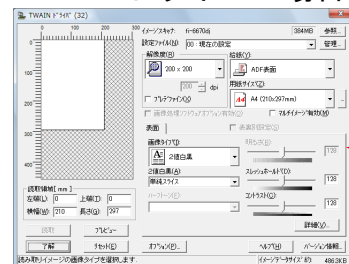
Kofax VRS の場合



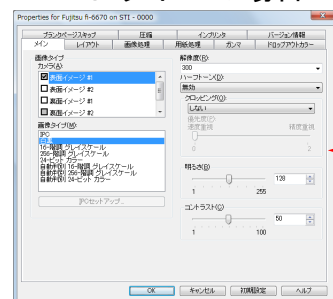
6 アプリケーションから、スキャナドライバを呼び出します。



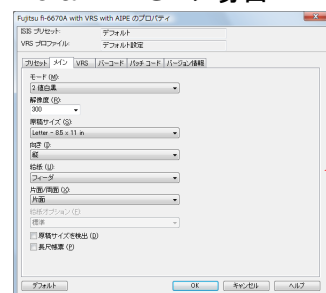
TWAIN ドライバの場合



ISIS ドライバの場合

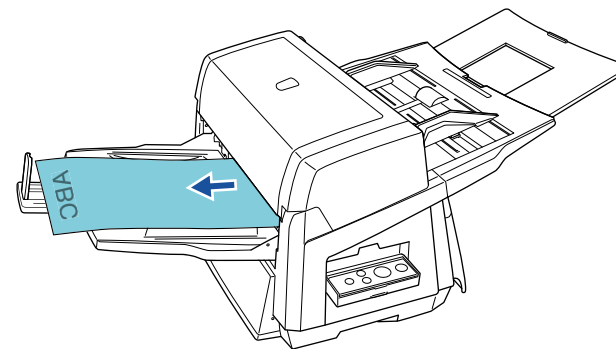


Kofax VRS の場合



7 スキャナドライバの設定画面で、スキャナの読み取り条件を設定します。

8 読み取りを実行します。



ScandAll PRO を使用した読み取り方法については、ScandAll PRO V2.0 ユーザーズガイドを参照してください。

9 読み取ったイメージをファイルに保存します。



使用するアプリケーションによって、手順や操作が若干異なります。
ScandAll PRO を使った読み取り方法の詳細については、ScandAll PRO V2.0 ユーザーズガイドを参照してください。
他のアプリケーションを使用して読み取る場合は、そのアプリケーションに添付されているマニュアルを参照してください。

1.7 画像読み取り用アプリケーションの紹介

画像読み取り用アプリケーションについて紹介します。本書では、画像読み取り用アプリケーションとして、ScandAll PRO を例に説明しています。

ScandAll PRO は、TWAIN/ISIS 両規格に準拠した画像読み取り用アプリケーションです。スキャナの読み取り処理の設定をプロファイルに定義し、業務内容に応じた読み取り処理を実行できます。

ScandAll PRO がインストールされている場合に、ScandAll PRO の機能を拡張するアプリケーションとして ScandAll PRO ScanSnap mode Add-in をインストールできます。

ScandAll PRO ScanSnap mode Add-in は、ScandAll PRO ScanSnap mode Add-in 専用のドライバ設定で画像を読み取るアプリケーションです。読み取るためには TWAIN ドライバが必要です。ワンプッシュでスキャナから原稿を画像として読み取りできます。



次の場合、ScandAll PRO ScanSnap mode Add-in は使用できません。

- スキャナを fi-5000N に接続した場合
- スキャナを SCSI ケーブルで接続した場合

本書の「[第4章 いろいろな読み取り方](#)」(P.63) では、例として ScandAll PRO から TWAIN ドライバを起動してスキャナでいろいろな原稿を読み取る方法を説明しています。ScandAll PRO の詳細については、ScandAll PRO V2.0 ユーザーズガイドを参照してください。

ScandAll PRO ScanSnap mode Add-in の詳細については、ScandAll PRO ScanSnap mode Add-in V1.0 ユーザーズガイドを参照してください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

1.8 スキャナ集中管理機能の紹介

スキャナ集中管理機能について紹介します。

スキャナ集中管理機能とは、大量のスキャナを一元管理できる機能です。スキャナ集中管理機能を使用すると、次のことができるようになります。

- 複数台のスキャナの設定情報やドライバなどを、一括してアップデートできます。
スキャナごとのアップデートが不要となり、大量のスキャナをアップデートするための作業時間を大幅に短縮できます。
- 消耗品の交換が必要なスキャナ、エラーが発生しているスキャナがないかなどを監視できます。
スキャナから消耗品交換やエラーを通知するため、スキャナの稼働状況を簡単に確認できます。

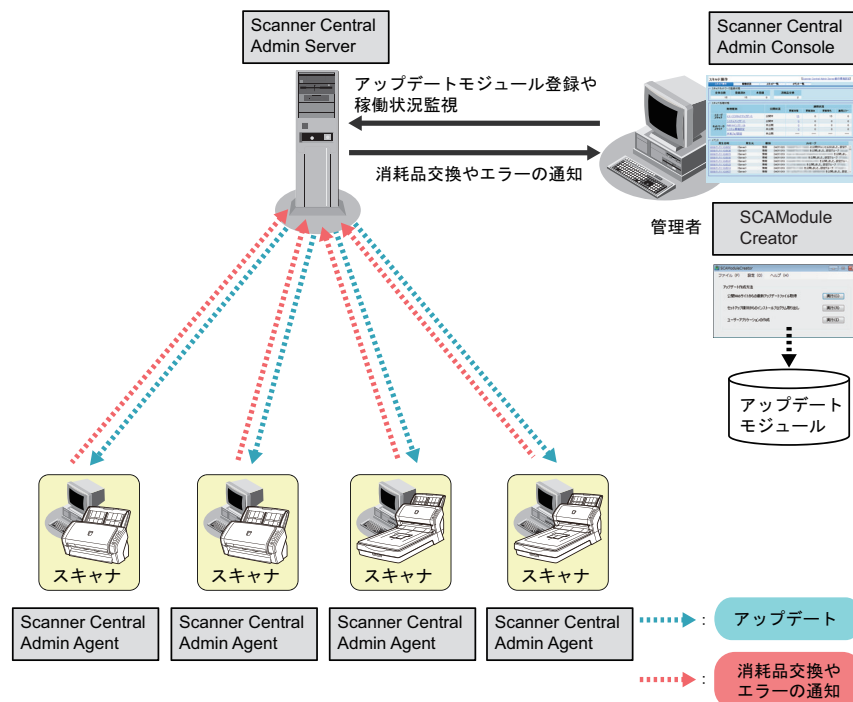
スキャナ集中管理機能を使用するためには、Scanner Central Adminが必要です。

Scanner Central Admin は、本製品に添付されている4つのアプリケーションから構成されています。

- Scanner Central Admin Server
スキャナを集中管理するコンピュータにインストールするアプリケーションです。
スキャナを Scanner Central Admin Server に登録して、一元管理を行う集中管理システムを構築できます。
- Scanner Central Admin Console
アップデートモジュール登録や稼働状況監視を行うコンピュータにインストールするアプリケーションです。
管理者は Scanner Central Admin Console の画面から、アップデートモジュール登録や稼働状況監視を行えます。
また、スキャナから通知された消耗品交換やエラーを、画面上で確認できます。
- Scanner Central Admin Agent
スキャナを接続しているコンピュータにインストールするアプリケーションです。
スキャナが Scanner Central Admin Server と連携するために必要となります。
Scanner Central Admin Server と連携すると、スキャナの設定情報

などのアップデートをスキャナに適用できます。
また、スキャナから消耗品交換やエラーを通知できます。

- SCAModuleCreator
Scanner Central Admin Server に登録するアップデートモジュールを作成するアプリケーションです。
アップデートモジュールを作成する場合にだけ必要となります。



スキャナ集中管理機能の詳細については、Scanner Central Admin 4.0 ユーザーズガイドを参照してください。

第2章 原稿のセット方法

この章では、原稿をスキャナにセットする方法について説明します。

2.1 ADFに原稿をセットする場合	39
2.2 ADFにセットする原稿について	42
2.3 ADFの位置について（フラットベッドタイプのみ）	48
2.4 フラットベッドに原稿をセットする場合（フラットベッドタイプのみ）	50

2.1 ADF に原稿をセットする場合

ADF に原稿をセットする方法について説明します。



- ADF が正しく動作するために必要な原稿のサイズと原稿の紙質の詳細については、「2.2 ADF にセットする原稿について」(P.42) を参照してください。
- ADF の位置を変更する方法については、「2.3 ADF の位置について (フラットベッドタイプのみ)」(P.48) を参照してください。

1 原稿を確認します。

1 セットする原稿の幅がすべて同じであることを確認します。

2 原稿の枚数を確認します。

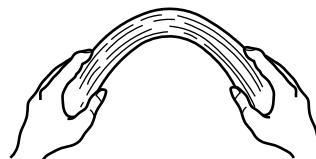
セットする原稿枚数の目安は、次のとおりです。

- A4 サイズ以下の場合、原稿の総厚みが 20mm 以下になる枚数 (80 g/m² 用紙で 200 枚)
- A4 サイズより大きい場合、原稿の総厚みが 10mm 以下になる枚数 (80 g/m² 用紙で 100 枚)

詳細については、「セットできる原稿の枚数」(P.44) を参照してください。

2 原稿をさばきます。

1 両手で原稿の両端を軽くつかみ、原稿を湾曲させます。



2 原稿の両端にできた傾斜が元にもどらないように、両手で原稿を強くつかみ、湾曲を元に戻します。



3 手順 1 ~ 2 の動作を 2 ~ 3 回繰り返します。

4 原稿の向きを 90 度回転し、同じようにさばきます。

5 原稿の端をそろえます。



原稿のさばきかたの詳細については、Error Recovery Guide を参照してください。Error Recovery Guide は、Setup DVD-ROM に収録されています。インストール方法については、スタートアップガイドの「4 ソフトウェアをインストールします」を参照してください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

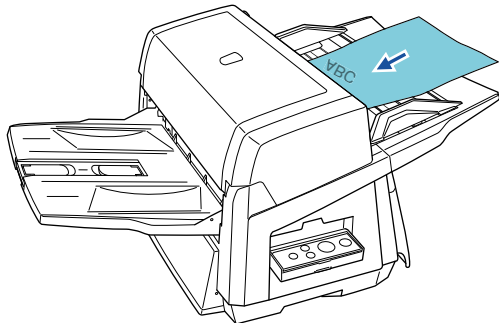
困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

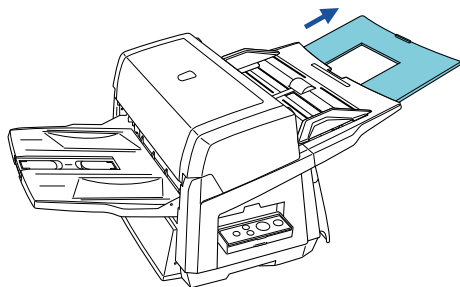
- 3** ADF 給紙シュートに原稿をセットします。
原稿の表面（読み取り面）が ADF 給紙シュート側になるように、原稿をセットします。



タブ付き原稿または非矩形原稿のセット方法については、「[タブ付き原稿または非矩形原稿のセット方法](#)」(P.45)を参照してください。



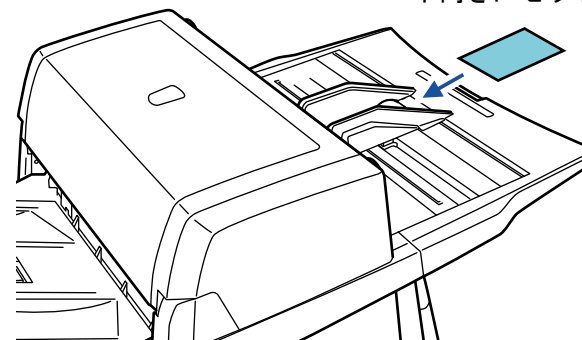
原稿の長さに合わせて ADF 給紙シュートのシュートエクステンションを引き出してから原稿をセットします。



プラスチックカードを読み取る場合は、次のことに注意してください。

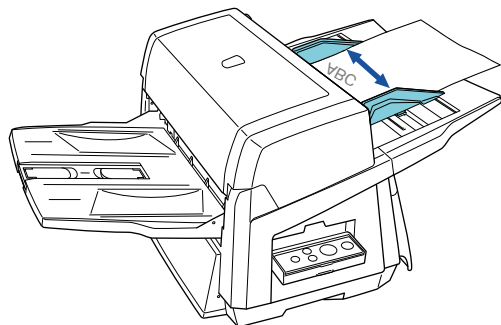
- ADF 給紙シュートに1枚ずつセットしてください。
- 表面が ADF 給紙シュート側（下向き）になるようにセットすることを推奨します。
- 次の図のように縦向き（ポートレート方向）にセットしてください。

下向きにセット



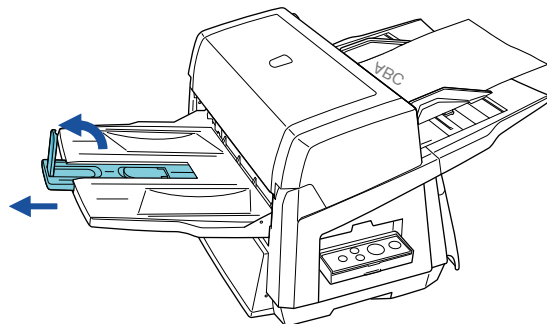
- 次に示す仕様のカードを使用してください。
ISO7810 ID-1 タイプに準拠したカード
サイズ：86（縦）× 54（横）mm
厚さ：0.76 ± 0.08mm
素材：ポリ塩化ビニル（PVC）またはポリ塩化酢酸ビニル（PVCA）
事前に搬送できることをお確かめの上、ご使用ください。
- エンボス加工（凹凸）が施されているカードは、読み取れません。
- 硬くて曲がりにくいカードは、うまく搬送されない場合があります。
- カード表面が油（手の脂）などでよごれている場合は、よごれを拭き取ってから読み取ってください。
- インプリンタを接続した場合は、カードを読み取ることができません。

- 4** 原稿の幅に合わせて、サイドガイドを移動します。
サイドガイドボタンを押しながら、サイドガイドを動かして、サイドガイドと原稿の間に隙間ができないようにします。
サイドガイドと原稿の間に隙間があると、原稿が斜めに読み込まれることがあります。



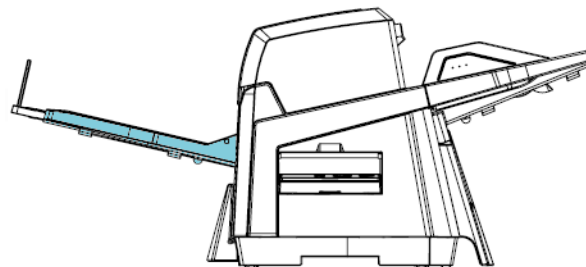
- クリップ、ステープラーの針は取り除いてください。マルチフィードやピックアップが発生する場合は、原稿の分量を減らしてください。
- 小さな原稿を ADF 給紙シュートにセットする場合は、シュートローラカバーに触らないように注意してください。読み取り中にこのカバーを触ると、カバーが開いて指をはさみ込むおそれがあります。

- 5** スタッカーエクステンションを、原稿の長さに合わせて調整し、ストッパーを立てます。

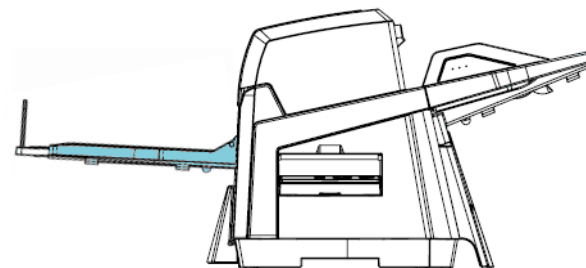


原稿の紙質に合わせて、スタッカーの位置を調整します。通常は、下段位置にセットします。薄い原稿やカール紙を読み取る場合は、上段位置にセットします。

下段位置（普通紙）



上段位置（薄い原稿）



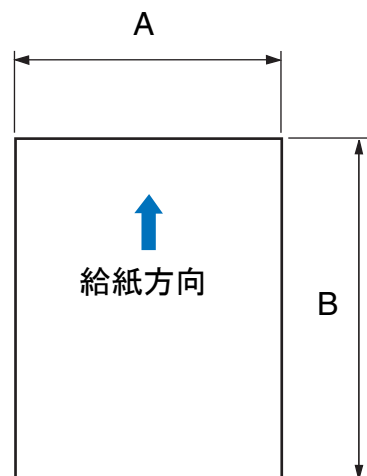
上段位置にセットした場合、ADFにセットできる原稿の枚数が減少します（80g/m²の原稿で100枚程度）。

- 6** スキャナを使うことができるアプリケーションを起動して、原稿を読み取ります。
ScandAll PRO からの読み取り手順については、ScandAll PRO V2.0 ユーザーズガイドを参照してください。

2.2 ADF にセットする原稿について

原稿のサイズ

ADF で読み取り可能な原稿のサイズを次に示します。



A : 53 mm (2.0 インチ) ~ 297 mm (11.7 インチ)

B : 74 mm (2.9 インチ) ~ 431 mm (17 インチ) (*1)

*1 : 長尺帳票読み取り時は、給紙方向 (長さ方向) 最大3メートルまで読み取り可能です。

原稿の紙質

原稿の種類

推奨される原稿の種類は次のとおりです。

- 上質紙
- 中質紙

上記以外の種類の原稿を使用する場合には、読み取り操作を実行する前に、読み取りできるかどうかを同質の原稿で確認してください。

原稿の紙厚

使用可能な原稿の厚さは次のとおりです。

- A4/ レターサイズ以下 : 31 g/m² ~ 209 g/m²
- A4/ レターサイズより大きいサイズ : 52 g/m² ~ 209 g/m²
- A8 サイズ : 127 g/m² ~ 209 g/m²

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

事前の注意

次の原稿はうまく読み取れない場合があります。

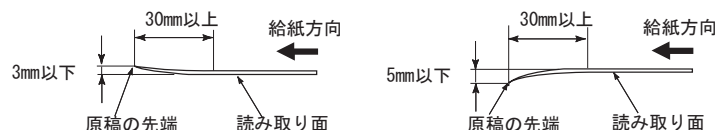
- 紙厚が一定していない原稿（封筒、写真を貼り付けた原稿など）
- しわが寄っているまたはカールしている原稿
- 折れたり、裂けたりしている原稿
- トレーシングペーパー
- コート紙
- カーボン紙
- 感光紙
- 端にミシン目のある原稿
- 四角形でない原稿
- 非常に薄い原稿
- 写真（印画紙）

また、次の原稿は使用しないでください。

- クリップまたはステープラーの針が付いた原稿
- インクが乾いていない原稿
- A8サイズよりも小さい原稿
- 幅がA3サイズ（297mm）よりも大きい原稿
- 紙以外のもの：布、金属箔、OHPフィルム
- 証書や金券など、媒体が傷ついたりよごれたりしてはならない重要書類



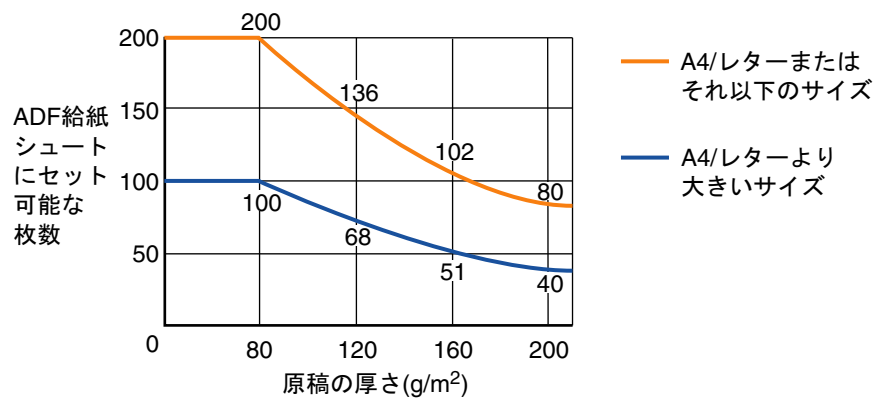
- 半透明の原稿を読み取る時は、裏写りを防止するために「明るさ」を明るめに設定してください。
- ローラがよごれないように、鉛筆で塗りつぶした原稿の読み取りは避けてください。やむをえずこのような原稿を読み取る場合は、頻繁に清掃してください。
- ADFを使う場合、すべての原稿は先端が平らでなければなりません。原稿先端のカールは次の数値を満たすようにしてください。



- ノーカーボン紙は、ブレイキローラや原稿を送るローラ類（ピックローラなど）を損なうような化学物質を含んでいますので、次のことに注意してください。
 清掃：原稿づまりが頻繁に起きるときは、ブレイキローラとピックローラを清掃してください。ブレイキローラとピックローラの清掃方法については、「第5章 日常のお手入れ」（P.105）を参照してください。
 部品の交換：ブレイキローラとピックローラの寿命は、中質紙の原稿を読み取る場合に比べて短くなる場合があります。
- 中質紙の原稿を読み取った場合、ブレイキローラとピックローラの寿命は、上質紙の原稿を読み取った場合に比べて短くなる場合があります。
- 原稿に貼り付けられた写真やメモ用紙が、原稿を読み取る際にブレイキローラとピックローラに接触すると、ブレイキローラとピックローラが傷つく可能性があります。
- 写真などの光沢紙を読み取った場合、原稿の表面に傷がつく場合があります。

セットできる原稿の枚数

ADF 給紙シュートにセットできる原稿の枚数は原稿のサイズと厚さで決まります。次のグラフを参照してください。



厚さの単位	変換表										
g/m ² (坪量)	31	40	52	64	75	80	90	104	127	203	209
lb	8.3	11	14	17	20	21	24	28	34	54	56.1
kg (連量)	26.7	35	45	55	64.5	69	77.5	90	110	174	180

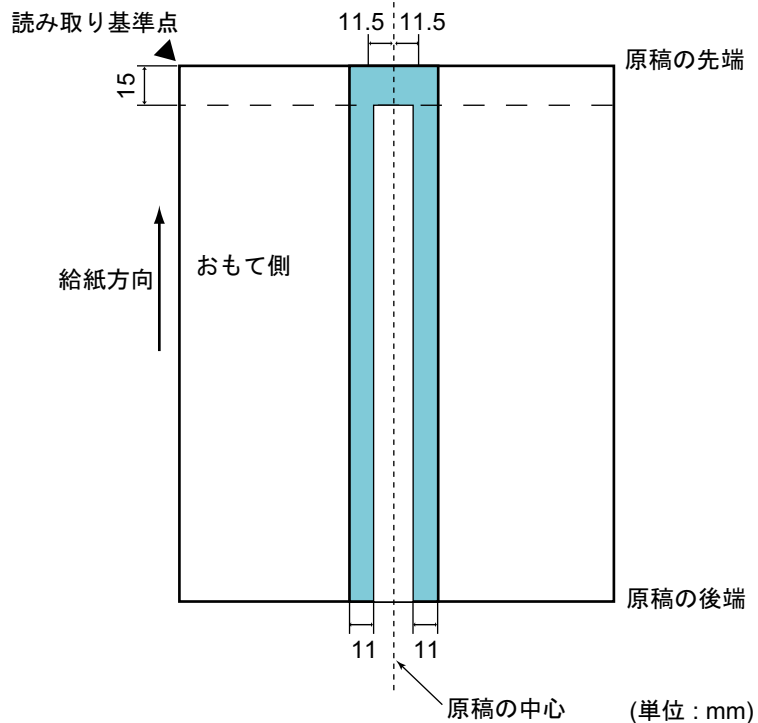


- A4/レターサイズより大きいサイズが使用可能な原稿の厚さは、52 g/m² ~ 209 g/m² です。
- A8サイズが使用可能な原稿の厚さは、127 g/m² ~ 209 g/m² です。

穴をあけてはいけない領域

ADFを使用する場合、次の図にある水色の領域に穴があるとエラーの原因になることがあります。

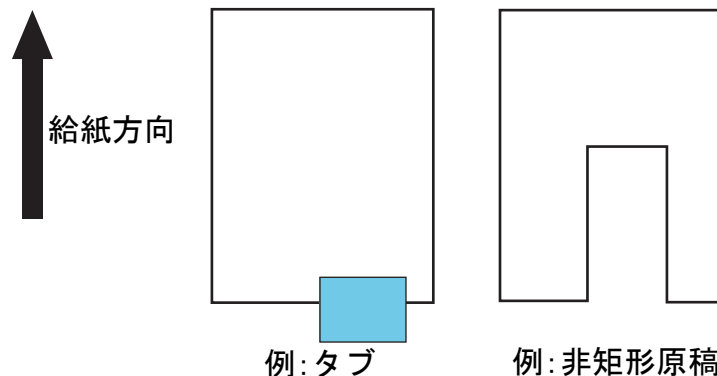
フラットベッドタイプをお使いの場合は、フラットベッドを使って読み取ってください。



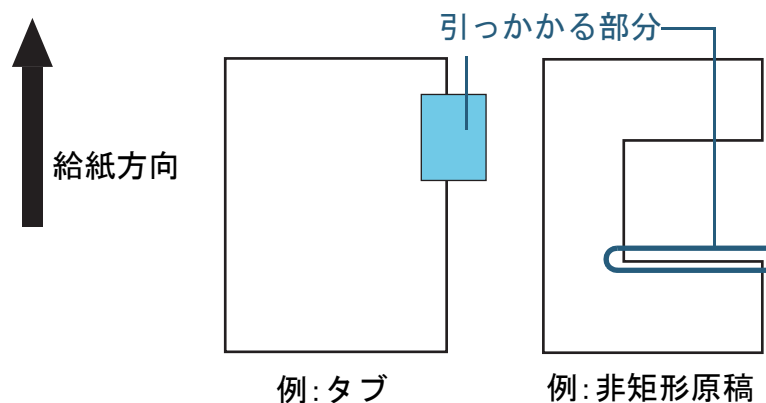
タブ付き原稿または非矩形原稿のセット方法

タブ付き原稿または非矩形原稿を読み取る場合は、搬送中に原稿が引っかからない方向にセットしてください。

良い例



悪い例



- 原稿を悪い例のようにセットして読み取ると、搬送中に原稿が引っかかり、傾いて読み取られたり、原稿づまりが発生して原稿が破損したりするおそれがあります。
- タブおよび非矩形部分がフィードローラ上を通過しない原稿は、搬送路内にタブおよび非矩形部分が残り画像が間延びする場合があります。

マルチフィードを正しく検出するための条件

マルチフィードとは、一度に2枚以上の原稿が重なってADF給紙シュートに送り込まれてしまう現象のことです。

マルチフィード検出は原稿の重なり、原稿の長さ、またはこれらを組み合わせてチェックします。検出を正しく行うには、次に示す条件が必要です。

原稿の重なりを検出する場合

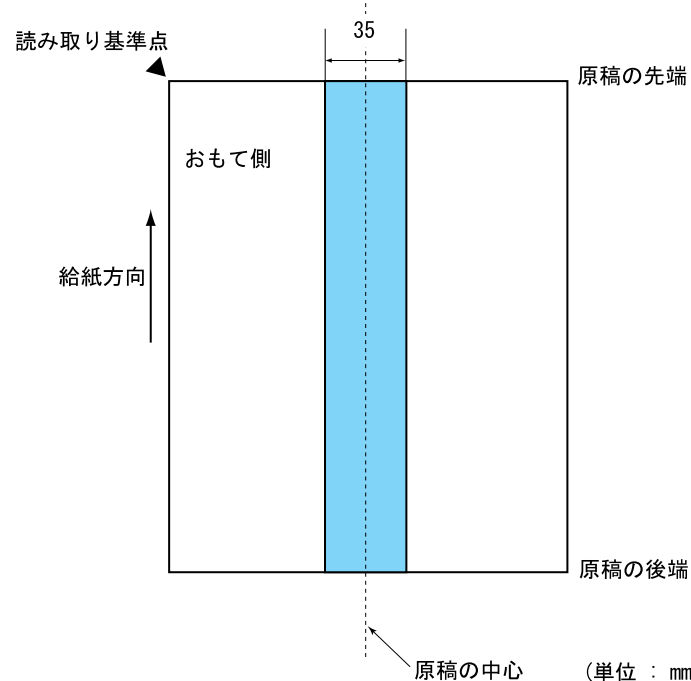
- ADFにセットして一度に読み取る原稿の厚さは同じものを使用してください。
- 原稿の厚さ：31g/m²～209g/m²（0.04 mm～0.26 mm）
- 原稿の中心線をはさむ35 mmの領域に、穴をあけないでください。
- 原稿の中心線をはさむ35 mmの領域に、のりなどで他の原稿を貼り付けしないでください。

原稿の長さを検出する場合

- ADFにセットして一度に読み取る原稿の長さは同じものを使用してください。
- 原稿の長さのばらつき：1%またはそれ以下
- 原稿の中心線をはさむ35 mmの領域に、穴をあけないでください。

原稿の重なりと長さの両方を検出する場合

- ADFにセットして一度に読み取る原稿の厚さおよび長さは同じものを使用してください。
- 原稿の厚さ：31g/m²～209g/m²（0.04 mm～0.26 mm）
- 原稿の長さのばらつき：1%またはそれ以下
- 原稿の中心線をはさむ35 mmの領域に、穴をあけないでください。
- 原稿の中心線をはさむ35 mmの領域に、のりなどで他の原稿を貼り付けしないでください。



原稿の重なりを検出する場合、プラスチックカードのような厚い媒体を使用すると、常にマルチフィードと誤検出されてしまいます。このような場合は、マルチフィード検出の設定を「無効」にして読み取ってください。



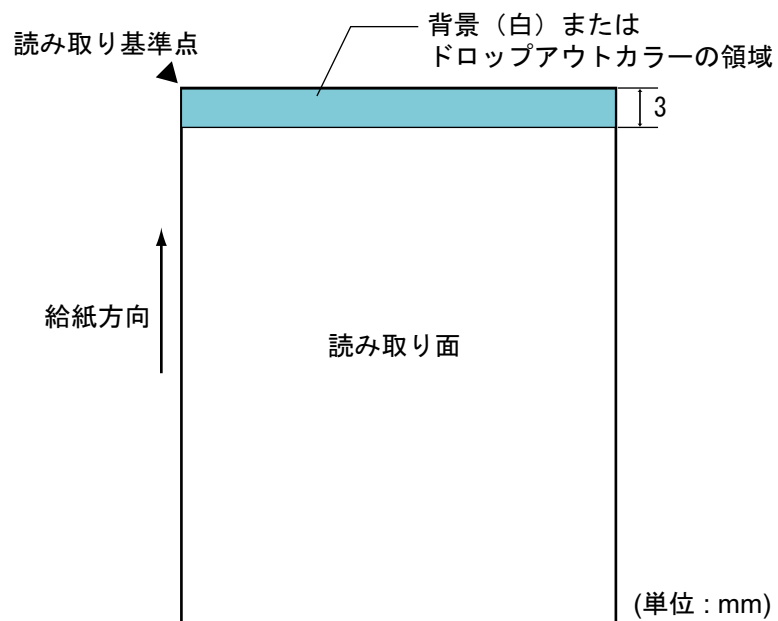
原稿によっては、マルチフィードの検出率が低下する場合があります。原稿の先端から約30 mmは、マルチフィードを検出することができません。

背景色の領域の制限

下図のように読み取り領域の上端 3mm は、白地（原稿の地色）とします。

「下地追従」を「有効」にした場合、次の領域（水色の領域）は原稿の地色またはドロップアウトカラーでなければなりません。

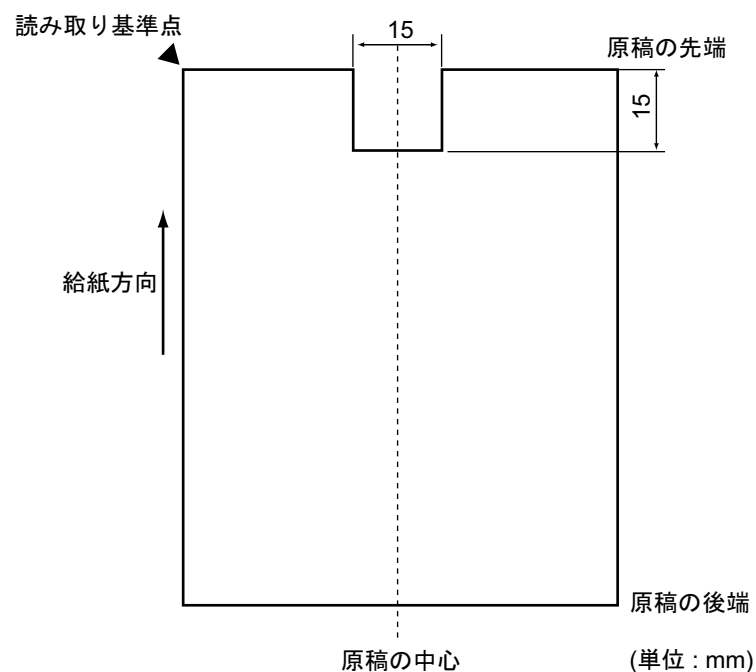
この領域に文字、枠、または割り印などがある原稿は、読み取り時に「下地追従」を「無効」にしてください。



「下地追従」の詳細については、TWAIN ドライバのヘルプを参照してください。

ジョブ区切りシート

代表的なジョブ区切りシートの形状を次に示します。



原稿の幅は、A4 縦の幅（210mm）以上にしてください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

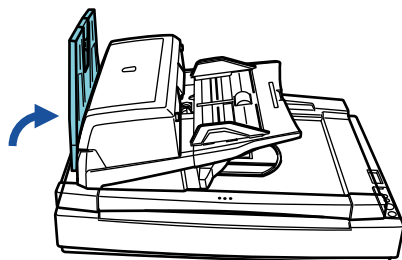
付録

用語集

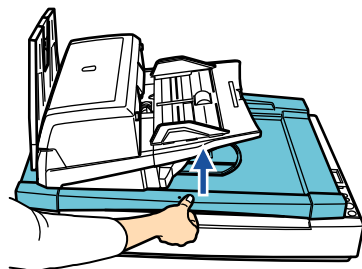
2.3 ADF の位置について（フラットベッドタイプのみ）

ADF の位置を変更する方法について説明します。

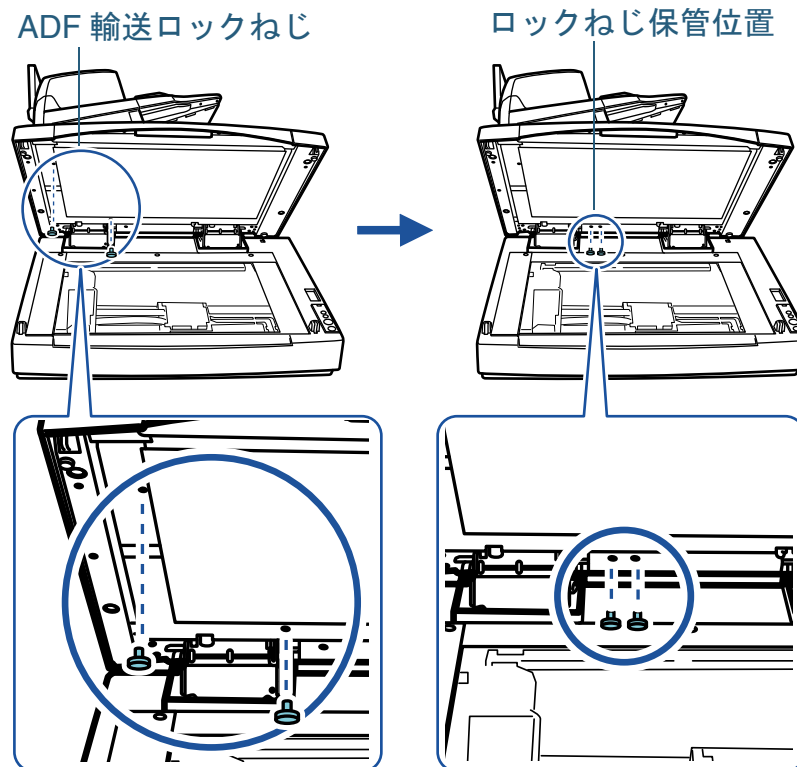
1 スタッカーを立てます。



2 ハンドルをつかんでドキュメントカバーを開きます。



3 ADF 輸送ロックねじを取り外し、ロックねじ保管位置に取り付けます。



ADF の位置を変更する前に、ADF 輸送ロックねじが、ロックねじ保管位置に取り付けられていることを確認してください。

4 ドキュメントカバーをゆっくりと閉じます。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

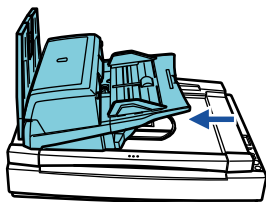
付録

用語集

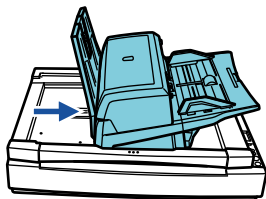
- 5** ADFの位置を変更します。
「カチン」という音になるまで、ADFを移動してください。ADFが設定位置に確実にロックされていることを確認してください。

ADFの変更できる位置は、次のとおりです。

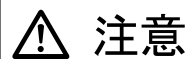
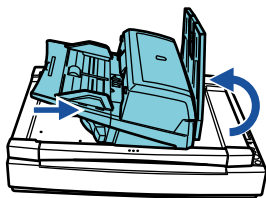
- トラディショナル（工場出荷時のスタイル）



- スタンダード（省設置スペース、右利きの利用者用）
ADFをスキャナ中央にスライドします。



- 逆方向（省設置スペース、左利きの利用者用）
ADFをスキャナ中央にスライドし、反時計回りに180度回転します。



注意

- ADFを動かすときに、指をはさまないように注意してください。
- ADFは180度を超えて回転させないでください。ADFが破損する場合があります。

- 6** スタッカーをおろします。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

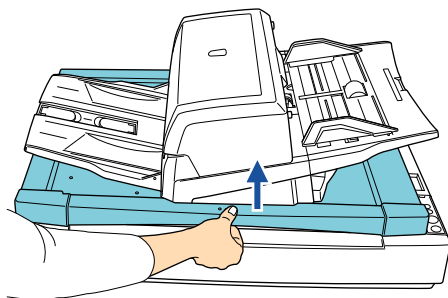
用語集

2.4 フラットベッドに原稿をセットする場合（フラットベッドタイプのみ）

フラットベッドに原稿をセットする方法について説明します。

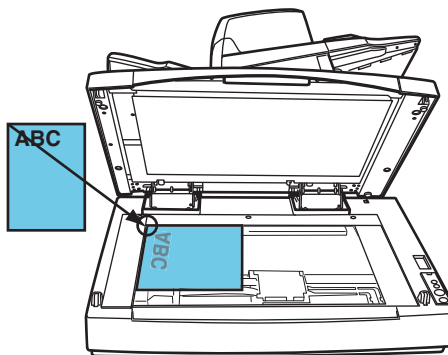
フラットベッド部では、本などの厚い原稿や、変則的な形状の原稿を簡単に読み取ることができます。

- 1 ハンドルをつかんでドキュメントカバーを開きます。



ADF 給紙シュートおよびスタッカー上に原稿が残っていないことを確認してください。

- 2 原稿台に原稿の読み取りたい面を下にしてセットし、原稿の左端を基準点に合わせます。



- 3 ドキュメントカバーをゆっくりと閉じます。

- 4 スキャナを使うことができるアプリケーションを起動して、原稿を読み取ります。
ScandAll PRO からの読み取り手順については、ScandAll PRO V2.0 ユーザーズガイドを参照してください。



原稿押さえパッド部分が黒色のドキュメントカバーをオプション（別売り）として用意しております。フラットベッドを使用して、黒背景で読み取りを行いたい場合にご利用ください。

このオプションを使用すると、フラットベッドで読み取った原稿の傾きを自動補正したり、原稿サイズを認識して同じサイズで出力したりすることができます。

品名：黒色原稿押さえパッド
 型名：FI-575BK（黒色原稿押さえパッド）
 仕様：PA03338-D960

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

第3章 読み取り条件の設定

この章では、スキャナドライバの設定項目について説明します。

この章では、Windows Vista の画面を例に説明しています。お使いの OS によって表示される画面および操作が異なります。また、TWAIN ドライバ、ISIS ドライバをアップデートすると、この章で記載している画面および操作が異なることがあります。その場合は、アップデート時に提供されるマニュアルを参照してください。

3.1 TWAIN ドライバの場合	52
3.2 ISIS ドライバの場合	56

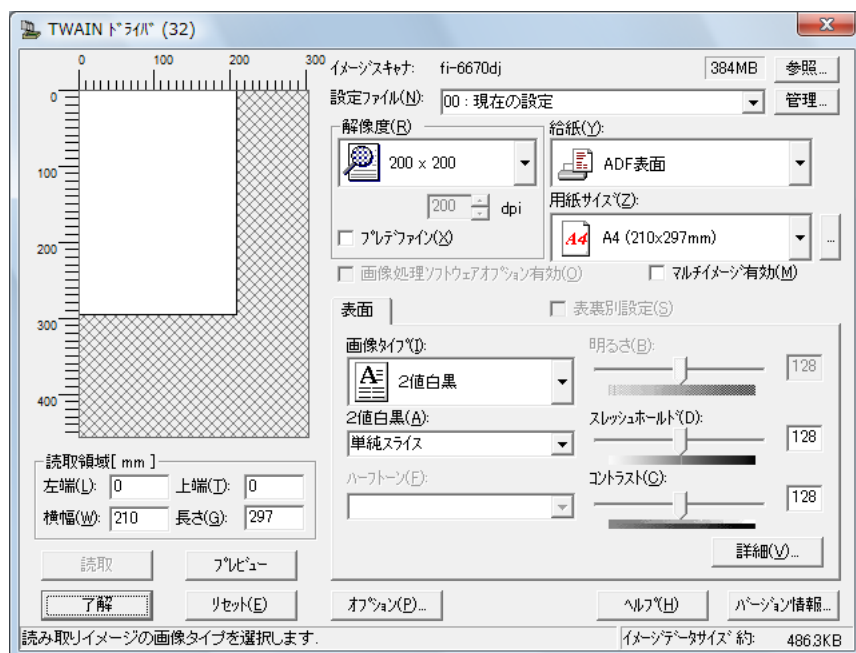
3.1 TWAIN ドライバの場合

TWAIN ドライバは、TWAIN 規格に準拠したドライバソフトウェアです。TWAIN 規格に対応したアプリケーションを用いて、スキャナから読み取りを行うことができます。通常、スキャナの読み取りに関する設定は、アプリケーションからスキャナドライバを呼び出して、スキャナドライバの設定画面から行います（アプリケーションの設定によっては、この設定画面を表示しない場合もあります）。



スキャナドライバの呼び出し方は、アプリケーションによって異なります。詳しくは、ご使用のアプリケーションのマニュアルまたはヘルプを参照してください。

TWAIN ドライバの設定は、この画面で行います。次に、代表的な設定項目について説明します。詳細については、TWAIN ドライバのヘルプを参照してください。



解像度

原稿を読み取る際の解像度を指定します。
定型（リストから選択）およびカスタム指定（50dpi ~ 600dpi の範囲で、1dpi 刻みで任意の解像度を指定）ができます。

また、「プレデファイン」をチェックすると、あらかじめ設定された、「ノーマル」、「ファイン」、「スーパーファイン」の3つの解像度設定によって、簡単に読み取りを行うことができます。

プレデファインの設定は、[...] ボタンでお好みの設定に変更することもできます。

給紙

原稿の読み取り面を設定します。
設定できる読み取り面は、次のとおりです。

- ADF 表面
- ADF 両面（fi-6670/fi-6670A/fi-6770/fi-6770A のみ）
- ADF 両面（仮想）（fi-6750S のみ）
- 長尺帳票表面
- 長尺帳票両面（fi-6670/fi-6670A/fi-6770/fi-6770A のみ）
- フラットベッド（フラットベッドタイプのみ）
- ADF 裏面（fi-6670/fi-6670A/fi-6770/fi-6770A のみ）

用紙サイズ

読み取る原稿のサイズを、表示されるリストの中から指定します。

[...] ボタンで、任意の原稿サイズを、最大3つまでカスタム設定として登録することができます。

また、表示されるリスト内の項目の並び順を変更することもできます。

画像タイプ

読み取った画像を出力するイメージのタイプを指定します。

項目	説明
2値白黒	白と黒の2階調で読み取ります。
ハーフトーン	白と黒の2階調で中間調処理を行って読み取ります。
グレースケール	読み取った画像を白黒の明暗で階調表示します。256階調および4ビット（16階調）のどちらかを選びます。
選択的強調	線画と写真画像をハーフトーンで読み取り、線画部分のみ強調処理を行います。文字と写真が混在した文書の文字だけを強調したい場合に指定します。
カラー	カラーで読み取ります。24ビット、256色、8色のいずれかから選びます。

[読取] ボタン

現在の設定で、読み取りを開始します。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

[プレビュー] ボタン

読み取り結果を事前に確認することができます。
現在の設定で試し読みを行い、プレビューウィンドウに表示
します。

[閉じる] / [了解] ボタン

現在の設定を保存して、画面を閉じます。

[リセット] ボタン

変更した設定項目を元に戻します。

[ヘルプ] ボタン

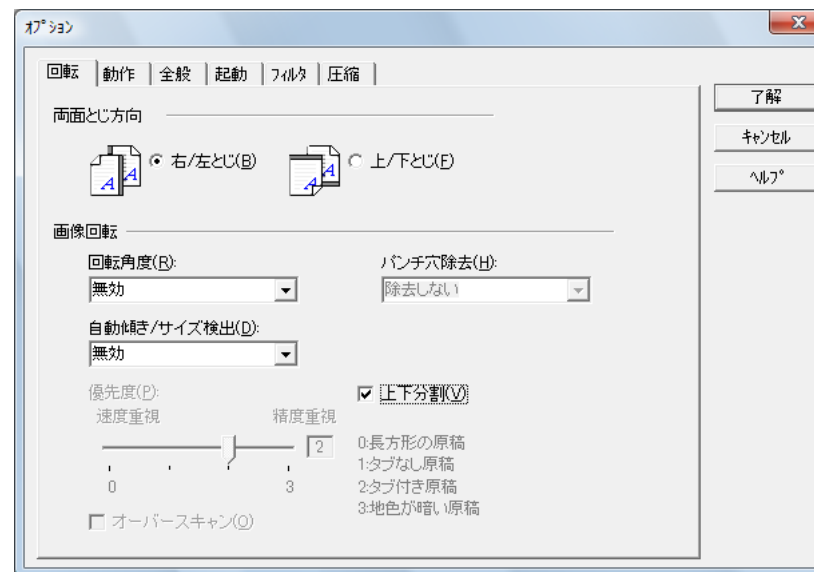
TWAIN ドライバのヘルプを表示します。「F1」キーでも表示
することができます。

[バージョン情報] ボタン

TWAIN ドライバのバージョン情報を表示します。

[オプション] ボタン

次の画面で、オプション機能を設定します。



- 「回転」タブ
両面原稿のとじ方向、画像の回転、原稿の傾き補正、原稿サイズ検
出、後端検出、オーバースキャン、パンチ穴除去、および上下分割
などを設定します。
- 「動作」タブ
キャッシュ、マルチフィード検出、プレピック制御、およびブラン
クページスキップなどを設定します。
- 「インプリンタ（エンドーサ）指定」タブ
インプリンタオプション（別売り）の印字設定を行います。
インプリンタオプションが装備されていない場合は、表示されませ
ん。
- 「全般」タブ
TWAIN ドライバ（32）画面に表示される単位を設定します。
ミリ（mm）、インチ（inch）、またはピクセル（pixel）の中から選択
します。
- 「起動」タブ
スキャナ上の操作パネルに関する設定を行います。

- 「フィルタ」タブ

画像処理フィルタの設定を行います。

項目	説明
デジタルエンコーサ	読み取った画像のデータに、アルファベットや数字などの文字列を付加します。
縁消し	読み取った原稿の周囲余白部分を、指定した色で塗りつぶします。

- 「圧縮」タブ

JPEG 転送時の圧縮率を設定します。

【詳細】 ボタン

画像処理に関するさらに詳細な設定を行います。
輪郭処理、ガンマ補正、ドロップアウトカラー、白黒反転、
下地追従などの設定が可能です。

【管理】 ボタン

設定ファイルの管理を行います。
TWAIN ドライバ (32) 画面で設定した内容を、「設定ファイル」
に保存しておくことによって、簡単に読み取り設定を変更
することができます。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナにつ
いて

原稿のセット
方法

読み取り条件
の設定

いろいろな読
み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動
作設定

付録

用語集

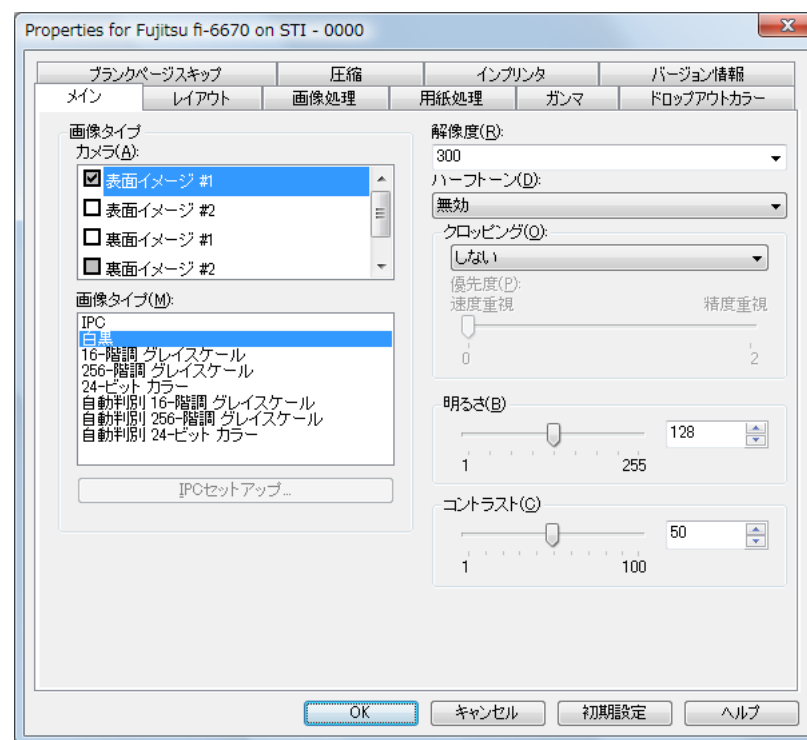
3.2 ISIS ドライバの場合

ISIS ドライバは、ISIS 規格に対応したドライバソフトウェアです。ISIS 規格に対応したアプリケーションを用いて、スキャナから読み取りを行うことができます。

通常、スキャナの読み取りに関する設定は、アプリケーションからスキャナドライバを呼び出して、スキャナドライバの設定画面から行います（アプリケーションの設定によっては、この設定画面を表示しない場合もあります）。



スキャナドライバの呼び出し方は、アプリケーションによって異なります。
詳しくは、ご使用のアプリケーションのマニュアルまたはヘルプを参照してください。



ISIS ドライバの設定は、この画面で行います。
詳細については、ISIS ドライバのヘルプを参照してください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

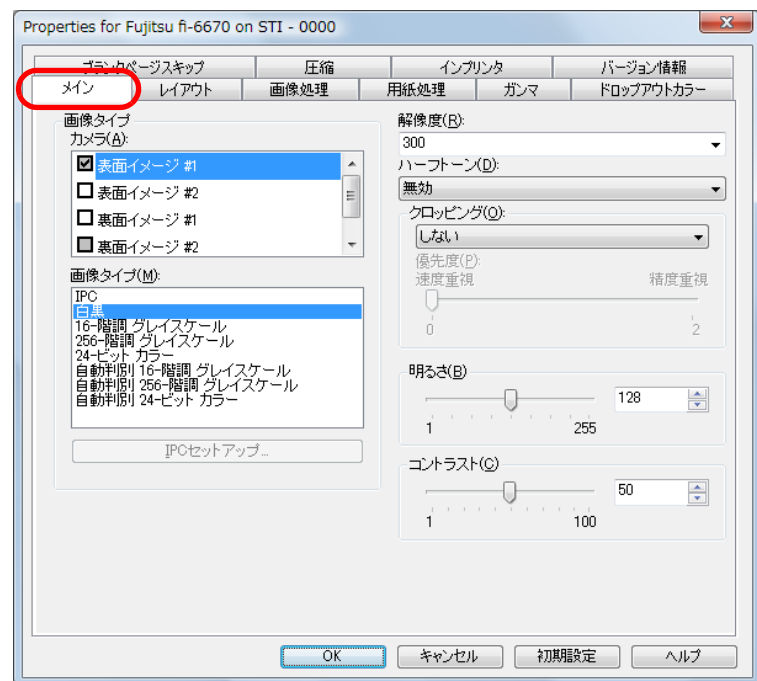
困ったときには

スキャナの動作設定

付録

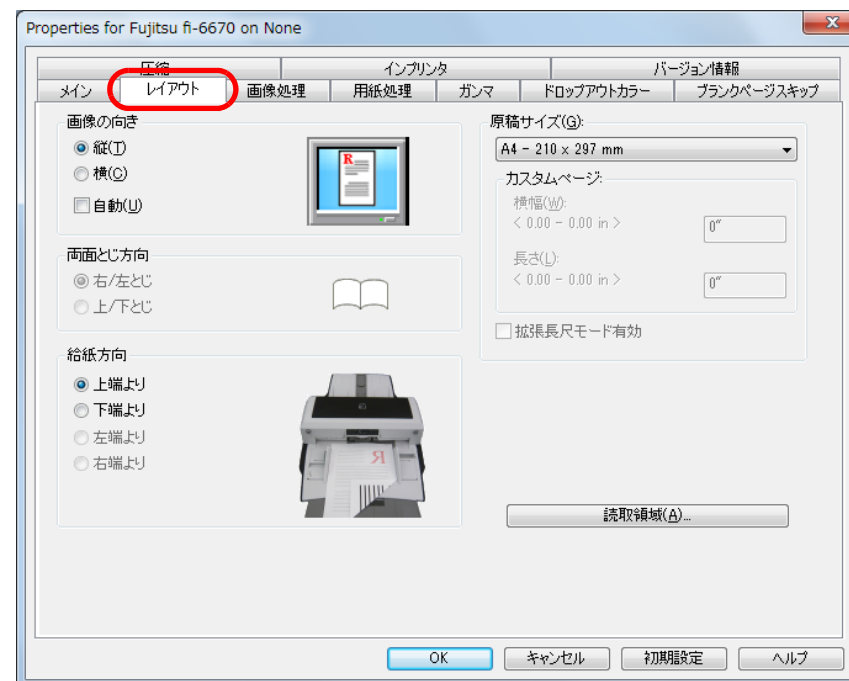
用語集

「メイン」タブ



原稿の読み取り面、色（カラー/グレースケール/白黒）、解像度、明るさ、およびコントラストなどが設定できます。

「レイアウト」タブ



原稿の読み取る向き、両面閉じ方向、給紙方向、および原稿のサイズなどが設定できます。
 [読取領域] ボタンをクリックすると、「Scan Area」画面が表示されます。



「画像の向き」の「自動」は、ScandAll PRO をインストールしている場合だけ設定できます。

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

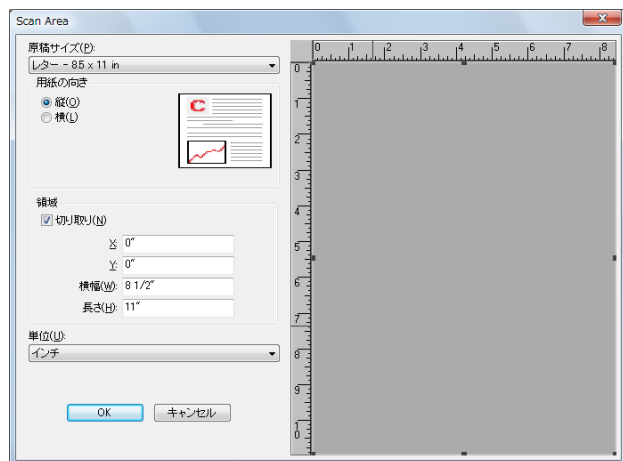
日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

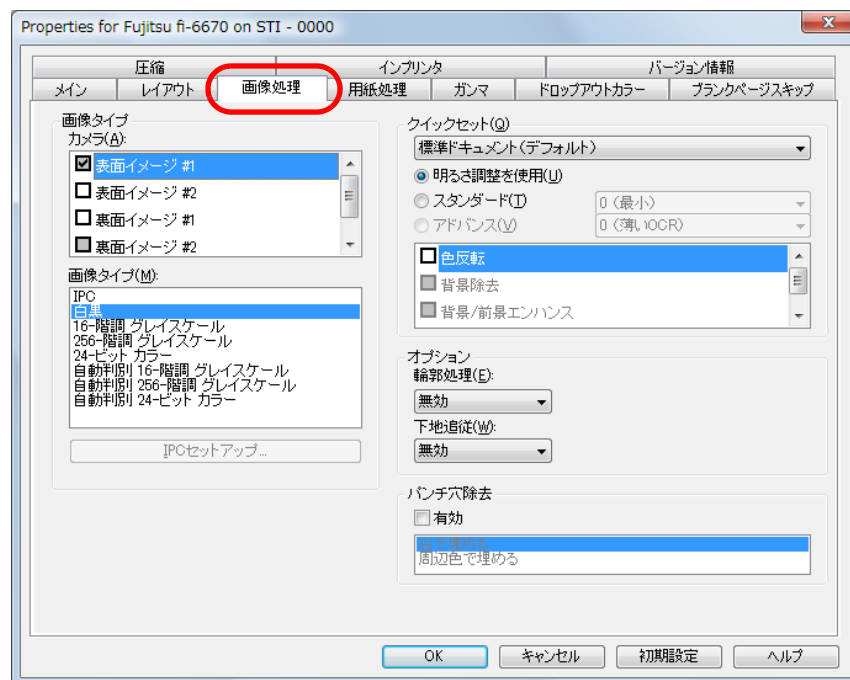
スキャナの動作設定

「Scan Area」画面



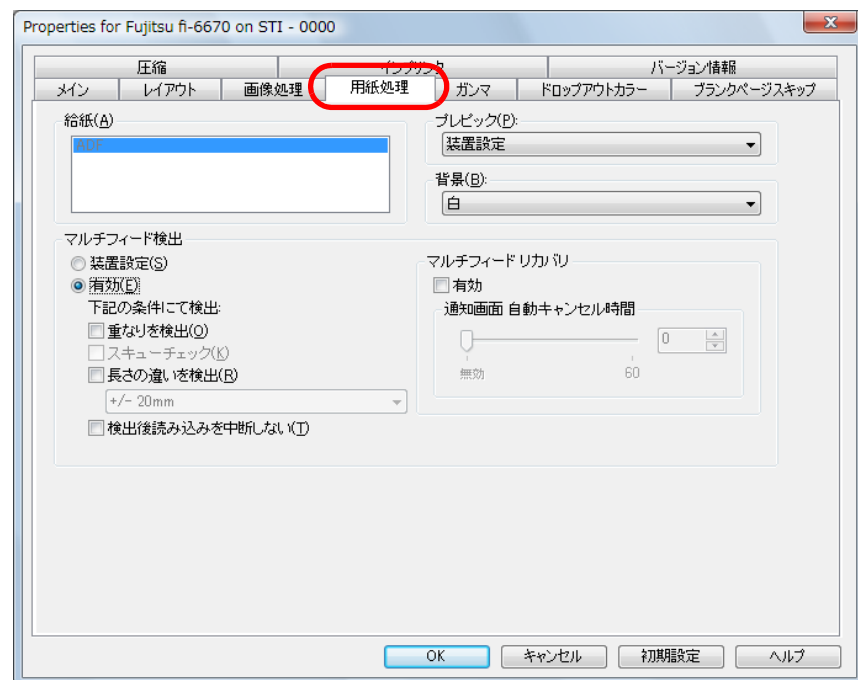
設定されている原稿サイズに対して読み取り領域を指定できます。

「画像処理」タブ



読み取りでよく使用される設定パターンを選択できます。また、地色が白でない原稿や穴があいている原稿を読み取る場合の設定ができます。

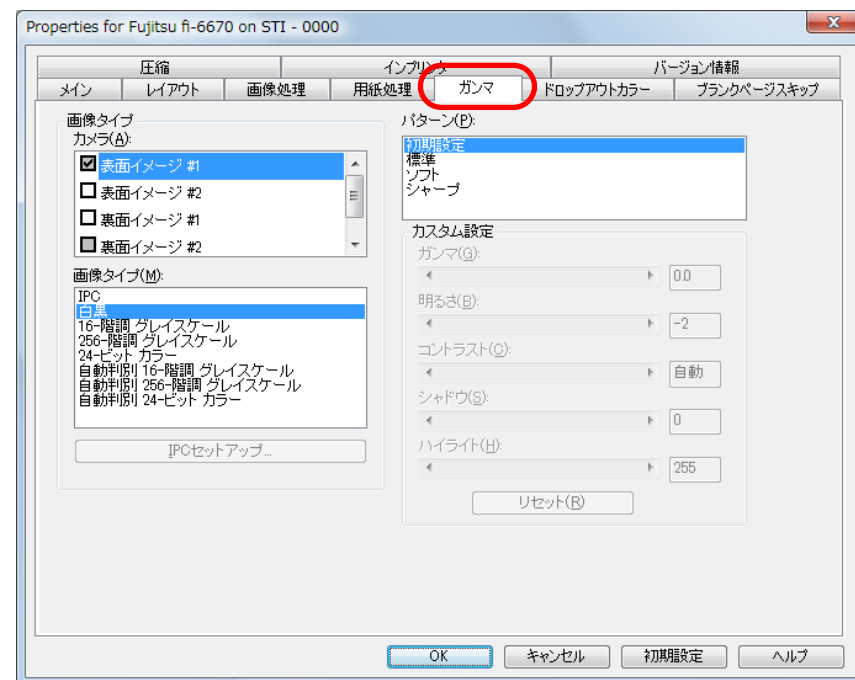
「用紙処理」タブ



プレピック（読み取り動作を開始する前に、原稿を読み取り位置まで搬送する）、マルチフィード検出などの原稿読み取り時の動作が設定できます。

また、フラットベッドタイプのみ、給紙方法を自動設定、ADF、またはフラットベッドから選択します。

「ガンマ」タブ



ガンマパターンを設定できます。また、原稿をカラーで読み取る場合は、カスタム設定でガンマ値、明るさなどの詳細な設定ができます。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

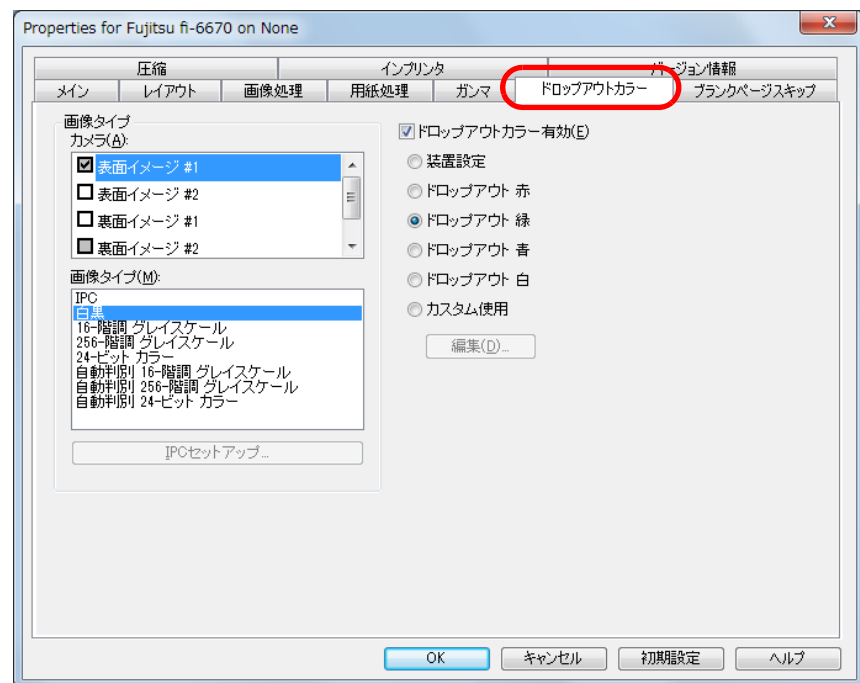
困ったときには

スキャナの動作設定

付録

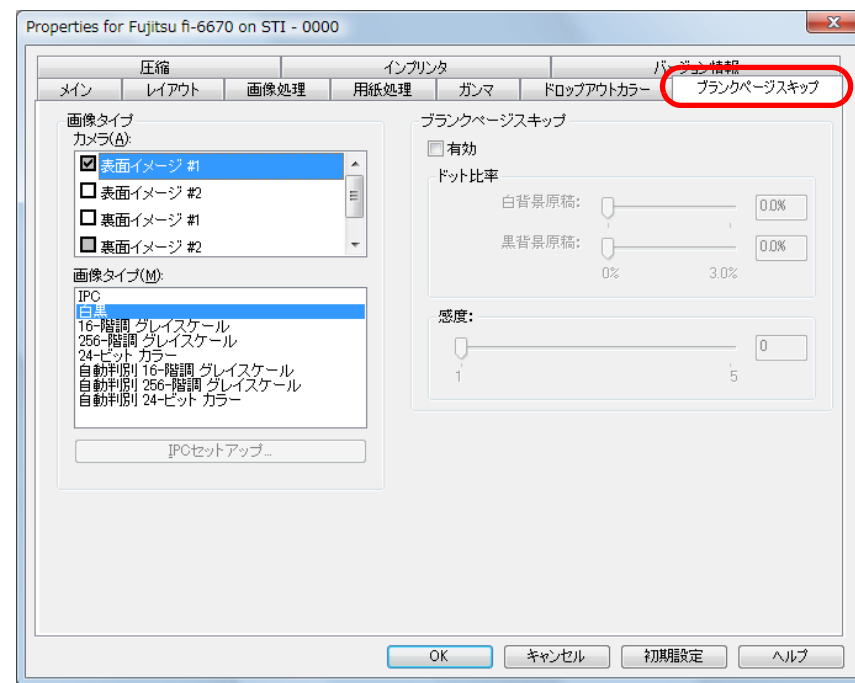
用語集

「ドロップアウトカラー」タブ



原稿読み取り時にドロップアウトしたい色を選択します。

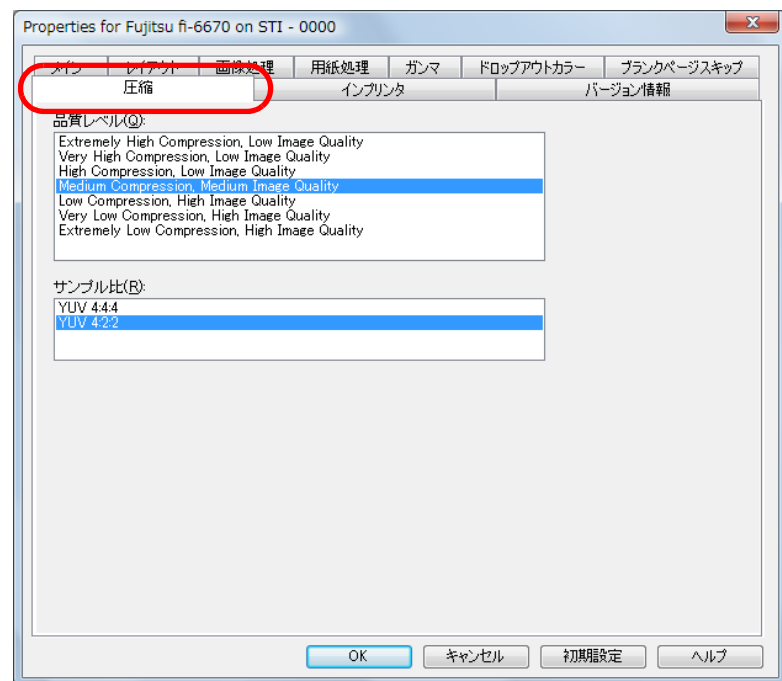
「ブランクページスキップ」タブ



原稿読み取り時のブランク（空白）ページの処理が設定できます。

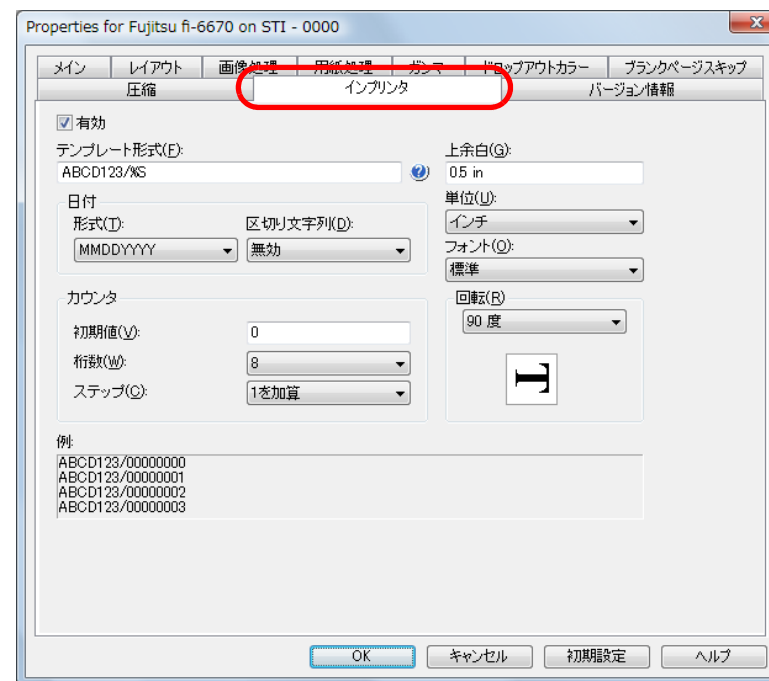
原稿を白黒で読み取る場合は、ドット比率で白背景と黒背景を別に指定して、ブランク（空白）ページを処理できます。原稿をグレースケール/カラーで読み取る場合は、感度を指定して白背景と黒背景共通で、ブランク（空白）ページを処理できます。

「圧縮」タブ



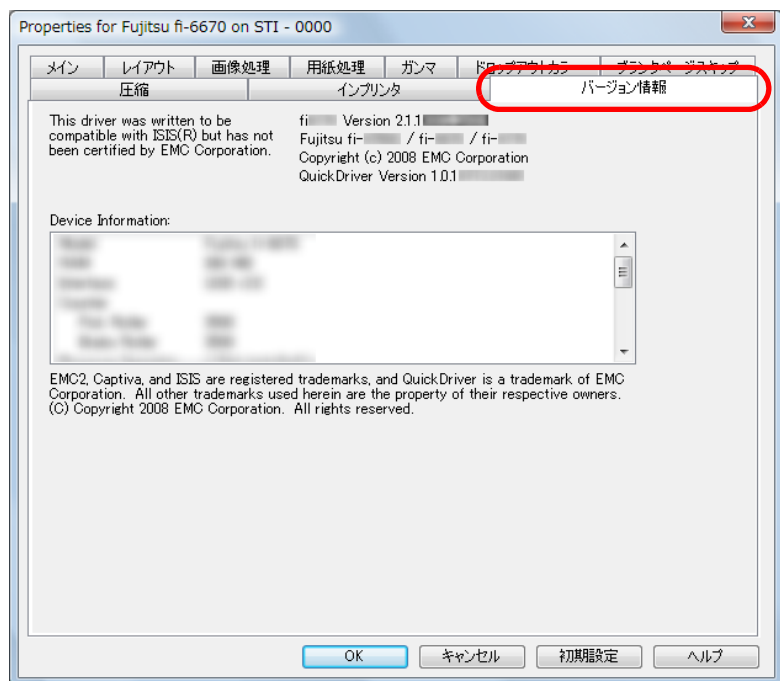
カラー / グレyscaleで読み取る場合の、イメージの圧縮度合いと画質が設定できます。
また、圧縮に使用するサンプル比が表示されます。

「インプリンタ」タブ



インプリンタオプション（別売り）の印字設定を行います。
インプリンタオプションが装備されていない場合は、表示されません。

「バージョン情報」タブ



ISIS ドライバのバージョン情報や、パソコンに接続されているスキャナの情報が表示されます。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

第4章 いろいろな読み取り方

この章では、例として ScandAll PRO から TWAIN ドライバを起動してスキャナでいろいろな原稿を読み取る方法について説明します。

この章では、Windows Vista の画面を例に説明しています。お使いの OS によって表示される画面および操作が異なります。また、TWAIN ドライバ、ISIS ドライバをアップデートすると、この章で記載している画面および操作が異なることがあります。その場合は、アップデート時に提供されるマニュアルを参照してください。

4.1 読み取り方一覧	64
4.2 種類やサイズが異なる原稿を読み取る	65
4.3 読み取り方を替える	69
4.4 読み取り後の動作や処理を設定する	80
4.5 読み取り時のスキャナの動作を変更する	97

4.1 読み取り方一覧

原稿のいろいろな読み取り方の一覧を次に示します。

種類やサイズが異なる原稿を読み取る

- 「両面を一度に読み取りたいとき (fi-6670/fi-6670A/fi-6770/fi-6770Aのみ)」 (P.65)
- 「大きな原稿や本を読み取りたいとき (フラットベッドタイプのみ)」 (P.66)
- 「原稿幅の違う原稿を読み取りたいとき」 (P.67)
- 「A3 サイズよりも長い原稿を読み取りたいとき」 (P.68)

読み取り方を替える

- 「指定の色 (ドロップアウトカラー) の部分を除いて読み取りたいとき」 (P.69)
- 「白紙ページをスキップして読み取りたいとき」 (P.71)
- 「明るめに画像を読み取りたいとき」 (P.73)
- 「パンチ穴を除去して読み取りたいとき」 (P.75)
- 「ADF から手挿入で原稿を読み取りたいとき」 (P.77)
- 「ADF 両面 (仮想) 読み取り機能を使用して原稿を読み取りたいとき (fi-6750S のみ)」 (P.78)

読み取り後の動作や処理を設定する

- 「原稿の傾きを自動で補正したいとき」 (P.80)
- 「原稿の向きを自動で補正したいとき」 (P.82)
- 「読み取った画像を PDF 形式で保存したいとき」 (P.84)
- 「原稿を2分割して読み取りたいとき」 (P.91)
- 「マルチイメージ出力したいとき」 (P.93)
- 「読み取った原稿の色 (カラー/モノクロ) を自動判別したいとき」 (P.95)

読み取り時のスキャナの動作を変更する

- 「スキャナのボタンで読み取りを開始したいとき」 (P.97)
- 「マルチフィードを検出したいとき」 (P.99)
- 「決まった条件のマルチフィードを無効にしたいとき」 (P.101)

次に示す原稿の読み取り方については、ScandAll PRO V2.0 ユーザーズガイドを参照してください。

- ADF 両面 (仮想) 読み取り機能を使用して原稿を読み取りたいとき
- パッチコードを使って原稿を分割したいとき
- バーコードを使って原稿を分割したいとき
- ゾーン OCR の認識結果を使ってファイル名を設定したいとき
- バーコードの認識結果を使ってファイル名を設定したいとき
- バッチスキャンごとに格納フォルダーを作成したいとき
- バッチスキャンを実行して SharePoint Server に格納したいとき
- 中断したバッチスキャンを再開したいとき
- インデックス情報を出力しアプリケーションと連携したいとき

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

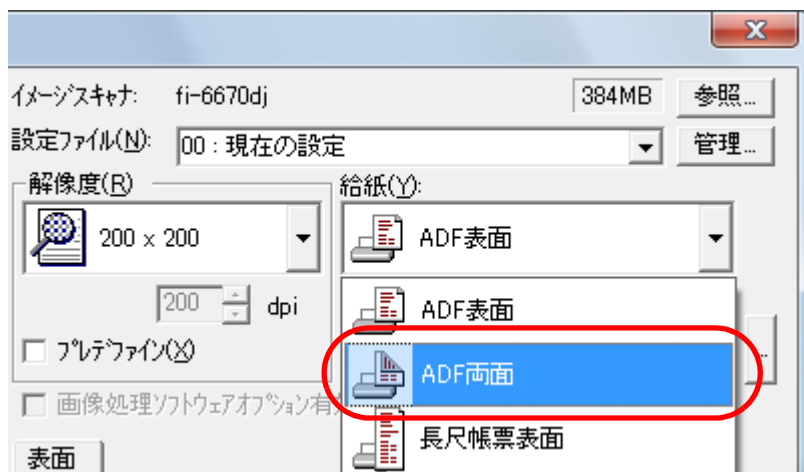
付録

用語集

4.2 種類やサイズが異なる原稿を読み取る

両面を一度に読み取りたいとき (fi-6670/fi-6670A/fi-6770/fi-6770A のみ)

- 1 ADF 給紙シュートに原稿をセットします。
原稿を ADF 給紙シュートにセットする方法については、「[2.1 ADF に原稿をセットする場合](#)」(P.39)を参照してください。
- 2 ScandAll PRO を起動し、「TWAIN ドライバ (32)」画面を表示します。
「TWAIN ドライバ (32)」画面を表示する方法については、ScandAll PRO V2.0 ユーザーズガイドを参照してください。
- 3 「給紙」から「ADF 両面」を選択します。



- 4 「用紙サイズ」などを設定します。
- 5 [了解] ボタンをクリックします。
⇒ 変更した内容が反映されます。

- 6 ScandAll PRO から、読み取りを実行します。
読み取り方法については、ScandAll PRO V2.0 ユーザーズガイドを参照してください。

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

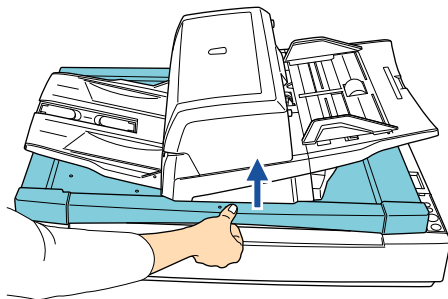
スキャナの動作設定

付録

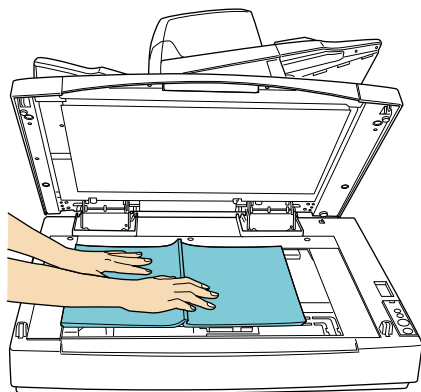
用語集

大きな原稿や本を読み取りたいとき (フラットベッドタイプのみ)

1 ハンドルをつかんでドキュメントカバーを開きます。

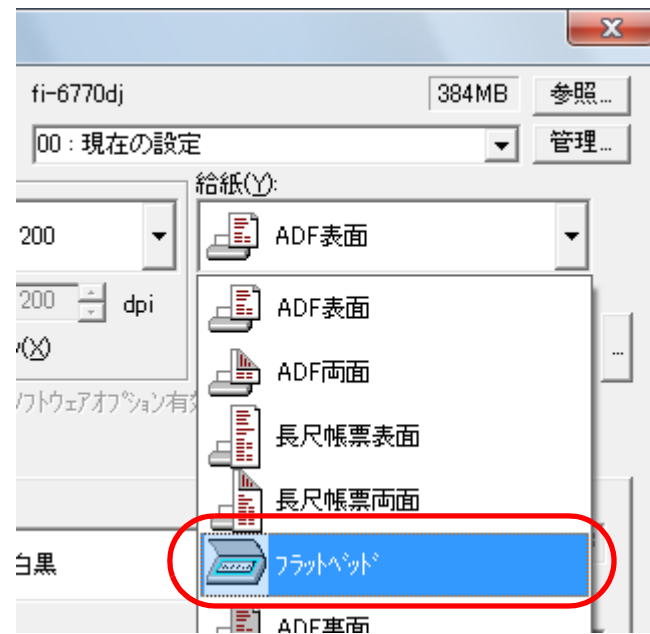


2 原稿台に原稿の読み取りたい面を下にしてセットし、原稿の左端を基準点に合わせます。



3 ScandAll PRO を起動し、「TWAIN ドライバ (32)」画面を表示します。
「TWAIN ドライバ (32)」画面を表示する方法については、ScandAll PRO V2.0 ユーザーズガイドを参照してください。

4 「給紙」から「フラットベッド」を選択します。



5 「用紙サイズ」などを設定します。

6 [了解] ボタンをクリックします。
⇒ 変更した内容が反映されます。

7 ScandAll PRO から、読み取りを実行します。
読み取り方法については、ScandAll PRO V2.0 ユーザーズガイドを参照してください。



注意

読み取り動作中、光源を直接見ないでください。



- 読み取り動作中は原稿を動かさないでください。
- A3/ダブルレターサイズまでの原稿を読み取る場合は、ドキュメントカバーを閉じてから原稿を読み取ります。

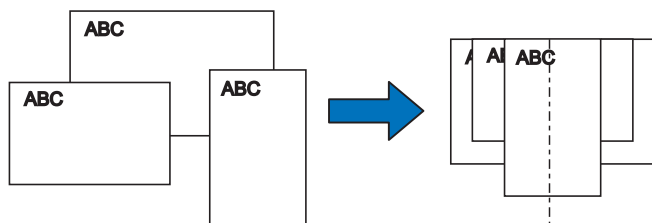
原稿幅の違う原稿を読み取りたいとき

原稿幅の違う原稿を読み取る場合は、次の手順で原稿をセットしてください。

! 原稿幅の違う原稿を ADF で一度にまとめて読み取ると、原稿幅の小さな原稿が傾いて読み取られるまたはスキャナに取り込まれないことがあります。同じ幅の原稿をまとめて読み取るようにしてください。

1 読み取り画像の傾きを防止するために「自動傾き/サイズ検出」で「自動用紙サイズ検出」をクリックします。設定方法については、「[原稿の傾きを自動で補正したいとき](#) (P.80) を参照してください。

2 原稿の先端を中央でそろえます。



! ピックローラが原稿を ADF に取り込むため、すべての原稿がピックアップローラに接するように原稿を中央でそろえて、ADF 給紙シュートにセットします。ピックアップローラに原稿が接していないと、原稿はスキャナに取り込まれません。

3 ADF 給紙シュートに原稿をセットし、もっとも幅の広い原稿の両側がサイドガイドに接するようにサイドガイドを移動します。



注意

小さな原稿を ADF 給紙シュートにセットするときは、シュートローラカバーに触らないように注意してください。読み取り中にこのカバーに触るとカバーが開き、指をはさみこむおそれがあります。

4 ScandAll PRO から、読み取りを実行します。読み取り方法については、ScandAll PRO V2.0 ユーザーズガイドを参照してください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには


スキャナの動作設定

付録

用語集

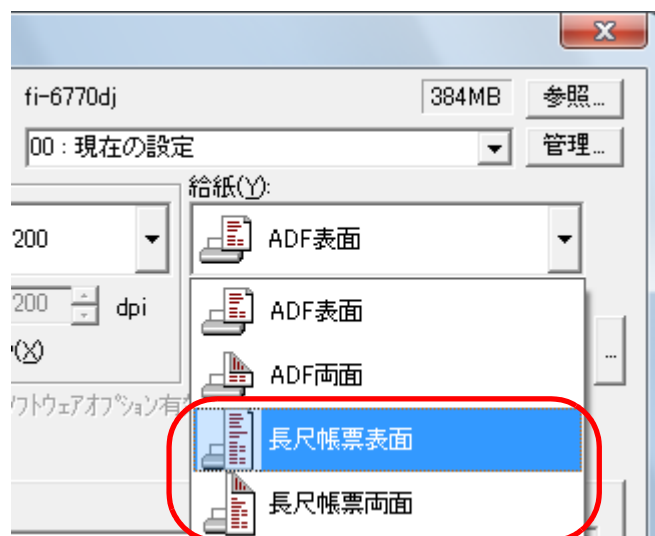
A3サイズよりも長い原稿を読み取りたいとき

- 1 ADF 給紙シュートに原稿をセットします。
原稿を ADF 給紙シュートにセットする方法については、「[2.1 ADF に原稿をセットする場合](#)」(P.39) を参照してください。


 A3サイズよりも長い原稿を読み取る場合は、シュートエクステンションおよびスタッカーエクステンションを最大まで引き出してください。また、ストッパーを立てないでください。

- 2 ScandAll PRO を起動し、「TWAIN ドライバ (32)」画面を表示します。
「TWAIN ドライバ (32)」画面を表示する方法については、ScandAll PRO V2.0 ユーザーズガイドを参照してください。

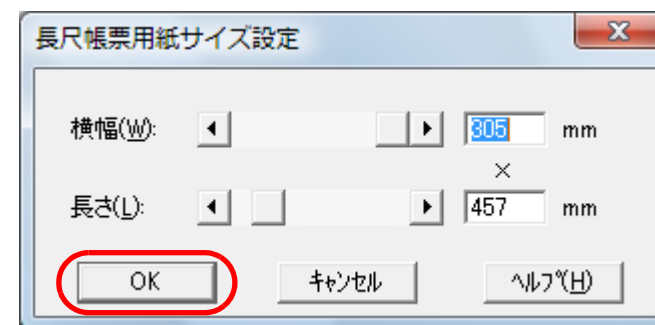
- 3 「給紙」から「長尺帳票表面」または「長尺帳票両面」を選択します。
片面読み取りの場合は「長尺帳票表面」を選択し、両面読み取りの場合は「長尺帳票両面」を選択します。



⇒「長尺帳票用紙サイズ設定」画面が表示されます。


 「長尺帳票両面」は、fi-6670/fi-6670A/fi-6770/fi-6770A の場合のみ表示されます。

- 4 原稿のサイズを設定し、[OK] ボタンをクリックします。



- 5 [了解] ボタンをクリックします。
⇒ 変更した内容が反映されます。

- 6 ScandAll PRO から、読み取りを実行します。
読み取り方法については、ScandAll PRO V2.0 ユーザーズガイドを参照してください。

 次の機能と組み合わせて使用することはできません。

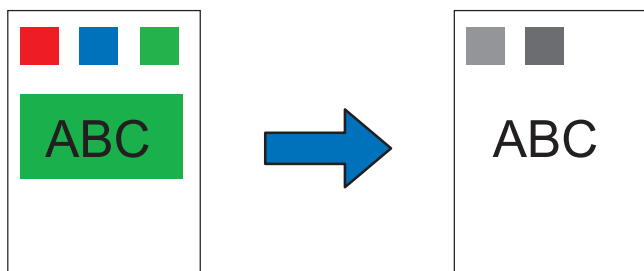
- マルチイメージ出力
- カラー/モノクロ自動判別

• 34inch (864mm) 以上の原稿を読み取りたい場合は、200dpi 以下に設定してください。

4.3 読み取り方を替える

指定の色（ドロップアウトカラー）の部分を除いて読み取りたいとき

緑、赤、青（光の三原色）および任意の色から、選択した色情報を除いて読み取ることができます。たとえば、黒い文字と緑色の枠がある原稿の黒い文字の部分だけを読み取ることができます。



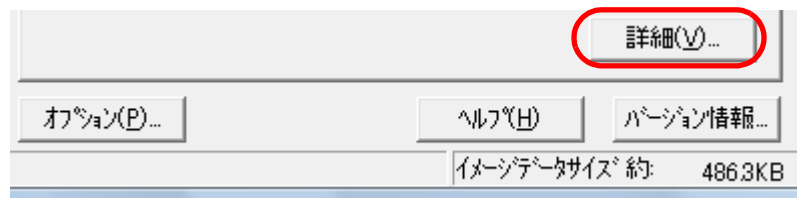
例：ドロップアウトカラーに「緑」を選択した場合



ドロップアウトカラーは、2値白黒、グレースケール読み取り時のみ指定可能です。

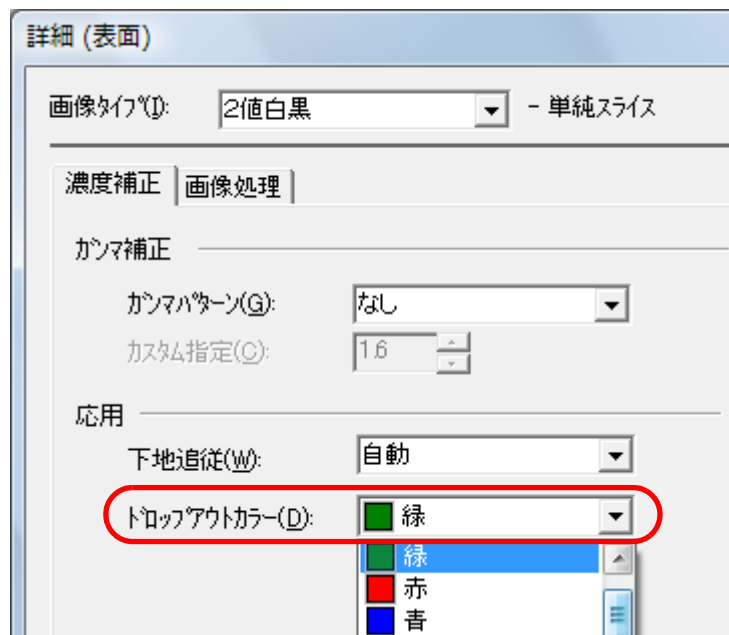
- 1 スキャナに原稿をセットします。
原稿をセットする方法については、「[第2章 原稿のセット方法](#) (P.38)」を参照してください。
- 2 ScandAll PRO を起動し、「TWAIN ドライバ (32)」画面を表示します。
「TWAIN ドライバ (32)」画面を表示する方法については、ScandAll PRO V2.0 ユーザーズガイドを参照してください。

- 3 [詳細] ボタンをクリックします。



⇒「詳細」画面が表示されます。

- 4 「応用」の「ドロップアウトカラー」から除きたい色を選択します。



「なし」を選択した場合はドロップアウトされません。

任意の色をドロップアウトする場合は、「カスタム」、「カスタム2」、または「カスタム3」を選択します。

「カスタム」、「カスタム2」、または「カスタム3」を選択すると、「指定色ドロップアウトカラー」画面が表示されます。この画面で、任意の色を3色まで、ドロップアウトカラーに指定することができます。



- オリジナル画像
色見本が表示されます。クリックすると、選択した色をドロップアウトカラーに指定できます。
- ドロップアウト画像
ドロップアウト後のイメージが表示されます。
- 「カラー1」～「カラー3」タブ
ドロップアウトカラーに指定する色を設定します。最大3色まで同時に指定することができます。

- 「ドロップアウト」チェックボックス
ドロップアウトカラーを2色以上指定する場合に、「カラー2」タブまたは「カラー3」タブでチェックし、ドロップアウト設定を有効にします。
- 「赤 / 緑 / 青」
ドロップアウトカラーに指定する色の情報が数値で表示されます。数値を直接入力するか、[▲] / [▼] ボタンをクリックして数値を変更できます。
- サンプルカラー
ドロップアウトカラーに指定した色が表示されます。
- 「黒優先」チェックボックス
文字をドロップアウトしない場合にチェックします。一般的に文字に使用されることの多い、黒などの彩度の低い色をドロップアウトしないようにします。
- 感度
選択した色に対して、ドロップアウトする色の許容範囲を指定します。
指定可能範囲：15度～180度
数値が大きいくほど、ドロップアウトする色域が広がります。
- [ファイル] ボタン
「オリジナル画像」に任意の画像ファイル (*.bmp 形式) を表示させ、そこからドロップアウトする色を選択することができます。
- [適用] ボタン
設定した内容を反映して、画面を閉じます。
- [キャンセル] ボタン
設定した内容を破棄して、画面を閉じます。

5 [了解] ボタンをクリックします。
⇒「TWAIN ドライバ (32)」画面に戻ります。

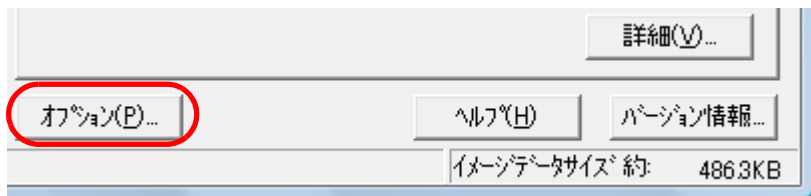
6 「TWAIN ドライバ (32)」画面で、[了解] ボタンをクリックします。
⇒ 設定が保存されます。

7 ScandAll PRO から、読み取りを実行します。
読み取り方法については、ScandAll PRO V2.0 ユーザーズガイドを参照してください。

白紙ページをスキップして読み取りたいとき

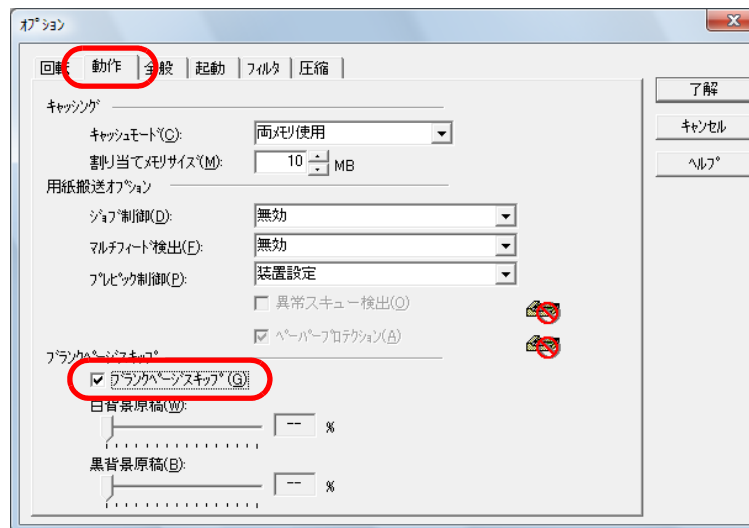
原稿に含まれる空白ページ（白紙または黒紙）を検出し、自動的に削除して読み取ります。たとえば、両面原稿と片面原稿が混在している状態で両面読み取りを行うと、片面原稿の裏面（空白ページ）だけを取り除いて読み取ることができます。

- 1 ADF 給紙シュートに原稿をセットします。
原稿を ADF 給紙シュートにセットする方法については、「2.1 ADF に原稿をセットする場合」(P.39) を参照してください。
- 2 ScandAll PRO を起動し、「TWAIN ドライバ (32)」画面を表示します。
「TWAIN ドライバ (32)」画面を表示する方法については、ScandAll PRO V2.0 ユーザーズガイドを参照してください。
- 3 [オプション] ボタンをクリックします。



⇒「オプション」画面が表示されます。

- 4 「動作」タブをクリックし、「空白ページスキップ」チェックボックスをチェックします。



本機能を有効にすると、キャッシュモードが自動的に「両メモリ使用」に切り替わります。

- 5 スライダーバーを使って、空白ページスキップの度合いを調整します。

- 2 値白黒、ハーフトーン設定の場合



白紙の場合は「白背景原稿」、黒紙の場合は「黒背景原稿」のスライダーでスキップ条件を設定します。

スライダー右に表示される数値はゴミ分布率 (*1) を表し、読み取った原稿がこの数値以下の場合に空白ページと認識します。

設定範囲は、OFF (--) および 0.2% ~ 3.0% (0.2 刻み) になります。

*1 : 読み取り領域に対する黒点の占める割合 (白紙の場合)

- カラー、グレースケール設定の場合



1～5の5段階で、空白ページ（白紙）のスキップ条件を設定します。値が大きくなるほどスキップしやすくなります。

- 6 [了解] ボタンをクリックします。
⇒「TWAIN ドライバ (32)」画面に戻ります。
- 7 「TWAIN ドライバ (32)」画面で、[了解] ボタンをクリックします。
⇒設定が保存されます。
- 8 ScandAll PRO から、読み取りを実行します。
読み取り方法については、ScandAll PRO V2.0 ユーザーズガイドを参照してください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

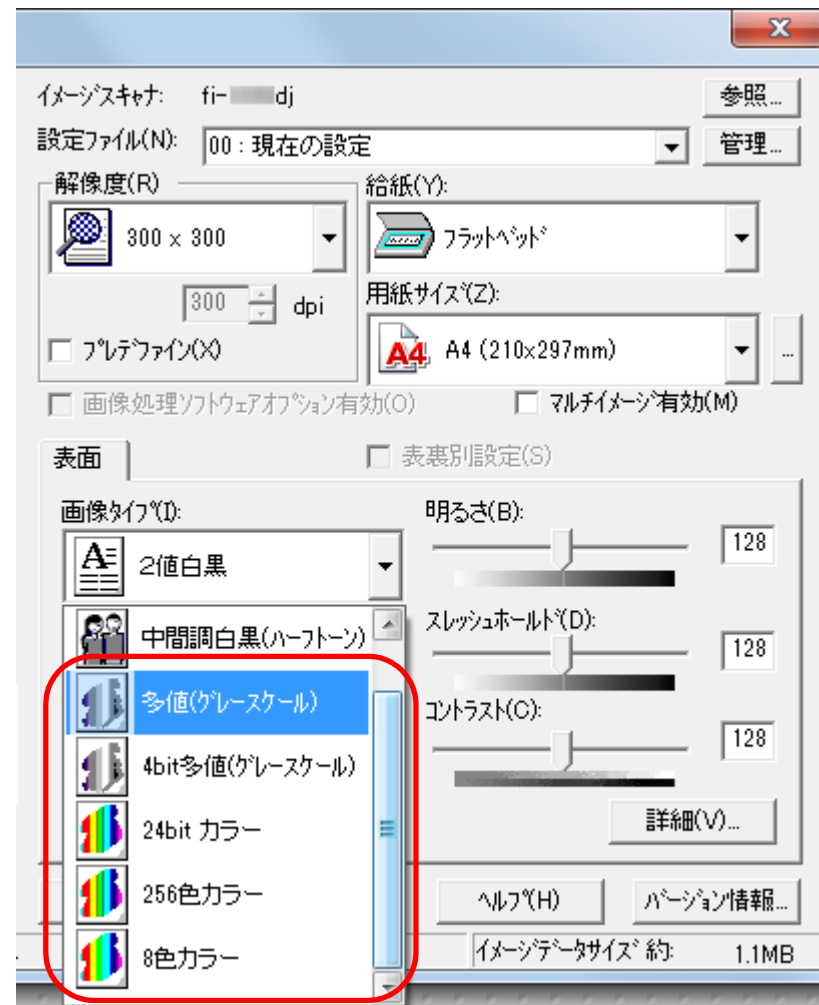
用語集

明るめに画像を読み取りたいとき

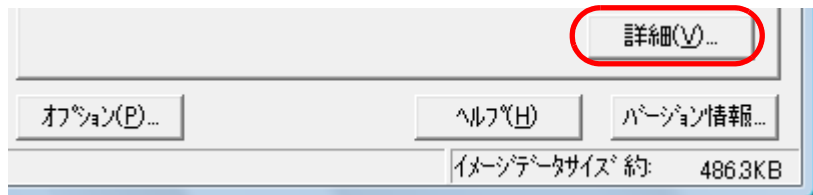
グレースケールまたはカラーで読み取る場合に、明るめに画像を読み取りできます。

- 1 スキャナに原稿をセットします。
原稿をセットする方法については、「第2章 原稿のセット方法」(P.38)を参照してください。
- 2 ScandAll PRO を起動し、「TWAIN ドライバ (32)」画面を表示します。
「TWAIN ドライバ (32)」画面を表示する方法については、ScandAll PRO V2.0 ユーザーズガイドを参照してください。

- 3 「画像タイプ」からグレースケールまたはカラーを選択します。



4 「詳細」 ボタンをクリックします。



⇒「詳細」画面が表示されます。

5 「色補正」 タブをクリックし、「プリセットガンマ」から「明るめ」を選択します。



6 「了解」 ボタンをクリックします。

⇒「TWAIN ドライバ (32)」画面に戻ります。

7 「TWAIN ドライバ (32)」画面で、[了解] ボタンをクリックします。

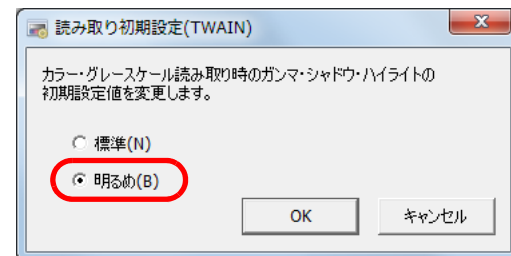
⇒ 設定が保存されます。

8 ScandAll PRO から、読み取りを実行します。

読み取り方法については、ScandAll PRO V2.0 ユーザーズガイドを参照してください。

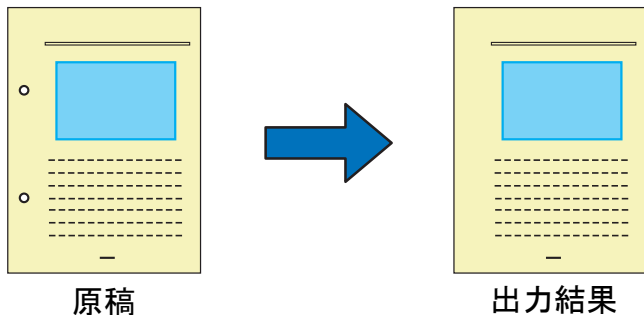


ScandAll PRO 以外のアプリケーションの場合、TWAIN ドライバの初期設定を明るめに変更することもできます。TWAIN ドライバの初期設定を明るめに変更するには、Setup DVD-ROM の ¥Tools¥FtSwtGmm¥Twain フォルダ配下の「FtSwtGmm.exe」を実行して表示される「読み取り初期設定 (TWAIN)」画面で、「明るめ」を選択してください。



パンチ穴を除去して読み取りたいとき

パンチ穴の開けられた原稿を読み取ったときに、パンチ穴が目立たないように、出力されるイメージからパンチ穴を取り除くことができます。



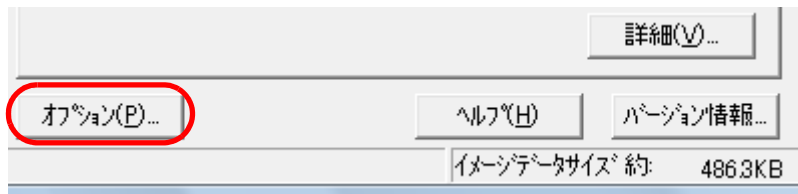
次のいずれかの場合、パンチ穴の除去ができません。

- 穴が原稿の端に沿って並んでいない場合
- 穴の大きさ、間隔がそろっていない場合
- 原稿が長方形でない場合
- 下地の色が濃い原稿を読み取った場合
- 文字、絵柄が原稿の端または穴に掛かって存在する場合
- 「自動用紙サイズ検出」を指定し、「用紙サイズ」の指定より大きな原稿を読み取った場合
- 「黒背景」を指定し、「用紙サイズ」の指定と異なるサイズの原稿を読み取った場合

1 スキャナに原稿をセットします。
原稿をセットする方法については、「[第2章 原稿のセット方法](#) (P.38)」を参照してください。

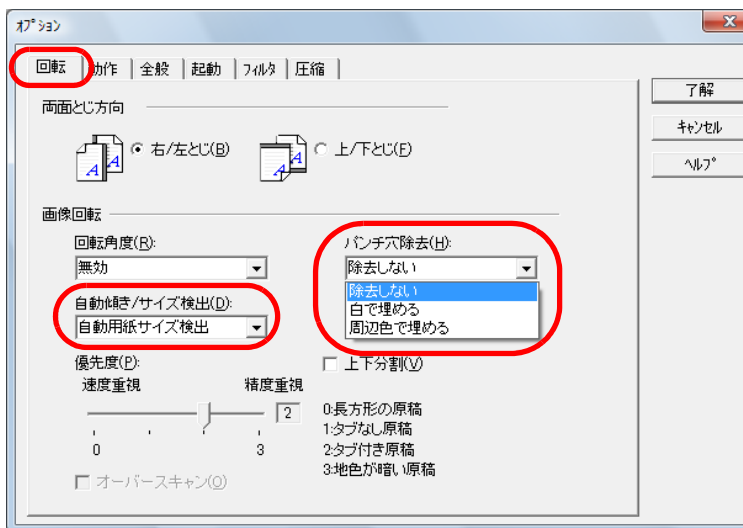
2 ScandAll PRO を起動し、「TWAIN ドライバ (32)」画面を表示します。
「TWAIN ドライバ (32)」画面を表示する方法については、ScandAll PRO V2.0 ユーザーズガイドを参照してください。

3 [オプション] ボタンをクリックします。



⇒「オプション」画面が表示されます。

4 「回転」タブをクリックし、「自動傾き/サイズ検出」から「自動用紙サイズ検出」または「黒背景」を選択します。「自動用紙サイズ検出」、「黒背景」以外では、パンチ穴除去機能は使用できません。



5 「パンチ穴除去」から「白で埋める」または「周辺色で埋める」を選択します。
色のついた原稿を読み取るときは、「周辺色で埋める」を選択してください。「白で埋める」を選択した場合、パンチ穴部分が白い四角で塗りつぶされたように見えます。

6 [了解] ボタンをクリックします。
⇒「TWAIN ドライバ (32)」画面に戻ります。

7 「TWAIN ドライバ (32)」画面で、[了解] ボタンをクリックします。
⇒ 設定が保存されます。

8 ScandAll PRO から、読み取りを実行します。
読み取り方法については、ScandAll PRO V2.0 ユーザーズガイドを参照してください。



原稿によっては、文字や図形が誤ってパンチ穴として塗りつぶされたり、パンチ穴を塗りつぶせなかったりするものがあります。このような場合、「自動用紙サイズ検出」で「優先度」に3を指定すると、パンチ穴除去の精度をあげることができます。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

ADF から手挿入で原稿を読み取りたいとき

手挿入とは、ADF に手で 1 枚ずつ原稿をセットして読み取る操作です。

通常、ADF で原稿を読み取る場合、セットした原稿がなくなると読み取りを終了します。手挿入の場合、セットした原稿がなくなると、指定した時間だけ次の原稿がセットされるのを待ちます。指定した時間内に原稿がセットされると読み取りを継続し、セットされないと読み取りを終了します。この方法で読み取ると、複数枚の原稿を 1 枚ずつ確認しながら読み取ることができます。

手挿入は、次のような場合に有効です。

- 原稿に書かれている内容を確認しながら読み取る場合
- 原稿をまとめてセットして読み取ると、マルチフィードや原稿づまりが発生してうまく読み取れない場合
- 雑誌や新聞の切り抜きなど、まとめてセットできない原稿を続けて読み取りたい場合

手挿入の読み取り手順を次に示します。

- 1** Software Operation Panel で手挿入ができるように設定します。
設定の詳細については、「[手差しモードの待機時間の設定（手挿入タイムアウト）](#)」（P.176）を参照してください。
- 2** ADF 給紙シュートに原稿をセットします。
原稿を ADF 給紙シュートにセットする方法については、「[2.1 ADF に原稿をセットする場合](#)」（P.39）を参照してください。

- 3** ScandAll PRO を起動し、読み取りを実行します。
読み取り方法については、ScandAll PRO V2.0 ユーザーズガイドを参照してください。
⇒ 読み取り後、Software Operation Panel で指定した時間、ADF のローラが回転したまま、次の原稿がセットされるまで待機します。
- 4** ADF 給紙シュートに次の原稿をセットします。
⇒ セットした原稿が同じ設定で読み取られます。
- 5** 読み取る原稿がなくなるまで、手順 4 を繰り返します。
⇒ Software Operation Panel で指定した時間を経過しても、ADF 給紙シュートに原稿がセットされない場合、読み取りを終了します。

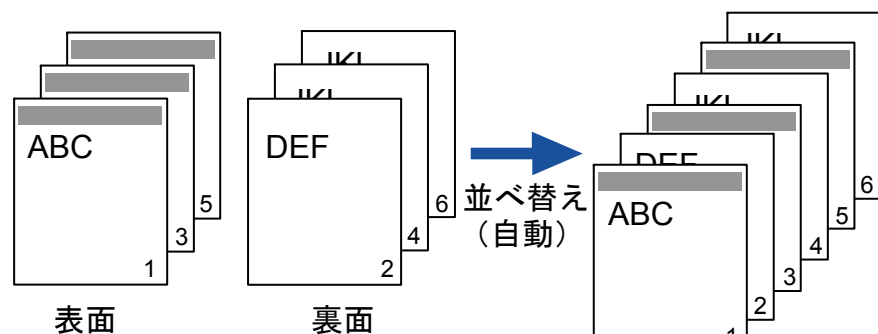


- スキャナが待機中に、操作パネルの [Send to] ボタンを押すと、すぐに読み取りを終了することができます。
- 手挿入タイムアウトの設定が有効になっていると、ADF 給紙シュートに原稿がない状態で読み取りを開始しても、設定した時間内で原稿がセットされるのを待ちます。
- 手挿入モードで頻繁に原稿を読み取ると、消耗品の交換周期が短くなる場合があります。

ADF 両面（仮想）読み取り機能を使用して原稿を読み取りたいとき（fi-6750S のみ）

ADF 両面（仮想）読み取り機能は、fi-6750S で原稿の表面を読み取り、続けて裏面を読み取ったあとに原稿を自動的に並べ替える機能です。

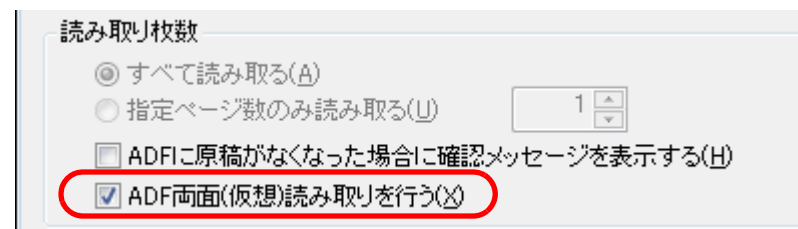
この機能により、fi-6750S でも両面読み取りを仮想的に実現します。



1 ADF給紙シュートに原稿の表面を下にしてセットします。原稿を ADF 給紙シュートにセットする方法については、「[2.1 ADF に原稿をセットする場合](#)」（P.39）を参照してください。

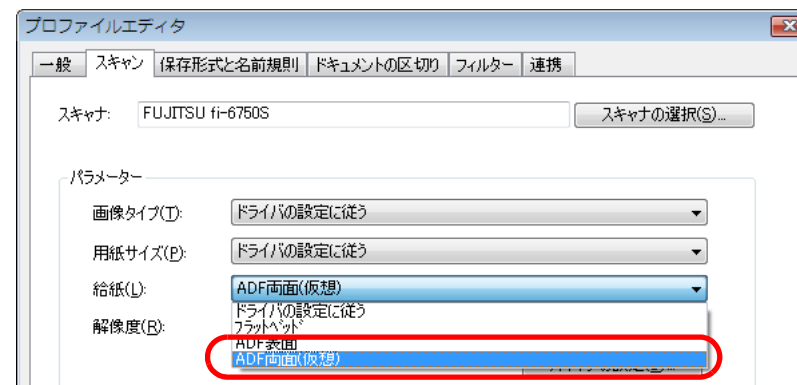
2 ScandAll PRO で両面を読み取るように設定します。
スキャンで読み取る場合

「スキャンの設定」画面の「ADF 両面（仮想）読み取りを行う」チェックボックスをチェックします。



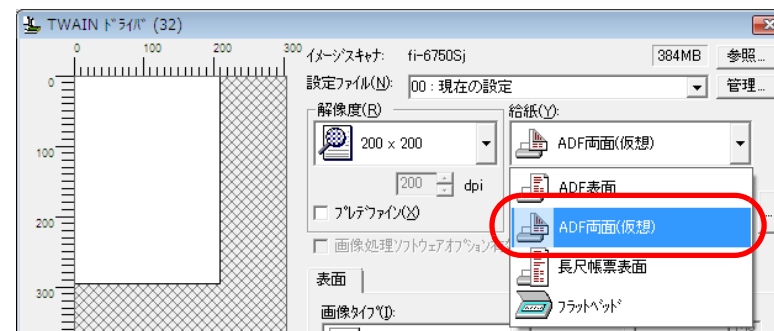
バッチスキャンで読み取る場合

読み取りに使用するプロファイルを「プロファイルエディタ」画面で表示して、「スキャン」タブの「給紙」から「ADF 両面（仮想）」を選択します。



スキャナドライバで読み取る場合

「TWAIN ドライバ (32)」画面で「給紙」から「ADF 両面（仮想）」を選択します。



ISIS ドライバの画面では、仮想的に両面を読み取る設定ができません。ISIS ドライバを使用する場合は、「スキャンの設定」画面またはバッチスキャンを使用してください。

3 ScandAll PRO から、読み取りを実行します。
読み取り方法については、ScandAll PRO V2.0 ユーザーズガイドを参照してください。

⇒ 読み取りが完了すると、原稿の裏面をセットするように指示するメッセージが表示されます。

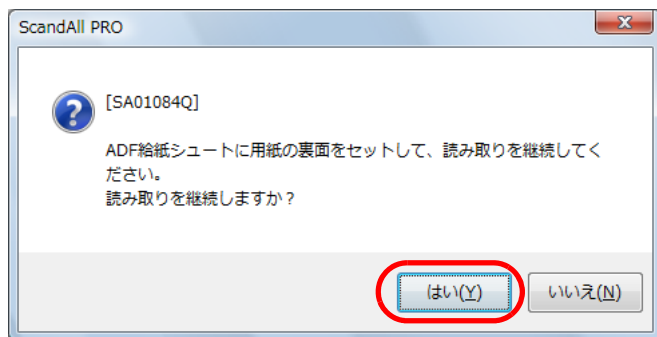
4 ADF給紙シュートに原稿の裏面を下にしてセットします。
原稿を ADF 給紙シュートにセットする方法については、「2.1 ADF に原稿をセットする場合」(P.39) を参照してください。



原稿の裏面をセットする場合、次のことに注意してください。

- 表面と同じ順序で読み取られるようにセットしてください。
- 原稿の上下がさかさまにならないようにセットしてください。

5 メッセージの [はい] ボタンをクリックします。



⇒ 原稿の裏面が読み取られます。

6 読み取り完了後、原稿の順序が自動的に並べ替わります。

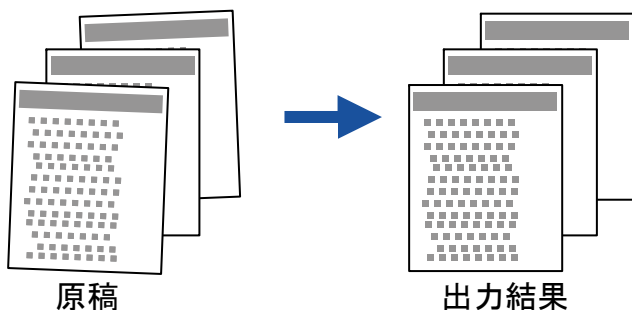


- 次の場合、ADF 両面（仮想）読み取りを行うことができません。ScandAll PRO またはスキャナドライバの設定を変更してください。
 - 「プロファイルエディタ」画面の「保存形式と名前規則」タブで「カラーモノクロ同時出力」チェックボックスおよび「カラーモノクロ自動検出」チェックボックスがチェックされている場合
 - 「プロファイルエディタ」画面の「ドキュメント区切り」タブで「ジョブセパレータの扱い」が設定されている場合
 - TWAIN ドライバの「TWAIN ドライバ (32)」画面で「マルチイメージ有効」チェックボックスをチェックし、表示される「マルチイメージ設定」画面の「マルチイメージ出力」をクリックした場合
 - TWAIN ドライバの「オプション」画面で「上下分割」チェックボックスおよび「空白ページスキップ」チェックボックスがチェックされている場合
- 表面と裏面の読み取り枚数が異なる場合、原稿の並べ替えは行われません。

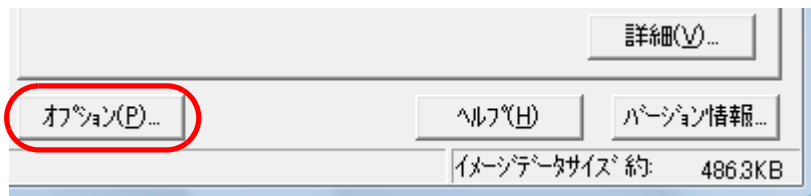
4.4 読み取り後の動作や処理を設定する

原稿の傾きを自動で補正したいとき

原稿を読み取る際に、ADF内へ原稿が傾いて送り込まれた場合は、自動で傾きを検出および補正して読み取ることができます。

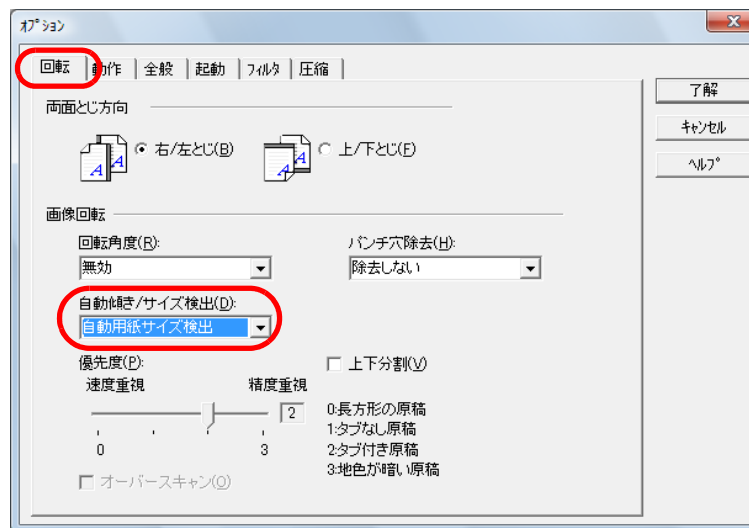


- 1 ADF 給紙シュートに原稿をセットします。
原稿を ADF 給紙シュートにセットする方法については、「2.1 ADF に原稿をセットする場合」(P.39)を参照してください。
- 2 ScandAll PRO を起動し、「TWAIN ドライバ (32)」画面を表示します。
「TWAIN ドライバ (32)」画面を表示する方法については、ScandAll PRO V2.0 ユーザーズガイドを参照してください。
- 3 [オプション] ボタンをクリックします。



⇒「オプション」画面が表示されます。

- 4 「回転」タブをクリックし、「自動傾き/サイズ検出」から「自動傾き補正」または「自動用紙サイズ検出」を選択します。



- 「自動傾き補正」を選択した場合は、原稿の用紙サイズは自動検出されません。
- 「優先度」の設定値を変えることによって、「自動用紙サイズ検出」の処理精度を変更できます。
 - 原稿を読み取る際に、読み取り速度を優先させたい場合は数値を小さく、検出精度を優先させたい場合は数値を大きく設定してください。
 - 仕切り用インデックス、付箋紙、インデックスシールが含まれる原稿の用紙サイズを検出する場合、優先度は2を指定してください。
 - 表面または裏面の地色が暗い原稿の用紙サイズを検出する場合、優先度は3を指定してください。

優先度	読み取りに向いている原稿
0	長方形の原稿（辺の直線性が高い原稿）
1	タブなし原稿（仕切り用インデックス、付箋紙、インデックスシールが含まれない原稿）
2	タブ付き原稿（仕切り用インデックス、付箋紙、インデックスシールが含まれる原稿）
3	地色が暗い原稿（表面または裏面の地色が暗い原稿）



次のいずれかの場合、「自動用紙サイズ検出」ができません。

- 厚さが 52 g/m² 以下の薄い原稿
- 長方形でない原稿
- 端を濃く塗りつぶした原稿

5 [了解] ボタンをクリックします。
⇒「TWAIN ドライバ (32)」画面に戻ります。

6 「TWAIN ドライバ (32)」画面で、[了解] ボタンをクリックします。
⇒設定が保存されます。

7 ScandAll PRO から、読み取りを実行します。
読み取り方法については、ScandAll PRO V2.0 ユーザーズガイドを参照してください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

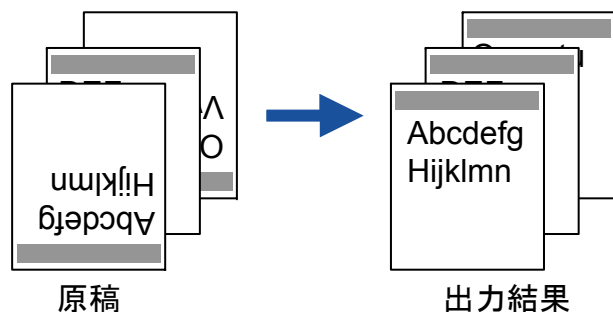
スキャナの動作設定

付録

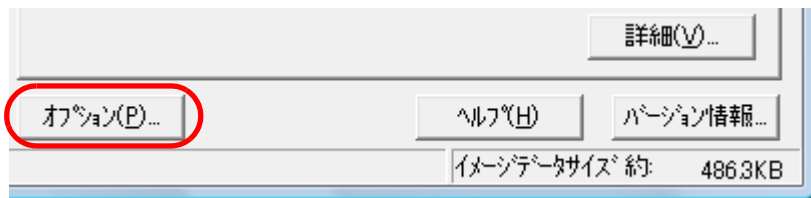
用語集

原稿の向きを自動で補正したいとき

向きがバラバラの原稿を、自動的に正しい向きに補正して読み取ることができます。

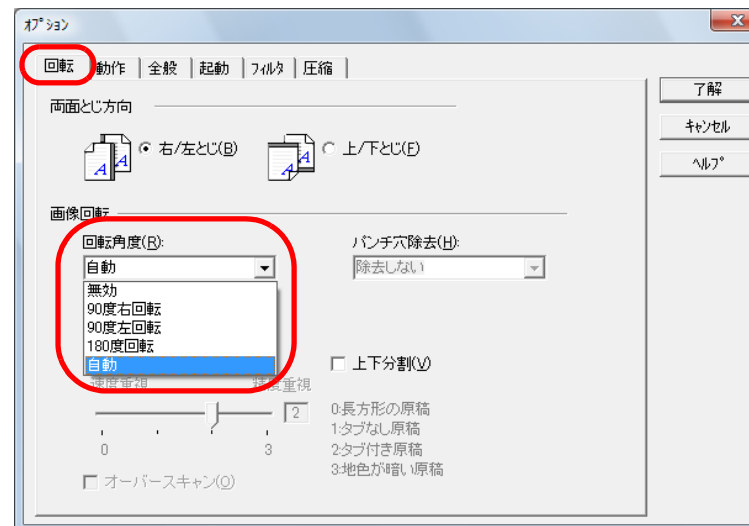


- 1 ADF 給紙シュートに原稿をセットします。
原稿を ADF 給紙シュートにセットする方法については、「[2.1 ADF に原稿をセットする場合](#)」(P.39)を参照してください。
- 2 ScandAll PRO を起動し、「TWAIN ドライバ (32)」画面を表示します。
「TWAIN ドライバ (32)」画面を表示する方法については、ScandAll PRO V2.0 ユーザーズガイドを参照してください。
- 3 [オプション] ボタンをクリックします。



⇒「オプション」画面が表示されます。

- 4 「回転」タブをクリックし、「回転角度」から「自動」を選択します。



TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集



- 原稿中の文字列を基準にして補正するため、次のような原稿は正しい向きに補正されない場合があります。
 - 読み取り時の解像度が次の範囲でない場合
白黒の場合：300dpi～600dpi
カラー/グレースケールの場合：200dpi～600dpi
 - 極端に大きい文字や小さい文字が多い原稿
 - 文字間や行間が、極端に狭かったり、文字が接触していたりする原稿
 - 写真や図などが多く、文字の少ない原稿
 - 図面など、文字が一定方向に向いていない原稿
 - アルファベットの太文字だけで書かれている原稿
 - 手書き文字の原稿
 - 傾いた原稿
 - サポート言語（日本語、英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、韓国語、中国語（繁体字、簡体字）、ロシア語、ポルトガル語）以外の言語で書かれている原稿
 - 文字の背景に不均一色背景や模様がある原稿
 - 複雑なレイアウトの原稿
 - ノイズの多い原稿
- 原稿中の文字列の判定には、Windows の地域オプションで設定されている言語を使用します。
- 読み取り時のドライバの設定によっては、正しく補正できない場合があります（ディザなど）。
- 正しく補正されない場合は、ドライバの輪郭強調機能を使用すると正しく補正される場合があります。
- 画像の端に黒い部分が残ることがあります。
- 「回転角度」の「自動」は、ScandAll PRO をインストールしている場合だけ表示されます。

7 ScandAll PRO から、読み取りを実行します。
読み取り方法については、ScandAll PRO V2.0 ユーザーズガイドを参照してください。

5 [了解] ボタンをクリックします。
⇒「TWAIN ドライバ (32)」画面に戻ります。

6 「TWAIN ドライバ (32)」画面で、[了解] ボタンをクリックします。
⇒設定が保存されます。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

読み取った画像を PDF 形式で保存したいとき

PDF の作成は、次の2つの方法があります。

ScandAll PRO から行う方法

カラーおよびグレースケールで読み取る場合にお勧めします。

- PDF のデータサイズを小さくすることができます。
- 特別な操作を必要とせず、簡単に PDF を作成できます。



ScandAll PRO の使用方法については、ScandAll PRO V2.0 ユーザーズガイドを参照してください。

Adobe Acrobat から行う方法

PDF を短時間で作成したいときおよびバイナリ（モノクロ二値）で読み取る場合にお勧めします。

- PDF（読み取った解像度のまま）を短時間で作成できます。
- PDF の圧縮率を変更することで、任意のデータサイズで作成できます。

カラー原稿の場合、通常の方法ではデータサイズが大きくなりますが、保存する前に Acrobat Distiller を使用することでデータサイズを大幅に小さくすることができます。

詳しくは、Adobe Acrobat から行う方法の手順 10 にあるヒントの記載を参照してください。



Adobe Acrobat の使用上の注意点について

- 解像度、給紙方法、画像タイプは、Adobe Acrobat の指定が有効になるため、読み取り時に前回指定した設定項目で表示されない場合があります。
- 次の機能は、ご使用できません。
 - 256 色カラーおよび 8 色カラー
 - 後端検出指定時の回転角度指定
 - 長尺帳票での読み取り
 - 自動用紙サイズ検出
- Adobe Acrobat を使用して原稿を読み取り PDF に変換する際に、意図しない画像が出力されることがあります。
 - 1 Acrobat の輪郭除去オプションと TWAIN ドライバのデジタルエンドーサまたは黒背景オプションを設定した場合、画像に埋め込んだ文字列や背景部分が欠落することがあります。

解決方法 1：Acrobat の「ファイル」メニュー→「PDF の作成」→「スキャナ」→「画像の設定」をクリックし、「輪郭除去」を「オフ」に設定、または「圧縮」の「カラー/グレースケール」、「白黒」を「アダプティブ」以外に設定する。
解決方法 2：TWAIN ドライバの読取濃度を調整する。
 - 2 Acrobat の圧縮オプションの「カラー/グレースケール」、「白黒」を「アダプティブ」に設定し、Acrobat の推奨解像度より低い解像度で読み取る場合、適切でない画像が出力されることがあります。

解決方法：「圧縮」の「カラー/グレースケール」、「白黒」を「アダプティブ」以外に設定する。
 - 3 Acrobat はダブルレター（11 × 17）や A3 より長い原稿は読み取れないため、TWAIN ドライバでオーバースキャンを設定した場合、正しく読み取れないことがあります。

解決方法：ダブルレター（11 × 17）や A3 の原稿を読み取る場合は、オーバースキャンを設定しない。

Acrobat の使い方や詳細な情報については、Acrobat のヘルプ（紙の文書からの PDF の作成）や

<http://www.adobe.com/jp/support/acrobat/> の「サポートデータベース」を参照してください。

■ScandAll PRO から行う方法

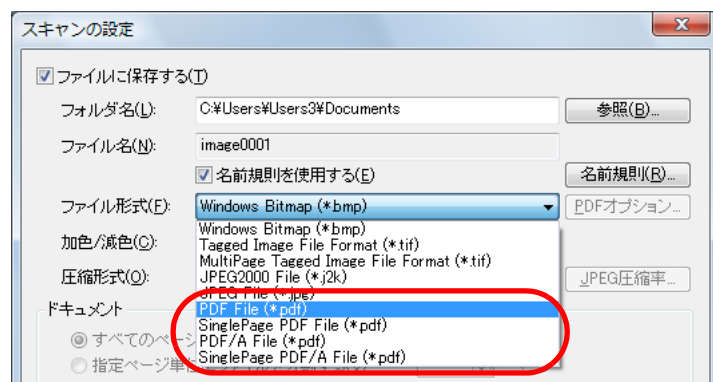
- 1 スキャナに原稿をセットします。
原稿をセットする方法については、「第2章 原稿のセット方法」(P.38)を参照してください。
- 2 ScandAll PRO で、読み取ったイメージを保存するファイルのファイル形式を、「PDF File」、「SinglePage PDF File」、「PDF/A file」、「SinglePage PDF/A file」のいずれかから選択します。



「PDF file」、「SinglePage PDF file」は Adobe Acrobat 4.0 (PDF 1.3) 互換形式、「PDF/A file」、「SinglePage PDF/A file」は PDF/A-1b 形式 (PDF 1.4 仕様に基づく電子文書の長期保存用形式) で保存されます。「SinglePage PDF file」、「SinglePage PDF/A file」は、1つのイメージに対して1つのファイルが生成され、「PDF file」、「PDF/A file」は、複数のイメージを1つのファイルに保存することができます。

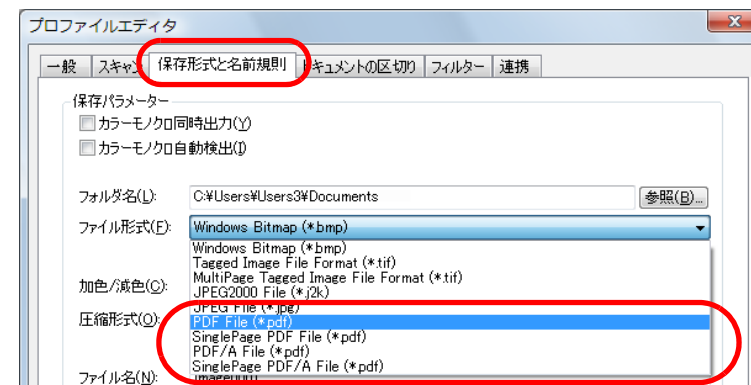
スキャンで読み取る場合

「スキャンの設定」画面の「ファイル形式」で選択します。

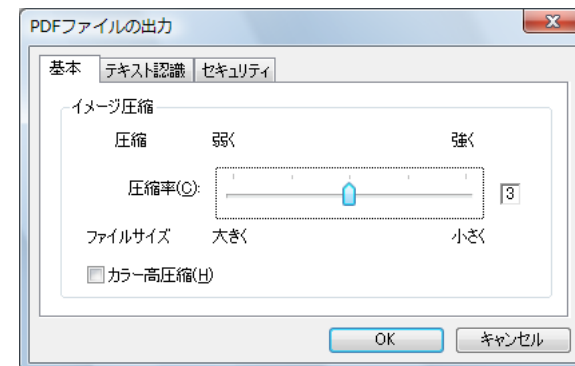


バッチスキャンで読み取る場合

読み取りに使用するプロファイルを「プロファイルエディタ」画面で表示して、「保存形式と名前規則」タブの「ファイル形式」で選択します。



- 3 PDF オプションを指定する場合は、[PDF オプション] ボタンをクリックします。
⇒「PDF ファイルの出力」画面が表示されます。



この画面で、ファイル作成時の圧縮率を変更したり、検索可能なPDFファイルに変換したり、PDFファイルを開く際のパスワードを設定したりできます。



「PDF ファイルの出力」画面の詳細については、ScandAll PRO のヘルプを参照してください。

- 4** ScandAll PRO から、読み取りを実行します。
読み取り方法については、ScandAll PRO V2.0 ユーザーズガイドを参照してください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

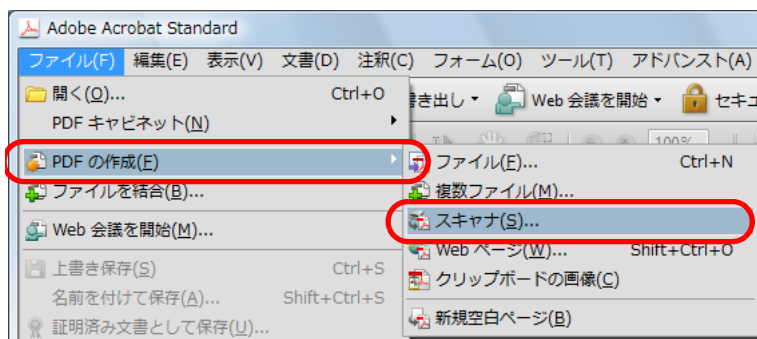
スキャナの動作設定

付録

用語集

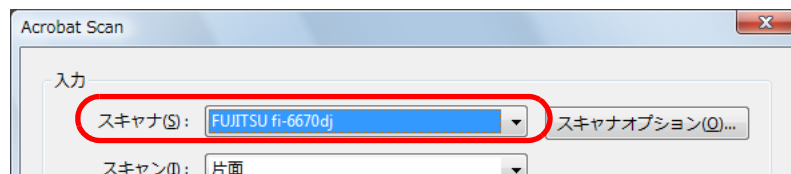
■Adobe Acrobat から行う方法

- 1 スキャナに原稿をセットします。
原稿をセットする方法については、「第2章 原稿のセット方法 (P.38)」を参照してください。
- 2 「スタート」メニュー→「すべてのプログラム」→「Adobe Acrobat」の順にクリックします。
⇒ Adobe Acrobat が起動します。
- 3 「ファイル」メニュー→「PDF の作成」→「スキャナ」の順にクリックします。



⇒「Acrobat Scan」画面が表示されます。

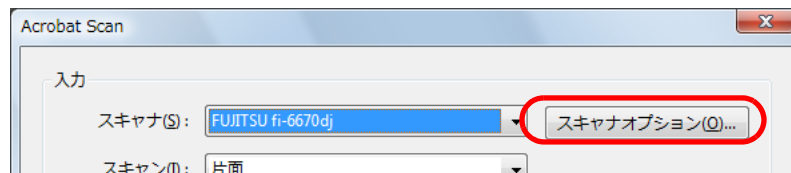
- 4 「スキャナ」に次のいずれかを指定します。
 - FUJITSU fi-6670dj
 - FUJITSU fi-6770dj
 - FUJITSU fi-6750Sj



デフォルト設定のまま読み取ると、期待どおりの画像を得られない場合があります。次のように設定を変更することをお勧めします。

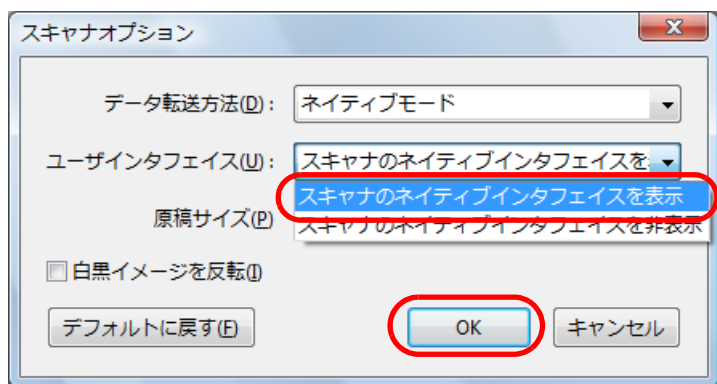
- 1 「検索可能にする (OCR 実行)」のチェックを外します。
- 2 最適化の [オプション] ボタンをクリックします。
⇒ 「最適化オプション」画面が表示されます。
- 3 「カスタム設定」を選択し、次の項目を変更します。
 - カラー / グレースケール : 劣化なし
 - 白黒 : JBIG2 または CCITT Group 4
 - 背景を除去 : オフ
 - 輪郭除去 : オフ

- 5 [スキャナオプション] ボタンをクリックします。



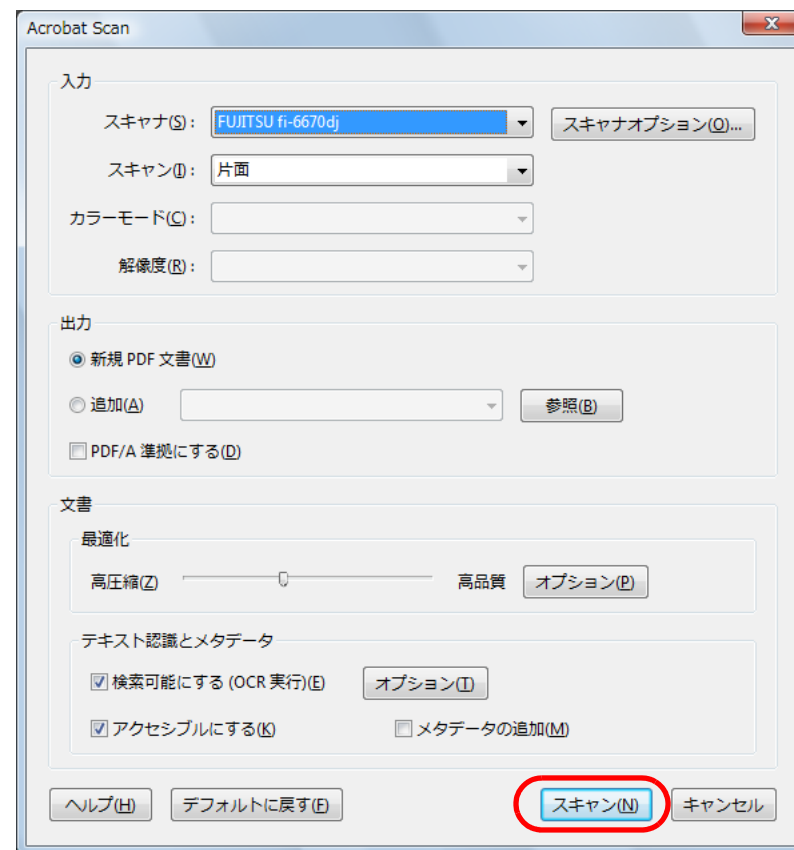
⇒「スキャナオプション」画面が表示されます。

- 6 「ユーザインタフェイス」で「スキャナのネイティブインタフェイスを表示」を選択し、[OK] ボタンをクリックします。



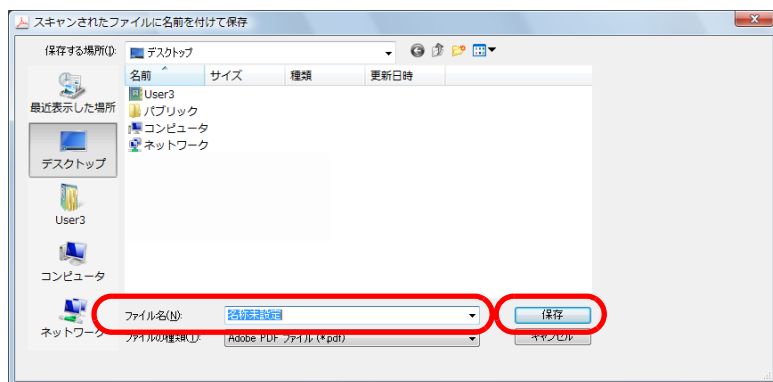
⇒「スキャナオプション」画面が閉じ、「Acrobat Scan」画面に戻ります。

- 7 [スキャン] ボタンをクリックします。



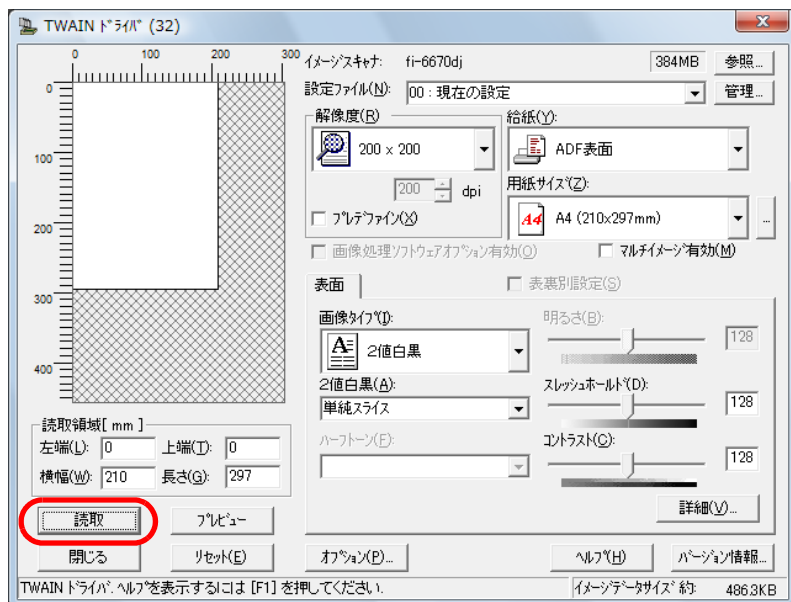
⇒「スキャンされたファイルに名前を付けて保存」画面が表示されます。

- 8 「ファイル名」で保存するファイルの名前を入力し、[保存] ボタンをクリックします。

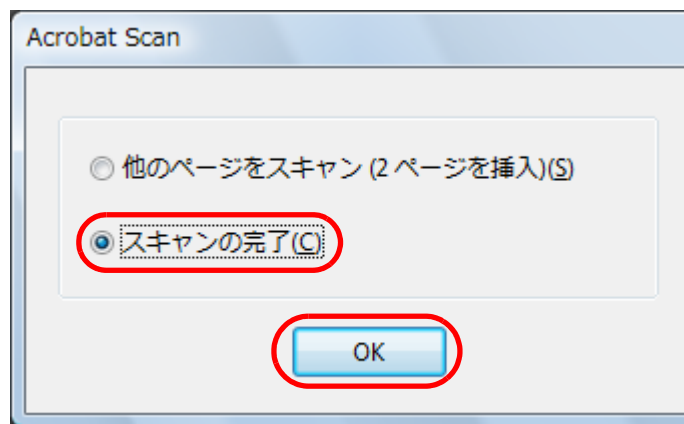


⇒「TWAIN ドライバ (32)」画面が表示されます。

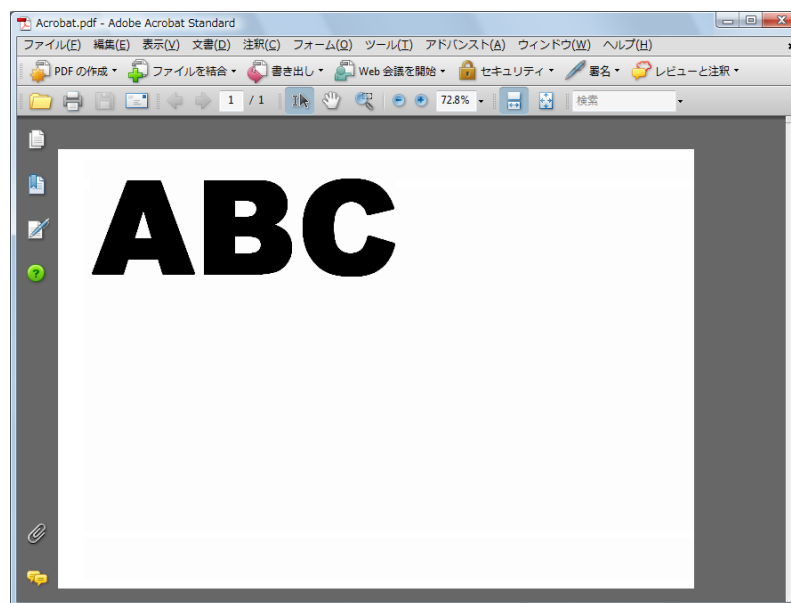
- 9 「解像度」、「用紙サイズ」などを設定して、[読取] ボタンをクリックします。



- 10 読み取りを終了するときは、「スキャンの完了」をクリックし、[OK] ボタンをクリックします。



⇒ 読み取った画像が表示されます。



Adobe Acrobat の操作については、Adobe Acrobat のヘルプを参照してください。



手順8の方法で画像を保存すると、データサイズが非常に大きくなる場合があります。データサイズを小さくしたい場合は、次の方法で保存しなおしてください。ただし、保存時に通常よりも時間がかかります。

- 1 「ファイル」メニュー → 「印刷」をクリックします。
- 2 「印刷」画面の「名前」から「Adobe PDF」をクリックします。



- 3 [プロパティ] ボタンをクリックします。
⇒ 「Adobe PDF のドキュメントプロパティ」画面が表示されます。
- 4 「Adobe PDF 設定」タブをクリックします。
- 5 ジョブオプションを選択します。
ここでは、例として「最小ファイルサイズ」を選択します。
- 6 [OK] ボタンをクリックします。
- 7 「印刷」画面で、[OK] ボタンをクリックします。
⇒ 「PDF ファイルの保存」画面が表示されます。
- 8 任意のファイル名を指定し、[保存] ボタンをクリックして保存します。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには


スキャナの動作設定

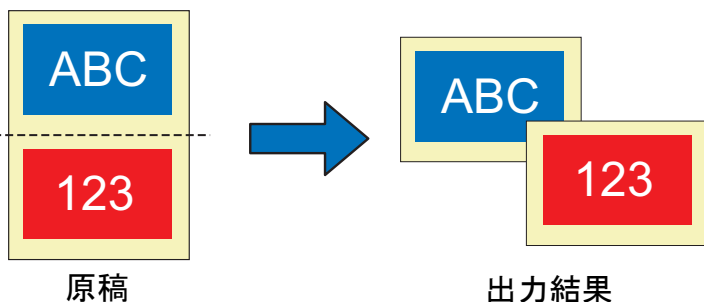
付録

用語集

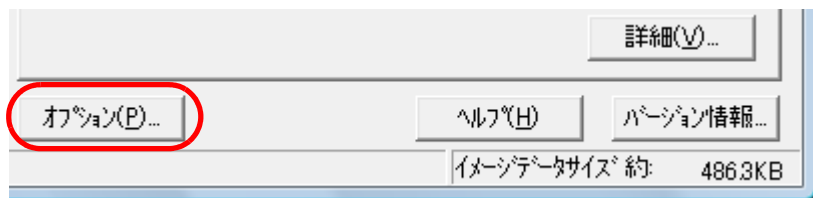
原稿を2分割して読み取りたいとき

読み取った原稿を上下に2分割して2ページ分のデータとして出力することができます。

 アプリケーションによっては、正しく動作しない場合があります。

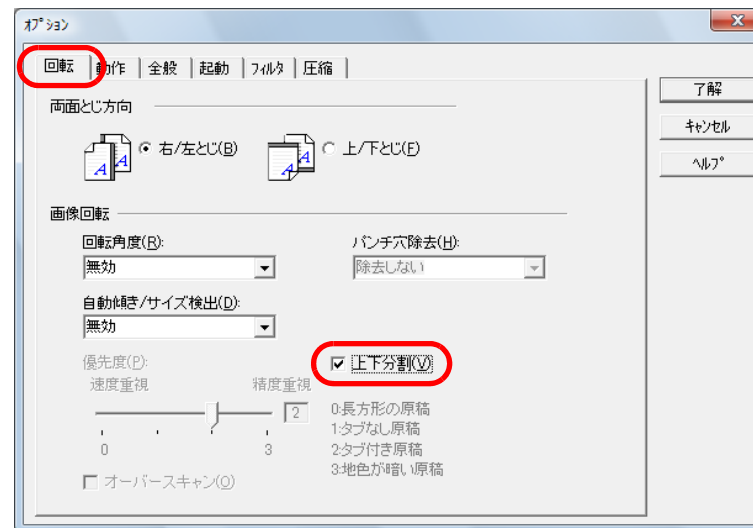



- 1 スキャナに原稿をセットします。
原稿をセットする方法については、「第2章 原稿のセット方法」(P.38)を参照してください。
- 2 ScandAll PRO を起動し、「TWAIN ドライバ (32)」画面を表示します。
「TWAIN ドライバ (32)」画面を表示する方法については、ScandAll PRO V2.0 ユーザーズガイドを参照してください。
- 3 [オプション] ボタンをクリックします。




⇒「オプション」画面が表示されます。

- 4 「回転」タブをクリックし、「上下分割」チェックボックスをチェックします。



-  両面読み取りの場合、裏面のイメージは、「両面とじ方向」の設定に従い、次の順に出力されます。
 - 右/左とじの場合： 上 → 下
 - 上/下とじの場合： 下 → 上

-  次の場合は、使用することはできません。
 - マルチイメージ出力指定時
 - カラー/モノクロ自動判別指定時

- 5 [了解] ボタンをクリックします。
⇒「TWAIN ドライバ (32)」画面に戻ります。
- 6 「TWAIN ドライバ (32)」画面で、[了解] ボタンをクリックします。
⇒ 設定が保存されます。

- 7** ScandAll PRO から、読み取りを実行します。
読み取り方法については、ScandAll PRO V2.0 ユーザーズガイドを参照してください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

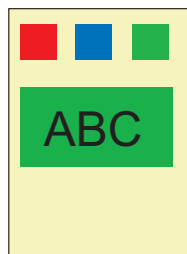
用語集

マルチイメージ出力したいとき

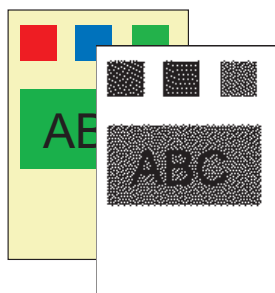
1度の読み取りで、カラー/グレースケール画像と、2値モノクロ画像の両方を出力（マルチイメージ出力）できます。



アプリケーションによっては、正しく動作しない場合があります。



原稿

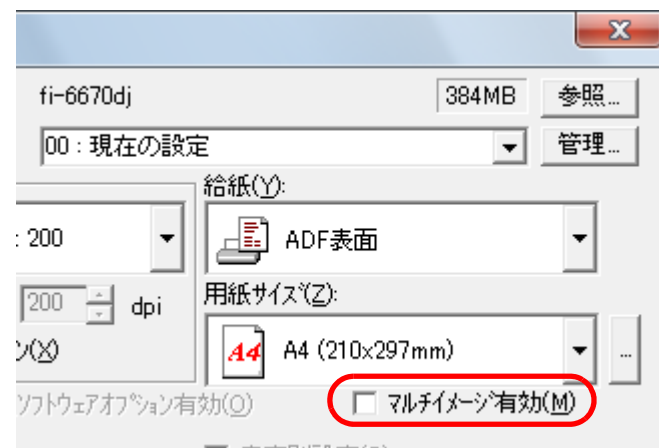


出力結果

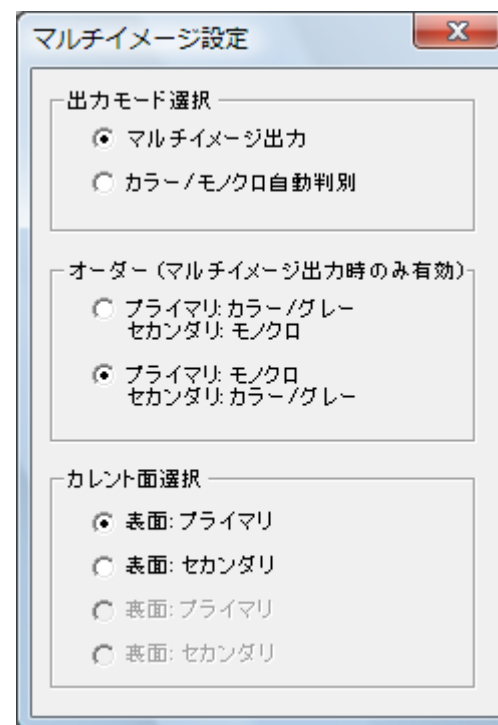
例: カラー原稿をマルチイメージ出力で読み取った場合

- 1 スキャナに原稿をセットします。
原稿をセットする方法については、「[第2章 原稿のセット方法](#) (P.38)」を参照してください。
- 2 ScandAll PRO を起動し、「TWAIN ドライバ (32)」画面を表示します。
「TWAIN ドライバ (32)」画面を表示する方法については、ScandAll PRO V2.0 ユーザーズガイドを参照してください。

- 3 「マルチイメージ有効」チェックボックスをチェックします。



⇒「マルチイメージ設定」画面が表示されます。



- 4 「出力モード選択」で「マルチイメージ出力」をクリックします。
- 5 「オーダー」で出力する順番をクリックします。
 - プライマリ：カラー/グレー
セカンダリ：モノクロ
「カラーまたはグレースケール画像」→「2値モノクロ画像」の順に出力されます。
 - プライマリ：モノクロ
セカンダリ：カラー/グレー
「2値モノクロ画像」→「カラーまたはグレースケール画像」の順に出力されます。
- 6 「カレント面選択」で設定する面をクリックします。
それぞれ、「TWAIN ドライバ (32)」画面で読み取り条件を設定します。
- 7 「TWAIN ドライバ (32)」画面で、[了解] ボタンをクリックします。
⇒ 設定が保存されます。
- 8 ScandAll PRO から、読み取りを実行します。
読み取り方法については、ScandAll PRO V2.0 ユーザーズガイドを参照してください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

読み取った原稿の色（カラー/モノクロ）を自動判別したいとき

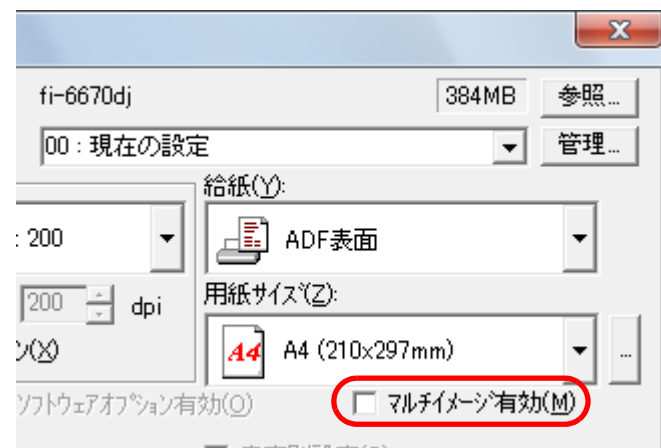
読み取った原稿の色（カラー/モノクロ）を自動判別し、カラー原稿の場合は、スキャナドライバの設定によってカラーまたはグレースケールで出力し、2値モノクロ原稿の場合は2値白黒で出力します。



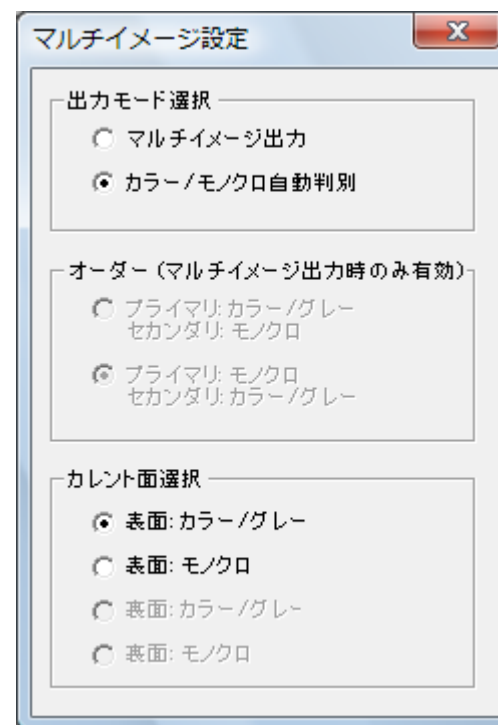
アプリケーションによっては、正しく動作しない場合があります。

- 1 スキャナに原稿をセットします。
原稿をセットする方法については、「[第2章 原稿のセット方法](#)」(P.38)を参照してください。
- 2 ScandAll PRO を起動し、「TWAIN ドライバ (32)」画面を表示します。
「TWAIN ドライバ (32)」画面を表示する方法については、ScandAll PRO V2.0 ユーザーズガイドを参照してください。

- 3 「マルチイメージ有効」チェックボックスをチェックします。



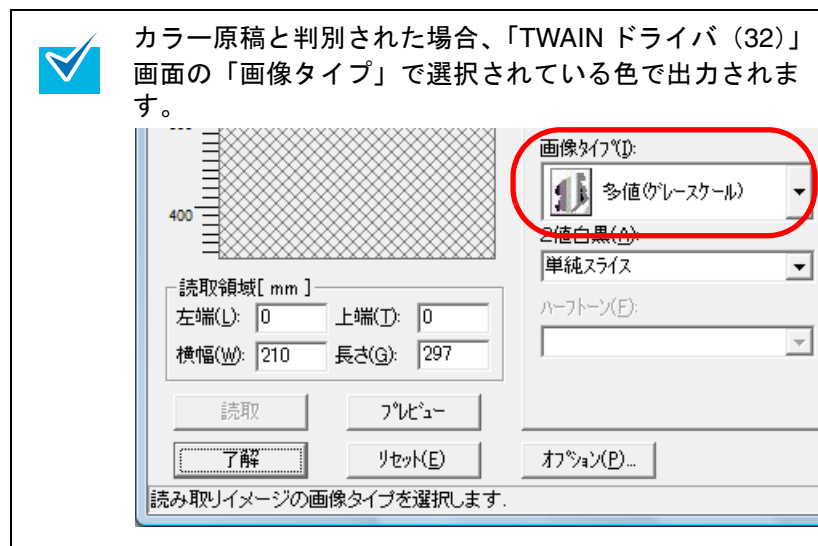
⇒「マルチイメージ設定」画面が表示されます。



4 「出力モード選択」で「カラー/モノクロ自動判別」をクリックします。

5 「カレント面選択」で設定する面をクリックします。
それぞれ、「TWAIN ドライバ (32)」画面で読み取り条件を設定します。

あらかじめ「カラー/グレー」と認識された場合の設定と、「モノクロ (2値白黒)」と認識された場合の読み取り設定をしておきます。



6 「TWAIN ドライバ (32)」画面で、[了解] ボタンをクリックします。

⇒ 設定が保存されます。

7 ScandAll PRO から、読み取りを実行します。

読み取り方法については、ScandAll PRO V2.0 ユーザーズガイドを参照してください。

4.5 読み取り時のスキャナの動作を変更する

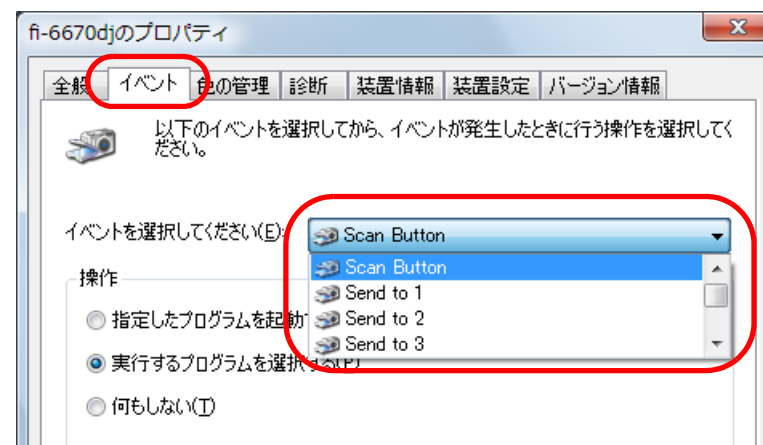
スキャナのボタンで読み取りを開始したいとき

スキャナの [Scan / Stop] ボタンおよび [Send to] ボタンを使用して、原稿を読み取ることができます。この場合は、起動するアプリケーションを各ボタンに設定する必要があります。

パソコン側の設定

- 1 スキャナとパソコンが接続されていることを確認し、スキャナの電源を投入します。
スキャナとパソコンの接続については、スタートアップガイドの「3 ケーブルを接続します」を参照してください。
- 2 「スタート」メニュー→「コントロールパネル」をクリックします。
⇒「コントロールパネル」画面が表示されます。
- 3 「ハードウェアとサウンド」のアイコンをクリックします。
⇒「ハードウェアとサウンド」画面が表示されます。
- 4 「スキャナとカメラ」のアイコンをクリックします。
⇒「スキャナとカメラ」画面が表示されます。
- 5 スキャナのプロパティを表示します。
「fi-6670dj」、「fi-6770dj」、または「fi-6750Sj」のアイコンをダブルクリックします。

- 6 「イベント」タブをクリックし、イベントを選択します。「イベントを選択してください」のメニューから、アプリケーションを起動するイベントを選択します。



本機能では、次のイベントを選択できます。

- Scan Button ([Scan / Stop] ボタンを押したとき)
- Send to 1-9 (ファンクションナンバーディスプレイに1~9の数字を表示させた状態で [Send to] ボタンを押したとき)

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

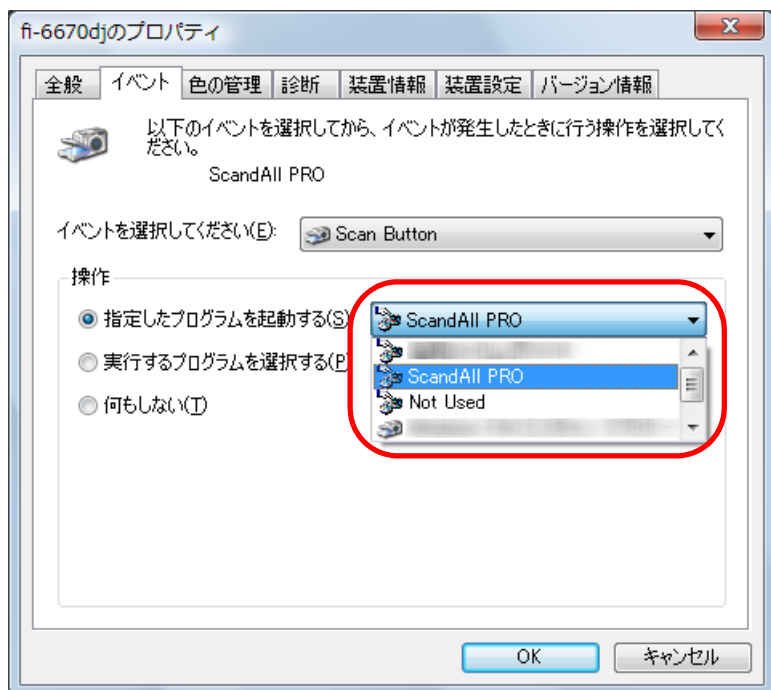
困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

- 7 イベントで起動するアプリケーションと実行する処理を選択します。
「操作」の下の「指定したプログラムを起動する」をクリックして、右のメニューからアプリケーションをクリックします。



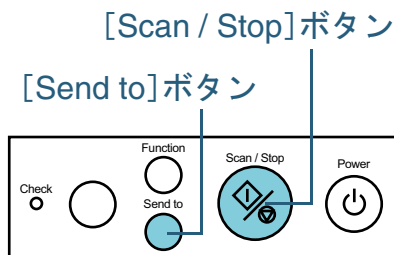
- 8 [OK] ボタンをクリックします。
ScandAll PRO を使用する場合、ScandAll PRO V2.0 ユーザーズガイドを参照してください。
ScandAll PRO 以外のアプリケーションを使用する場合、パソコン側の設定はこれで終了です。
続けて、スキャナ側の設定を行ってください。



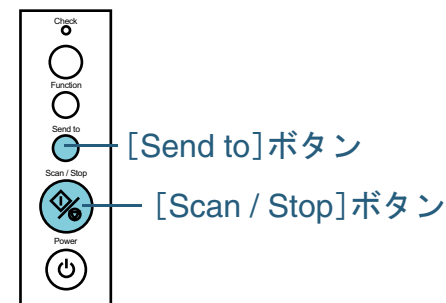
- お使いの OS によって表示される画面および操作が異なります。
- 複数のボタンを設定する場合は、手順 5～8 を繰り返します。

スキャナ側の設定

ADF タイプ



フラットベッドタイプ



- [Scan / Stop] ボタンを使う場合
特に設定することはありません。
⇒ [Scan / Stop] ボタンを押すと、設定したアプリケーションが起動します。
- [Send to] ボタンを使う場合
[Function] ボタンを押して、ファンクションナンバーディスプレイの数字を切り替えます。
パソコン側で設定したイベント (Send to 1～9) と数字を合わせます。
たとえば「Send to 2」のイベントを実行する場合は、ファンクションナンバーディスプレイに「2」を表示させます。
⇒ [Send to] ボタンを押すと、設定したアプリケーションが起動します。



- 操作パネルの詳細については、「1.3 操作パネルについて」(P.28) を参照してください。
- [Function] ボタンを押すたびに「1, 2, 3, …9, C, 1, 2, 3, …」と変化します。

マルチフィードを検出したいとき

マルチフィードとは、一度に2枚以上の原稿が重なってADF給紙シュートに送り込まれてしまう現象のことです。

マルチフィードを検出し、エラーメッセージを表示するように設定することができます。

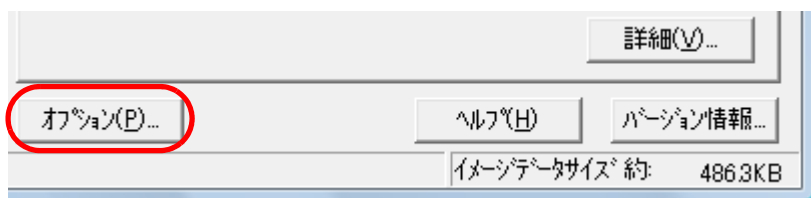
マルチフィードの設定は、スキャナドライバか Software Operation Panel で行います。

Software Operation Panel による設定方法は、「[マルチフィード検出方法の設定](#)」(P.170)を参照してください。

1 ADF 給紙シュートに原稿をセットします。
原稿を ADF 給紙シュートにセットする方法については、「[2.1 ADF に原稿をセットする場合](#)」(P.39)を参照してください。

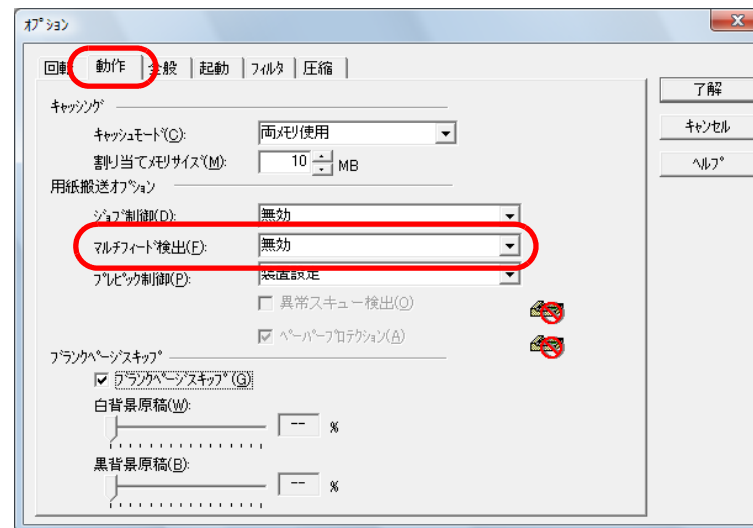
2 ScandAll PRO を起動し、「TWAIN ドライバ (32)」画面を表示します。
「TWAIN ドライバ (32)」画面を表示する方法については、ScandAll PRO V2.0 ユーザーズガイドを参照してください。

3 [オプション] ボタンをクリックします。



⇒「オプション」画面が表示されます。

4 「動作」タブをクリックし、「用紙搬送オプション」の「マルチフィード検出」から、検出条件を指定します。



次の検出条件があります。

検出条件	説明
無効	マルチフィード検出を行いません。
重なりと長さの違いを検出	重なりと長さの両方を監視し、マルチフィード検出を行います。
重なりを検出	ADF 内部に設置された超音波センサーを使って、搬送される原稿を監視し、原稿が重なって搬送されたときに超音波の変化によってマルチフィード検出を行います。
長さの違いを検出	搬送される原稿の長さを監視し、原稿が重なって搬送されたときの長さの変化によってマルチフィード検出を行います。

マルチフィード検出の詳細については、「[マルチフィードを正しく検出するための条件](#)」(P.46)を参照してください。

- 5 [了解] ボタンをクリックします。
⇒「TWAIN ドライバ (32)」画面に戻ります。
- 6 「TWAIN ドライバ (32)」画面で、[了解] ボタンをクリックします。
⇒ 設定が保存されます。
- 7 ScandAll PRO から、読み取りを実行します。
読み取り方法については、ScandAll PRO V2.0 ユーザーズガイドを参照してください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

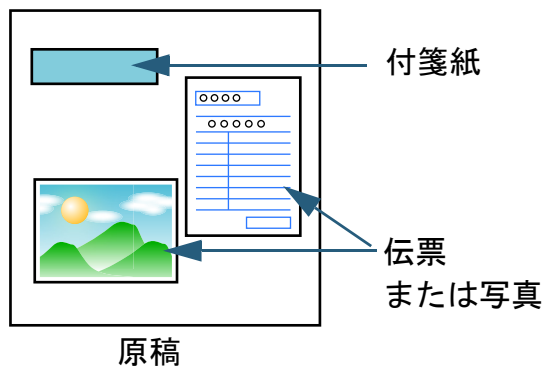
付録

用語集

決まった条件のマルチフィードを無効にしたいとき

マルチフィード検出機能を有効にして、付箋紙、伝票、または写真などが貼り付けてある原稿を読み取ると、原稿が重なっていると判断され、マルチフィードエラーが発生して読み取りが中断される場合があります。このような原稿を読み取るために「インテリジェントマルチフィード機能」があります。

本機能には、操作パネルを使用して、強制的にマルチフィードエラーを発生させないモードと、原稿に貼り付けてある付箋紙、伝票、または写真など（以下「貼り付け紙片」と呼びます）の場所や大きさを記憶し、それをもとに自動的にマルチフィードエラーを発生させないモードがあります。



インテリジェントマルチフィード機能

用途に応じて、次の3つのモードが用意されています。

モード	用途
手動モード（ボタンによる検出無効化）	マルチフィードエラー発生ごとに貼り付け紙片があるかどうかを確認しながら読み取りを継続する場合に使用します。
自動モード1（重なり長さ位置による検出無効化）	貼り付け紙片の大きさおよび位置が共通である、定型フォーマットを読み取る場合に使用します。
自動モード2（重なり長さによる検出無効化）	貼り付け紙片の大きさおよび位置が、読み取る原稿ごとに異なる場合に使用します。



マルチフィードが発生する際には、異常なイメージが読み取られる場合があります。

モードの選択は、Software Operation Panelで行います。詳細については、「[マルチフィード検出しない範囲の設定（インテリジェントマルチフィード設定）](#)」（P.175）を参照してください。

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

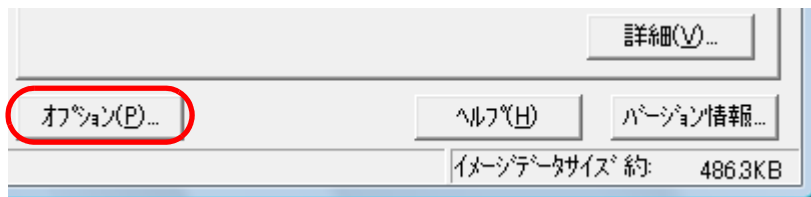
本機能を使用するための事前準備

本機能を使用する前に次の設定をしておいてください。

■TWAIN ドライバの場合

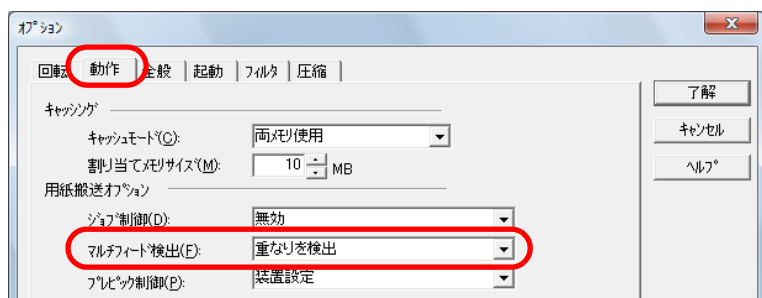
1 ScandAll PRO を起動し、「スキャン」メニュー → 「スキャナの設定」をクリックします。
⇒「TWAIN ドライバ (32)」画面が表示されます。

2 [オプション] ボタンをクリックします。

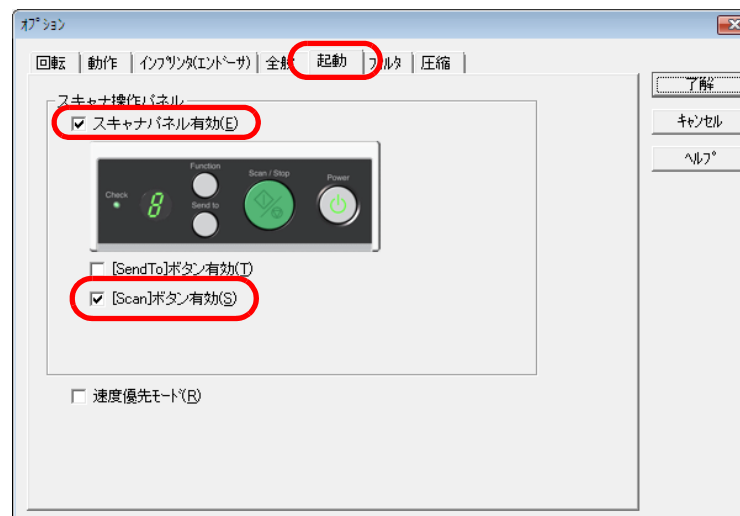


⇒「オプション」画面が表示されます。

3 「動作」タブをクリックし、「マルチフィード検出」で「重なりを検出」または「重なりと長さの違いを検出」を選択します。

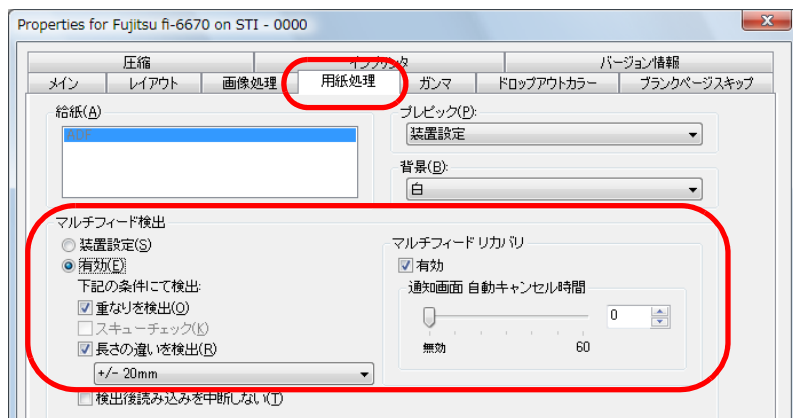


4 「起動」タブをクリックし、「スキャナパネル有効」チェックボックスおよび「[Scan] ボタン有効」チェックボックスをチェックします。



■ISIS ドライバの場合

- 1 ScandAll PRO を起動し、「スキャン」メニュー → 「スキャナの設定」をクリックします。
⇒ ISIS ドライバの設定画面が表示されます。
- 2 「用紙処理」タブをクリックし、次のように設定します。
 - 「マルチフィード検出」の「有効」を選択し、「マルチフィード検出」の「重なりを検出」チェックボックスをチェックします。
 - 「マルチフィードリカバリ」の「有効」チェックボックスをチェックします。



- 3 「通知画面 自動キャンセル時間」にご希望の時間（分）を指定します。

操作方法

- 1 マルチフィードエラー発生後、[Send to] ボタンを押して搬送路から原稿を排出するか、ADF を開けて原稿を取り除きます。
原稿が取り除かれると、操作パネル上のファンクションナンバーディスプレイ表示が次のように変わります。

マルチフィード発生状態

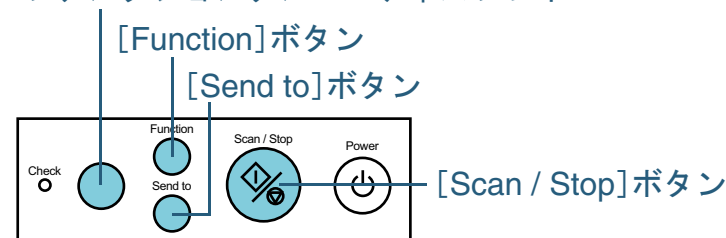
原稿排出状態

「J」「2」が交互に表示 → ファンクションナンバーが点滅

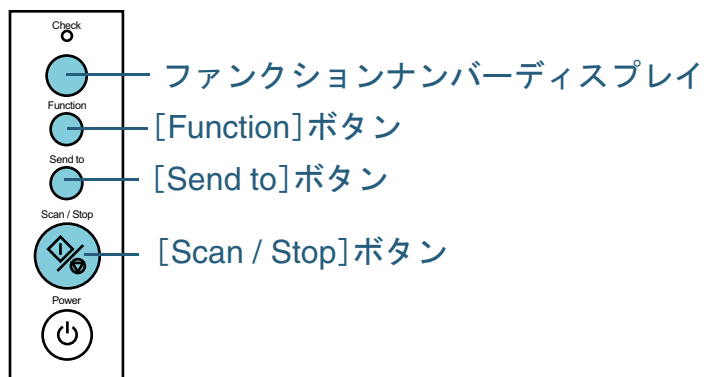
- 2 取り除いた原稿を ADF 給紙シュートに戻します。
紙片が原稿に貼られておらず、実際にマルチフィードエラーが発生している場合は、[Scan / Stop] ボタンを押すか、パソコンから再読み取りを実行します（[Function] ボタンは押さないでください）。紙片が原稿に貼られており、それがマルチフィードの原因と思われる場合は次の手順に進みます。

ADF タイプ

ファンクションナンバーディスプレイ



フラットベッドタイプ



ファンクションナンバーディスプレイ

[Function] ボタン

[Send to] ボタン

[Scan / Stop] ボタン

3 [Function] ボタンを押し、ファンクションナンバーの点滅が速くなったのを確認してから [Scan / Stop] ボタンを押すか、パソコンから再読み取りを実行します。

なお、これ以降 [Function] ボタンを押す度にディスプレイの点滅速度が、"遅い" ⇄ "速い" の間で切り替わります。点滅速度が早い状態で読み取られる場合、設定されたモードにより、次のように動作します。

- 手動モード（ボタンによる検出無効化）
最初の原稿だけマルチフィードを検出しないで読み取り、2枚目以降は Software Operation Panel またはドライバに由来からあるマルチフィード設定でマルチフィードを検出します。
- 自動モード1（重なり長さや位置による検出無効化）
マルチフィードとして検出された貼り付け紙片の長さや位置を記憶し、読み取りを継続します。それ以降の読み取りで、記憶した同様な重なりパターンが検出された場合は、自動的にマルチフィードエラーを発生させません（*1）（*2）。
- 自動モード2（重なり長さによる検出無効化）
マルチフィードとして検出された貼り付け紙片でもっとも長いものを記憶し、読み取りを継続します。それ以降の読み取りで、記憶した長さと同じか短い重なりが検出された場合は、自動的にマルチフィードエラーを発生させません（*2）。

*1：本モードで記憶できる重なりパターンは32個です。この数を超えた場合は、最初に記憶されたパターンから順に消去されます。

*2：ここで記憶された重なりパターンや最大重なり長は、ファンクションナンバーが点滅した状態で、[Function] ボタンを2秒以上押すことで消去できます。消去するとファンクションナンバーディスプレイに「□」が表示されます。これにより、誤って記憶された重なりパターンや最大重なり長を消去できます。ただし、記憶しているパターンすべてが消去されるため、注意して操作してください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

第5章 日常のお手入れ

この章では、スキャナの清掃方法について説明します。

注意



- スキャナ使用時は ADF 内部のガラスは高温になります。
- 内部の清掃を行うときは、電源を切断し、電源ケーブルをコンセントから抜いて 15 分以上待って温度が下がってから行ってください。
- フィードローラの清掃をするときは、電源を切断し、電源ケーブルをコンセントから抜いてから、15 分以上待ったあと、再び電源を投入して行います。

警告


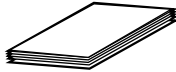



- 清掃などの目的でエアスプレーおよびアルコールなどを含むスプレーは使用しないでください。スプレーから噴射される強い空気によって、ほこりなどが装置内部に侵入し、故障や装置異常の原因となる場合があります。また、静電気などによるスパーク（火花）により引火するおそれがあります。

5.1 清掃用品および清掃が必要な場所.....	106
5.2 ADF を清掃します	108
5.3 フラットベッドを清掃します（フラットベッドタイプのみ）.....	113

5.1 清掃用品および清掃が必要な場所

清掃用品

清掃用品	型名	備考
クリーナ F1 	FI-C100CF1	1 ボトル (100ml) 布にしみこませて使用します。大量に使用すると、乾きにくい場合があります。適量を布にしみこませて使用してください。また、清掃箇所にクリーナ F1 が残らないように布で本剤をよく拭き取ってください。
クリーナ F2 	FI-C100CF2	1 ボトル (80ml) プラスチックローラの清掃にのみ使用します。
クリーニングペーパー 	FI-C100CP	クリーナ F1 と共に使用します。
クリーニングワイプ 	FI-C100CW	1 箱 (24 袋入り) クリーナ F1 をしみこませたウェットティッシュタイプのクリーナです。クリーナ F1 を布にしみこませる代わりに、本品を使用することができます。
綿棒	市販のもの	
乾いた布		
ScanAid (*1)	FI-677SA	-

*1 : ScanAid の詳細については、「付 .4 スキャナのオプション」 (P.187) を参照してください。



注意

クリーナ F2 で、ゴム製のローラは清掃しないでください。ゴムが変質することがあります。

清掃用具の詳細については、スキャナをご購入された弊社 / 販売店または「株式会社 PFU PFU ダイレクト」 (P.193) にお問い合わせください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

清掃部品と清掃頻度

清掃箇所		クリーナ F1 を吹き付けた クリーニングペーパー (10,000 枚読み取りごと)	クリーナ F1 をしみ込ませた布 / クリーニングワイプ (10,000 枚読み取りごと)	クリーナ F2 をつけた綿棒 (よごれがひどい場合)
フラットベッド	原稿押さえパッド	—	○	—
	原稿台	—	○	—
ADF	シュートローラ	—	○	—
	ピックアップアーム	—	○	—
	ピックアップローラ	○	○	—
	ブレーキローラ	○	○	—
	フィードローラ	○	○	—
	プラスチックローラ	○	○	○
	シートガイド / ガラス	○	○	—
超音波センサー	乾いた柔らかい布	—	—	

○ : 清掃可能

— : 清掃不可

**注意**

クリーナ F2 で、ゴム製のローラは清掃しないでください。ゴムが変質することがあります。



原稿の状態によっては、清掃周期が短くなる場合があります。また、次のような原稿を使用している場合は、頻りに清掃する必要があります。

- コート紙のように表面が滑らかな原稿
- ほぼ全面に印刷してある原稿
- ノーカーボン紙のように特殊加工してある原稿
- カルシウムを多く含む原稿
- 鉛筆書きの原稿を多数読み取る場合
- トナーが十分定着していない原稿

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

5.2 ADF を清掃します

ADF の清掃は、目安として 10,000 枚読み取りごとに行ってください。ただし、この目安は読み取る原稿によって変わります。たとえば、トナーが十分定着していない原稿の場合、より少ない枚数で清掃が必要となることがあります。



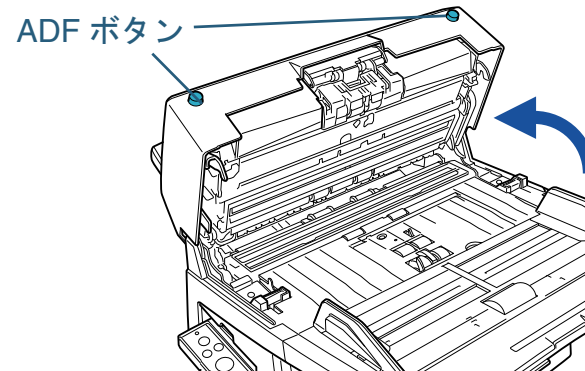
注意

スキャナ使用時は、ADF 内部のガラスが高温になります。内部の清掃を行う場合は、電源ケーブルをコンセントから抜き、15 分以上待ってから清掃を行ってください。

クリーナ F1 をしみ込ませた布での清掃

- 1 スキャナの電源を切断し、15 分以上待ちます。電源を切断する方法については、「1.4 電源の投入 / 切断について (P.31)」を参照してください。

- 2 ADF ボタンを押しながら、ADF を開きます。



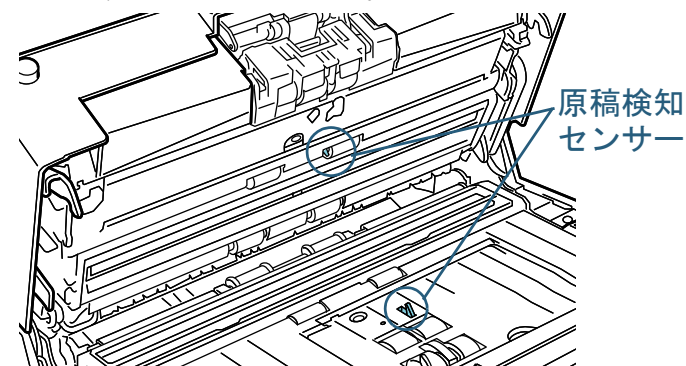
注意

ADF が閉まり、指などはさむおそれがあります。ご注意ください。

- 3 クリーナ F1 をしみこませた布で、次の場所を清掃します。

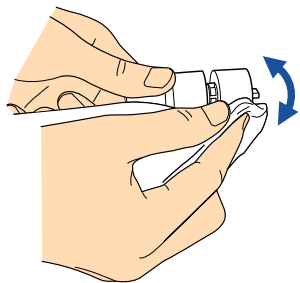


清掃の際は、布を原稿検知センサーに引っ掛けて破損しないように注意してください。



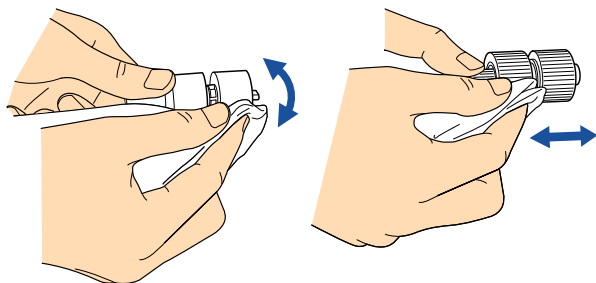
ブレーキローラ

ローラの表面をいためないように、ローラ表面を軽く清掃します。ブレーキローラはスキャナから取り外して清掃します。ブレーキローラの取り外し方法は、「6.3 ブレーキローラを交換します」(P.118)を参照してください。



ピックローラ

ローラの表面をいためないように、ローラ表面を軽く清掃します。溝があるローラは、ローラの表面の溝に沿って軽く清掃します。特に黒い異物が付着している場合、給紙性能に影響がでますので、清掃を十分に行ってください。ピックローラの取り外し方法は、「6.2 ピックローラを交換します」(P.116)を参照してください。

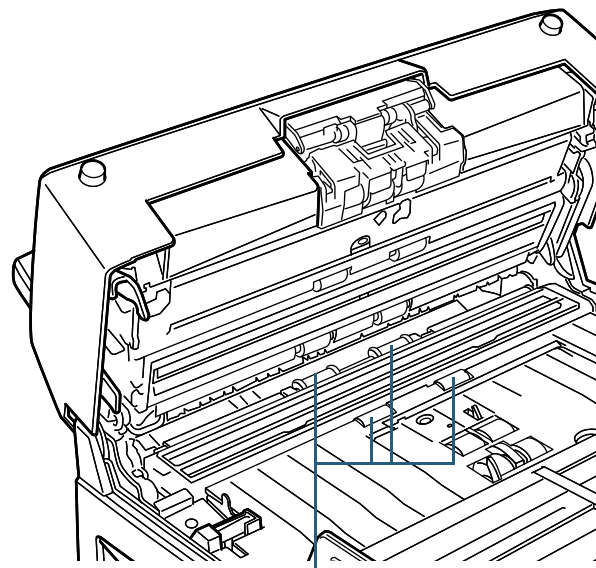


溝のないローラ

溝のあるローラ

プラスチックローラ

ローラの表面を荒らさないように、軽く清掃します。特に黒い異物が付着している場合、給紙性能に影響がでますので、清掃を十分に行ってください。このとき、プラスチックローラの両端に取り付けてあるスポンジを傷めないように注意してください。



プラスチックローラ (4個)

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

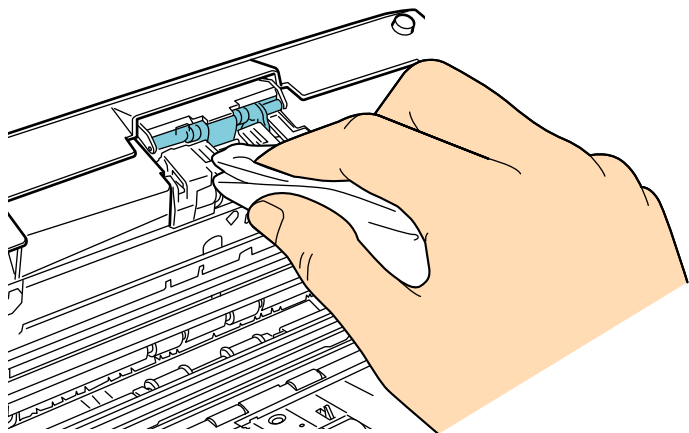
スキャナの動作設定

付録

用語集

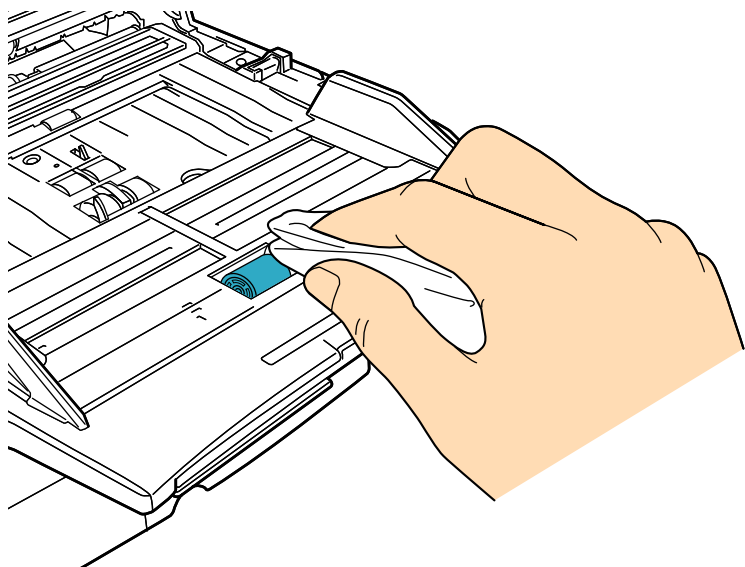
ピックアップアーム

ピックアップアーム先端のローラを軽く清掃します。



シュートローラ

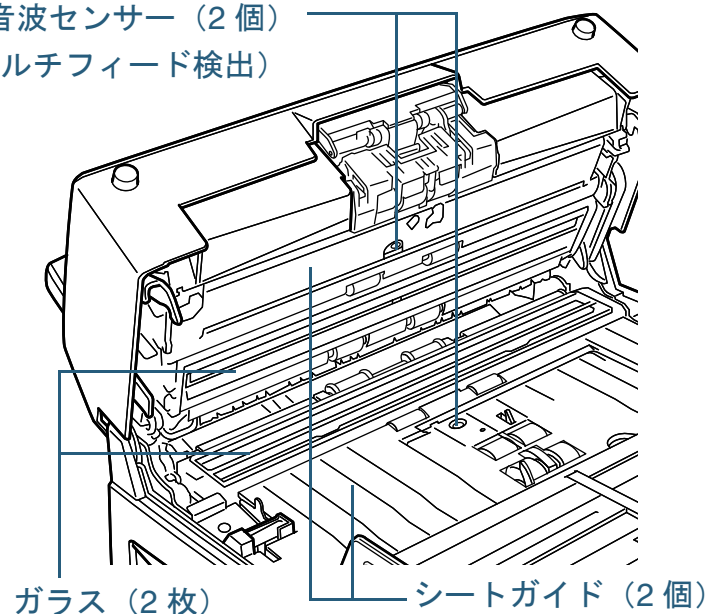
シュートローラカバーを開いたまま、シュートローラを軽く清掃します。



ガラス/シートガイド/超音波センサー

軽く清掃します。

超音波センサー (2個)
(マルチフィード検出)



ガラスがよごれていると、読み取った画像に縦線が出ることがあります。

- 4 スキャナの電源を投入し、フィードローラを清掃します。電源を投入する方法については、「[1.4 電源の投入 / 切断について](#)」(P.31)を参照してください。

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

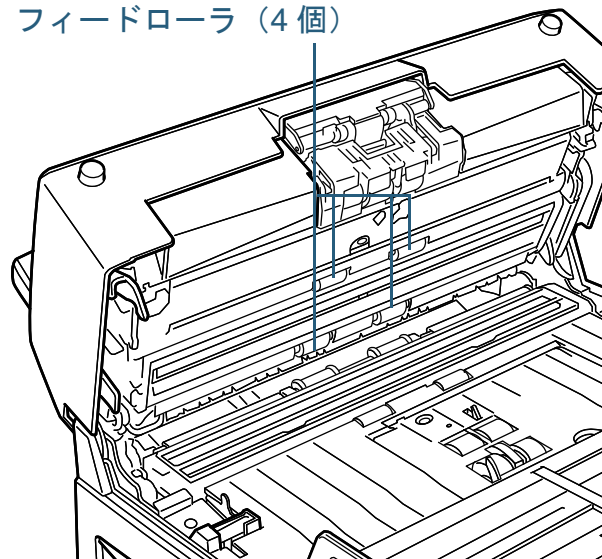
困ったときには

スキャナの動作設定

フィードローラ

清掃手順を次に示します。

フィードローラ (4個)



- 1 電源を入れた状態で、操作パネルのファンクションナンバーディスプレイに「P」以外が表示されているときに ADF を開いてください。なお、「P」が表示されている状態で ADF を開き、次の操作を行ってもフィードローラは回転しません。
- 2 操作パネルの [Send to] ボタンと [Scan / Stop] ボタンを同時に押すと、フィードローラが一定量回転します。

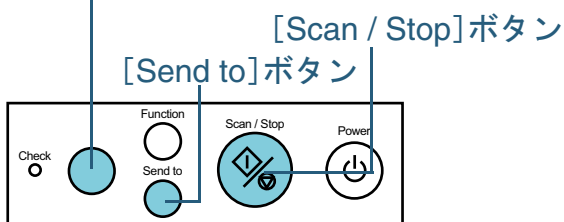


注意

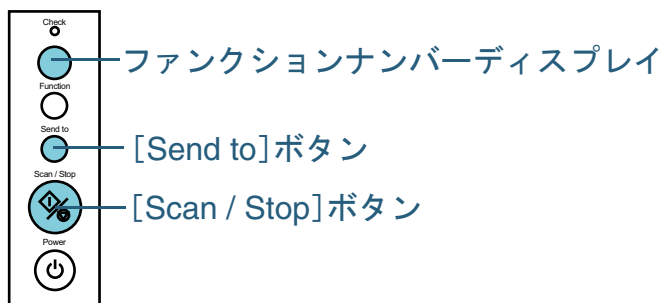
ローラを回転させると、フィードローラが同時に回転します。フィードローラを清掃する場合、回転中のローラに手が触れないように、注意してください。

- 3 クリーナ F1 を浸した布をローラ表面に押し当て、ローラを回転させながらローラの表面を軽く清掃します。特に黒い異物が付着している場合、給紙性能に影響がでますので、清掃を十分に行ってください。なお、目安として、[Send to] ボタンと [Scan / Stop] ボタンを同時に7回押すと、フィードローラが1回転します。

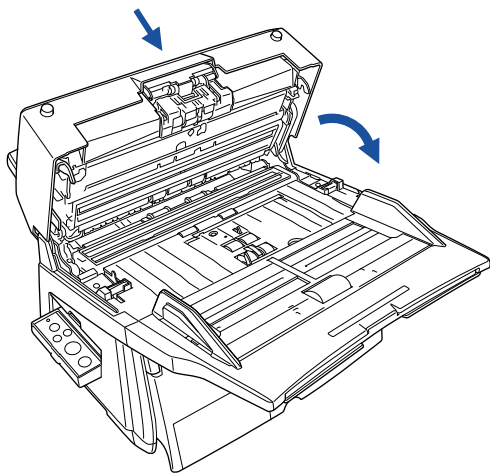
ADF タイプ ファンクションナンバーディスプレイ



フラットベッドタイプ



- 5 ADF を閉じます。
「カチン」という音になるまで、ADF の中央を押し込んでください。



ADF が完全に閉じていることを確認してください。完全に閉じられていないと、読み込みができないおそれがあります。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

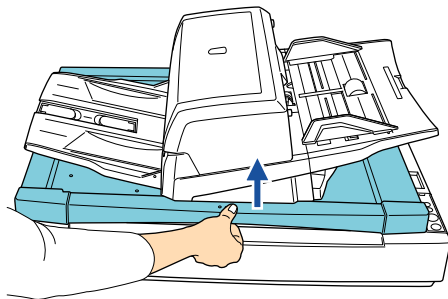
スキャナの動作設定

付録

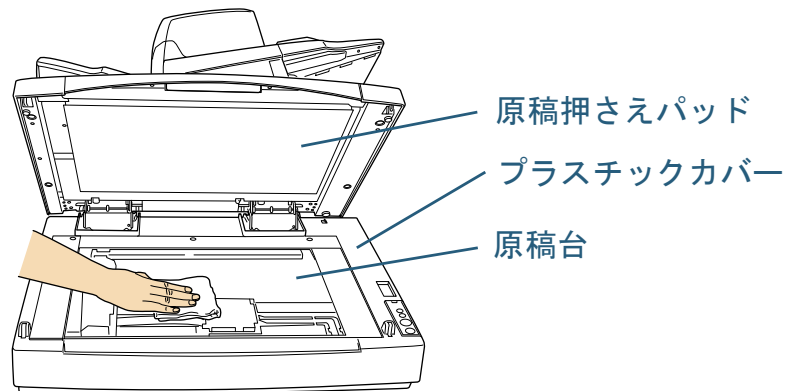
用語集

5.3 フラットベッドを清掃します（フラットベッドタイプのみ）

- 1 ハンドルをつかんでドキュメントカバーを開きます。



- 2 クリーナ F1 を浸した布で、次の場所を軽く清掃します。



原稿台とプラスチックカバーの隙間にクリーナが染み込まないように注意してください。

- 3 乾くまで待ちます。
- 4 ドキュメントカバーをゆっくりと閉じます。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

第6章 消耗品の交換

この章では、スキャナの消耗品の交換について説明します。

注意

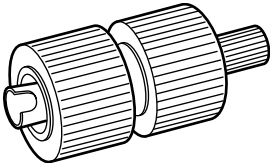
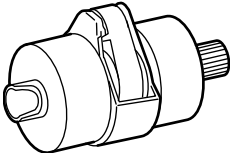
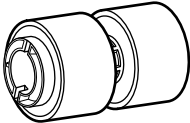


- スキャナ使用時は ADF 内部のガラスは高温になります。
- 消耗品の交換を行うときは、電源を切断し、電源ケーブルをコンセントから抜いて 15 分以上待って温度が下がってから行ってください。

6.1 消耗品と交換周期.....	115
6.2 ピックローラを交換します.....	116
6.3 ブレーキローラを交換します.....	118

6.1 消耗品と交換周期

スキャナに使用される消耗品を次の表に示します。

品名	型名	交換周期（目安）
ピックローラ  	FI-C677PR	250,000 枚または 1 年ごと
ブレーキローラ 	FI-C677BR	250,000 枚または 1 年ごと
ScanAid (*1)	FI-677SA	-

*1：ScanAidの詳細については、「付.4 スキャナのオプション」（P.187）を参照してください。

消耗品は定期的に交換することが必要です。寿命前にあらかじめ消耗品を準備されることをお勧めします。また、スキャナでは、各消耗品取り付け後の読み取り原稿枚数（ピックアップローラ、ブレーキローラ）をそれぞれ記録していますので、使用状況を確認することができます。

確認したい場合は、「8.3 消耗品 / 清掃カウンタに関する設定」（P.156）を参照してください。

交換周期は、A4 原稿 (80 g/m²) の上質紙または中質紙を使用した場合の目安であり、使用する原稿、お客様の使用頻度、および清掃の頻度によって異なります。



当社指定の消耗品以外は使用しないでください。

消耗品のご購入については、「株式会社 PFU PFU ダイレクト」（P.193）にお問い合わせください。

お客様の使用頻度、読み取る原稿の種類によっては、消耗品以外にもサービスエンジニアによる交換が必要な部品が発生します。詳細は、サポートエンジニアまたは当社のサービスセンター（「株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター」（P.192））にお問い合わせください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換


困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

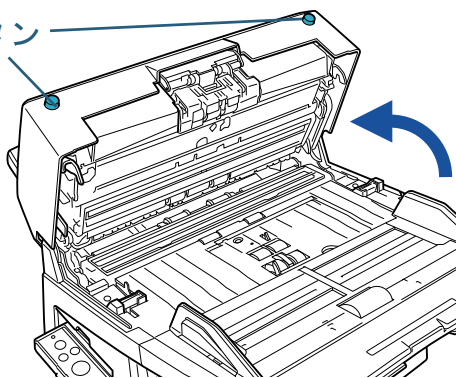
6.2 ピックローラを交換します

 ピックローラは、2個あります。ピックアップローラを交換する場合は、必ず2個同時に交換してください。

1 ADF 給紙シュートに原稿がある場合は、原稿を取り除きます。

2 ADF ボタンを押しながら、ADF を開きます。

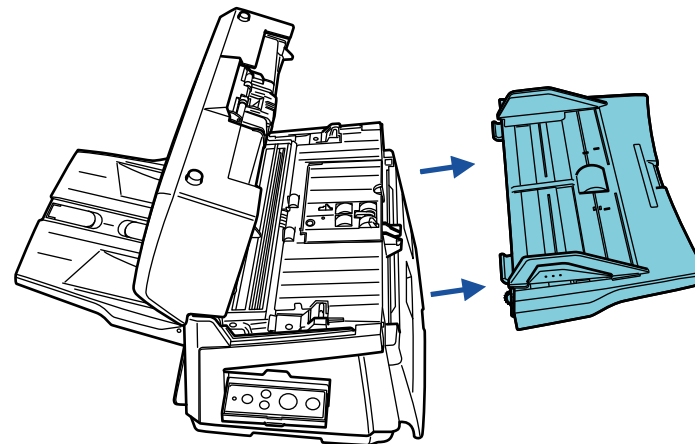
ADF ボタン



注意

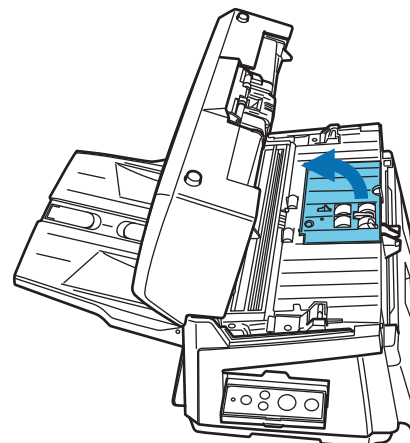
ADF が閉まり、指などはさむおそれがあります。ご注意ください。

3 ADF 給紙シュートを取り外します。



4 ピックローラ (2個) をスキャナから取り外します。

1 ピックローラカバーを開きます。



TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

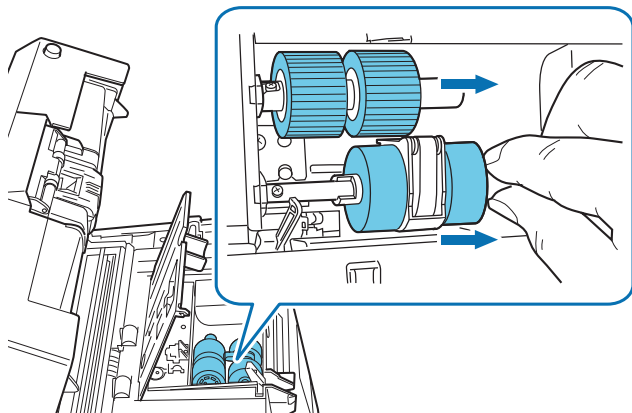
困ったときには

スキャナの動作設定

付録

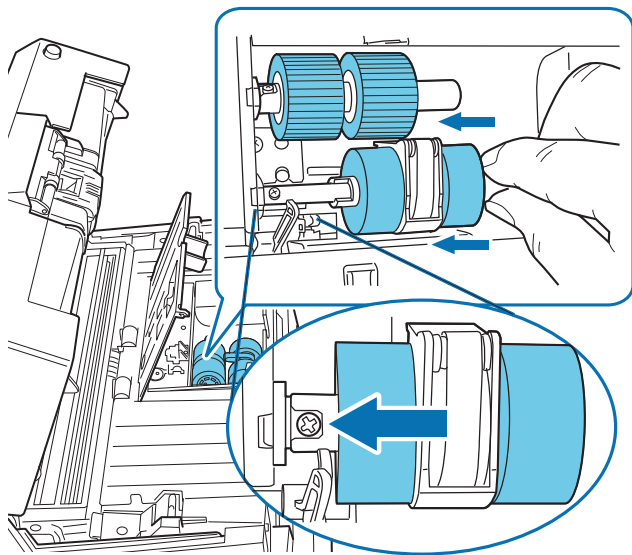
用語集

2 ピックローラ（2個）をスキヤナの回転軸から抜き取ります。



5 新しいピックアップローラ（2個）をスキヤナに取り付けます。

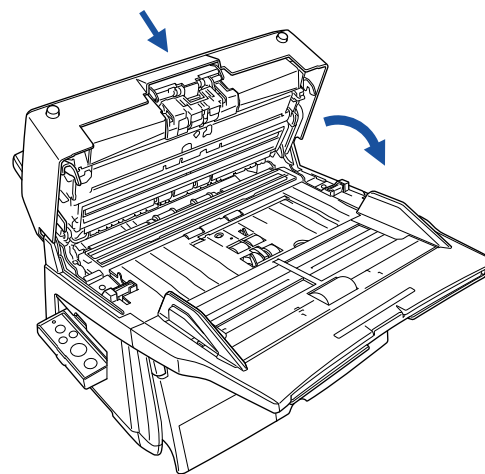
1 スキヤナの回転軸にピックアップローラ（2個）を取り付けます。
このとき、ピックアップローラの凹部がスキヤナの回転軸のねじにはまるように差し込んでください。



2 ピックローラカバーを閉じます。ピックアップローラカバーの両側が確実にロックしているか確認してください。

6 ADF 給紙シュートを取り付けます。

7 ADF を閉じます。
「カチン」という音が出るまで、ADF の中央を押し込んでください。



注意

ADF が閉まり、指などはさむおそれがあります。ご注意ください。



- ピックローラカバーを開けたまま、ADF を閉じないでください。
- ピックローラがしっかりと取り付けられていることを確認してください。ピックアップローラがしっかりと取り付けられていないと、原稿づまりなどの給紙エラーが起きます。

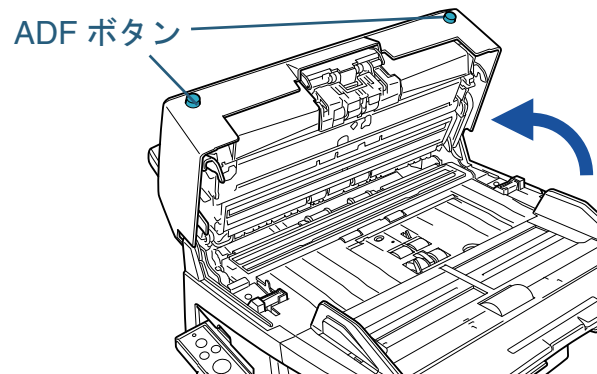
8 ピックローラカウンタをリセットします。

Software Operation Panel を起動し、カウンタをリセットします。詳細については、「消耗品 / 清掃カウンタのリセット」(P.157) を参照してください。

6.3 ブレーキローラを交換します

1 ADF 給紙シュートに原稿がある場合は、原稿を取り除きます。

2 ADF ボタンを押しながら、ADF を開きます。

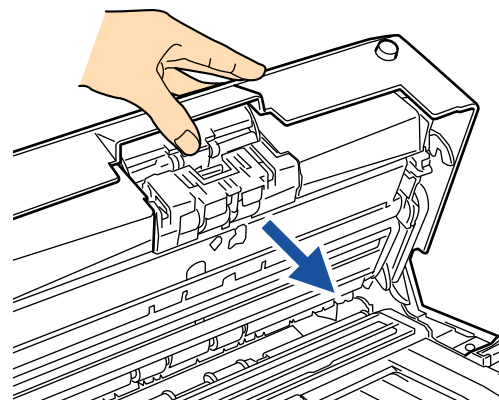


注意

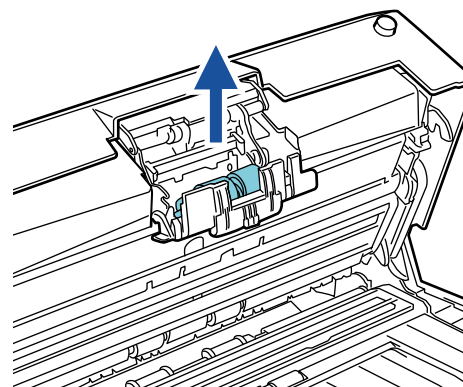
ADF が閉まり、指などをはさむおそれがあります。ご注意ください。

3 ブレーキローラをスキャナから取り外します。

1 ピックアームを押さえたまま、ブレーキローラホルダーを矢印の方向に開きます。



2 ブレーキローラを抜き取ります。



TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

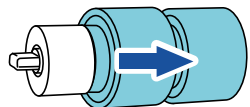
困ったときには

スキャナの動作設定

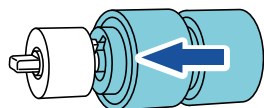
付録

用語集

4 ブレーキローラを軸から取り外します。

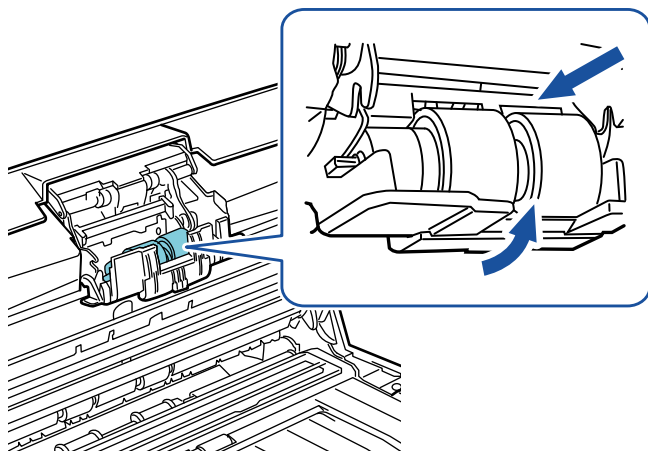


5 新しいブレーキローラを取り付けます。
軸の溝と回転軸の突起部分をはめ合わせます。

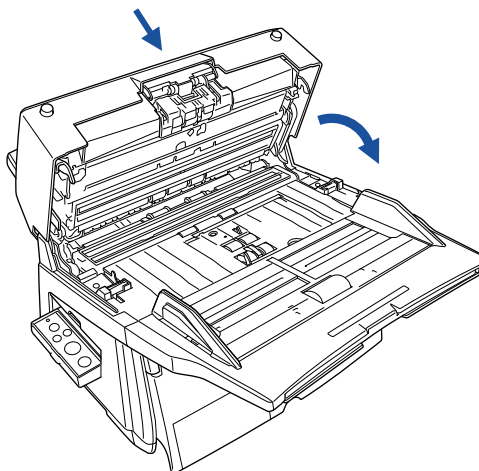


6 ブレーキローラをスキャナに取り付けます。

- 1 ブレーキローラホルダーのガイド溝に回転軸の平らな部分を合わせて、ブレーキローラを取り付けます。
- 2 ブレーキローラホルダーを閉めます。



7 ADF を閉じます。
「カチン」という音が出るまで、ADF の中央を押し込んでください。



注意

ADF が閉まり、指などをはさむおそれがあります。ご注意ください。



- ブレーキローラホルダーを開けたまま、ADF を閉じないでください。
- ブレーキローラがしっかりと取り付けられていることを確認してください。ブレーキローラがしっかりと取り付けられていないと、マルチフィードなどの給紙エラーが起こります。

8 ブレーキローラカウンタをリセットします。
Software Operation Panel を起動し、カウンタをリセットします。詳細については、「[消耗品 / 清掃カウンタのリセット](#)」(P.157) を参照してください。

第7章 困ったときには

この章では、原稿づまりの対処方法、トラブルの対処方法、サービスセンターに連絡する前にお調べいただきたい項目、および装置ラベルの確認方法について説明します。



記載されている内容以外のトラブルおよびエラーの詳細については、TWAIN ドライバのヘルプを参照してください。

7.1 原稿づまりが発生したときは.....	121
7.2 操作パネルのエラー表示.....	123
7.3 困ったときには.....	128
7.4 サービスセンターに連絡する前に.....	143
7.5 装置ラベルの確認.....	145

7.1 原稿づまりが発生したときは

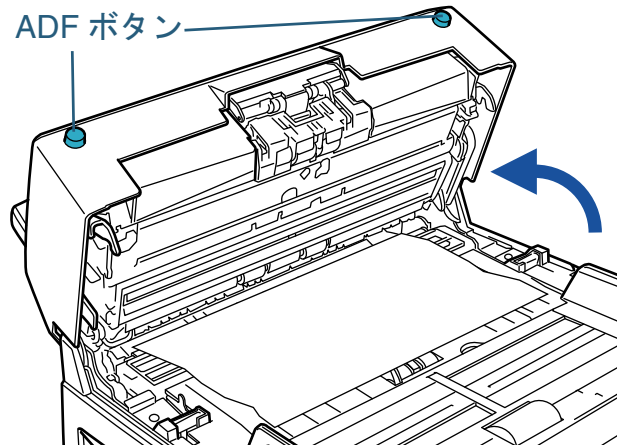
原稿がつまった場合は、次の要領で原稿を取り除いてください。

⚠ 注意

- つまった原稿を取り除くときは、ケガをしないように注意してください。
- つまった原稿を取り除くときは、ネクタイやネックレスなどがスキャナ内部に巻き込まれないように注意してください。
- ガラスやガイドが高温になっている場合があります。やけどをしないように注意してください。

1 ADF 給紙シュートの上にある原稿を取り除きます。

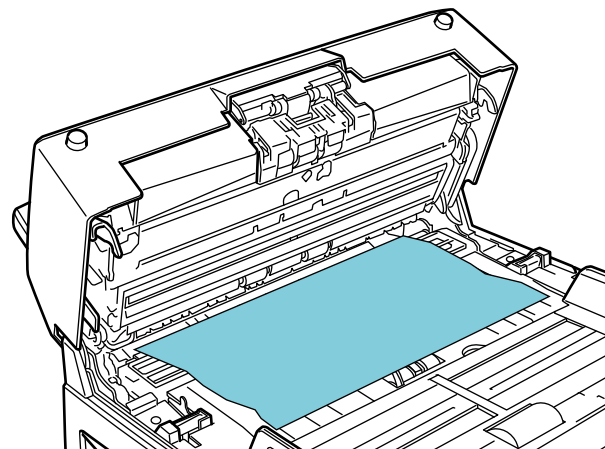
2 ADF ボタンを押しながら、ADF を開きます。



⚠ 注意

ADF が閉まり、指などをはさむおそれがあります。ご注意ください。

3 つまっている原稿を取り除きます。



- ステープラーの針やクリップなどは原稿づまりの原因となりますので、原稿と搬送路をよく調べて必ず取り除いてください。また、読み取りを行う前に、ステープラーの針やクリップなどは必ず原稿から取り外してください。
- ステープラーの針やクリップなどのついた原稿を取り除くときに、ガラスやガイドを傷つけるおそれがありますので、金属部分を引っ張らないように注意してください。

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

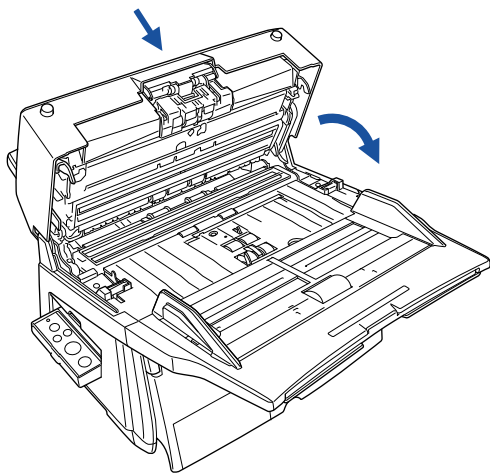
困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

- 4** ADF を閉じます。
「カチン」という音になるまで、ADF の中央を押し込んでください。



- ADF が完全に閉じていることを確認してください。完全に閉じられていないと、読み込みができないおそれがあります。
- 読み取り終了時または読み取りをキャンセルしたとき、エラーメッセージが表示されずに原稿が ADF の内部に残る場合があります。その場合は、上記の手順 1～4 に従って取り除いてください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

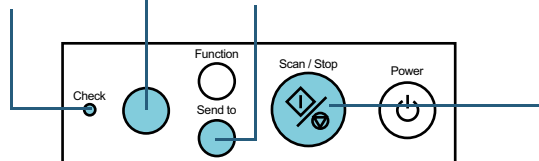
7.2 操作パネルのエラー表示

スキャナにトラブルが発生すると、Check LED が橙色に点灯します。一時的エラーの場合は「J」または「U」と数字が、装置異常の場合は「E」「F」「C」「H」「A」「L」のうち1つと数字がそれぞれ交互に、ファンクションナンバーディスプレイに表示されます。一時的なエラーは、お客様による復旧が可能です。装置異常は、専門のサポートエンジニアによる復旧作業が必要となります。なお、エラー表示中に [Scan / Stop] ボタンまたは [Send to] ボタンを押すと、エラー表示が消えてレディ状態になります。

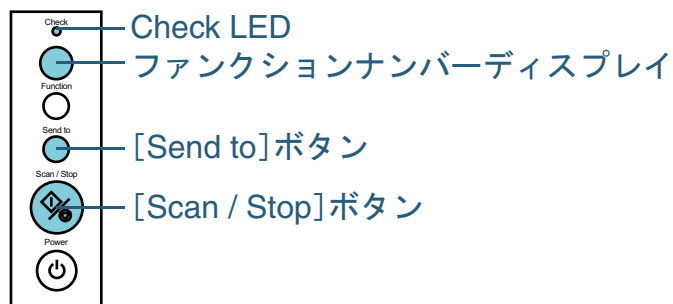
ADF タイプ

ファンクションナンバーディスプレイ

Check LED [Send to] ボタン [Scan / Stop] ボタン



フラットベッドタイプ



お使いのパソコンに Error Recovery Guide がインストールされている場合、Windows の起動と同時に Error Recovery

Guide の画面が表示されます。エラーや装置異常が発生すると、エラーの名称やコード番号などの関連情報が、Error Recovery Guide の画面に表示されます。

画面に表示される情報を書き留めて、[詳細] ボタンをクリックし、対処方法を確認してください。



Error Recovery Guide は、Setup DVD-ROM に収録されています。インストール方法については、スタートアップガイドの「4 ソフトウェアをインストールします」を参照してください。

一時的エラー

お客様による復旧が可能な一時的なエラーです。
エラーの一覧を次に示します。

■搬送系エラー

「J」と数字が交互に表示されます。

表示	項目	対処法
J1 J9	原稿づまりが発生しました。	1 つまった原稿を取り除いてください。 原稿の取り除き方法については、「 7.1 原稿づまりが発生したとき 」(P.121)を参照してください。 2 読み取る原稿が ADF での読み取りに適しているかを確認してください。 詳細は、「 2.2 ADF にセットする原稿について 」(P.42)を参照してください。
J2	マルチフィードが発生しました。	操作パネルの [Send to] ボタンを押すと、マルチフィードされた紙が排出されます。

■カバーオープン、印字エラーなど

「U」と数字が交互に表示されます。

表示	項目	対処法
U0	輸送ロックエラーが発生しました (フラットベッドタイプの場合)。	輸送ロックを解除してください。 輸送ロックの解除方法については、スタートアップガイドの「3 ケーブルを接続します」を参照してください。
U4	読み取り中に ADF が開かれました。	ADF を閉じて、原稿をセットし直してください。
U5	読み取り中にインプリンタカバーが開かれました (fi-6670/fi-6670A 用インプリンタオプション搭載時のみ)。	
U6	インプリンタ用のプリントカートリッジがセットされていません。	インプリンタオプション (別売り) 関連のエラーです。 詳細は、インプリンタオペレーターガイドを参照してください。
U7	インプリンタ部で原稿の検出に失敗しました。または印字領域異常です。	

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

装置異常

専門のサポートエンジニアによる復旧作業が必要なエラーです。エラーの一覧を次に示します。

■モーター異常、光学系異常

「E」と数字が交互に表示されます。

表示	項目	対処法
E0	フラットベッド部の走行系に異常が発生しました（フラットベッドタイプの場合）。	1 輸送ロックが解除されているかを確認してください。 2 スキャナの電源を切ってから、再び電源を入れてください。
E1	光学系（フラットベッド）に異常が発生しました（フラットベッドタイプの場合）。	上記2つの方法を試しても解決されない場合は、表示されているエラーコードをメモし、本製品を購入された販売店 / 販売店または「株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター」（P.192）にお問い合わせください。
E2	光学系（ADF 表）に異常が発生しました。	スキャナの電源を切ってから、再び電源を入れてください。 この方法を試しても解決されない場合は、表示されているエラーコードをメモし、本製品を購入された販売店 / 販売店または「株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター」（P.192）にお問い合わせください。
E3	光学系（ADF 裏）に異常が発生しました（fi-6670/fi-6670A/fi-6770/fi-6770A の場合）。	
E6	操作パネルに異常が発生しました。	
E7	装置内蔵メモリ（EEPROM）に異常が発生しました。	

表示	項目	対処法
E8	SCSI インターフェース回路に異常が発生しました（fi-6670/fi-6670A/fi-6770/fi-6770A の場合）。	スキャナの電源を切ってから、再び電源を入れてください。 この方法を試しても解決されない場合は、表示されているエラーコードをメモし、本製品を購入された販売店 / 販売店または「株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター」（P.192）にお問い合わせください。
E9	画像メモリにエラーが発生しました。	

■オーバラン異常

「F」と数字が交互に表示されます。

表示	項目	対処法
F2	ピックアップに異常が発生しました。	スキャナの電源を切ってから、再び電源を入れてください。 この方法を試しても解決されない場合は、表示されているエラーコードをメモし、本製品を購入された販売店 / 販売店または「株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター」（P.192）にお問い合わせください。
F4	裏当て切り替え機構に異常が発生しました。	
F6	ファンに異常が発生しました。	
F7	ヒーターに異常が発生しました。	
F8		
F9		

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

■チップ系の異常

「C」と数字が交互に表示されます。

表示	項目	対処法
C0	LSIに異常が発生しました。	スキャナの電源を切ってから、再び電源を入れてください。 この方法を試しても解決されない場合は、表示されているエラーコードをメモし、本製品を購入された販売店/販売店または「株式会社PFUイメージングサービス & サポートセンター」(P.192)にお問い合わせください。
C8	スキャナ内部通信異常が発生しました。	

■回路系の異常

「H」と数字が交互に表示されます。

表示	項目	対処法
H1	モーター回路の異常を検出しました。	スキャナの電源を切ってから、再び電源を入れてください。 この方法を試しても解決されない場合は、表示されているエラーコードをメモし、本製品を購入された販売店/販売店または「株式会社PFUイメージングサービス & サポートセンター」(P.192)にお問い合わせください。
H5	CGA ボード回路の異常を検出しました (fi-6670A/fi-6770A の場合)。	
H6	インプリンタのモーター回路の異常を検出しました (fi-6670/fi-6670A 用インプリンタオプション搭載時のみ)。	
H7	ランプ回路の異常を検出しました。	

■オプション系の異常

(fi-6670/fi-6670A 用インプリンタオプション搭載時のみ)

「A」と数字が交互に表示されます。

表示	項目	対処法
A0	インプリンタのコントロールボードに異常が発生しました。	スキャナの電源を切ってから、再び電源を入れてください。 この方法を試しても解決されない場合は、表示されているエラーコードをメモし、本製品を購入された販売店/販売店または「株式会社PFUイメージングサービス & サポートセンター」(P.192)にお問い合わせください。
A1	インプリンタに通信タイムアウトエラーが発生しました。	
A2	インプリンタのインクヘッドに異常が発生しました。	
A3	インプリンタの装置内蔵メモリ (EEPROM) に異常が発生しました。	
A4	インプリンタのROMに異常が発生しました。	

■センサー系の異常

「L」と数字が交互に表示されます。

表示	項目	対処法
----	----	-----

L6	超音波センサー異常	スキャナの電源を切ってから、再び電源を入れてください。 この方法を試しても解決されない場合は、表示されているエラーコードをメモし、本製品を購入された販社/販売店または「株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター」(P.192)にお問い合わせください。
L9	OMR センサー異常	

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

7.3 困ったときには

スキャナの使用中に発生するトラブルとその対処方法について説明します。修理を依頼される前に、次の項目を点検してください。項目を点検しても直らない場合は、「[7.4 サービスセンターに連絡する前に](#)」(P.143)の各項目を確認して、本製品を購入された販社 / 販売店または「[株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター](#)」(P.192)にお問い合わせください。

発生するトラブル事例を次に示します。

症状一覧
「電源が入らない」(P.129)
「ファンクションナンバーディスプレイの表示が消える」(P.130)
「読み取りが開始されない」(P.131)
「白黒で読み取ると絵や写真が汚くなる」(P.132)
「文字や線の読み取り結果が良くない」(P.133)
「画像がゆがむまたは鮮明でない」(P.134)
「読み取った画像に縦線が出る」(P.135)
「スキャナに電源が入ったあとで、ファンクションナンバーディスプレイに異常(「E」またはその他の数字や文字)が表示されている」(P.136)
「マルチフィードが頻繁に起こる」(P.137)
「原稿が ADF に送り込まれない状態が頻繁に起こる」(P.138)
「原稿づまりが頻繁に起こる」(P.139)
「ADF に原稿をセットして読み取ったとき、読み取った画像が間延びする」(P.140)
「読み取った画像の先端に影がある」(P.141)
「Kofax VRS 使用時にパソコンからスキャナを認識できない」(P.142)

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

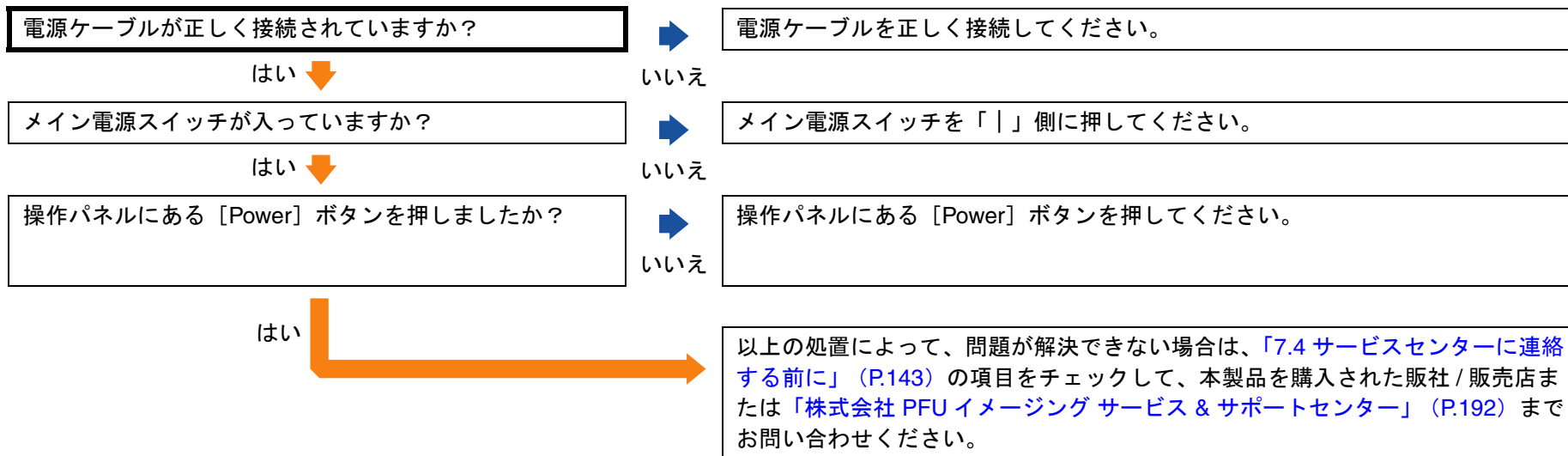
困ったときには

スキャナの動作設定

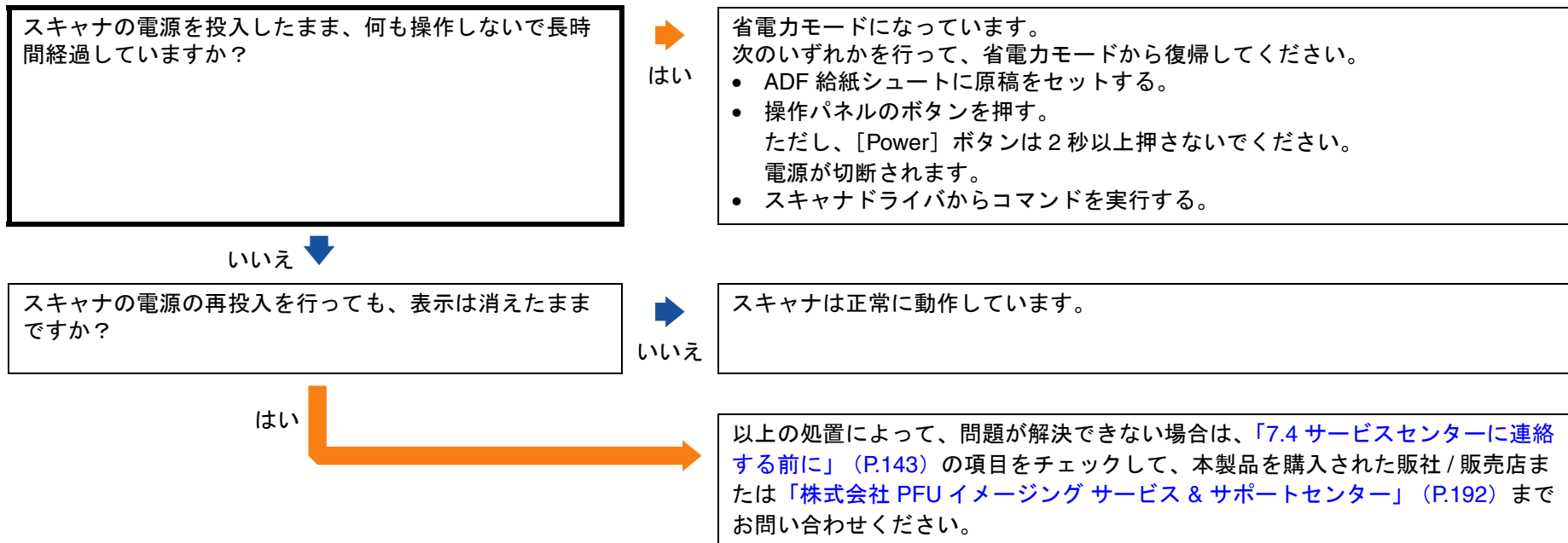
付録

用語集

電源が入らない



ファンクションナンバーディスプレイの表示が消える



TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

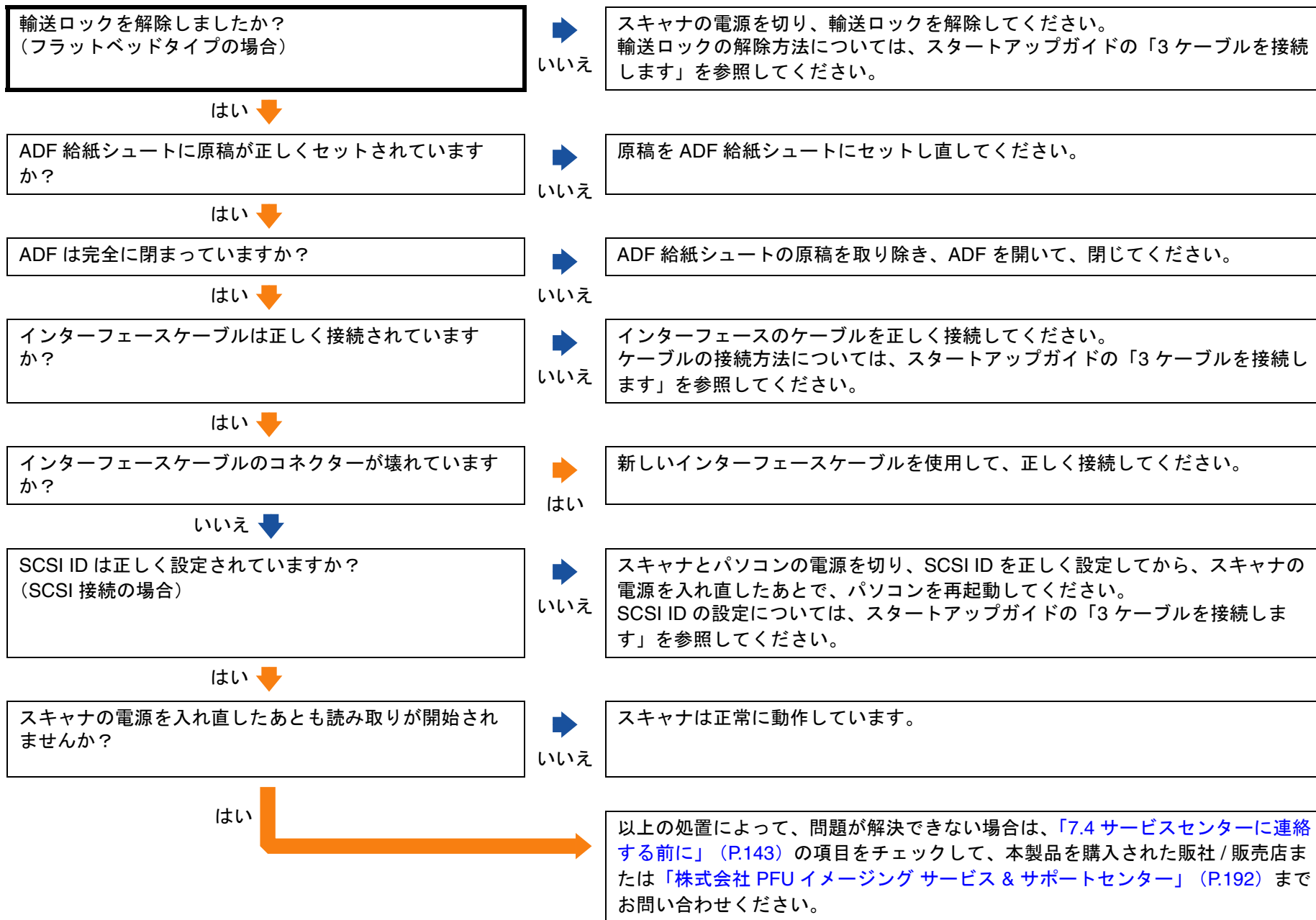
困ったときには

スキャナの動作設定

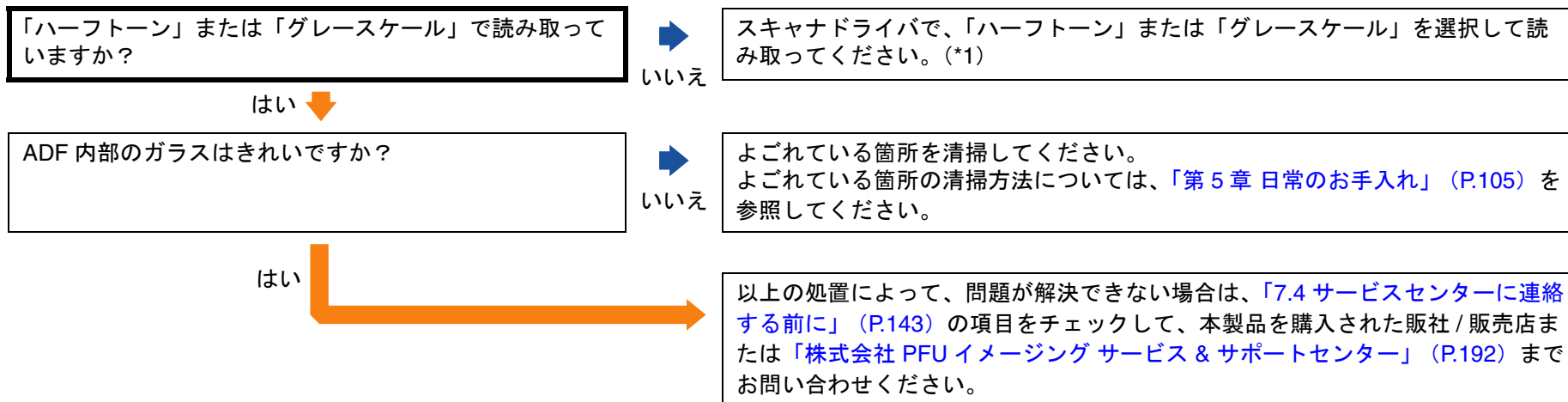
付録

用語集

読み取りが開始されない



白黒で読み取ると絵や写真が汚くなる



*1：絵や写真を単純に2値化（白黒化）すると、画像がオリジナルと著しく異なることがあります。スキヤナドライバの設定画面から設定可能な場合は、画像タイプを「ハーフトーン」、「グレースケール」に設定して読み取ってください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキヤナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

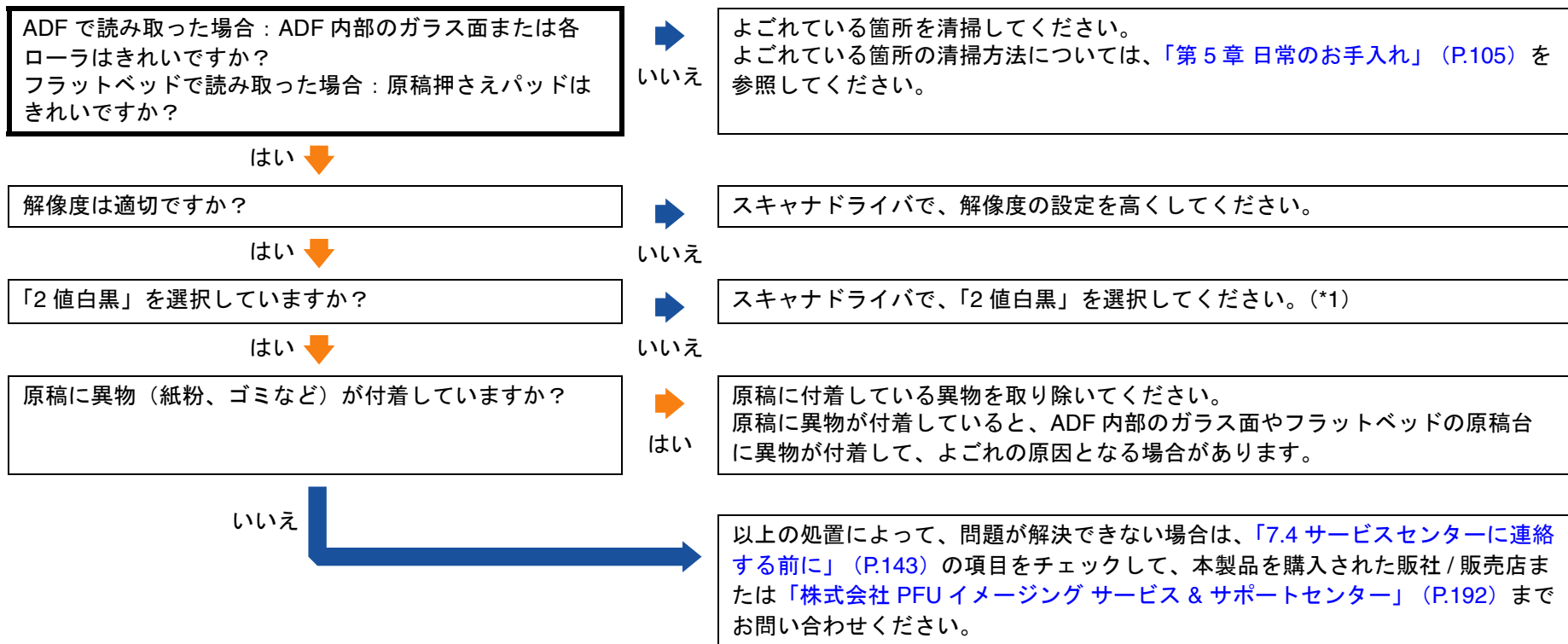
困ったときには

スキヤナの動作設定

付録

用語集

文字や線の読み取り結果が良くない



*1：ハーフトーン、グレースケール、カラーで読み取ると、文字や線画の読み取り結果が鮮明でないことがあります。スキャナドライバの設定画面から設定可能な場合は、画像タイプを「2値白黒」に設定してください。

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

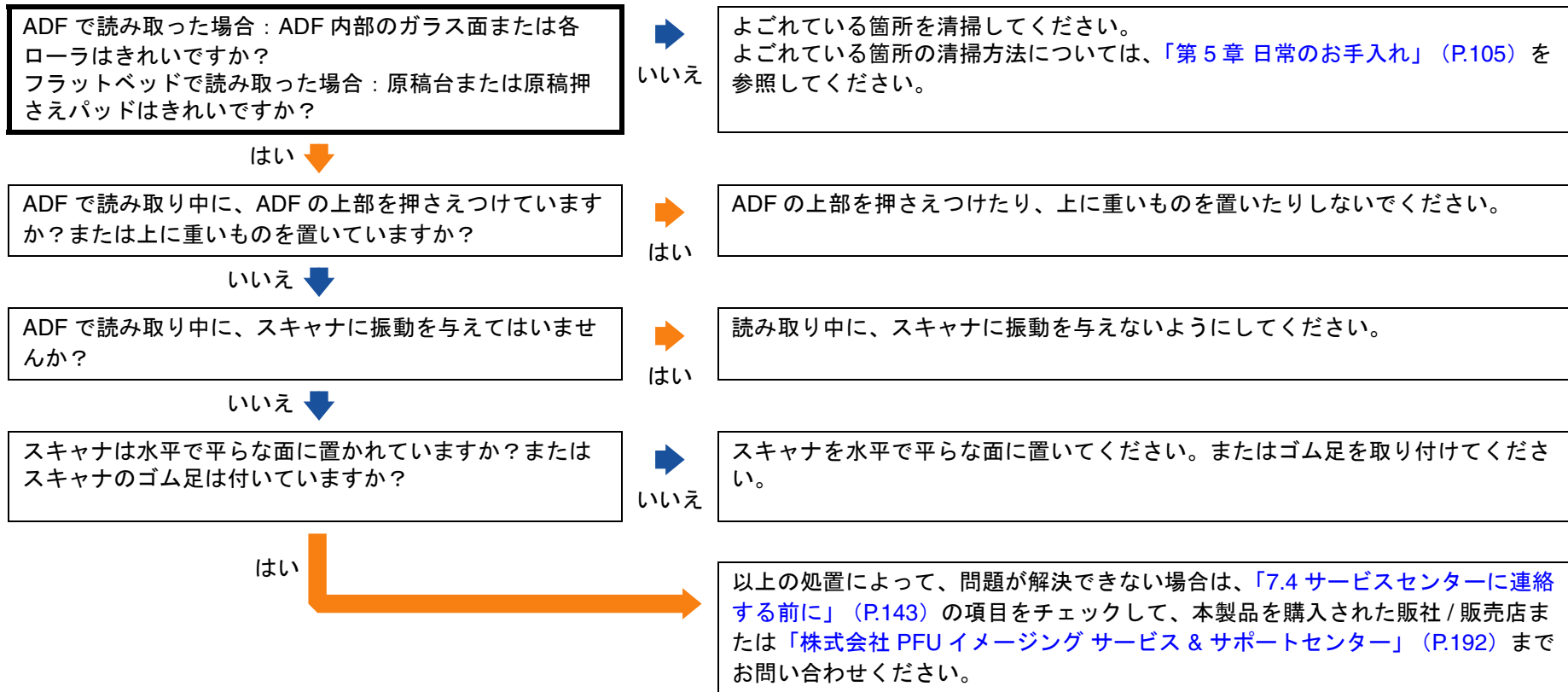
困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

画像がゆがむまたは鮮明でない



はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

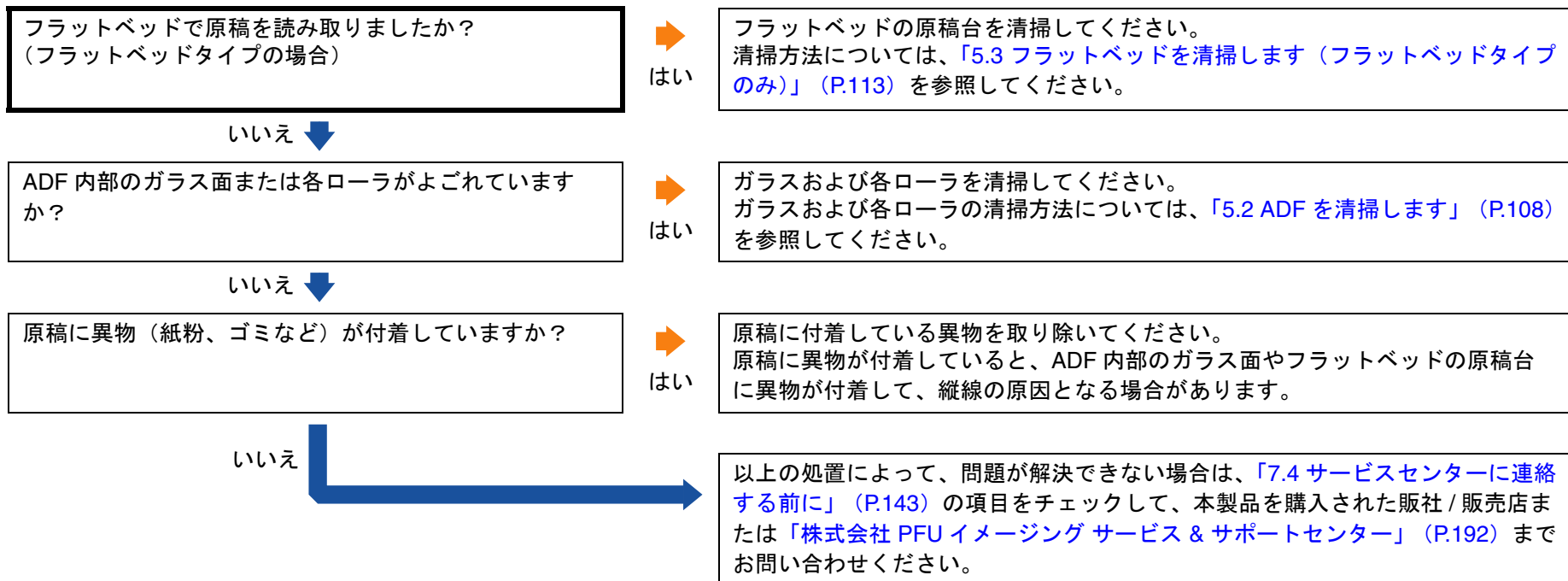
日常のお手入れ

消耗品の交換

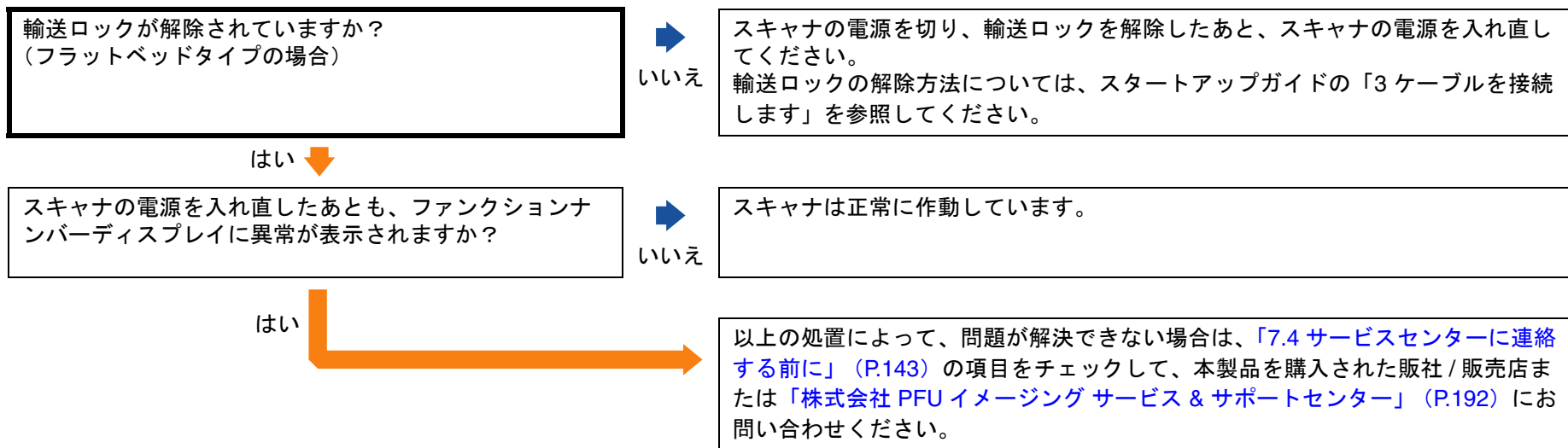
困ったときには

スキャナの動作設定

読み取った画像に縦線が出る



スキャナに電源が入ったあとで、ファンクションナンバーディスプレイに異常（「E」またはその他の数字や文字）が表示されている



マルチフィードが頻繁に起こる



*1：消耗品とは、ブレーキローラおよびピックアップローラです。

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

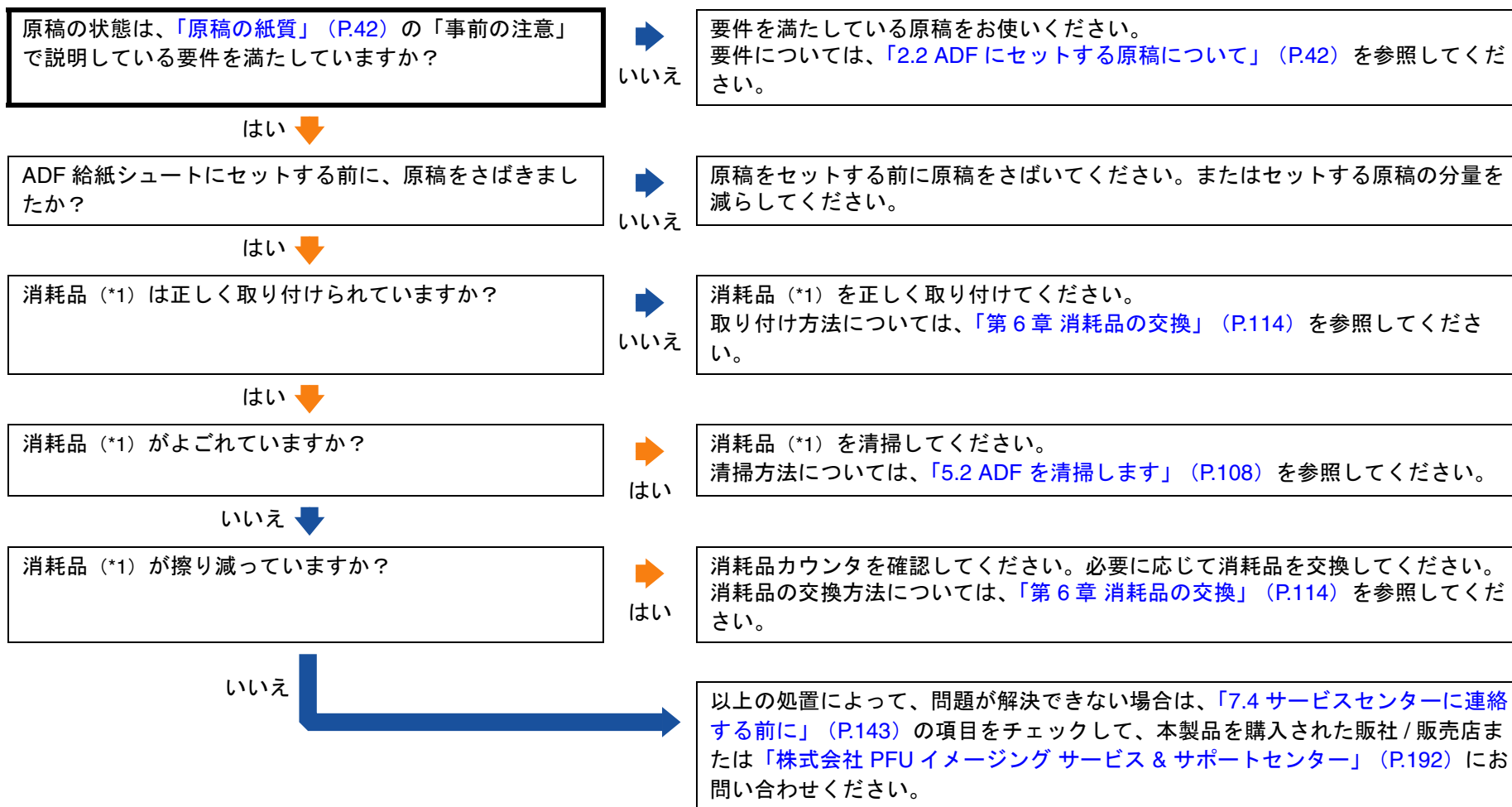
日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

原稿が ADF に送られない状態が頻繁に起こる



*1：消耗品とは、ブレーキローラおよびピックアップローラです。

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

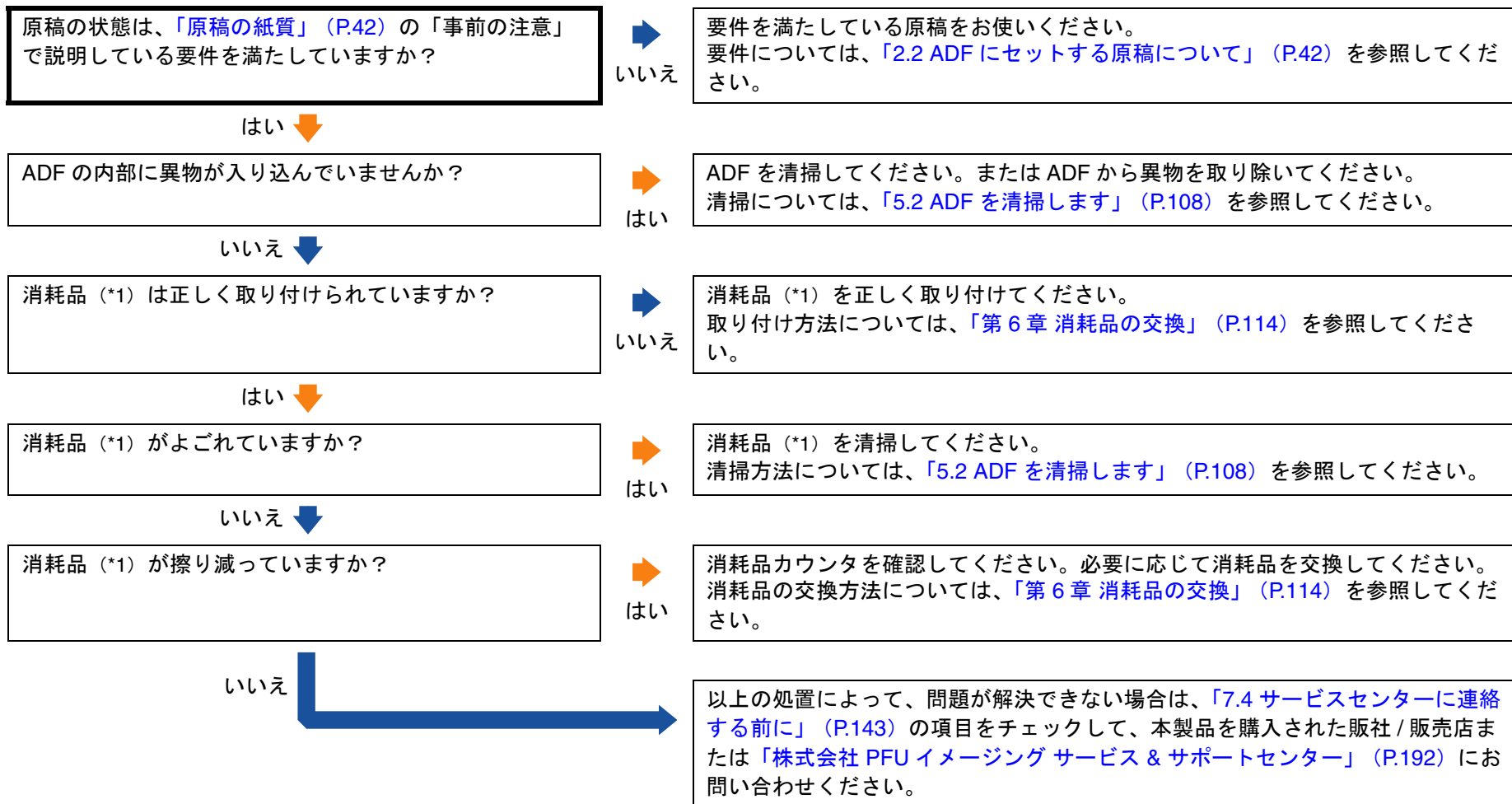
日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

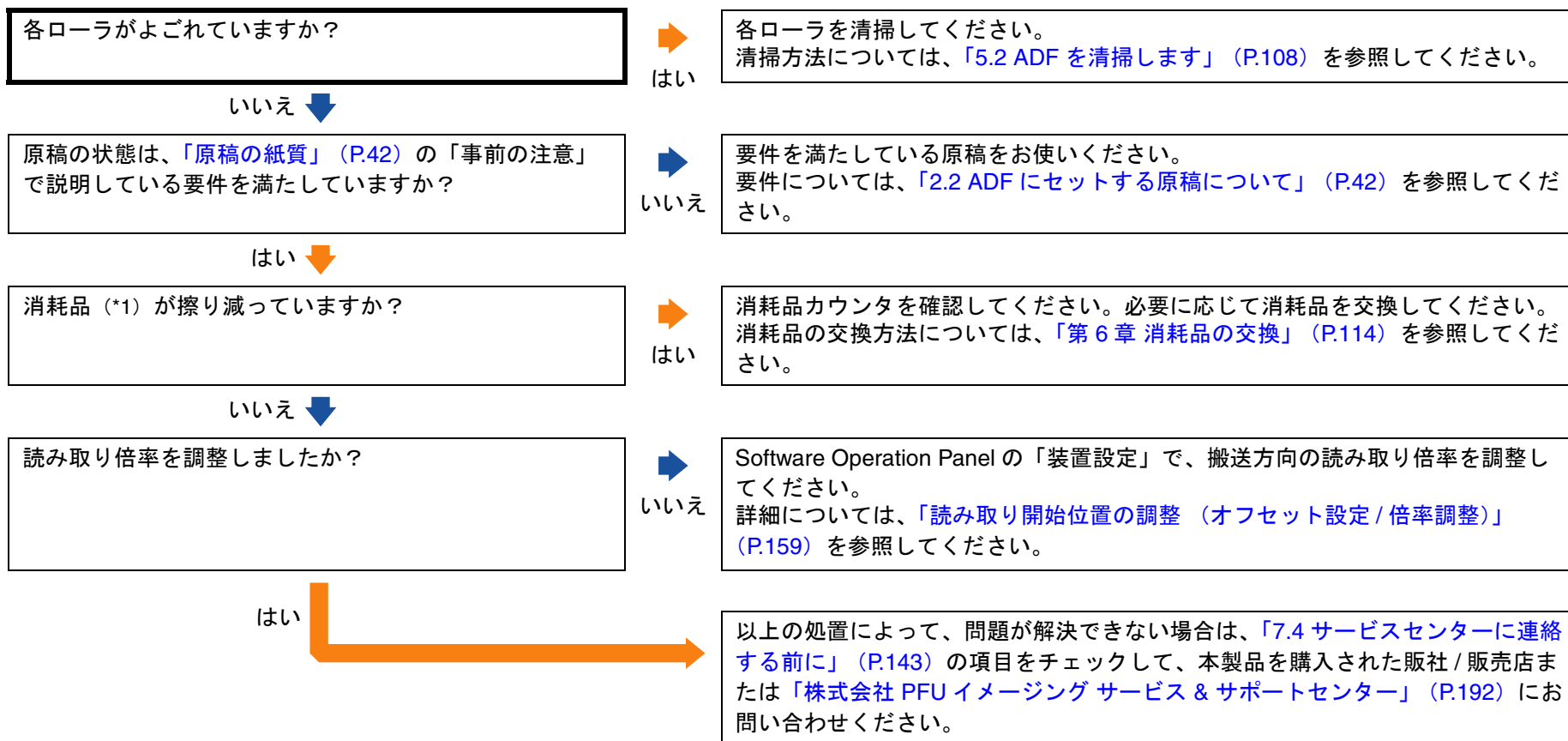
スキャナの動作設定

原稿づまりが頻繁に起こる



*1：消耗品とは、ブレーキローラおよびピックアップローラです。

ADFに原稿をセットして読み取ったとき、読み取った画像が間延びする



*1：消耗品とは、ブレーキローラおよびピックローラです。

読み取った画像の先端に影がある

オフセット（原稿の読み取り開始位置）を調整しましたか？

いいえ

Software Operation Panel の「装置設定」で、副走査方向のオフセットを調整してください。
詳細については、「[読み取り開始位置の調整（オフセット設定 / 倍率調整）](#)（P.159）を参照してください。

はい

以上の処置によって、問題が解決できない場合は、「[7.4 サービスセンターに連絡する前に](#)」（P.143）の項目をチェックして、本製品を購入された販社 / 販売店または「[株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター](#)」（P.192）にお問い合わせください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

Kofax VRS 使用時にパソコンからスキャナを認識できない

インターフェースケーブルは正しく接続されていますか？

いいえ

インターフェースのケーブルを正しく接続してください。
ケーブルの接続方法については、スタートアップガイドの「3 ケーブルを接続します」を参照してください。

はい

SCSI/USB コネクタ 1 で接続している場合：
Kofax VRS Administration Console (*1) で、Fujitsu fi-6670 または Fujitsu fi-6770 が選択されていますか？
SCSI/USB コネクタ 2 で接続している場合：
Kofax VRS Administration Console (*1) で、Fujitsu fi-6670A または Fujitsu fi-6770A が選択されていますか？

いいえ

SCSI/USB コネクタ 1 で接続している場合：
Kofax VRS Administration Console (*1) で Fujitsu fi-6670 または Fujitsu fi-6770 を選択してください。
スキャナ一覧に Fujitsu fi-6670 または Fujitsu fi-6770 が存在しない場合は、Kofax VRS をアンインストールし、Setup DVD-ROM からカスタムインストールで VRS (fi-6670,fi-6770) をインストールしてください。
SCSI/USB コネクタ 2 で接続している場合：
Kofax VRS Administration Console (*1) で Fujitsu fi-6670A または Fujitsu fi-6770A を選択してください。
スキャナ一覧に Fujitsu fi-6670A または Fujitsu fi-6770A が存在しない場合は、Kofax VRS をアンインストールし、Setup DVD-ROM からカスタムインストールで VRS (fi-6670A,fi-6770A) をインストールしてください。

インストール方法については、Setup DVD-ROM で提供されている「VRS をご使用になる前に」を参照してください。

はい

スキャナの SCSI ID が 9 番以外に設定されていますか？
(SCSI/USB コネクタ 2 で接続している場合)

いいえ

SCSI ID を 9 番以外に設定してください。

はい

以上の処置によって、問題が解決できない場合は、[「7.4 サービスセンターに連絡する前に」](#) (P.143) の項目をチェックして、本製品を購入された 販売店 または [「株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター」](#) (P.192) までお問い合わせください。

*1 : Kofax VRS Administration Console は、「スタート」メニュー → 「すべてのプログラム」 → 「Kofax VRS」 → 「Kofax VRS Administration Console」から起動できます。

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

7.4 サービスセンターに連絡する前に

当社のサービスセンター（「株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター」（P.192））に連絡する前に、次の項目をお調べください。

概要

調べる項目	調査結果
スキャナ名	例：fi-6670 スキャナ名については「7.5 装置ラベルの確認」（P.145）を参照してください。
製造番号 （シリアルナンバー）	例：000001 製造番号については「7.5 装置ラベルの確認」（P.145）を参照してください。
製造年月	例：2008-05（2008年5月） 製造年月については「7.5 装置ラベルの確認」（P.145）を参照してください。
購入年月日	
症状	
故障頻度	
保証書の有無	
使用しているオプション品名	例：fi-667PR オプションについては「付 .4 スキャナのオプション」（P.187）を参照してください。

エラーの状況

■パソコン接続時の問題

調べる項目	調査結果
OS (Windows) の種類	
画面のエラーメッセージ	
インターフェースの種類	例：SCSI インターフェース
インターフェースコントローラーの種類	例：Adaptec 社製 SCSI Card AHA-2940AU

■搬送系の問題

調べる項目	調査結果
原稿の種類	
主な使用目的	
最新の清掃年月日	
消耗品の交換年月日	
操作パネルの状況	

■画像系の問題

調べる項目	調査結果
スキャナドライバの種類と版数	
インターフェースコントローラーの種類	例：Adaptec 社製 SCSI Card AHA-2940AU
OS (Windows) の種類	
アプリケーションソフトウェアの種類	例：ScandAll PRO、Adobe Acrobat
読み取り面	例：表面、裏面、両面
読み取り解像度	例：600dpi、75dpi
読み取り色	例：カラー、グレースケール、二値白黒

■その他

調べる項目	調査結果
原稿の状態がわかるような写真と、出力結果の両方をE-mail または FAX で送ることは可能ですか？	

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

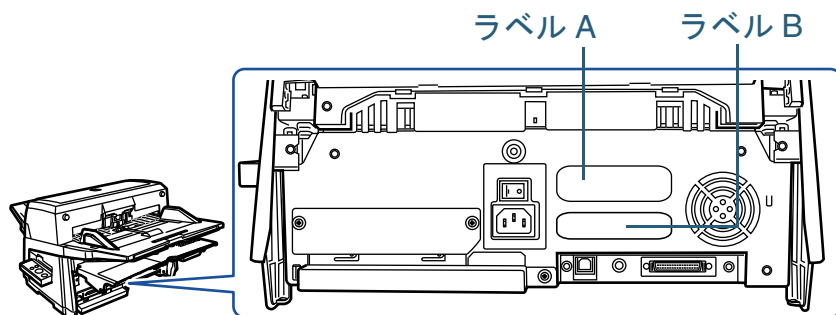
7.5 装置ラベルの確認

ここでは、ラベルの確認のしかたについて説明します。

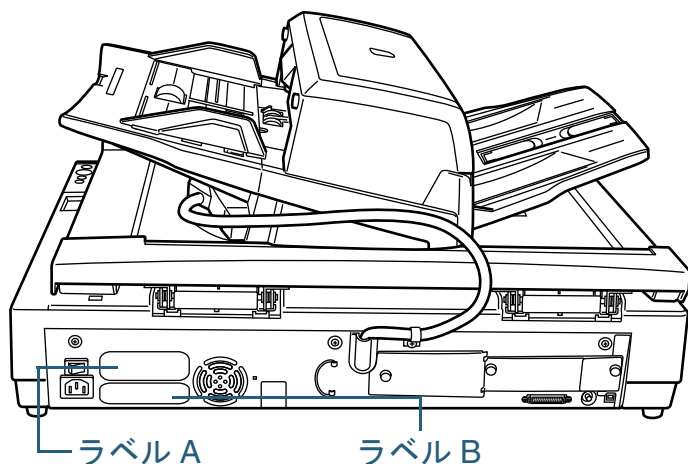
ラベルの位置

2つのラベルの位置を次に示します。

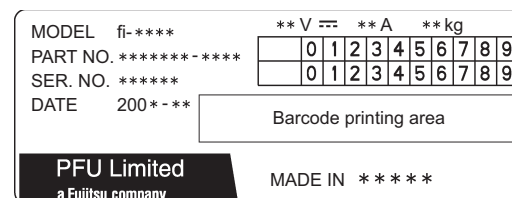
ADFタイプ



フラットベッドタイプ



ラベル A 例：スキヤナの情報を示しています。



ラベル B 例：スキヤナが適合する規格について示しています。



第8章 スキャナの動作設定

この章では、Software Operation Panel を使ったスキャナの設定方法について説明します。

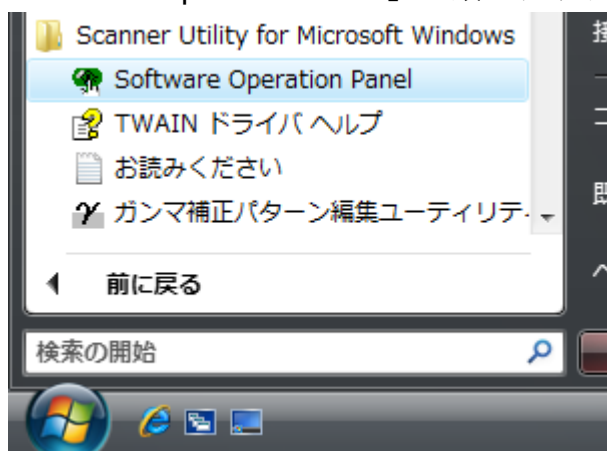
この章では、Windows Vista の画面を例に説明しています。お使いの OS によって、表示される画面および操作が異なります。

8.1 Software Operation Panel の起動	147
8.2 設定できる項目	148
8.3 消耗品 / 清掃カウンタに関する設定	156
8.4 読み取りに関する設定	159
8.5 マルチフィード検出に関する設定	170
8.6 待機時間に関する設定	176
8.7 電源投入 / 切断方法に関する設定	178
8.8 オーバースキャン読み取り制御の設定	179
8.9 給紙のリトライ回数	180

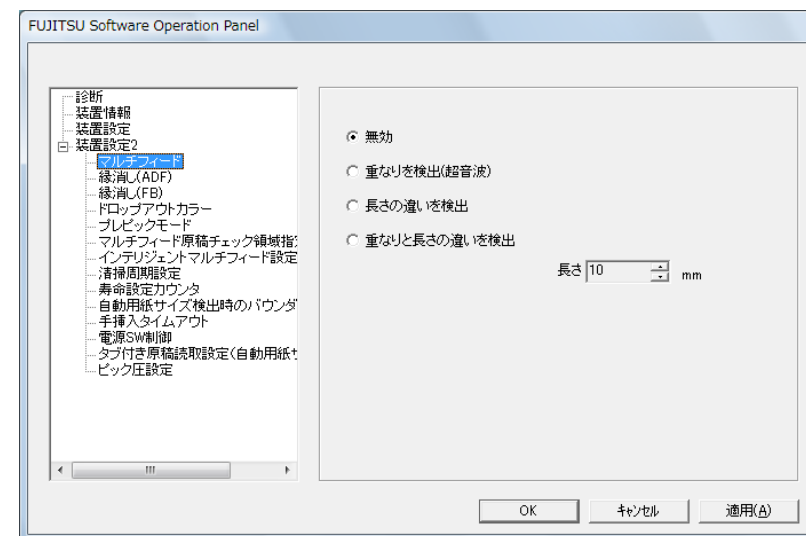
8.1 Software Operation Panel の起動

Software Operation Panel はスキャナドライバ（TWAIN ドライバ/ISIS ドライバ）と同時にインストールされます。このアプリケーションを利用することで、読み取り時の動作や消耗品の管理などを設定することができます。

- 1 スキャナとパソコンが接続されていることを確認し、スキャナの電源を投入します。
電源を投入する方法については、「1.4 電源の投入 / 切断について」(P.31) を参照してください。
- 2 「スタート」メニュー→「すべてのプログラム」→「Scanner Utility for Microsoft Windows」→「Software Operation Panel」の順にクリックします。



⇒「FUJITSU Software Operation Panel」画面が表示されます。



TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

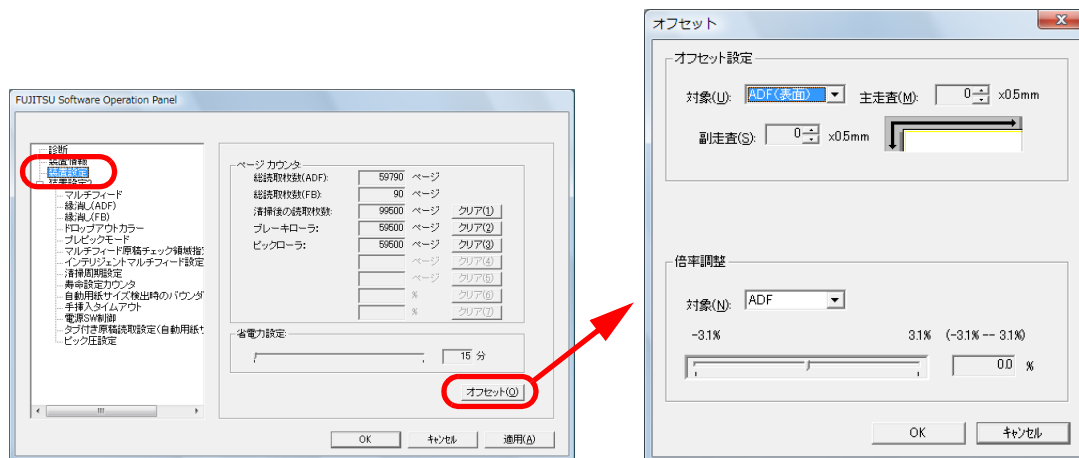
用語集

8.2 設定できる項目

Software Operation Panel では、パソコンに接続されているスキャナに対して次のような設定をすることができます。

装置設定

- 1 Software Operation Panel を起動します。
「8.1 Software Operation Panel の起動」(P.147)を参照してください。
- 2 画面左のリストから「装置設定」をクリックします。



項目	説明	選択可能なパラメーター	工場出荷時	SCSI/USB コネクター 1 接続時	SCSI/USB コネクター 2 接続時
ページカウンタ (消耗品カウンタ)	消耗品の交換時期を確認するために 使用します。 また、消耗品を交換したときや清掃 を行ったときは、この機能を使って カウンタをリセットします。	清掃後の読取枚数 / ブレーキローラ / ピッ クローラ	0 ページ	○	○
		インク残量 (fi-6670/fi-6670A 用インプリ ンタオプション搭載時のみ)	fi-6670/fi-6670A 用インプリンタ オプション搭載 時のみ表示		
省電力設定	省電力モードに入るまでの待機時間 を設定します。	15 分～ 55 分の範囲で設定 (5 分刻みで設 定)	15 分	○	○
オフセット設定	対象で選択した読み取り面の、原稿 の読み取り開始位置のズレを調整し ます。	対象： SCSI/USB コネクター 1 接続時 ADF (表面) / ADF (裏面) (fi-6670/fi-6670A/fi-6770/ fi-6770A のみ) / フラットベッド (フラットベッドタイ プのみ) SCSI/USB コネクター 2 接続時 ADF (裏面) / フラットベッド (fi-6770/fi-6770A のみ) 主走査・副走査：-2mm ～ 3mm の範囲で 設定 (0.5mm 刻みで設定)	主走査・副走 査：0mm	○	○
倍率調整	対象で選択した読み取り方法の、搬 送方向の読み取り倍率を調整します。	対象：ADF/ フラットベッド (フラット ベッドタイプのみ) -3.1% ～ 3.1% の範囲で設定 (0.1% 刻み で設定)	0%	○	○

○：設定可能

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナにつ
いて

原稿のセット
方法

読み取り条件
の設定

いろいろな読
み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

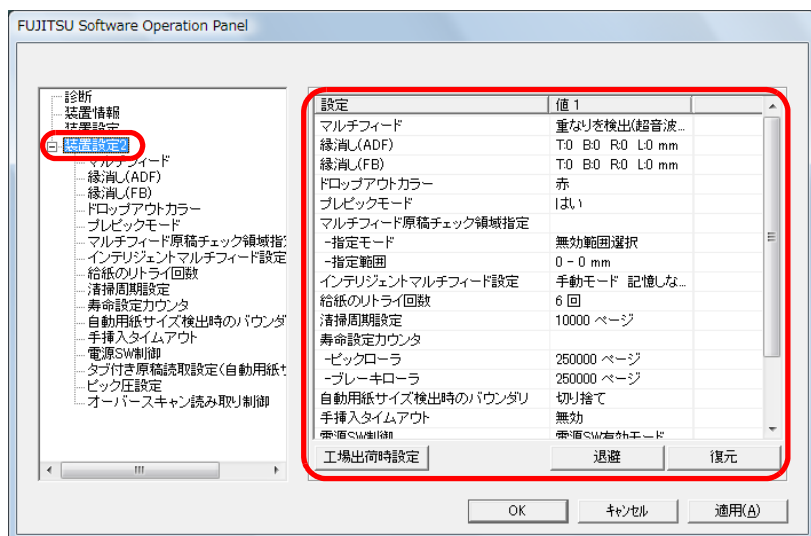
スキャナの動
作設定

付録

用語集

装置設定 2

- 1 Software Operation Panel を起動します。
「8.1 Software Operation Panel の起動」(P.147)を参照してください。
- 2 画面左のリストから「装置設定 2」をクリックします。



画面左のリストから、設定項目をクリックすると、画面の右に設定内容（パラメーター）が表示されます。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

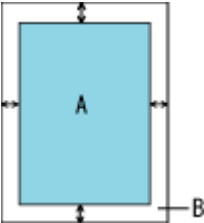
消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

項目	説明	選択可能なパラメーター	工場出荷時	SCSI/USB コネクター 1 接続時	SCSI/USB コネクター 2 接続時
				○：設定可能 －：設定不可	
マルチフィード	マルチフィードの検出方法を設定します。重なり、原稿の長さ、または両方を監視し、マルチフィードを検出します。 スキャナドライバの設定画面からも設定できます。この場合、スキャナドライバの設定が優先されます。	無効 / 重なりを検出 / 長さの違いを検出 / 重なりと長さの違いを検出 長さ（長さの違い検出時：10/15/20mm から選択）	重なりを検出	○	○
縁消し（ADF） 縁消し（FB）	読み取られた画像の端面を指定された幅だけ白または黒で塗りつぶします。 裏当て（背景色）が、白の場合は白色で塗りつぶし、黒の場合は黒色で塗りつぶします。 スキャナドライバの設定画面からも設定できます。この場合、値の大きい方が優先されます。 Kofax VRS 使用時は、本設定は反映されません。	ADF：上端 / 左端 / 右端：0mm ~ 15mm 下端：-7mm ~ 7mm（1mm 刻みで設定可能） FB：上端 / 下端 / 左端 / 右端：0mm ~ 15mm  (A：画像領域、B：縁消し領域、A+B：出力領域)	上 / 下 / 左 / 右：0mm	○	－
ドロップアウトカラー	指定した色を除いて原稿を読み取ります（2値白黒 / グレースケールモード時のみ）。 スキャナドライバの設定画面からも設定できます。この場合、スキャナドライバの設定が優先されます。	赤 / 緑 / 青 / 白	緑	○	－

項目	説明	選択可能なパラメーター	工場出荷時	SCSI/USB コネクター 1 接続時	SCSI/USB コネクター 2 接続時
				○：設定可能 －：設定不可	
プレピックモード	処理速度を優先する場合は「はい」をクリックします。そうでない場合は「いいえ」をクリックします。スキャナドライバの設定画面からも設定できます。この場合、スキャナドライバの設定が優先されます。	はい/いいえ	はい	○	－
マルチフィード原稿チェック領域指定	選択範囲：マルチフィード検出を行う範囲を制限したい場合にチェックします。また、指定した範囲に対してマルチフィードを有効にするか、無効にするかを選択します。	選択範囲のチェック	チェックなし	○	○
		有効/無効 (選択範囲をチェックした場合)	無効		
	開始位置：範囲の開始位置を原稿先端からの長さ (mm) で指定します。	0mm ~ 510mm (2mm 刻みで設定可能)	0mm		
	終了位置：範囲の終了位置を原稿先端からの長さ (mm) で指定します。	0mm ~ 510mm (2mm 刻みで設定可能)	0mm		
インテリジェントマルチフィード設定	原稿の決まった位置に同じ大きさの紙が貼られている場合、その貼付位置を認識し、マルチフィードとして検出しないようにすることができます。ただし、マルチフィード設定（「 マルチフィード検出方法の設定 」(P.170)）で、あらかじめ「重なりを検出」に設定しておく必要があります。	手動モード / 自動モード 1 / 自動モード 2	手動モード	○	○
	電源切断時にマルチフィードパターンを記憶するかを選択します。	記憶する / 記憶しない	記憶しない		

項目	説明	選択可能なパラメーター	工場出荷時	SCSI/USB コネクター 1 接続時	SCSI/USB コネクター 2 接続時
				○：設定可能 －：設定不可	
清掃周期設定	スキャナの清掃周期を設定します。読み取り枚数がこのカウンタ値を超えたときに、そのカウンタの地色が黄色に変わります。また、ドライバから清掃要求メッセージを表示するかどうかを指定します。Kofax VRS 使用時は、清掃指示メッセージは表示されません。	1,000 枚～ 255,000 枚 (1,000 枚単位で設定します) 清掃指示メッセージ表示：する / しない	10,000 枚 しない	○	○
寿命設定カウンタ	「8.3 消耗品 / 清掃カウンタに関する設定」(P.156) のページカウンタ (消耗品カウンタ) の値が、ここで設定する値を超えたとき、カウンタの地色を黄色にして、消耗品交換メッセージを表示します。	各消耗品について 10,000 枚～ 2,550,000 枚 (10,000 枚単位で設定します)	200,000 枚	○	○
SCSI バス幅	CGA ボードの SCSI コネクター 2 で接続している場合のデータ転送幅を設定します。	16 bit (ワイド) / 8 bit	16 bit (ワイド)	－	○
自動用紙サイズ検出時のバウンダリ	原稿サイズ検出指定時の、データの端数を切り上げるか切り捨てるかを選択します。	切り上げ / 切り捨て	切り捨て	○	－
手挿入タイムアウト	手挿入を解除するまでの待機時間を設定します。	無効 / 有効 用紙無し検出までの時間設定： SCSI/USB コネクター 1 接続時 5、10、20、30、40、50、60、70、80、 90、100、110、120、180、240、300、 360、420、480、540、600、900、1200、 1500、1800、1999 (単位：秒) SCSI/USB コネクター 2 接続時 5、10、20、30 (単位：秒)	無効	○	○

項目	説明	選択可能なパラメーター	工場出荷時	SCSI/USB コネクター 1 接続時	SCSI/USB コネクター 2 接続時
				○：設定可能 －：設定不可	
電源 SW 制御	操作パネルの [Power] ボタンでの電源 ON/OFF を有効にするかどうかを設定します。	電源 SW 有効モード / 電源 SW 無効モード	電源 SW 有効モード	○	○
タブ付き原稿読取設定	原稿の後端に仕切り用インデックスや、インデックスシールが貼り付けてある原稿（タブ付き原稿）の場合、自動用紙サイズ検出で読み取る際にインデックス部分を残すことができます。タブ付き原稿を設定した場合、タブの画像は残りますが、読み取り速度がやや低下します。 本設定を有効にした場合、地色が暗い原稿の読取設定は自動的に無効となります。	SCSI/USB コネクター 1 接続時 タブ付き原稿 / タブ無し原稿 / 非矩形原稿 SCSI/USB コネクター 2 接続時 タブ付き原稿 / タブ無し原稿	タブ無し原稿	○	○
地色が暗い原稿の読取設定	背景色が暗い原稿を読み取る場合、エッジを検出するかどうかを設定します。 また、エッジを正しく検出するために、検出の感度を設定することができます。 本設定を有効にした場合、タブ付き原稿読取設定は自動的に無効となります。	無効 / 有効 地色の濃さ：1～5段階	無効	－	○
オーバークロップ / アンダークロップ指定	「自動用紙サイズ検出」で検出した原稿の出力結果を調整します。	オーバー：0mm～3mm（1mm刻みで設定可能） アンダー：-3mm～0mm（1mm刻みで設定可能）	0mm	－	○
ピック圧設定	給紙時のピック圧を設定します。	弱い / 通常 / 強い	通常	○	○

項目	説明	選択可能なパラメーター	工場出荷時	SCSI/USB コネクター 1 接続時	SCSI/USB コネクター 2 接続時
				○：設定可能 －：設定不可	
オーバースキャン 読み取り制御の設定	オーバースキャン読み取り時に、 オーバースキャン量を拡大したと きに設定します。	通常 / 拡大	通常	○	－
給紙のリトライ回 数	給紙時（ピック動作時）のリトライ 回数を設定します。	1～8回	6回	○	○

[工場出荷時設定] ボタン

各種設定内容を工場出荷時の状態に戻します。

[退避] ボタン

各種設定内容をパソコン上に退避します。
（他の fi-6770/6750S/6670 スキャナ装置に同じ設定を行うと
きなどに使用します。）



退避は現時点で装置に書き込まれている EEPROM の値をファ
イルに書き出します。直前に値を変更した場合は [適用] ボ
タンをクリックしてから退避してください。

[復元] ボタン

パソコン上に退避した設定内容を装置に復元します。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナにつ
いて

原稿のセット
方法

読み取り条件
の設定

いろいろな読
み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動
作設定

付録

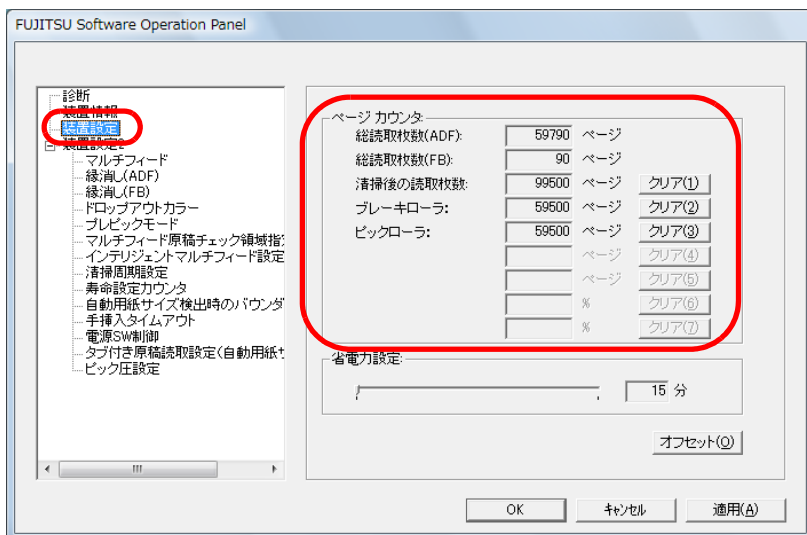
用語集

8.3 消耗品 / 清掃カウンタに関する設定

消耗品 / 清掃カウンタの確認およびリセット

■消耗品 / 清掃カウンタの確認

- 1 Software Operation Panel を起動します。
「8.1 Software Operation Panel の起動」(P.147) を参照してください。
- 2 画面左のリストから「装置設定」をクリックします。



この画面で、次のことが確認できます。

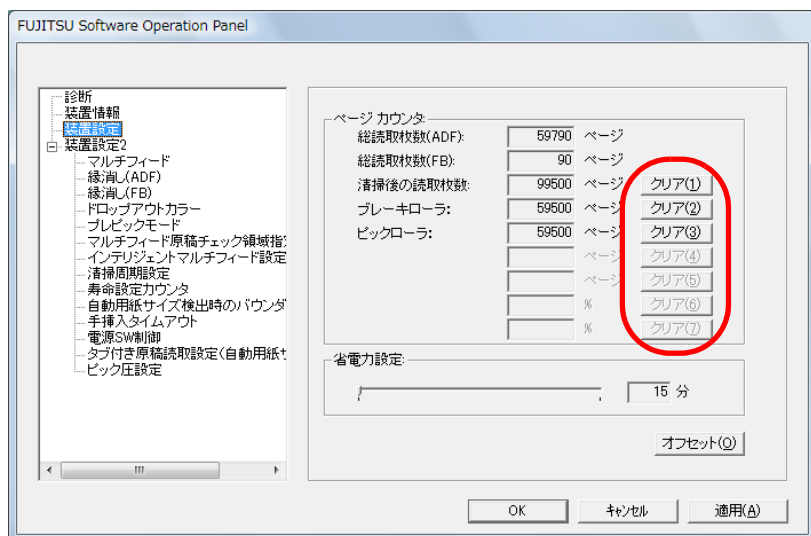
項目	説明
総読み取り枚数 (ADF)	ADF でこれまでに読み取った原稿の概算枚数
総読み取り枚数 (FB)	フラットベッドでこれまでに読み取った原稿の概算枚数

項目	説明
清掃後の読み取り枚数	清掃してからこれまでに読み取った原稿の概算枚数
ブレーキローラ	ブレーキローラを交換してから読み取った原稿の概算枚数
ピックローラ	ピックローラを交換してから読み取った原稿の概算枚数
インク残量	インプリンタオプション (別売り) に搭載されたプリントカートリッジのインク残量 (インプリンタを装備したときのみ表示されます。)

■消耗品 / 清掃カウンタのリセット

消耗品を交換した場合または清掃した場合は、次の手順で、該当する消耗品カウンタまたは清掃カウンタをリセットします。

1 交換した消耗品の [クリア] ボタンをクリックします。

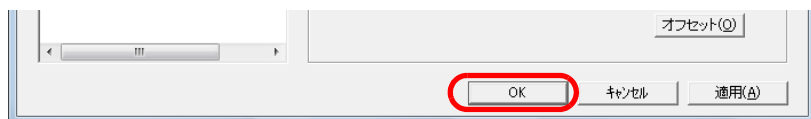


2 確認の画面が表示されるので、[OK] ボタンをクリックします。

⇒ カウンタ値が0になります。

インク残量の場合は、100になります。

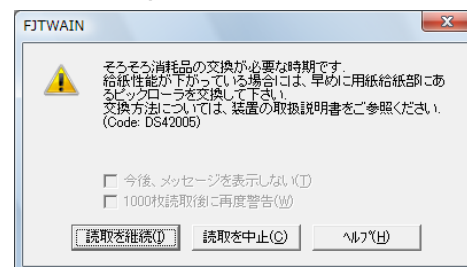
3 「FUJITSU Software Operation Panel」画面の [OK] ボタンをクリックします。



■消耗品交換 / 清掃指示メッセージについて

スキャナを使用していると、次のようなメッセージが表示されることがあります。

消耗品交換メッセージ



清掃指示メッセージ



このメッセージが表示されたら、表示内容を確認し消耗品を交換または清掃してください。

[読取を継続] ボタンをクリックすると、消耗品交換メッセージが消えて、読み取りが続けられます。なるべく早いうちにメッセージに表示された消耗品を交換してください。読み取りを中止して消耗品を交換する場合は、[読取を中止] ボタンをクリックします。

消耗品の交換は次を参照してください。

ピックアップローラ「6.2 ピックアップローラを交換します」(P.116)

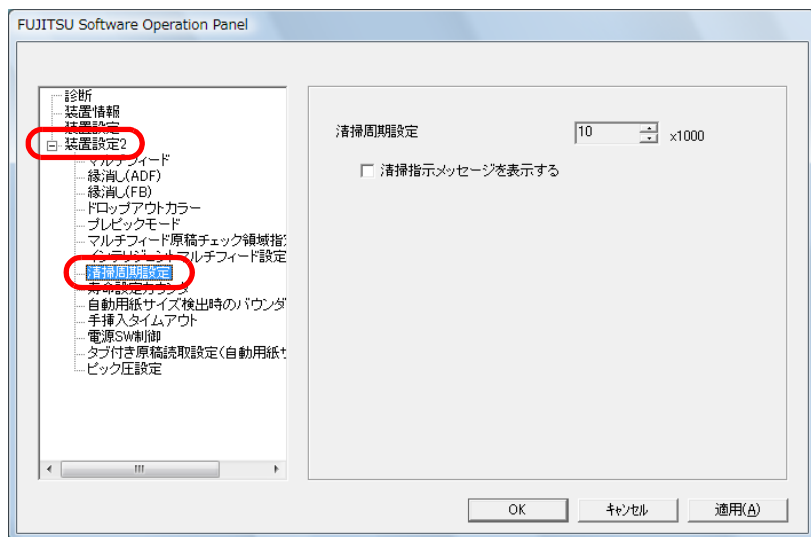
プレーキローラ「6.3 プレーキローラを交換します」(P.118)

清掃方法は、「第5章 日常のお手入れ」(P.105)を参照してください。

スキャナの清掃周期の設定（清掃周期設定）

スキャナの清掃周期を設定できます。
ページカウンタ（消耗品カウンタ）のカウンタ値がここで指定する値を超えると、カウンタの地色が黄色に変わります。
また、清掃指示メッセージ（P.157）を表示することもできます。

- 1 Software Operation Panel を起動します。
「8.1 Software Operation Panel の起動」(P.147)を参照してください。
- 2 画面左のリストから「装置設定 2」→「清掃周期設定」をクリックします。



- 3 清掃周期のカウンタ値を設定します。
1,000 枚から 255,000 枚まで、1,000 枚単位で設定できます。
また、清掃指示メッセージを表示するかどうかを設定します。

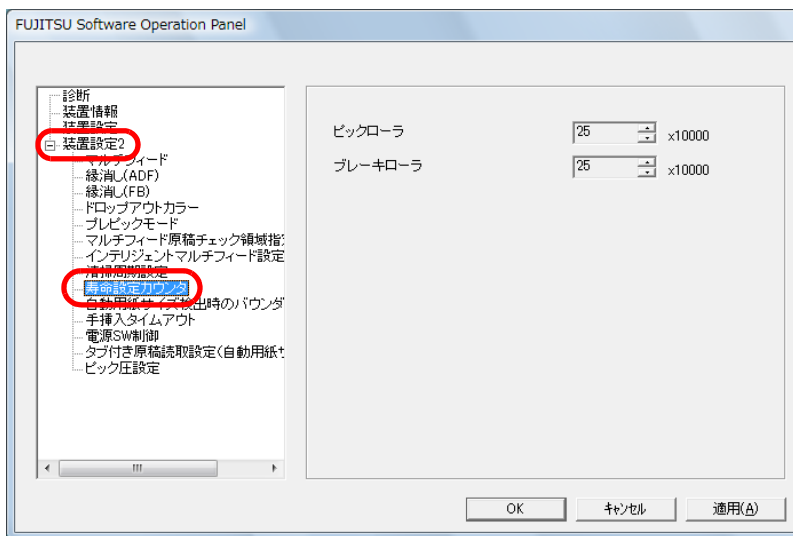


Kofax VRS 使用時は、清掃指示メッセージを表示できません。

消耗品の交換周期の設定（寿命設定カウンタ）

消耗品の交換周期設定を変更できます。
ページカウンタ（消耗品カウンタ）のカウンタ値がここで指定する値を超えると、カウンタの地色が黄色になり、消耗品交換メッセージ（P.157）が表示されます。

- 1 Software Operation Panel を起動します。
「8.1 Software Operation Panel の起動」(P.147)を参照してください。
- 2 画面左のリストから「装置設定 2」→「寿命設定カウンタ」をクリックします。



- 3 各消耗品（ピックアップ、プレーキローラ）の寿命設定カウンタ値を設定します。
10,000 枚から 2,550,000 枚まで、10,000 枚単位で設定できます。

8.4 読み取りに関する設定

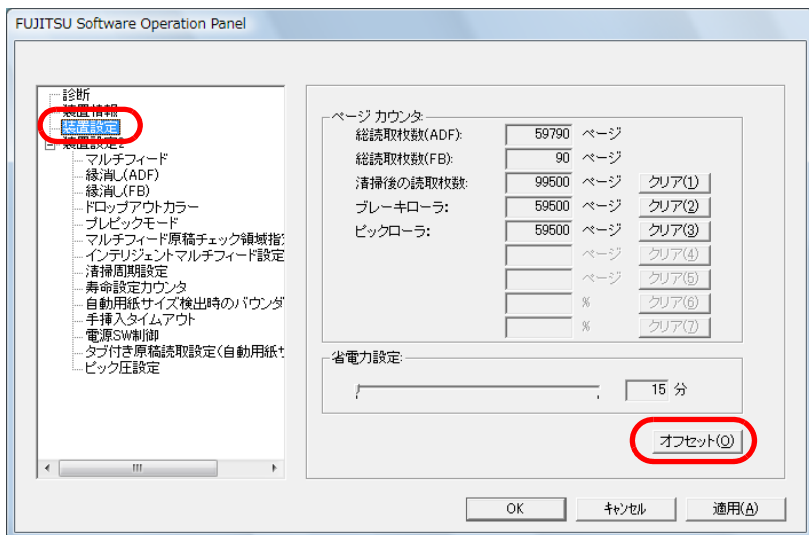
読み取り開始位置の調整 (オフセット設定 / 倍率調整)

読み取った原稿に対して、画像の出力位置がずれたり、画像が縦方向につぶれたり間延びしたりして見える場合は、次の手順でオフセット調整および副走査方向の倍率調整を行います。

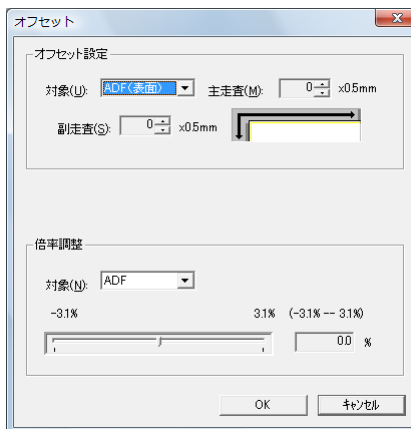


工場出荷時に適切な値に調整されているため、通常は調整していただく必要はありません。

- 1 Software Operation Panel を起動します。
「8.1 Software Operation Panel の起動」(P.147)を参照してください。
- 2 画面左のリストから「装置設定」をクリックし、[オフセット] ボタンをクリックします。



- 3 必要に応じて、オフセット / 副走査方向の倍率調整を行います。



オフセット設定	説明
対象	オフセット調整を行う対象を、「ADF（表面）」、「ADF（裏面）」(fi-6670/fi-6670A/fi-6770/fi-6770Aのみ)、または「フラットベッド」(フラットベッドタイプのみ)から選択します。SCSI/USBコネクター2で接続している場合、ADFのオフセットは裏面のみ設定できます。
主走査	主走査(幅)方向のオフセットを調整します。 -2mm ~ +3mmの範囲で0.5mm刻みの調整ができます。
副走査	副走査(長さ)方向のオフセットを調整します。 -2mm ~ +3mmの範囲で0.5mm刻みの調整ができます。

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

倍率調整	説明
対象	倍率調整を行う対象を、「ADF」または「フラットベッド」（フラットベッドタイプのみ）から選びます。
倍率調整 （副走査：長さ）	副走査（長さ）方向の倍率を調整します。 -3.1% ~ +3.1%の範囲で0.1%刻みの調整ができます。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

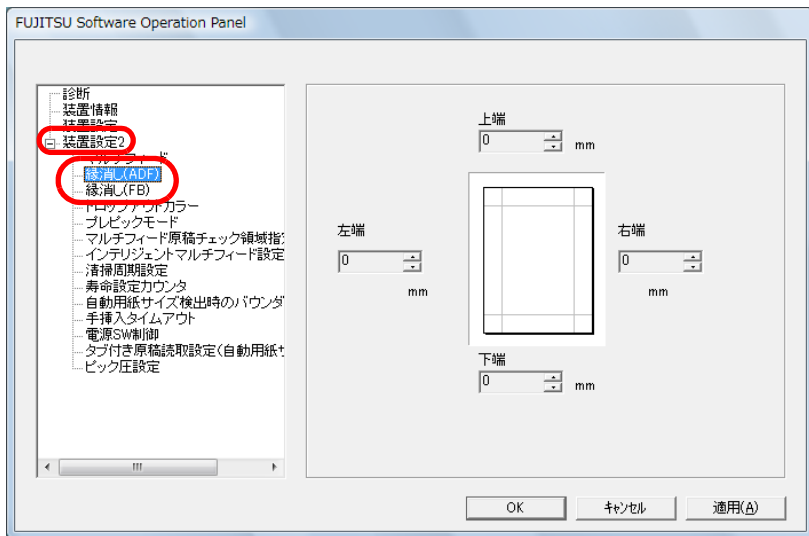
付録

用語集

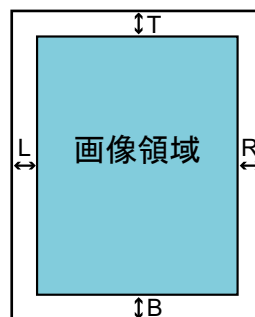
読み取ったイメージの端にできる影やスジの消去 (縁消し)

読み取る原稿の状態によっては、出力画像の端に原稿の影が写って、黒いスジが発生する場合があります。
このような場合は、「縁消し」機能を使って原稿の端を塗りつぶすことにより、原稿端部をきれいに処理することができます。

- 1 Software Operation Panel を起動します。
「8.1 Software Operation Panel の起動」(P.147)を参照してください。
- 2 画面左のリストから「装置設定2」→「縁消し (ADF)」または「縁消し (FB)」をクリックします。



- 3 上端/下端/右端/左端それぞれの塗りつぶす幅を指定します。



ADF

T : 上端 = 0mm ~ 15mm

B : 下端 = -7mm ~ 7mm

R : 右端 = 0mm ~ 15mm

L : 左端 = 0mm ~ 15mm

FB

T : 上端 = 0mm ~ 15mm

B : 下端 = 0mm ~ 15mm

R : 右端 = 0mm ~ 15mm

L : 左端 = 0mm ~ 15mm

(1mm 刻み)

指定した範囲を、裏当て（背景色）が白の場合は白色塗りつぶし、黒の場合は黒色で塗りつぶします。



原稿枠いっぱいに文字が書かれた原稿は、縁消し領域を広く取ると、端の方の文字が消えてしまう場合がありますので注意してください。



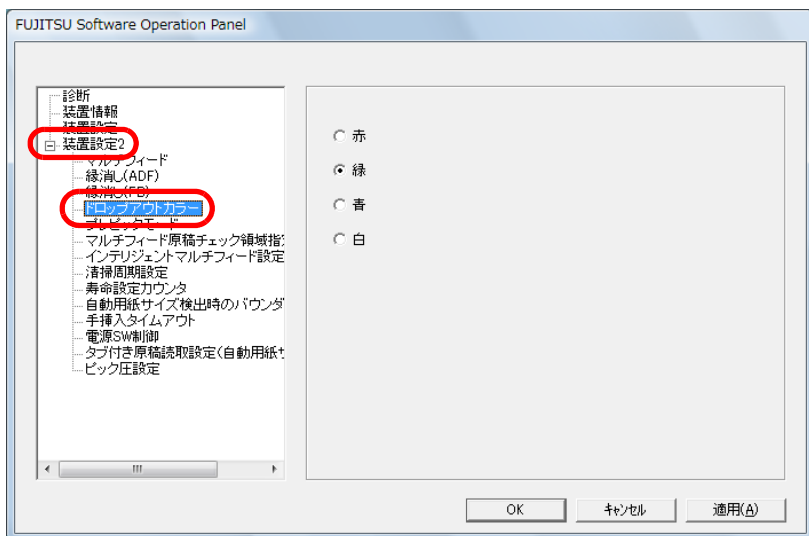
- 背景色は、通常白色です。スキャナドライバで「黒背景」に変更することができます。TWAIN ドライバの場合は、[オプション] ボタン→「回転」タブの「自動傾き/サイズ検出」で「黒背景」を選択すると裏当てが黒色に切り替わります。
- 本設定はスキャナドライバの設定画面から行うこともできます。この場合、設定した値の大きい方が優先されます。
- 本設定は、Kofax VRS 使用時は反映されません。

指定した色を除いた読み取りの設定 (ドロップアウトカラー)

「ドロップアウトカラー」機能を使用すると、赤・緑・青（光の三原色）の中から、選択した色情報を除いて読み取ることができます（ドロップアウトカラーは、2値白黒、グレースケール読み取り時のみ指定可能です）。

たとえば、黒い文字と緑色の枠がある原稿の黒い文字の部分だけを読み取ることができます。

- 1 Software Operation Panel を起動します。
「8.1 Software Operation Panel の起動」(P.147) を参照してください。
- 2 画面左のリストから「装置設定 2」→「ドロップアウトカラー」をクリックします。



- 3 ドロップアウトカラーをクリックします。
赤、緑、青：赤 / 緑 / 青色をドロップアウトします。
白：ドロップアウトをしません。



Software Operation Panel から設定を行う場合は、赤、緑、青以外の任意の色を指定することはできません。任意の色をドロップアウトカラーに指定したい場合は、スキャナドライバから設定してください。
スキャナドライバによる設定については、「指定の色（ドロップアウトカラー）の部分を除いて読み取りたいとき」(P.69) を参照してください。



本設定はスキャナドライバの設定画面から行うこともできます。この場合、スキャナドライバの設定が優先されます。

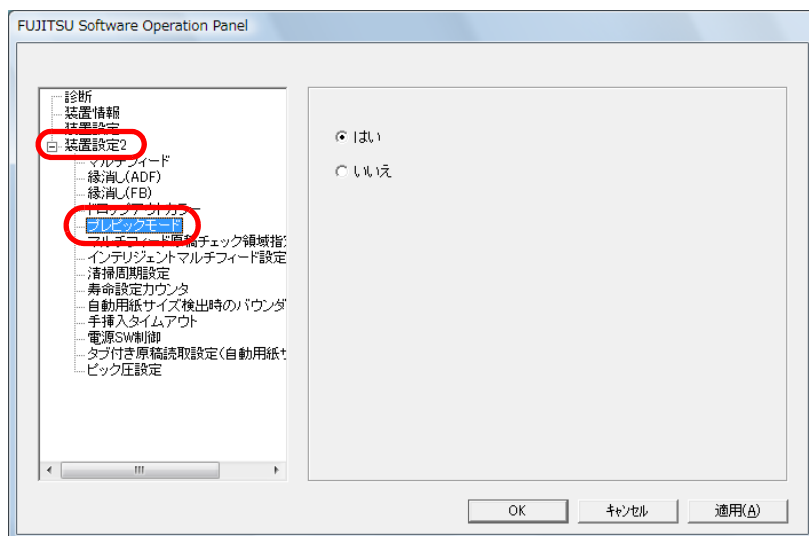
読み取り時間の短縮（プレピックモード）

読み取り動作を開始する前に、原稿を読み取り位置まで搬送することを、プレピックといいます。

プレピックを有効にすることにより、読み取り終了後、次の読み取りを行うまでの時間を短縮することができます。

1 Software Operation Panel を起動します。
「8.1 Software Operation Panel の起動」(P.147)を参照してください。

2 画面左のリストから「装置設定2」→「プレピックモード」をクリックします。



3 プレピックの設定を行います。
プレピックする場合は「はい」、しない場合は「いいえ」をクリックします。



- プレピックを有効にすると、途中で読み取りを中止したときに、プレピックされた原稿を一度排出して、再度セットしなおす必要があります。
- 本設定はスキャナドライバの設定画面から行うこともできます。この場合、スキャナドライバの設定が優先されます。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

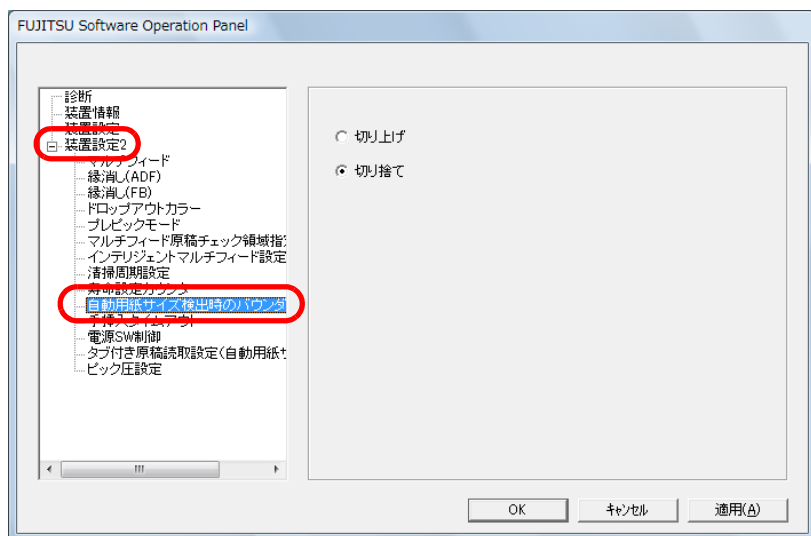
付録

用語集

読み取ったイメージの端数の設定 (自動用紙サイズ検出時のバウンダリ)

原稿の読み取り処理の過程でデータに端数が発生する場合があります。「自動用紙サイズ検出時のバウンダリ」機能を使用すると、発生した端数をデータに取り込むか、切り捨てるかを設定できます。

- 1 Software Operation Panel を起動します。
「8.1 Software Operation Panel の起動」(P.147)を参照してください。
- 2 画面左のリストから「装置設定2」→「自動用紙サイズ検出時のバウンダリ」をクリックします。



- 3 端数が発生した場合の処理をクリックします。
データの欠落を防ぎたい場合は「切り上げ」、むだなデータを削除したい場合は「切り捨て」をクリックします。



- 「切り捨て」をクリックして、後端部分ギリギリに文字などが書かれているような原稿を読み取る場合は、後端部分の情報が欠落する場合があります。
- 「切り上げ」をクリックした場合、データの欠落を防ぐことはできますが、後端部分に黒い線が入る場合があります。
- 自動用紙サイズ検出の設定方法については、「原稿の傾きを自動で補正したいとき」(P.80)を参照してください。

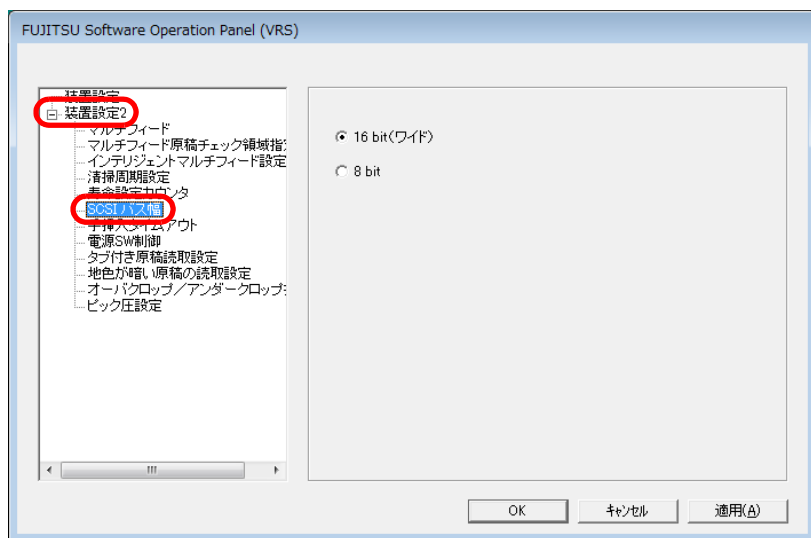


本設定は、Kofax VRS 使用時は反映されません。

データ転送幅の設定 (SCSI バス幅)

CGA ボードの SCSI コネクタ 2 で接続している場合のデータ転送幅を設定します。

- 1 Software Operation Panel を起動します。
「8.1 Software Operation Panel の起動」(P.147) を参照してください。
- 2 画面左のリストから「装置設定 2」→「SCSI バス幅」をクリックします。



- 3 「16 bit (ワイド)」または「8 bit」をクリックします。



Ultra Wide SCSI に対応していない SCSI カードや SCSI ケーブルを使用する場合は、「8 bit」を選択してください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

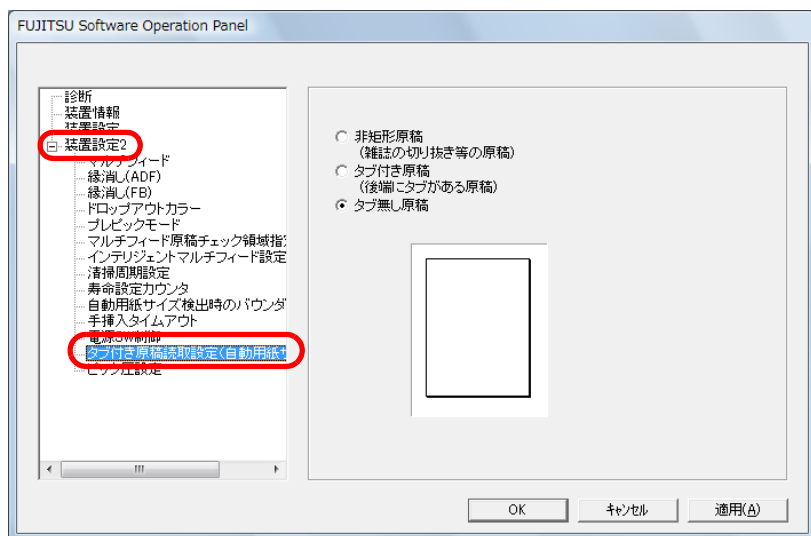
用語集

タブ / 非矩形原稿の読み取り設定 (タブ付き原稿読取設定)

原稿の後端に仕切り用インデックスや、インデックスシールが貼り付けてある原稿（タブ付き原稿）の場合、自動用紙サイズ検出で読み取る際に、インデックス部分まで読み取ることができます。

1 Software Operation Panel を起動します。
「8.1 Software Operation Panel の起動」(P.147) を参照してください。

2 画面左のリストから「装置設定 2」→「タブ付き原稿読取設定」をクリックします。



3 「非矩形原稿」、「タブ付き原稿」、または「タブ無し原稿」をクリックします。

項目	説明
非矩形原稿	検出した原稿の後端から、最大 120mm 長く読み取ります。
タブ付き原稿	検出した原稿の後端から、最大 20mm 長く読み取ります。
タブ無し原稿	原稿の後端を検出すると、読み取りを終了します。



- タブ付き原稿または非矩形原稿をクリックした場合、読み取り速度が低下します。
- タブ付き原稿または非矩形原稿を読み取る場合は、「タブ付き原稿または非矩形原稿のセット方法」(P.45) を参照してください。
- 自動用紙サイズ検出の設定方法については、「原稿の傾きを自動で補正したいとき」(P.80) を参照してください。
- SCSI/USB コネクタ 2 で接続している場合、次のことに注意してください。
 - 「非矩形原稿」は選択できません。
 - A5 サイズ未満の原稿を読み取る際に、タブ画像が欠落することがあります。
 - 本設定と「地色が暗い原稿の読取設定」を同時に有効にすることはできません。本設定を有効にした場合は、「地色が暗い原稿の読取設定」は自動的に無効となります。

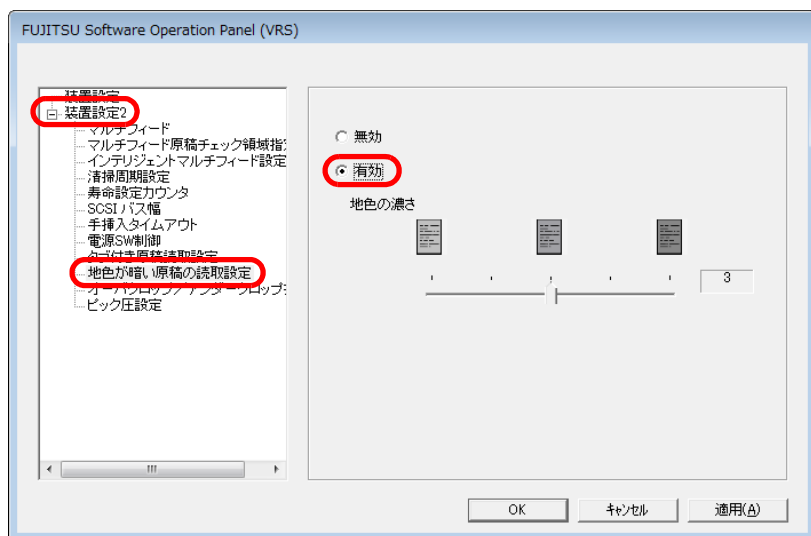
背景色が暗い原稿の読み取り設定 (地色が暗い原稿の読取設定)

背景色が暗い原稿を読み取る場合、エッジを検出するかどうかを設定します。

また、エッジを正しく検出するために、検出の感度を設定することができます。

1 Software Operation Panel を起動します。
「8.1 Software Operation Panel の起動」(P.147)を参照してください。

2 画面左のリストから「装置設定2」→「地色が暗い原稿の読取設定」をクリックし、「有効」を選択します。



3 原稿の「地色の濃さ」を設定します。



- 「地色の濃さ」を濃くすると、搬送路内のほこりによって、エッジを誤検出する場合があります。
- 本設定と「タブ付き原稿読取設定」を同時に有効にすることはできません。本設定を有効にした場合は、「タブ付き原稿読取設定」は自動的に無効となります。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

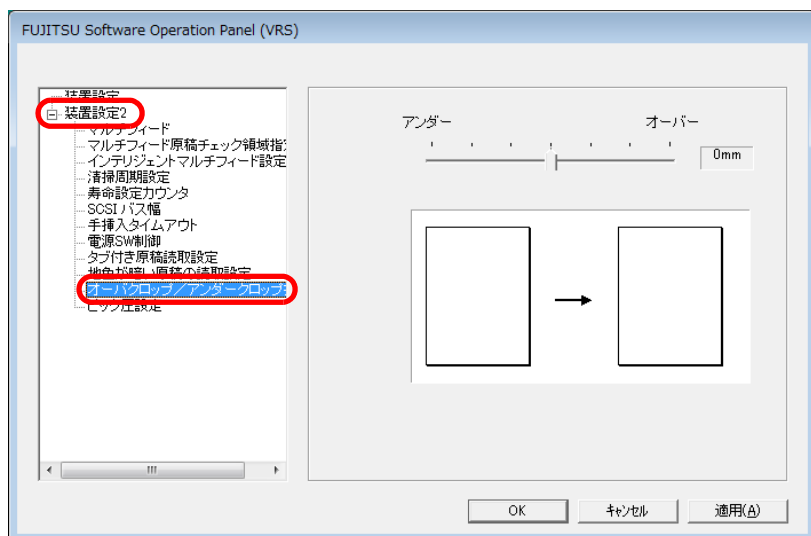
付録

用語集

原稿の出力結果の調整 (オーバーカROP/アンダーカROP指定)

「自動用紙サイズ検出」で検出した原稿に対して、画像の出力結果を調整します。

- 1 Software Operation Panel を起動します。
「8.1 Software Operation Panel の起動」(P.147)を参照してください。
- 2 画面左のリストから「装置設定 2」→「オーバーカROP/アンダーカROP指定」をクリックします。



3 スライダーを使い、原稿の出力結果を調整します。

項目	説明
オーバー	原稿の外側に黒い部分を追加して、画像が欠けないように調整します。 0mm ~ 3mm の範囲で 1mm 刻みの調整ができます。
アンダー	原稿周辺部を削除して、黒い部分を残さないように調整します。 -3mm ~ 0mm の範囲で 1mm 刻みの調整ができます。



オーバーカROPを使用して幅が広い原稿を読み取った場合、原稿の外側に指定した量の黒い部分が追加されない場合があります。



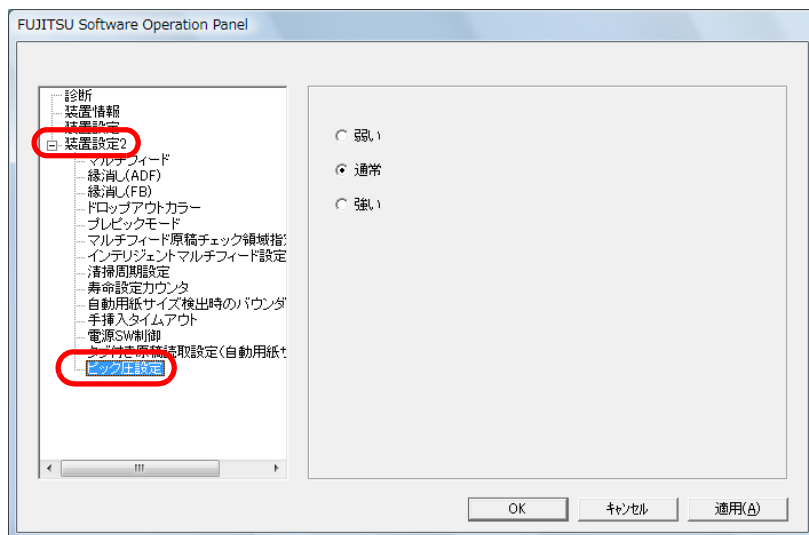
スライダーで 0mm を選択している場合、出力結果は調整されません。

ピックアップの調整（ピックアップ設定）

薄い紙を給紙する場合または給紙時になかなか給紙されず、何度も給紙ローラが回転してから給紙される原稿の場合、ピックアップを調整して読み取ることができます。

1 Software Operation Panel を起動します。
「8.1 Software Operation Panel の起動」(P.147) を参照してください。

2 画面左のリストから「装置設定 2」→「ピックアップ設定」をクリックします。



3 給紙時のピックアップを設定します。



- 「強い」をクリックして、薄い紙を読み取ると、原稿づまりが発生するおそれがあります。
- 「弱い」をクリックして、厚い紙を読み取ると、なかなか給紙されずに、何度も給紙ローラが回転するおそれがあります。



- 「強い」をクリックすると、給紙ローラの搬送力が強くなり、給紙されにくい原稿もすばやく給紙することができます。
- 「強い」は、比較的に厚い紙を読み取る場合に有効です。
- 「弱い」をクリックすると、薄い紙でも搬送できるようになります。ただし、推奨されていない原稿を搬送する場合は、事前に読み取ることができるかどうかを同質の原稿で確認してください。
- 「弱い」は、比較的に薄い紙を読み取る場合に有効です。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

8.5 マルチフィード検出に関する設定

マルチフィード検出方法の設定

マルチフィードとは、一度に原稿が複数枚重なった状態で給紙されてしまう現象です。

気づかずに読み取っていると、あとで重要なデータが抜けていたという事態が発生するかもしれません。

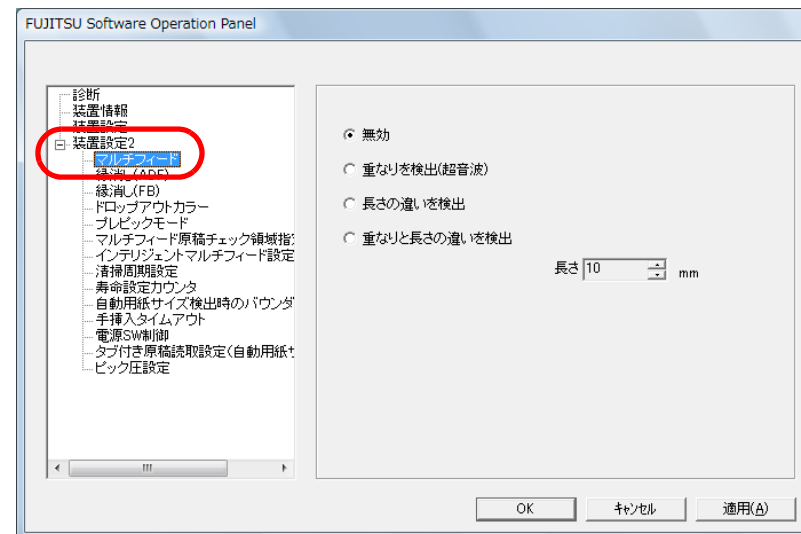
これを防止するために、本製品には、マルチフィード検出機能があります。

この機能を有効にしておくと、マルチフィードを検出した時点で、メッセージを表示して、読み取りを中断します。

ただし、原稿の先端から約 30mm は、マルチフィードとして検出されません。

- 1 Software Operation Panel を起動します。
「8.1 Software Operation Panel の起動」(P.147) を参照してください。

- 2 画面左のリストから「装置設定 2」→「マルチフィード」をクリックします。



- 3 検出方法をクリックします。

検出方法	説明
無効	マルチフィードを検出しません。

検出方法	説明
重なりを検出（超音波）	<p>原稿の重なりからマルチフィードを検出します。</p> <p>この設定をした場合、さらに次の2つの検出オプションを指定することもできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 検出領域を原稿先端からの長さで指定できます。 「マルチフィード検出範囲の指定（マルチフィード原稿チェック領域指定）」（P.172）に進みます。 原稿の決まった位置に、同じ大きさの紙が貼られている場合、その部分のマルチフィードを無視できます。 「決まった条件のマルチフィードを無効にしたいとき」（P.101）に進みます。
長さの違いを検出	<p>原稿の長さの違いから、マルチフィードを検出します。</p>
重なりと長さの違いを検出	<p>「重なりを検出」と「長さの違いを検出」によりマルチフィードを検出します。</p>
長さ	<p>長さの違いを検出する場合に、マルチフィードとみなすための長さの違いを、10/15/20mmから選択します。選択された長さ以下は、誤差とみなされて、マルチフィードとして検出されません。</p>



- 長さの異なる原稿を読み取る場合は、「重なりを検出」を使用してください。
- 原稿の上に写真や紙などが貼られている場合は、「重なりを検出」を使用すると、貼り付け部分を重なりと誤検出する場合があります。このような場合は、「長さの違いを検出」を使用してください。ただし、検出範囲を制限することによって、「重なりを検出」を使用することもできます。



本設定はスキャナドライバの設定画面から行うこともできます。この場合、スキャナドライバの設定が優先されます。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

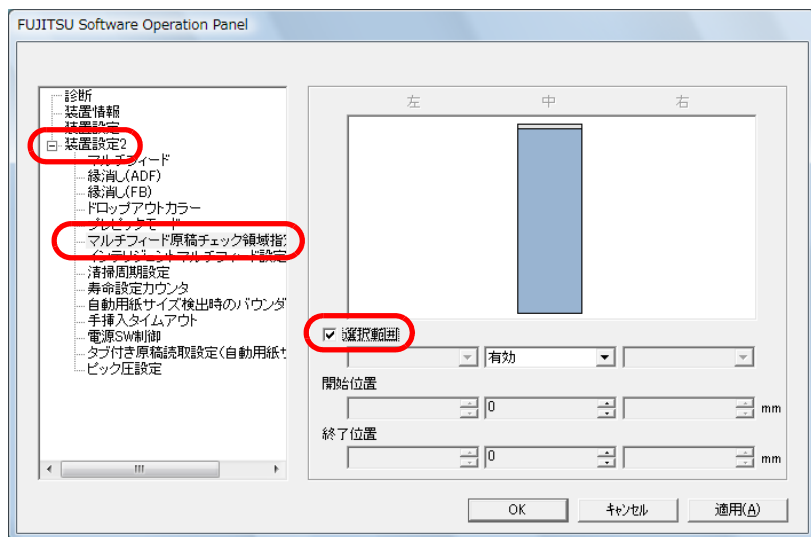
付録

用語集

マルチフィード検出範囲の指定 (マルチフィード原稿チェック領域指定)

「重なりを検出」を設定した場合のみ次の設定があります。

- 画面左のリストから「装置設定2」→「マルチフィード原稿チェック領域指定」をクリックします。画面内の「選択範囲」チェックボックスをチェックします。



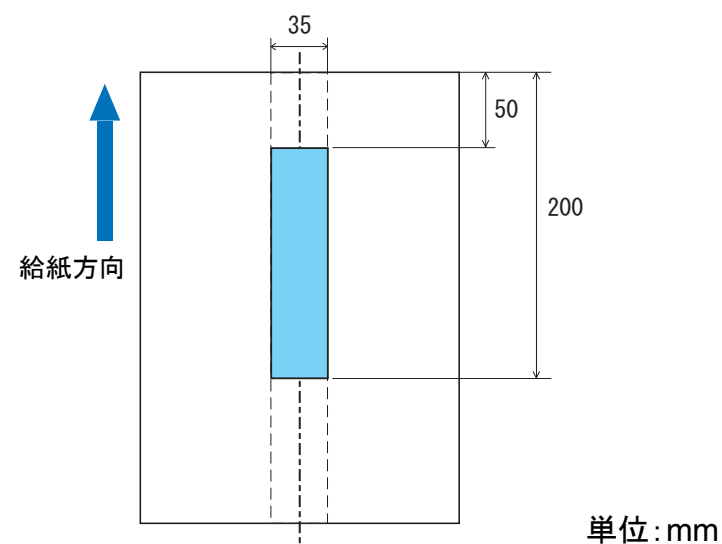
2 検出範囲を指定します。

検出範囲	説明
選択範囲	<p>次の図にある水色の検出範囲を指定するために、チェックします。</p> <p>この画面で設定する内容を有効にする場合はチェックします。有効にしない場合はチェックを外します。チェックを外すと、開始位置=0 終了位置=0となり、全範囲についてマルチフィード検出が行われます。</p>
無効	指定した範囲についてマルチフィード検出を行いません。
有効	指定した範囲についてマルチフィード検出を行います。
開始位置	範囲指定の開始位置を、原稿の先端からの長さで示します。 設定可能範囲：0~510mm、2mm 刻み、開始位置 < 終了位置
終了位置	範囲指定の終了位置を、原稿の先端からの長さで示します。 設定可能範囲：0~510mm、2mm 刻み、開始位置 < 終了位置



- 開始位置 = 0、終了位置 = 0 に設定した場合、無効 / 有効にかかわらず、全範囲についてマルチフィード検出を行います。
- 原稿の全範囲でマルチフィード検出を無効にしたい場合は、指定モードで「無効」をクリックし、開始位置 = 0、終了位置 \geq 原稿長さに設定してください。
- 開始位置が、原稿長さよりも大きな値に設定されると、「無効」の場合は、原稿長さ全域が検出範囲となり、「有効」の場合は、マルチフィードが無効になります。
- マルチフィードを検出するには、5mm 以上の長さが必要になります。
有効範囲を指定する場合は、終了位置 - 開始位置 \geq 6mm になるように設定してください。
- 次の方法でも開始位置、終了位置を設定することができます。
 - 設定領域を示す画面上で、マウスをドラッグして方形領域を作成する。
 - 設定領域を示す画面上で、開始位置 / 終了位置を示すハンドルをマウスでドラッグする。

設定例 1 : 選択範囲 = 有効、開始位置 = 50mm、終了位置 = 200mm の場合



水色の範囲のみマルチフィードが検出されます。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

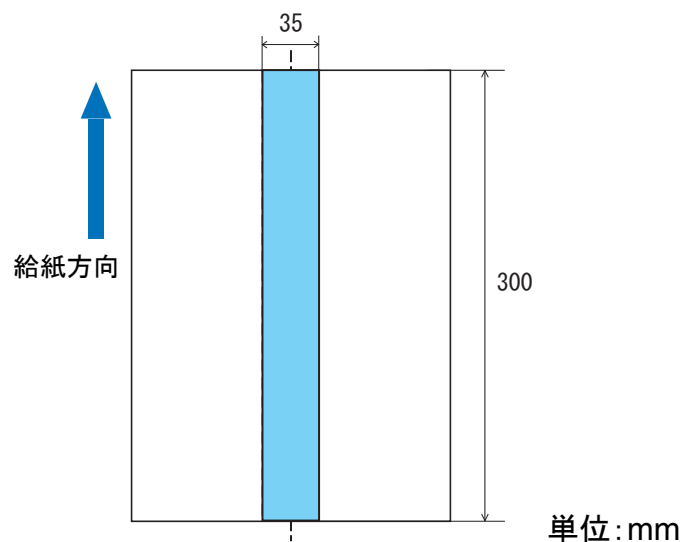
困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

設定例2：選択範囲 = 有効、開始位置 = 0mm、
終了位置 = 0mm の場合

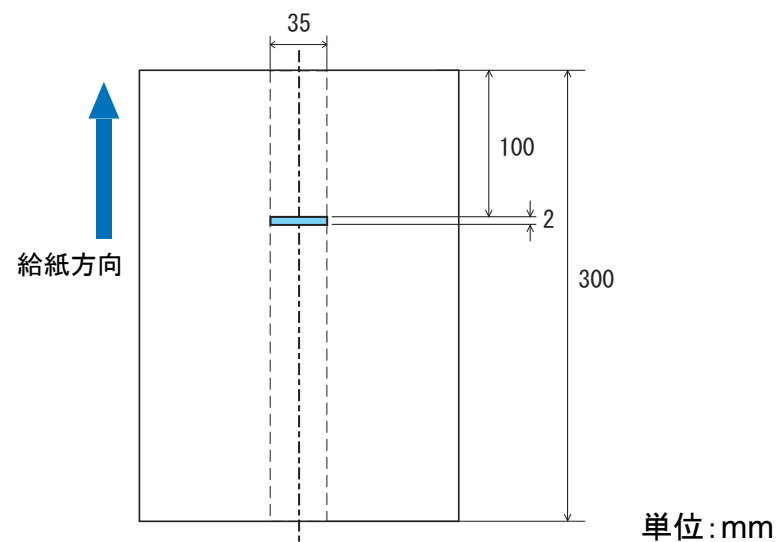


水色の範囲のみマルチフィードが検出されます。



原稿の重なりを検出する場合、密着した原稿（のり付け、静電気による貼りつき）では、マルチフィード検出率が落ちる場合もあります。

設定例3：選択範囲 = 有効、開始位置 = 100mm、
終了位置 = 102mm の場合（悪い例）

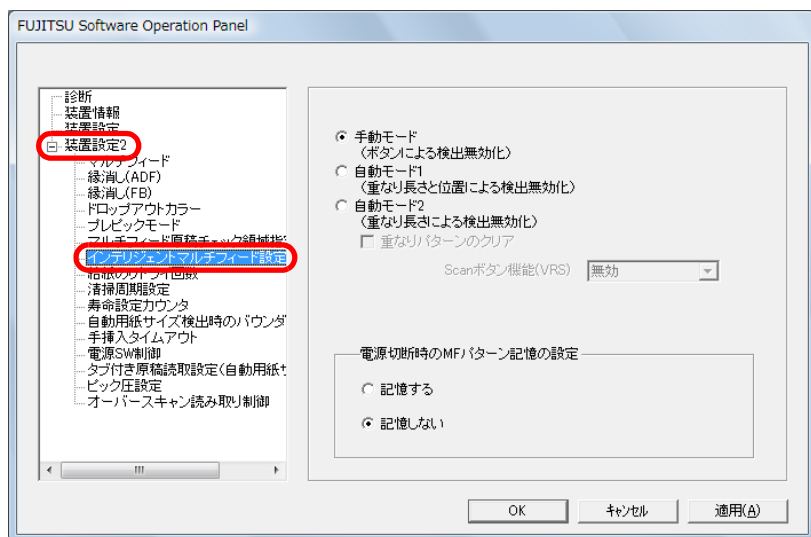


検出範囲（長さ）が5mmに満たないため、正しくマルチフィードを検出することができません。

マルチフィード検出しない範囲の設定 (インテリジェントマルチフィード設定)

原稿の決まった位置に同じ大きさの紙が貼られている場合、その貼付位置をスキャナに認識させ、その部分のマルチフィード検出をしないように設定することができます。この設定を行うには、マルチフィード設定（「[マルチフィード検出方法の設定](#)」(P.170)）で、あらかじめ「重なりを検出」に設定しておく必要があります。

- 1 Software Operation Panel を起動します。
「[8.1 Software Operation Panel の起動](#)」(P.147)を参照してください。
- 2 画面左のリストから「装置設定 2」→「インテリジェントマルチフィード設定」をクリックします。



- 3 動作モードを選択し、[OK] ボタンをクリックします。

動作モード	説明
手動モード	マルチフィードを検出し原稿搬送をやめるが、原稿を ADF 給紙シュートに戻し、読み取りを再開するモード。原稿に貼ってある紙片の位置や大きさは記憶しません。
自動モード 1	マルチフィードを検出した場合、その原稿を ADF 給紙シュートに戻し、再読み取り時に、原稿に貼ってある紙片の位置と大きさを記憶します。次の読み取りから、その場合のマルチフィード検出を無効にします。
自動モード 2	マルチフィードを検出した場合、その原稿を ADF 給紙シュートに戻し、再読み取り時に、原稿に貼ってある紙片の大きさを記憶します。次の読み取りから、その場合のマルチフィード検出を無効にします。

- 4 「電源切断時の MF パターン記憶の設定」で、電源切断時にマルチフィードパターンを記憶するかしないかを設定します。「記憶する」を選択すると、電源切断する前のマルチフィードパターンを電源再投入後も使用することができます。（電源切断時に記憶するパターンは 8 パターンとなります。）



「重なりパターンのクリア」チェックボックスをチェックすると、自動モードで記憶した原稿の重なりパターン（長さや位置）をクリアできます。なお、動作モードを変更した場合、記憶した原稿の重なりパターン（長さや位置）は、自動的にクリアされません。

以降の操作については、「[決まった条件のマルチフィードを無効にしたいとき](#)」(P.101)を参照してください。

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

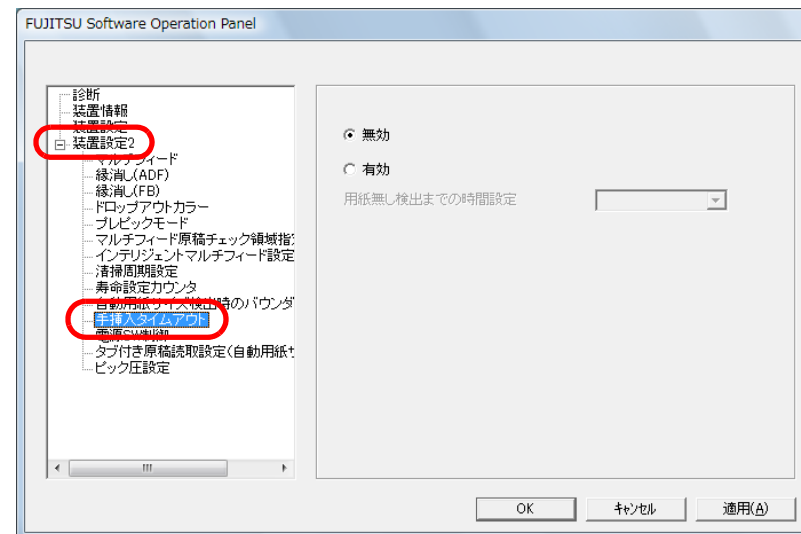
8.6 待機時間に関する設定

手差しモードの待機時間の設定 (手挿入タイムアウト)

手で1枚ずつ原稿をセットして読み取る場合（手挿入）に、最後に原稿をセットしてから次に原稿をセットするまでの時間を設定しておくことで、設定した時間内であれば原稿をセットする間隔があいても、連続して読み取ることができます。設定した時間を超えると、自動的に読み取りが終了して、手挿入が解除されます。設定した時間待っている状態で、[Send to] ボタンを押すことで、即座に手挿入を解除することができます。

- 1 Software Operation Panel を起動します。
「8.1 Software Operation Panel の起動」(P.147)を参照してください。

- 2 画面左のリストから「装置設定2」→「手挿入タイムアウト」をクリックします。



- 3 「手挿入タイムアウト」を有効にするか、無効にするかを選択します。
有効にする場合は、「用紙無し検出までの時間設定」で、ADF 給紙シュートに原稿がセットされていないと判断するまでの時間（最後に原稿を読み取ってから、次の原稿の有無を検出するまでの時間）を選択します。

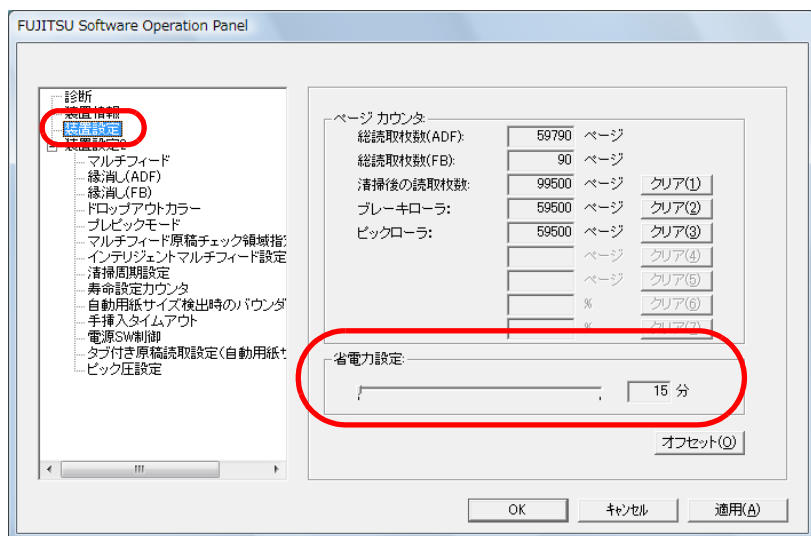


「手挿入タイムアウト」の設定時は、ADF 給紙シュートに原稿がない状態で、読み取りの開始を行っても、設定した時間内で原稿がセットされるのを待ちます。

省電力モードの待機時間の設定（省電力設定）

スキャナを、一定時間使用しない状態が続くと、自動的に省電力モードに切り替えて、消費電力を抑えます。

- 1 Software Operation Panel を起動します。
「8.1 Software Operation Panel の起動」(P.147) を参照してください。
- 2 画面左のリストから「装置設定」をクリックします。



- 3 スライダーを使い、省電力モードに入るまでの待機時間を設定します。
15分～55分の範囲で設定（5分刻みで設定）できます。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

8.7 電源投入 / 切断方法に関する設定

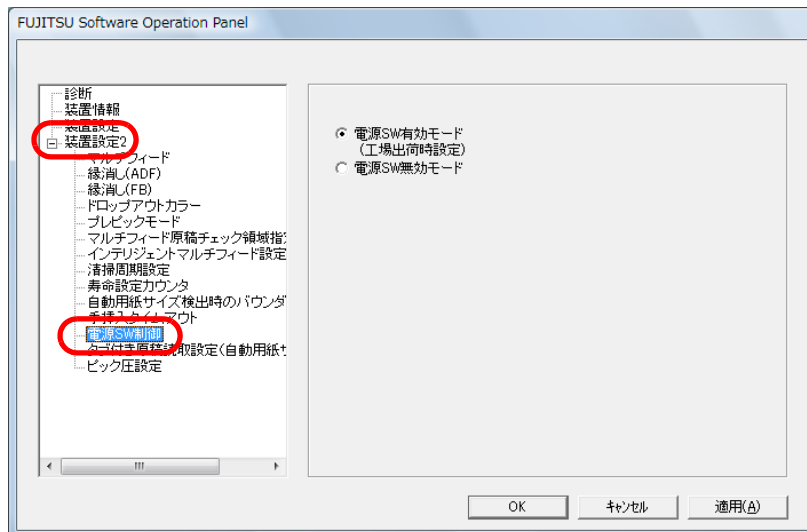
電源投入 / 切断方法の設定（電源 SW 制御）

電源の投入 / 切断の方法を設定します。

操作パネルの [Power] ボタンでの電源 ON/OFF を有効にするか、無効にするかを設定できます。

無効にした場合は、メイン電源スイッチで電源の ON/OFF を行います。

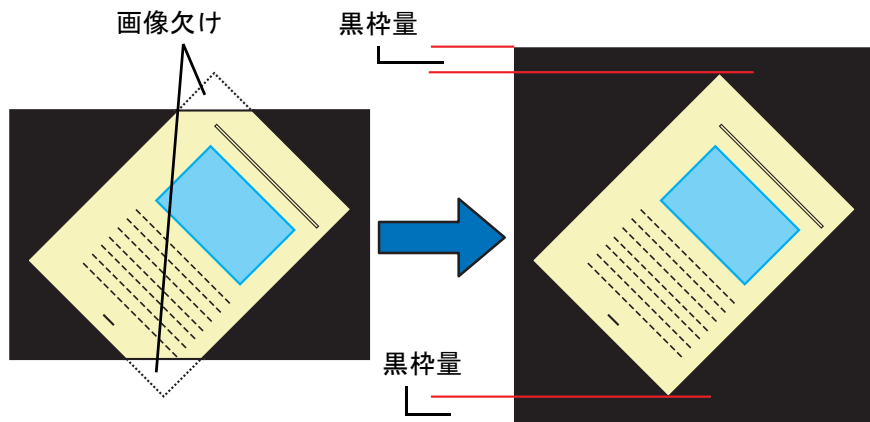
- 1 Software Operation Panel を起動します。
「8.1 Software Operation Panel の起動」(P.147) を参照してください。
- 2 画面左のリストから「装置設定 2」→「電源 SW 制御」をクリックします。



- 3 操作パネルの [Power] ボタンでの電源 ON/OFF を有効にするか、無効にするかを選択します。
有効にする場合は「電源 SW 有効モード」、無効にする場合は「電源 SW 無効モード」をクリックします。

8.8 オーバースキャン読み取り制御の設定

オーバースキャン読み取りで、異常なスキューが発生し、画像が欠ける場合に「拡大」を設定します。



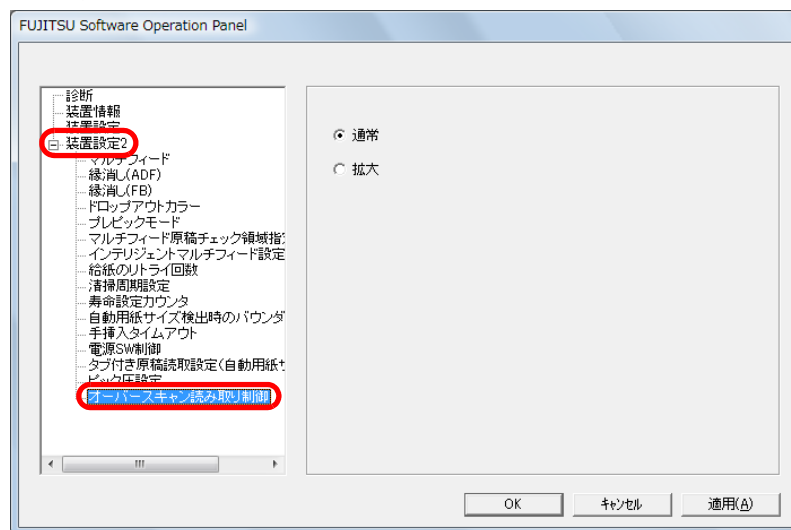
画像が欠ける場合

「拡大」を設定した場合

オーバースキャン読み取り制御の設定は、以下のようになります。

- 1 Software Operation Panel を起動します。
「8.1 Software Operation Panel の起動」(P.147)を参照してください。

- 2 画面左のリストから「装置設定2」を選択し、その下の「オーバースキャン読み取り制御」をクリックし、「拡大」を選択します。



本設定は、Kofax VRS 使用時は表示されません。



- 本機能有効時は読み取り速度が低下します。
- 読み取り可能な原稿の最大サイズを指定して読み取ることを推奨します。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

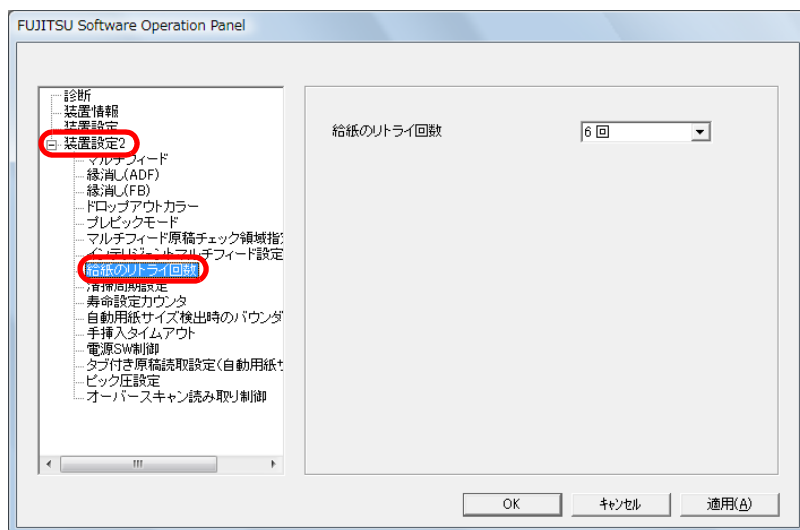
付録

用語集

8.9 給紙のリトライ回数

給紙時（ピックアップ動作時）のリトライ回数を設定します。
います。

- 1 Software Operation Panel を起動します。
「8.1 Software Operation Panel の起動」(P.147)を参照してください。
- 2 画面左のリストから「装置設定 2」→「給紙のリトライ回数」をクリックします。



- 3 リトライ回数を 1～8 回の範囲で指定します。

付録

ここでは、次の情報について説明します。

付 .1 スキャナ基本仕様	182
付 .2 設置諸元.....	184
付 .3 外形寸法.....	185
付 .4 スキャナのオプション	187
付 .5 ソフトウェアのアンインストール手順	189

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

付 .1 スキャナ基本仕様

項目		仕様			備考
機種名		fi-6670/fi-6670A	fi-6770/fi-6770A	fi-6750S	-
スキャナタイプ		ADF（自動給紙部）	ADF +フラットベッド	ADF +フラットベッド	-
イメージセンサー		カラー CCD × 2 （表、裏）	カラー CCD × 3 （表、裏、フラット ベッド）	カラー CCD × 2 （表、フラットベッド）	-
光源		白色冷陰極蛍光放電管 × 2（表、裏）	白色冷陰極蛍光放電管 × 3（表、裏、フラット ベッド）	白色冷陰極蛍光放電管 × 2（表、フラットベッ ド）	-
読み取り範囲	最小	ADF	A8 縦（*1）		127g/m ² ~ 209g/m ²
	最大	ADF	A3 またはダブルレター		-
		長尺読み取り時	3m		（*2）
		フラットベッド	-	304.8 × 457.2 mm	-
原稿の厚さ		A4/ レターサイズ以下 : 31g/m ² ~ 209g/m ² A4/ レターサイズより大きいサイズ : 52g/m ² ~ 209g/m ² A8 サイズ : 127g/m ² ~ 209g/m ²			（*3）
読み取り速度 （A4、横）（*4）	バイナリ（2値白黒）	片面 90 枚 / 分、両面 180 面 / 分		片面 72 枚 / 分	200dpi
	グレースケール				
	カラー				
	バイナリ（2値白黒）	片面 80 枚 / 分、両面 160 面 / 分		片面 72 枚 / 分	300dpi
	グレースケール				
	カラー				

項目		仕様			備考
機種名		fi-6670/fi-6670A	fi-6770/fi-6770A	fi-6750S	-
原稿搭載容量		200 枚			A4、80g/m ² (*5)
光化学解像度		600dpi			-
出力解像度	バイナリ (2 値白黒)	50dpi ~ 600dpi			1dpi ごとに変倍可
	グレースケール	50dpi ~ 600dpi			1dpi ごとに変倍可
	カラー	50dpi ~ 600dpi			1dpi ごとに変倍可
読み取り階調		各色 8 ビット			内部処理時は各色 10 ビット
出力モード (中間調)		ディザ / 誤差拡散			-
インターフェース (*6) (*7)		USB2.0/1.1 (*8)			B タイプ
		Ultra SCSI	-		シールド型 50 ピン (ピンタイプ) ハーフピッチ
		Ultra Wide SCSI (fi-6670A/fi-6770A のみ)	-		シールド型 68 ピン (ピンタイプ) ハーフピッチ
その他の機能		ハードリアルタイム JPEG 圧縮			グレースケール / カラー

*1: 読み取り範囲の最小 A8 は、ADF を使用して読み取る場合です。フラットベッドを使用して読み取る場合の読み取り範囲には、事実上制限はありません。

*2: 長さが 864mm を超える指定は、解像度を 200dpi 以下に指定する必要があります。

*3: 記載している原稿の厚さは、ADF を使用して読み取る場合です。フラットベッドを使用して読み取る場合の原稿の厚さには、制限はありません。

*4: 読み取り速度は、ハードウェアの最大速度であり、実際の読み取り時間にはデータ転送時間などのソフトウェアの処理時間が付加されます。

*5: 最大枚数は原稿の厚さによって変わります。「2.2 ADF にセットする原稿について」(P.42) を参照してください。

*6: SCSI と USB 2.0/1.1 のインターフェースを同時に使うことはできません。

*7: 各インターフェースを同時に使用して、複数のパソコンを接続することはできません。

*8: USB 2.0 で接続する場合、USB ポートおよびハブが USB 2.0 に対応している必要があります。また、USB 1.1 で接続すると、読み取り速度が遅くなります。

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

付 .2 設置諸元

項目		仕様		
機種名		fi-6670/fi-6670A	fi-6770/fi-6770A	fi-6750S
外形寸法（幅×奥行き×高さ）(*1)		641 × 432 × 300 mm (*2)	690 × 500 × 342 mm	690 × 500 × 342 mm
設置スペース（幅×奥行き×高さ）(*3)		1179 × 686 × 390 mm	1030 × 700 × 640 mm	1030 × 700 × 640 mm
重さ		17kg	35kg	
入力電源	電圧範囲	AC100V、± 10%		
	相	単相		
	周波数範囲	50/60、± 3Hz		
消費電力	動作時	216W 以下		
	省エネ時	fi-6670 : 6W 以下 fi-6670A : 9.1W 以下	fi-6770 : 6W 以下 fi-6770A : 9.1W 以下	fi-6750S : 6W 以下
動作環境	温度	動作時 : 5° C ~ 35° C、非使用時 : -20° C ~ 60° C		
	湿度	動作時 : 20% ~ 80%、非使用時 : 8% ~ 95%		
発熱量	動作時	186Kcal/Hr 以下		
	省エネ時	fi-6670 : 5.2Kcal/Hr 以下 fi-6670A : 7.8Kcal/Hr 以下	fi-6770 : 5.2Kcal/Hr 以下 fi-6770A : 7.8Kcal/Hr 以下	fi-6750S : 5.2Kcal/Hr 以下
出荷時重量		25kg	44kg	
サポート期間		5年		

*1 : 奥行きは、ADF 給紙シュートおよびスタッカーを除きます。

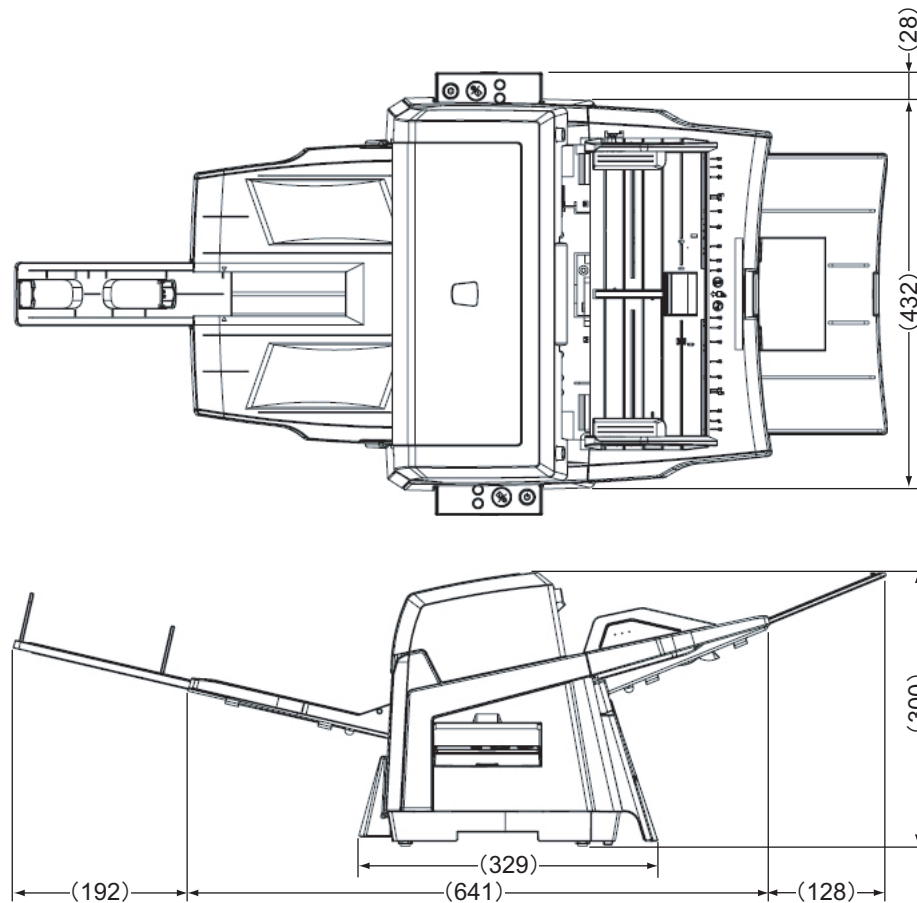
*2 : 幅は、操作パネルを除きます。

*3 : 設置スペースの値は、A4 原稿を読み取る場合に必要な設置スペースの参考値です。

付 .3 外形寸法

外形寸法は次のとおりです。

ADF タイプ



(単位 : mm)

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

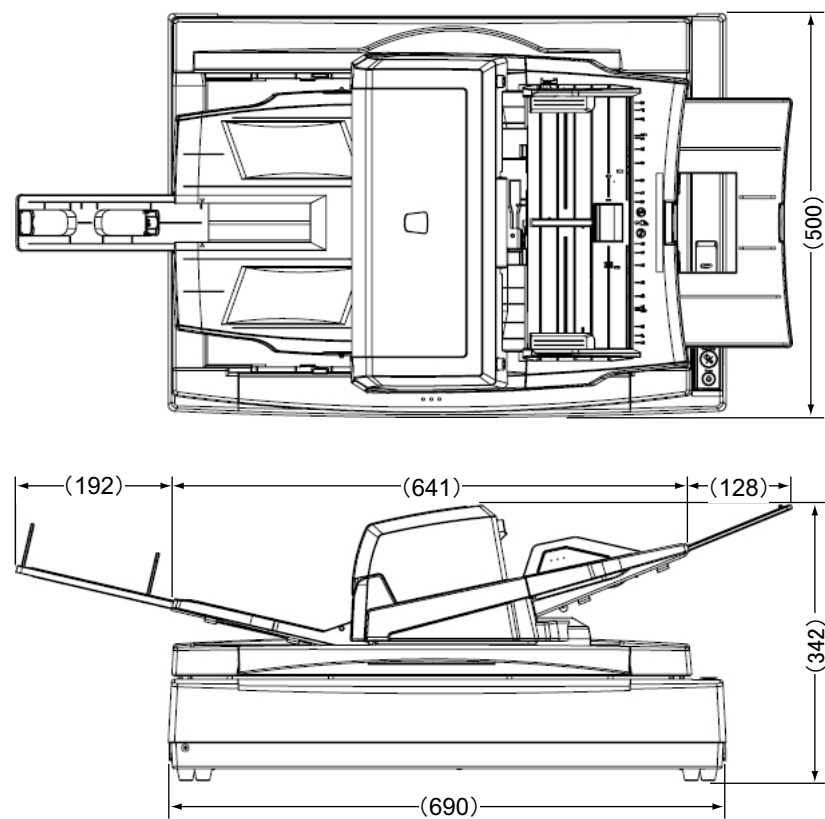
困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

フラットベッドタイプ



(単位 : mm)

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

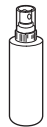
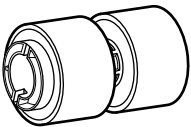
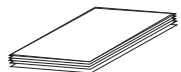
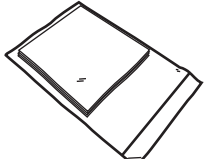
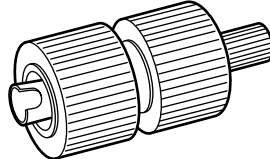
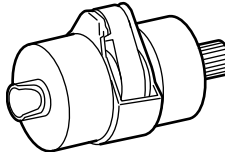
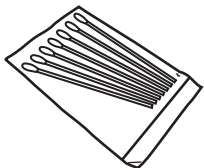
付 .4 スキャナのオプション

品名	型名	仕様	対応機種	説明
インプリンタ	FI-667PR	PA03576-D103	fi-6670 fi-6670A	ADF タイプ専用のインプリンタオプションです。 読み取った原稿にアルファベットや数字などの文字列を印刷することができます。 原稿の裏面に、画像読み取り後に文字を印刷します。 このインプリンタを使用することにより、読み取った原稿に名前や日付、連番を付けて管理することができます。
黒色原稿押さえパッド	FI-575BK	PA03338-D960	fi-6770 fi-6770A fi-6750S	フラットベッド用の黒色背景です。交換は簡単に行えます。
VRS 画像処理オプション	FI-677CGA	PA03576-K003	fi-6670 fi-6770	FUJITSU イメージスキャナ fi シリーズ用の画像処理ハードウェア・オプションです。 専用のアプリケーション「Kofax® VRS」と組み合わせて使用することにより、高度な画像処理を高速に行うことができます。 fi-6670A/fi-6770A は、標準で搭載されています。
ScanAid	FI-677SA	-	fi-6670 fi-6670A fi-6770 fi-6770A fi-6750S	スキャナに必要な消耗品・清掃用品（ローラー、クリーナーなど）をまとめたオプションです。 ScanAid を購入することで、必要な消耗品・清掃用品が一度にそろいます。 ScanAid の梱包品については、「ScanAid の梱包品」(P.188) を参照してください。

スキャナのオプションのご購入については、「株式会社 PFU PFU ダイレクト」(P.193) にお問い合わせください。

スキャナのオプションの詳細については、本製品を購入された販社 / 販売店または「株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター」(P.192) にお問い合わせください。

ScanAid の梱包品

清掃用品		消耗品	
品名	備考	品名	備考
クリーナ F1 (1 本) 	容量 : 50ml	ブレーキローラ (1 個) 	25 万枚または 1 年ごとに交換
クリーニングペーパー (1 パック) 	10 枚入り / 1 パック		
クリーニングクロス (1 パック) 	20 枚入り / 1 パック	ピックローラ (1 組)  	25 万枚または 1 年ごとに交換
綿棒 (1 パック) 	50 本入り / 1 パック		

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

付 .5 ソフトウェアのアンインストール手順

1 パソコンを起動します。



Administrator の権限（コンピュータの管理者権限）を持つユーザーでログオンしてください。

2 動作しているアプリケーションをすべて終了させます。

3 「スタート」メニュー→「コントロールパネル」→「プログラムのアンインストール」の順にクリックします。

⇒「プログラムのアンインストールまたは変更」画面が表示され、インストールされているアプリケーションの一覧が表示されます。



ご使用のオペレーティングシステム（OS）によっては、画面表示が異なる場合があります。各 OS の表示に従ってください。

Windows 2000 の場合

- 「プログラムのアンインストール」
→ 「アプリケーションの追加と削除」
- [アンインストール] ボタンまたは [アンインストールと変更] ボタン → [追加と削除] ボタン

Windows XP の場合

- 「プログラムのアンインストール」
→ 「プログラムの追加と削除」
- [アンインストール] ボタンまたは [アンインストールと変更] ボタン → [変更と削除] ボタン

4 削除するアプリケーションをクリックします。

- TWAIN ドライバを削除する場合
「Scanner Utility for Microsoft Windows」をクリックしてください。
- ScandAll PRO を削除する場合
「Fujitsu ScandAll PRO」をクリックしてください。
ScandAll PRO および ScandAll PRO ScanSnap mode Add-in の削

除に続いて、Scan to Microsoft SharePoint および ABBYY FineReader for ScanSnap™ を削除できます。

- ScandAll PRO ScanSnap mode Add-in を削除する場合
「Fujitsu ScandAll PRO ScanSnap mode Add-in」をクリックしてください。
- Scan to Microsoft SharePoint を削除する場合
「Scan to Microsoft SharePoint」をクリックしてください。
- ABBYY FineReader for ScanSnap™ を削除する場合
「ABBYY FineReader for ScanSnap(TM)」をクリックしてください。
- ISIS ドライバを削除する場合
「ISIS Driver Bundle Installer for fi Series Scanners」をクリックしてください。
- Error Recovery Guide を削除する場合
「Error Recovery Guide for fi-6670(A)/fi-6770(A)/fi-6750S」をクリックしてください。
- Software Operation Panel を削除する場合
「Software Operation Panel」をクリックしてください
(Software Operation Panel は、TWAIN ドライバ/ISIS ドライバをインストールすると一緒にインストールされます)。
- Kofax VRS を削除する場合
「Kofax VRS」をクリックしてください。
- 取扱説明書を削除する場合
「fi-Scanner manuals fi-6670(A)/fi-6770(A)/fi-6750S」をクリックしてください。
- Quick Scan Pro™ を削除する場合
「Quick Scan」をクリックしてください。
- Scanner Central Admin Agent を削除する場合
Scanner Central Admin 4.0 ユーザーズガイドを参照してアンインストールしてください。
- Adobe Acrobat を削除する場合
「Adobe Acrobat Standard」をクリックしてください。



画像処理ソフトウェアオプション（体験版）のアンインストールについては、画像処理ソフトウェアオプションユーザーズガイドを参照してください。

- 5 [アンインストール] ボタンまたは [アンインストールと変更] ボタンをクリックします。
- 6 アンインストールの確認画面が表示される場合は、[OK] ボタンまたは [はい] ボタンをクリックします。
⇒ アンインストールが実行されます。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

修理・お問い合わせについて

トラブル対処

原稿つまりなどのトラブルが発生した場合は、次を参照して対処してください。

- 「第7章 困ったときには」(P.120)
- サービスセンターのホームページ
(<http://imagescanner.fujitsu.com/jp/support/>)

それでも解決しない場合は、本製品を購入された販社/販売店またはサービスセンター窓口の「PFU イメージング サービス & サポートセンター」まで連絡してください。

連絡する際は、「7.4 サービスセンターに連絡する前に」(P.143) を参考に必要事項を確認してください。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

サポート&サービスのご案内

当社では、お客様に安心して FUJITSU イメージスキャナ「fi シリーズ」をお使いいただけるよう、万全のサポート体制を整えています。

購入時にご加入いただく契約サービスと、必要なときにそのつどご利用いただけるスポットサービスにより、お客様を強かにバックアップいたします。

契約サービス

あらかじめ契約を結んでいただくことで、ご購入後も万全のサポートを提供します。

- 定額定期保守サービス

年に1度予防保守を行います。万一の障害発生時には、サービスエンジニアがお客様のもとにお伺いして保守修理作業を実施します。

- 定額訪問修理サービス

万一の障害発生時には、サービスエンジニアがお客様のもとにお伺いして修理作業を実施します。

スポットサービス

必要なときに、そのつどご利用いただけます。

- 訪問修理（有償）(*1)

機器の故障発生時にご連絡いただき、その後、サービスエンジニアが直接修理に伺います。

- 持込/ SENDバック修理（有償）

機器の故障発生時にお客様の機器を当社の修理センターで修理します。

*1：保証期間中の場合も有償となります。

詳細はホームページをご覧ください

<http://imagescanner.fujitsu.com/jp/support/maintenance-service/index.html>

サービスセンター窓口

お客様からの FUJITSU イメージスキャナ「fi シリーズ」全般に関する操作や故障のお問い合わせに迅速に対応いたします。

株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター

お問い合わせ先

E-mail : scanners@pfu.fujitsu.com

電話 : 0120-37-9089

携帯電話からおかけの場合 042-788-7746

お問い合わせ内容の正確な把握ならびに当社における対応内容の管理のため、お問い合わせ内容を録音させていただく場合があります。

ホームページ : <http://imagescanner.fujitsu.com/jp/>

受付時間 : 9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00

(土・日・祝日・年末年始・当社休業日を除く)



保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
保証期間は、機器ご購入日から6か月です。

本サービスは、予告なく変更される場合がございます。詳細につきましては、当社ホームページでご確認いただくか、PFU イメージング サービス & サポートセンターまでお問い合わせください。

上記窓口では、アドビ製品に関するお問い合わせにはお答えすることができません。

アドビ製品に関するお問い合わせにつきましては、次のホームページを参照してください。

<http://www.adobe.com/jp/support/>

上記窓口では、ABBYY FineReader for ScanSnap™ に関するお問い合わせにはお答えできません。

ABBYY FineReader for ScanSnap™ に関するお問い合わせに

については、次を参照してください。

ABBYY FineReader for ScanSnap™ ユーザーズガイド (*1)
の「技術サポート」の「ABBYY 支店」

*1: 「スタート」メニュー→「すべてのプログラム」→「ABBYY
FineReader for ScanSnap(TM)」→「ユーザーズガイド」をクリック
すると表示されます。
なお、ABBYY FineReader for ScanSnap™ のバージョンによってメ
ニューが異なります。

Kofax VRS に関するお問い合わせについては、次を参照して
ください。

[http://www.kofax.com/support/Notices/TS_Services/
Kofax_Support-Detailed_Contact_Information.asp](http://www.kofax.com/support/Notices/TS_Services/Kofax_Support-Detailed_Contact_Information.asp)



- 本製品の修理はお客様自身で行わないでください。
- 本製品の保証条件は同梱の当社の保証書の規定をご覧ください。
- 本製品の修理部品の供給期間は製造中止後 5 年間です。

サプライ用品の購入先

スキャナの清掃方法と消耗品の交換方法については、「第 5
章 日常のお手入れ」(P.105) および「第 6 章 消耗品の交換」
(P.114) を参照してください。

清掃用品や消耗品などのお問い合わせやご購入については、
本製品を購入された販社 / 販売店または株式会社 PFU PFU
ダイレクトにお問い合わせください。

株式会社 PFU PFU ダイレクト

お問い合わせ先

E-mail : shop@pfu.fujitsu.com

電話 : 0120-14-4541

お問い合わせ内容の正確な把握ならびに当社における対応内容の管
理のため、お問い合わせ内容を録音させていただく場合があります。

ホームページ : <http://www.pfu.fujitsu.com/direct/>

受付時間 : 9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00

(土・日・祝日・年末年始・当社休業日を除く)

はじめに

スキャナにつ
いて

原稿のセット
方法

読み取り条件
の設定

いろいろな読
み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動
作設定

用語集

あ行

明るさ

インターフェース

か行

解像度

画像処理

画像反転

片面読み取りモード

カラーバランス

ガンマ

グレースケール

原稿づまり

光学センサー

国際エネルギースター

誤差拡散

さ行

しきい値

下地追従

自動傾き / サイズ検出

自動像域分離

ジャギ（ギザギザな）画像

写真モード（下地追従オフ）

ジョブセパレーションシート

白基準

スムージング

線画モード

操作パネル

装置エラー

た行

縦向き

超音波センサー

ディザ

デフォルト設定

テンポラリエラー

動作温度 / 湿度

ドライバソフトウェア

ドロップアウトカラー

な行

ノイズ検出

濃度

は行

ハーフトーン

ピクセル

ピック開始時間

ピックローラ

フィードローラ

フィルターリング

フラットベッド

ブレイキローラ

保管温度 / 湿度

ま行

マルチフィード検出

ミラーイメージ

モアレ

や行

横向き

ら行

両面読み取りモード

輪郭処理

輪郭抽出

レターサイズ

英数字

11 × 17 インチサイズ

A4 サイズ

A5 サイズ

A6 サイズ

A7 サイズ

A8 サイズ

ADF（自動給紙部）

Canadian DOC

CCD（電荷結合素子）センサー

dpi（dots per inch）

FCC

IPC プリセットモード

ISIS

OCR（光学式文字認識）

SCSI

SCSI-ID

TÜV

TWAIN

USB

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

あ行

明るさ

読み取った画像の明るさを指します。

インターフェース

コンピュータとスキャナの通信に用いられる接続規格です。

か行

解像度

画像のクオリティ（精細さ）を示す基準です。1インチあたりのピクセル数によって表します。画像データは、微小な点（ピクセル）の集まりです。同じ画像の場合、ピクセル数が多い方が、細部分まで表現することができます。そのため、解像度が大きいほど、高精細な画像となります。

画像処理

設定したパラメーターを用いて、読み取った画像に処理を加えて出力します。

画像反転

画像の白と黒を入れ替える読み取り方式です。

片面読み取りモード

原稿の指定した面（片面）のみを読み取るモードです。（⇔両面読み取りモード）

カラーバランス

画像中の色のバランスです。

ガンマ

画像の明るさの変化を示す単位です。機器（スキャナ、ディスプレイなど）への入力電圧と画像の明るさの関数として与えられます。ガンマレートが1以上に設定されている場合、画像は明るくなり、1以下の場合は逆に暗くなります。原稿そのものの明るさを再現する場合は、通常ガンマレートを1に設定します。

グレースケール

白黒を256階調（濃淡）で表現します。写真などの画像を読み取るのに適しています。

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

原稿づまり

搬送路内で原稿がつまった場合または紙すべりにより給紙が中断された場合に表示されるエラーです。

光学センサー

光の透過量の変化を検知するセンサーです。原稿の通過を監視することにより、マルチフィード、原稿づまりなどの搬送異常を検知します。

国際エネルギースター

米国環境保護庁（US Environmental Protection Agency (EPA)）が 1992 年に制定した、省エネルギー化促進のための国際的なプログラムです。現在世界各国で採用されています。

誤差拡散

白黒 2 値を用いた、ハーフトーン（擬似グレースケール）画像処理です。あるピクセル（注目画素）と隣接したピクセルの濃度を合計し、隣接ピクセルへの関係に基づき高濃度順に黒いピクセルを再配置し、読み取り画像と出力画像間の格差を最小限にできます。注目画素のエラーを周辺画素に分散させることで、隣接ピクセルの濃度データを決定し 2 値化します。新聞の写真など点により構成される画像のモアレを抑え、グレースケールのグラデーションを再現します。

さ行

しきい値

ある色を黒または白と判定するために用いられる値です。グレースケールのグラデーションを持つ画像を読み取る際は、設定が必要となります。設定したしきい値に従って、各ピクセルは黒または白に変換されます。

下地追従

新聞紙、雑誌などのような、地色のある原稿の背景部分を、白色になるように補正します。

自動傾き / サイズ検出

自動傾き検出：

搬送された原稿の傾きを検出し、その傾きを補正してデータを出力します。

自動サイズ検出：

原稿の形状を検出し、読み取った原稿を同じサイズで出力します。

後端検出：

ADF 読み取り時に、原稿の後端を検出して、原稿長さ分の読み取りを行います。

自動像域分離

2値化画像処理の一形式です。自動的に文字と画像を識別し、文字部分は2値白黒で、画像部分をハーフトーンで読み取ります。文字と画像が混在した原稿を読み取るのに適しています。

ジャギ（ギザギザな）画像

端が尖っているまたは不定形な画像です。

写真モード（下地追従オフ）

このモードを選択した場合、明るさとコントラストの設定が有効となり、しきい値は設定が無効になります。このモードでは画像の暗さがピクセルの黒濃度に対応するので、グラデーションのある写真などの読み取りに適しています。

ジョブセパレーションシート

原稿の間に挿入し、異なったジョブとして認識させる場合に用いるシートです。特殊な用紙です。

白基準

白色の基準となるシートです。スキャナは、このシートの色を白として、その他の部分の明るさを調整します。

スムージング

斜めの線やカーブ上の凹凸を一定にし、ギザギザを除去する処理。OCRアプリケーションなどに用います。

線画モード

このモードを選択した場合、しきい値とコントラストの設定が有効となり、明るさは設定が無効になります。設定したしきい値に従って読み取る画像のピクセルの白黒が判定されます。そのため文字および線画の読み取りに適しています。

操作パネル

表示部およびボタンから構成されるパネルです。機能の設定および変更など、スキャナの操作に使用します。

装置エラー

ユーザーによる修復が不能なエラーです。製造元への問い合わせが必要です。

た行

縦向き

原稿の長辺を給紙方向と平行にセットする方法です。
原稿 / 画像が縦にセット / 表示されます。

超音波センサー

超音波によりマルチフィードを検出するセンサーです。原稿を透過する超音波の差異を監視し、マルチフィードを検出します。

ディザ

グレースケールの濃度を再現するよう点を配置する処理です。あらかじめ点の配置パターンを設定しておき、グレースケールの濃度を再現します。グレースケールを多値で再現する方式に比べ、必要とするメモリ容量が少ないです。

デフォルト設定

(ハードウェアの場合)

工場出荷時に設定されている各種設定値です。

(ソフトウェアの場合)

インストール直後に設定されている各種設定値です。

テナポラリエラー

ユーザーによる修復が可能なエラーです。

動作温度 / 湿度

スキヤナの適切な動作の保証に必要な温度 / 湿度です。

ドライバソフトウェア

パソコンに接続されたハードウェアを、OS 上で制御するためのソフトウェアです。

ドロップアウトカラー

指定した色成分を、読み取った画像から取り除いて出力します。

な行

ノイズ検出

白い（黒い）領域に黒い（白い）点として表示される孤立点を除去し、画像の質を向上させる機能です。

濃度

表示色の深さを指します。

は行

ハーフトーン

ドットパターンによって、濃淡を2値白黒で再現します。写真などの画像を2値白黒で読み取る際に有効です。

ピクセル

読み取った画像を構成する点です。

ピック開始時間

原稿をセットしてから、ホッパエンptyセンサー上を通過してピックが開始されるまでの時間です。

ピックローラ

給紙シュートの原稿から1ページだけ分離させ、ADF内に繰り込むローラです。

フィードローラ

ADF内で原稿を搬送するローラです。

フィルターリング

手書き原稿の読み取り品質を向上する補正方式です。鉛筆やボールペンで書かれた原稿の読み取りは、インクや鉛が持つ固有の光の反射特性に左右されます。反射光の濃度が一定でない場合、読み取り画像のピクセルが抜け落ち、線のかすれなどが発生します。フィルターリングは周辺領域の明るさを検出し、線の濃度を補正することで、読み取り画像のクオリティを向上させます。

フラットベッド

スキャナの入力装置です。
原稿を、1枚ずつ原稿台（ガラス板）の上にのせて読み取ります。

本や冊子など、ADF で読み取ることができないような原稿も読み取ることができません。

ブレーキローラ

ADF 内への複数枚の原稿の繰り込みを防止するローラです。

保管温度 / 湿度

スキャナの適切な保管に必要となる温度 / 湿度です。

ま行

マルチフィード検出

ADF で読み取る場合に、原稿が複数枚重なった状態で搬送されてしまうのを防止するための機能です。オン / オフ設定が可能です。

ミラーイメージ

読み取った画像の左右を反転させ、鏡像イメージを出力する機能です。

モアレ

原稿の角度設定が不適切なために生じる、画像上の干渉縞です。

や行

横向き

原稿の短辺を給紙方向と平行にセットする方法です。

ら行

両面読み取りモード

原稿の両面を一度に読み取るモードです。(⇔片面読み取りモード)

輪郭処理

黒い部分に隣接した、白以外の明るい色の濃度を減少させる機能です。この機能の値を高く設定すると、点状のノイズの除去や、画像をソフトにできます。

輪郭抽出

白と黒の各領域の境界線をトレースし、輪郭として抽出する機能です。

レターサイズ

米国などにおける定型原稿サイズです。8-1/2 × 11 インチです。

英数字

11 × 17 インチサイズ

米国などにおける定型原稿サイズです。ダブルレターサイズです。

A4 サイズ

210 × 297 mm の定型原稿サイズです。

A5 サイズ

148 × 210 mm の定型原稿サイズです。

A6 サイズ

105 × 148 mm の定型原稿サイズです。

A7 サイズ

74 × 105 mm の定型原稿サイズです。

A8 サイズ

53 × 74 mm の定型原稿サイズです。

ADF（自動給紙部）

ADF（=Automatic Document Feeder）

複数枚の原稿を、自動的に1枚ずつ搬送しながら読み取るための搬送機構です。

Canadian DOC

カナダ産業省（Industry Canada, a department of the Canadian government）の制定する規格です。デジタル機器が発生する電波・ノイズに対して技術水準を定めています。

CCD（電荷結合素子）センサー

原稿からの反射光を感知し、デジタル化（電子化）するセンサーです。スキャナ、カメラなどのデバイスにおいて、目の役割を果たします。

dpi（dots per inch）

1インチあたりのドット数です。スキャナやプリンタの解像度の単位として用いられます。dpiの値が高いほど、解像度は高くなります。

FCC

独立行政委員会（Independent United States government agency）のひとつである連邦通信委員会（Federal Communications Commission）の略称です。ラジオ、テレビ、無線、有線、衛星などによる通信を管理しています。FCC規格第15章の規格は、通信機器が発生する有害な電磁波の干渉を防ぐもので、こうした機器の認定条件を定めています。また低電力送信機器の認定条件を定めると同時に、ライセンスなしでの認定機器の操作を認証します。

IPCプリセットモード

バイナリ画像を読み取る場合、読み取る原稿の質を設定する必要があります。このモードでは、各パターン番号を指定することで、あらかじめ設定された値を用いることができます。

ISIS

米国 Pixel Translations, a division of Captiva Software がイメージングデバイス（スキャナ、デジタルカメラなど）用に開発した、API（アプリケーション・プログラム・インターフェース）規格です。ISIS規格の製品を使用するには、同規格のドライバソフトのインストールが必要となります。

OCR（光学式文字認識）

原稿の文字を認識し、操作可能なテキストデータに変換する機器および技術です。原稿に投光し、反射光の差異を文字の形として認識します。

[はじめに](#)[スキャナについて](#)[原稿のセット方法](#)[読み取り条件の設定](#)[いろいろな読み取り方](#)[日常のお手入れ](#)[消耗品の交換](#)[困ったときには](#)[スキャナの動作設定](#)[付録](#)[用語集](#)

SCSI

ハードディスク、スキャナなどの機器の接続に用いられるインターフェースの規格です。最大 7 機までの機器の接続が可能です（ダイジーチェーン）。データ転送速度は Fast SCSI で最大 10M バイト / 秒、Wide SCSI では最大 20M バイト / 秒となっています。

SCSI-ID

SCSI 機器の特定に用いられる値です。イニシエータがターゲットを指定する場合、またターゲットがイニシエータに接続する場合に必要となります。

TÜV

セキュリティ、ユーザービリティ、環境問題関連の規格に対する製品の適合性を管理する機関です。

TWAIN

Technology Without Any Interesting Name の略です。TWAIN Working Group がイメージングデバイス（スキャナ、デジタルカメラなど）用に開発した、API（アプリケーション・プログラム・インターフェース）規格です。TWAIN 規格の製品を使用するには、同規格のドライバソフトのインストールが必要となります。

USB

Universal Serial Bus の略称です。キーボード、スキャナなどの接続に用いられるインターフェースの規格です。最大 127 機までの機器の接続が可能です。また機器の電源を切断せずに、接続・取り外しが可能となっています。データ転送速度は、ロースピードモードで 1.5Mbps、ハイスピードモードで最大 12Mbps となっています。

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

索引

A

ADF タイプ.....	7
ADF に原稿をセットする方法.....	39
ADF にセットする原稿.....	42
ADF の位置.....	48
ADF の清掃.....	108

I

ISIS ドライバ.....	56
----------------	----

S

Scan / Stop ボタン.....	97
Send to ボタン.....	97
Software Operation Panel の起動.....	147

T

TWAIN ドライバ.....	52
-----------------	----

あ

アンインストール手順.....	189
安全上のご注意.....	12

い

いろいろな読み取り方.....	63
-----------------	----

お

オーバースキャン読み取り制御の設定.....	179
オプション.....	187

か

外形寸法.....	185
各部の名称と働き.....	22

き

規格について.....	6
基本仕様.....	182
給紙のリトライ回数.....	180

け

原稿づまりが発生したときは.....	121
原稿のセット方法.....	38
原稿のセット方法 (ADF の場合).....	39
原稿のセット方法 (フラットベッドの場合).....	50

こ

困ったときには.....	120, 128
--------------	----------

さ

サービスセンターに連絡する前に.....	143
----------------------	-----

し

修理・お問い合わせについて.....	191
種類やサイズが異なる原稿を読み取る.....	65
使用上のご注意.....	9
省電力モード.....	32
消耗品.....	115
消耗品 / 清掃カウンタに関する設定.....	156
消耗品の交換.....	114

TOP

目次

索引

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

消耗品の交換周期.....	115	は	はじめに.....	3
す		ひ	ピックアップローラの交換.....	116
スキャナについて.....	20	ふ	縁消し.....	161
スキャナの動作設定.....	146		フラットベッドタイプ.....	7
スキャナの特長.....	21		フラットベッドに原稿をセットする方法.....	50
せ			フラットベッドの清掃.....	113
清掃が必要な場所.....	106		ブレーキローラの交換.....	118
清掃用品.....	106	ほ		
設置諸元.....	184	本書の使い方.....	2	
設定できる項目.....	148	本書をお読みにする前に.....	7	
そ		ま		
操作パネル.....	28	マルチフィード検出に関する設定.....	170	
操作パネルのエラー表示.....	123	よ		
装置ラベル.....	145	読み取り条件の設定.....	51	
た		読み取り方一覧.....	64	
待機時間に関する設定.....	176	読み取り方を替える.....	69	
て		読み取り後の動作や処理を設定する.....	80	
電源 SW 制御.....	178	読み取り時のスキャナの動作を変更する.....	97	
電源投入 / 切断方法に関する設定.....	178	読み取り操作の流れ.....	33	
電源投入 / 切断方法の設定.....	178	読み取りに関する設定.....	159	
電源の切断.....	31			
電源の投入.....	31	と		
と		特長.....	21	
に		に		
日常のお手入れ.....	105	日常のお手入れ.....	105	

はじめに

スキャナについて

原稿のセット方法

読み取り条件の設定

いろいろな読み取り方

日常のお手入れ

消耗品の交換

困ったときには

スキャナの動作設定

付録

用語集

fi-6670(A)/fi-6770(A)/fi-6750S イメージスキャナ

オペレーターガイド

P3PC-2252-05Z0

発行日 2011年10月

発行責任 株式会社 PFU

- 本書の内容は、改善のため予告なく変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する、第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社は一切その責を負いません。
- 無断転載を禁じます。